

第 37 回 「県民健康調査」 検討委員会 次第

日 時： 令和 2 年 2 月 13 日（木） 13:30～16:00

場 所： ザ・セレクトン福島 西館 3 階「安達太良」

1 開 会

2 議 事

- (1) 第 14 回甲状腺検査評価部会開催報告について
- (2) 第 9 回学術研究目的のためのデータ提供に関する検討部会開催報告について
- (3) 妊産婦に関する調査について
- (4) 健康診査について
- (5) 甲状腺検査について
- (6) その他

3 閉 会

配付資料一覧

- 次第・配付資料一覧
- 出席者名簿・座席表

資料 1	第 14 回甲状腺検査評価部会開催報告
資料 2	第 9 回学術研目的のためのデータ提供に関する検討部会開催報告
資料 3-1	平成 30 年度「妊産婦に関する調査」結果報告
資料 3-2	平成 26 年度「妊産婦に関する調査」回答者に対するフォローアップ調査結果報告
資料 3-3	県民健康調査「妊産婦に関する調査」結果まとめ(平成 23 年度～平成 30 年度)
資料 3-4	令和 2 年度「妊産婦に関する調査」実施計画(案)
資料 4-1	県民健康調査「健康診査」平成 23～令和元年度実施状況
資料 4-2	平成 30 年度県民健康調査「小児健康診査」(15 歳以下)結果報告
資料 4-3	平成 30 年度県民健康調査「健康診査」(16 歳以上)結果報告
資料 4-4	平成 30 年度県民健康調査「健康診査」健診項目別集計結果
資料 4-5	県民健康調査「健康診査」令和 2 年度実施計画(案)
資料 4-6	県民健康調査「健康診査」対象市町村と他地域の比較
資料 4-7	県民健康調査「健康診査」既存健診対象外の県民に対する健康診査について
資料 5-1	県民健康調査「甲状腺検査【本格検査(検査 3 回目)】」実施状況
資料 5-2	県民健康調査「甲状腺検査【本格検査(検査 4 回目)】」実施状況
資料 5-3	県民健康調査「甲状腺検査【25 歳時の節目の検査)】」実施状況
資料 5-4	県民健康調査「甲状腺検査【本格検査(検査 5 回目)】」実施計画(案)
参考資料 1	(参考)他調査の紹介
参考資料 2	妊婦連絡票等活用事業
参考資料 3	(第 35 回検討委員会資料)県民健康調査「妊産婦に関する調査」について
参考資料 4	甲状腺検査結果の状況

第37回「県民健康調査」検討委員会 出席者名簿

令和2年2月13日

○委員

50音順、敬称略

氏名	所属及び職名	出欠
安部 郁子	福島県臨床心理士会 会長	出席
○ 稲葉 俊哉	国立大学法人 広島大学 原爆放射線医科学研究所 がん分子病態研究分野 教授	出席
井上 仁	一般社団法人 福島県病院協会 会長	欠席
小笹 晃太郎	公益財団法人 放射線影響研究所 疫学部長	出席
春日 文子	国立研究開発法人 国立環境研究所 特任フェロー (日本学術会議 推薦)	出席
加藤 寛	公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構 兵庫県こころのケアセンター長 (一般社団法人日本トラウマティック・ストレス学会 推薦)	欠席
高村 昇	国立大学法人 長崎大学 原爆後障害医療研究所 国際保健医療福祉学研究分野 教授	出席
立崎 英夫	国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子医学・医療分野 高度被ばく医療センター 副センター長	出席
田原 克志	環境省 大臣官房環境保健部長	出席
◇ 津金 昌一郎	国立研究開発法人 国立がん研究センター 社会と健康研究センター長	欠席
富田 哲	国立大学法人 福島大学 行政政策学類 教授	出席
菱沼 昭	獨協医科大学 感染制御・臨床検査医学 教授 (日本甲状腺学会 推薦)	出席
◎ 星 北斗	一般社団法人 福島県医師会 副会長	出席
堀川 章仁	一般社団法人 双葉郡医師会 会長	出席
三浦 富智	国立大学法人 弘前大学 大学院保健学研究科 准教授	欠席
室月 淳	地方独立行政法人 宮城県立こども病院 産科科長 (公益社団法人日本産科婦人科学会 推薦)	出席
山崎 嘉久	あいち小児保健医療総合センター 副センター長兼保健センター長 (公益社団法人日本小児科学会 推薦)	出席
吉田 明	公益財団法人 神奈川県予防医学協会 婦人検診部 部長 (一般社団法人日本内分泌外科学会 推薦)	出席

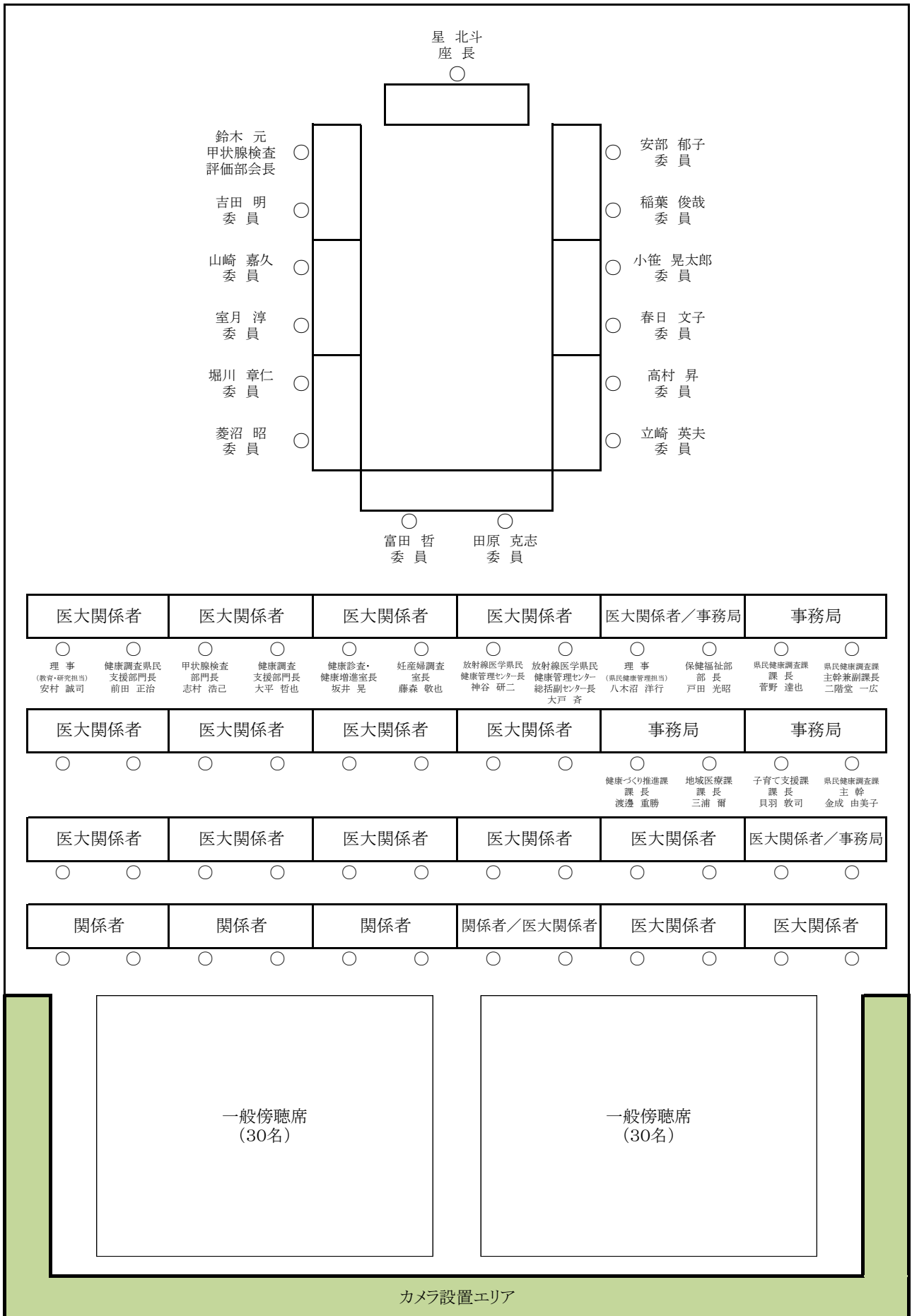
◎：座長 ○：座長代行 ◇：学術研究目的のためのデータ提供に関する検討部会 部会長

○甲状腺検査評価部会 部会長

氏名	所属及び職名
鈴木 元	国際医療福祉大学クリニック 院長 (一般社団法人日本放射線影響学会 推薦)

第37回「県民健康調査」検討委員会 座席表

開催日時：令和2年2月13日（木）13:30～16:00
 会場：ザ・セレクトン福島 西館3階「安達太良」



第14回 甲状腺検査評価部会 開催報告

1 日時：令和2年1月20日（月） 13：30～15：30

2 場所：ザ・セレクトン福島 本館3階 吾妻

3 出席者：部会員8名

4 部会長選出・副部会長指名について

部会長は互選により鈴木元部会員が選出（再任）された。

副部会長は今井常夫部会員が部会長により指名された。

5 説明事項等**(1) 甲状腺検査評価部会の検討事項について**

事務局より第36回検討委員会（令和元年10月7日開催）で協議された甲状腺検査評価部会の検討事項について説明し、部会員による確認を行った。

- ・ 先行検査、検査2回目、検査3回目を通した全体的な解析について
- ・ 地域がん登録、全国がん登録を使った解析について

部会員より、解析においてはがん登録の利用、個人線量などの解析、臨床がん罹患率との違いなどが検討課題として挙げられた。

(2) 甲状腺検査の概要、本格検査（検査3回目）の結果等について

福島医大より、甲状腺検査の概要等（資料2）、検査3回目、25歳時の節目の検査の実施状況（資料3-1、3-2）、検査3回目までの実施結果（資料4）について報告を行った。

(3) 今後の解析等に対する部会員意見

部会員からの主な意見は次のとおり。今後、部会員の助言、サポートを受けながら医大において解析等を進めていく。

- ・ より詳細な甲状腺被ばく線量を使った解析が重要である。
- ・ 1回目、2回目、3回目の個別の検診歴を把握し集計した上で解析することが考えられる。
- ・ 2回目、3回目の検査で甲状腺がんが発見された方たちについて、先行検査の時の年齢階層とがんと診断された時の年齢階層、結節の状態が前回はどうだったかというような情報をまとめたほうが良い。
- ・ 検査を受けていない人の罹患状況についてがん登録で把握していくことが重要である。
- ・ がん登録を使って、まず、甲状腺検査で見つかっているものとがん登録で見つかっているものがどれだけオーバーラップしているか、どのくらい欠落しているかを見る必要がある。
- ・ 罹患（がん登録）の情報、検診（甲状腺検査）の情報、線量の情報を使って評価していくことが重要である。
- ・ 受診率の低下の客観的な評価として甲状腺検査に関する意識がどのように変わってきたのかサンプリング調査なりアンケートなどを実施する必要があるのではないか。
- ・ 自然史を理解する上で経過観察例などの情報などがあるとよい。

第9回 学術研究目的のためのデータ提供に関する検討部会 開催報告

1 日時：令和2年1月30日（木）13:15～15:15

2 場所：ザ・セレクトン福島 3階 吾妻I

3 出席者：部会員9名（全員出席）

4 部会長選出・副部会長指名について

部会長は互選により津金昌一郎部会員が選出（再任）された。

副部会長は寶澤篤部会員が部会長により指名された。

5 内容等

(1) 福島県県民健康調査に係る調査情報の学術研究目的のための第三者提供に関するガイドライン及び利用規約について

データ提供に関する報告書に基づき県が作成したガイドライン及び利用規約の案が示され、各部会員から意見が出された。

<部会員の主な意見>

● 審査結果の公開について

- ・データ利用の審査結果は申請者のみに通知することとなっているが、どのような研究に県民健康調査のデータを提供するかについては申請者に通知するだけでなく、県民に公開することをガイドラインに規定すべきではないか。

● データの利用期間について

- ・利用期間が学術誌での公開まで含むのであれば、原則2年で延長して最長5年というのは短いのではないか。
- ・県民の貴重なデータを活用した研究であるため利用期間はこれ以上の延長は適切ではなく原則2年、最長5年のままにすべきではないか。
- ・論文を投稿する学術誌によっては、論文を提出してから受諾・公開されるまでに1年以上かかるものもあるため、そのような案件は利用期間について配慮する必要があるのではないか。

● 利用期間終了後の処置について

- ・利用期間終了後は調査情報及び中間生成物を速やかに破棄するとしているが、中間生成物の定義によっては破棄することによって支障が出てくる可能性もあるため、定義を明確にしておく必要があるのではないか。

(2) 第三者へのデータ提供に対する調査対象者の拒否機会の保証（オプトアウト）に関する手続きについて

データ提供に関する報告書の中で、検討すべき課題とされたオプトアウトに関する手続きについて、県において当該手続きを実施する方針を示し、各部会員から意見が出された。

<部会員の主な意見>

● 周知について

- ・オプトアウトの対象者が、自分が対象者であるか明確に分かるよう表現ぶりは配慮した方

がよい。

- どのような研究にデータを提供しているか県民に知ってもらうため、オプトアウト実施のお知らせとは別に、データを提供した研究の概要については継続して公表した方がよいのではないか。

● オプトアウトの期間について

- 申し出の期間が1か月というの短いのではないか。
- 申し出期間を1か月としている事例もあり、1か月という期間は短すぎるということも面白いと思うが、他事例も参考にして検討してほしい。

(3) その他

特になし。

5 今後のデータ提供に向けた対応

部会員から出された意見を元に、県が関係規程の整備等データ提供の準備を進めていくこととした。

平成 30 年度「妊産婦に関する調査」結果報告

1 調査概要

(1) 目的

福島県で子どもを産み育てようとする妊産婦の現状、こころや身体健康度、意見・要望等を的確に把握し、不安の軽減や必要なケアを提供するとともに、安心の提供と今後の福島県内の産科・周産期医療の充実へつなげていくこと。

(2) 対象者

下記に該当する 12,838 人

- ① 平成 29 年 8 月 1 日から平成 30 年 7 月 31 日までに、福島県内の市町村から母子健康手帳を交付された方
- ② 上記期間内に福島県外から母子健康手帳を交付された方のうち、福島県で妊婦健診を受診し分娩した方（いわゆる里帰り分娩をした方）

〔参考〕

調査年度	対象者数
平成 23 年度	16,001 人
平成 24 年度	14,516 人
平成 25 年度	15,218 人
平成 26 年度	15,125 人
平成 27 年度	14,572 人
平成 28 年度	14,154 人
平成 29 年度	13,552 人
平成 30 年度	12,838 人

(3) 実施方法

ア 調査票：自記式調査票

イ 調査票送付日：【対象者①】平成 30 年 11 月 1 日、平成 31 年 1 月 11 日、3 月 8 日
【対象者②】福島県内の産科医療機関の協力のもと随時調査票を配布

※対象者①へは、福島県内 59 市町村から得られた妊娠届出情報をもとに、分娩予定日により 3 回に分けて調査票を送付した。

平成 29 年度調査～：対象者情報提供依頼時に全市町村に対してあらかじめ、流産、死産および児の生存が確認できない方は件数のみの報告とし対象者からは除外するよう求めた。

平成 28 年度調査：調査票送付前に、市町村から流産、死産および児の生存が確認できない方について情報提供があった場合には、それらの方を除いた。

平成 27 年度調査まで：妊娠した全ての方に対して調査票を送付した。

ウ 調査回答方法：郵送及びオンライン

※オンライン回答期間は、平成 30 年 11 月 1 日から平成 31 年 4 月 30 日

(4) 調査項目

主な調査項目は以下のとおり

- ア 妊産婦のこころの健康度
- イ 現在の生活状況（避難生活、家族離散の状況）
- ウ 出産状況や妊娠経過中の妊産婦の健康状態
- エ 育児の自信
- オ 次回妊娠に対する意識

(5) 集計対象期間

平成 30 年 11 月 1 日から令和元年 12 月 20 日の回答

2 集計結果概要

集計結果は、『5 平成 30 年度「妊産婦に関する調査」結果集計 (1)、(2)、(3)』のとおり。なお、各項目に欠損値があるため、合計は有効回答数と一致しない場合がある。

(1) 回答数及び回答率について (参照：表 1-1)

平成 30 年度の回答者数 (回答率) は 6,649 人 (51.8%) であった。集計対象とした有効回答数は 6,580 人、無効回答数は 69 人であった。

【参考】	調査年度	回答数 (回答率)
	平成 23 年度	9,316 人 (58.2%)
	平成 24 年度	7,181 人 (49.5%)
	平成 25 年度	7,260 人 (47.7%)
	平成 26 年度	7,132 人 (47.2%)
	平成 27 年度	7,031 人 (48.3%)
	平成 28 年度	7,326 人 (51.8%)
	平成 29 年度	6,449 人 (47.6%)
	平成 30 年度	6,649 人 (51.8%)

(2) 地域別回答者数について (参照：表 1-1、表 1-2)

ア 平成 30 年度の回答者数 (回答率) を地域別にみると、県北地域 1,702 人 (56.5%)、県中地域 2,006 人 (51.1%)、県南地域 504 人 (50.0%)、相双地域 424 人 (42.3%)、いわき地域 1,034 人 (49.1%)、会津地域 815 人 (51.6%)、南会津地域 56 人 (57.7%)、県外 108 人であった。

イ 回答者の年齢は、30～34 歳が最も多く、次いで 25～29 歳、35～39 歳であった。

(3) 回答結果について

ア 妊娠結果について (参照：表 9-2、表 13-3、表 14-8、表 14-21～表 14-24)

(ア) 市町村からの情報提供時に把握できていなかった、あるいはその後の流産の割合は 0.43%、中絶の割合は 0.02%であった。(問 9)

【参考】	調査年度	流産の割合	中絶の割合	参考 (調査票送付対象者)
	平成 23 年度	0.77%	0.06%	妊娠した全ての方に対して調査票を送付
	平成 24 年度	0.81%	0.08%	
	平成 25 年度	0.78%	0.04%	
	平成 26 年度	0.62%	0.07%	
	平成 27 年度	0.81%	0.16%	
	平成 28 年度	0.85%	0.16%	調査票送付前に、市町村から流産、死産および児の生存が確認できない方について情報提供があった場合には、それらの方を除いた。
	平成 29 年度	0.34%	0.06%	対象者情報提供依頼時に全市町村に対してあらかじめ、流産、死産および児の生存が確認できない方は件数のみの報告とし対象者からは除外するよう求めた。
	平成 30 年度	0.43%	0.02%	

※平成 29 年度以降は、調査票送付対象者が異なるため、前年度と比較はできない。

(イ) 早産の割合は5.3%であった。(問13)

【参考】	調査年度	早産の割合
	平成23年度	4.8%
	平成24年度	5.7%
	平成25年度	5.4%
	平成26年度	5.4%
	平成27年度	5.8%
	平成28年度	5.4%
	平成29年度	5.4%
	平成30年度	5.3%

参考値：平成29年人口動態統計による全国の出生のうち早産の割合は5.7%

(ウ) 出生児のうち、低出生体重児（2,500g未満）の割合は9.2%であった。(問14)

【参考】	調査年度	低出生体重児の割合
	平成23年度	8.9%
	平成24年度	9.6%
	平成25年度	9.9%
	平成26年度	10.1%
	平成27年度	9.8%
	平成28年度	9.5%
	平成29年度	9.4%
	平成30年度	9.2%

参考値：平成29年人口動態統計による全国の出生のうち低出生体重児の割合は9.4%

(エ) 先天奇形・先天異常の発生率（単胎）は2.19%であり、最も多かった疾患は心臓奇形（発生率0.92%）であった。(問14)

【参考】	調査年度	先天奇形・先天異常の発生率（単胎）	心臓奇形の発生率
	平成23年度	2.85%	0.89%
	平成24年度	2.39%	0.79%
	平成25年度	2.35%	0.91%
	平成26年度	2.30%	0.74%
	平成27年度	2.24%	0.75%
	平成28年度	2.55%	0.91%
	平成29年度	2.38%	0.62%
	平成30年度	2.19%	0.92%

参考値：一般的な発生率は、3～5%であり、心臓奇形の自然発生率は約1%とされている。

イ 母親のメンタルヘルスについて（参照：表4-1～4-3）

うつ傾向ありと判定された母親の割合は18.4%であった。

参考として、「健やか親子21（母子保健の国民運動計画）」によると、エジンバラ産後うつ指標を用いて評価した全国の産後うつ病疑いの割合は9.0%（平成25年）である。（「健やか親子21（第2次）」では数値の見直しが行われ、平成25年度の産後うつ病疑いの割合は8.4%に修正された。）

なお、本調査結果からエジンバラ産後うつ指標による産後うつの推定割合は10.2%と算出される。（算出に用いた資料：Mishina H, et al. *Pediatr Int.* 2009; 51: 48.）

【参考】	調査年度	うつ傾向ありの割合
	平成 23 年度	27.1%
	平成 24 年度	25.5%
	平成 25 年度	24.5%
	平成 26 年度	23.4%
	平成 27 年度	22.0%
	平成 28 年度	21.1%
	平成 29 年度	20.7%
	平成 30 年度	18.4%

ウ 妊娠・分娩のケアについて（参照：表 3）

「今回の妊娠・分娩全般に関して十分にケアを受けられたと思いますか」に対し、「そう思わない」、「全くそう思わない」と回答した割合は 1.7%であった。（問 3）

【参考】	調査年度	「そう思わない」、「全くそう思わない」と回答した割合
	平成 23 年度	該当設問なし
	平成 24 年度	3.5%
	平成 25 年度	2.3%
	平成 26 年度	2.7%
	平成 27 年度	2.4%
	平成 28 年度	2.1%
	平成 29 年度	1.7%
	平成 30 年度	1.7%

エ 家庭と育児の状況について（参照：表 5-1、表 15）

・ 現在避難生活をしている（仮設、仮設以外含む）割合は減少しており、県全体で 1.8%であった。（問 5）

【参考】	調査年度	現在避難生活をしている （仮設、仮設以外含む）割合
	平成 23 年度	該当設問なし
	平成 24 年度	7.7%
	平成 25 年度	5.5%
	平成 26 年度	4.9%
	平成 27 年度	3.8%
	平成 28 年度	3.4%
	平成 29 年度	2.3%
	平成 30 年度	1.8%

- ・ 育児に自信がもてないことがあると回答した割合は17.7%であった。（問15）

【参考】

調査年度	育児に自信がもてないことがあると回答した割合
平成23年度	該当設問なし
平成24年度	15.4%
平成25年度	17.5%
平成26年度	16.6%
平成27年度	17.7%
平成28年度	16.6%
平成29年度	18.1%
平成30年度	17.7%

参考値：平成25年度厚生労働科学研究「「健やか親子21」の最終評価・課題分析及び次期国民健康運動の推進に関する研究」（山縣然太郎班）によると、3・4ヶ月児健診における子育てに自信が持てない母親の割合は19.3%

オ 次回の妊娠・出産の希望、要望について（参照：表17-1～表17-3）

- ・ 次回の妊娠・出産を希望すると回答した割合は52.2%であった。
- ・ 次回妊娠の希望者があつたらよいと思うサービスは、「保育所・延長保育・病児保育などの充実」が78.4%と最も多く、次いで「産休・育児休暇などの充実」が67.9%であった。
- ・ 次回の妊娠を希望しないと回答した理由として、「希望していない」が54.2%と最も多く、次いで「年齢や健康上の理由のため」が37.0%であった。「放射線の影響が心配なため」と回答した割合は0.5%であった。

【参考】

調査年度	次回の妊娠・出産を希望すると回答した割合	次回の妊娠を希望しない理由を「放射線の影響が心配なため」と回答した割合
平成23年度	該当設問なし	該当設問なし
平成24年度	52.9%	14.8%
平成25年度	52.8%	5.6%
平成26年度	57.1%	3.9%
平成27年度	53.3%	1.6%
平成28年度	54.6%	1.2%
平成29年度	52.4%	0.8%
平成30年度	52.2%	0.5%

参考値：第14回（平成22年）出生動向基本調査によると、結婚10年未満の夫婦で子どもを予定している割合は58%（既に子どもがいる場合に限ると51%）

カ 自由記載内容について（参照：表18）

- ・ 自由記載欄の記載者数（記載割合）は881人（13.4%）であった。
- ・ 自由記載内容は、「育児支援サービスの充実の要望」（25.1%）が最も多く、次いで「育児相談」（23.7%）であった。
- ・ 「胎児・子どもへの放射線の影響について」の記載割合は1.8%であった。

【参考】	調査年度	自由記載欄の記載者数 (記載割合)	「胎児・子どもへの放射線の影響 について」の割合
	平成 23 年度	3,722 人 (42.2%)	29.6%
	平成 24 年度	1,481 人 (20.7%)	26.4%
	平成 25 年度	867 人 (12.0%)	12.9%
	平成 26 年度	745 人 (10.5%)	9.5%
	平成 27 年度	1,101 人 (15.7%)	5.2%
	平成 28 年度	965 人 (13.3%)	6.1%
	平成 29 年度	799 人 (12.4%)	4.8%
	平成 30 年度	881 人 (13.4%)	1.8%

(4) まとめ

ア 妊娠結果について

早産、低出生体重児の割合は、平成 29 年度までの調査結果と同様であった。単胎における先天奇形・先天異常の発生率も同様であり、一般的な発生率と比べて高くはなかった。

イ 母親のメンタルヘルスについて

うつ傾向ありと判定された母親の割合は、経年的に減少傾向を示している（エジンバラ産後うつ指標を用いて評価した平成 25 年度全国の産後うつ病疑いの割合 8.4%、本調査結果から平成 30 年度産後うつ病疑いの推定割合 10.2%）。

ウ 自由記載内容について

自由記載内容は、「育児支援サービスの充実の要望」が最も多く、次いで「育児相談」であった。平成 23、24 年度に最も多かった「胎児・子どもへの放射線の影響について」は減少傾向であった。

3 支援概要

(1) 支援目的

平成 30 年度「妊産婦に関する調査」の回答者のうち、相談・支援の必要があると判断された方に、助産師・保健師等による電話・メールによる相談・支援を実施することにより不安等を軽減させること。

(2) 要支援対象者（参照：表 19）

平成 30 年度妊産婦に関する調査回答者（平成 30 年 11 月 1 日から令和元年 12 月 20 日の期間内に回答があった方）のうち、電話による相談・支援が必要だと判断された方（以下「要支援者」という。）

(3) 支援選定基準（参照：表 20）

下記のア、イいずれかに該当する方

ア 調査票のうつ 2 項目に該当のある方（問 4-1、問 4-2）

イ 調査票の自由記載欄の内容から抽出された方

例：落ち込みの激しい書き込みがあった方、育児支援を必要としている方、放射線の数値について気にしている方、体調不良を訴えている方、直接的要望・具体的に回答を希望している方、支援要望のあった方など

(4) 方法

電話やメールによる相談・支援

4 支援結果概要

支援結果は『5 平成 30 年度「妊産婦に関する調査」結果集計 (4) 支援状況』のとおりである。

(1) 要支援者数について (参照：表 19)

- ・平成 30 年 11 月 1 日から令和元年 12 月 20 日の期間内の回答者 6,649 人のうち、電話による相談・支援が必要だと判断された方 (以下「要支援者」という。) は 711 人であった。要支援率は 10.7%であった。
- ・支援の内訳として、うつ項目による支援は 6.4%、自由記載内容による支援は 4.3%であった。平成 24 年度以降、より多くの方を支援できるように自由記載内容による支援対象を広げた。

【参考】

調査年度	回答者数	うつ項目による 要支援者数 (要支援率)	自由記載内容 による要支援者数 (要支援率)	合計要支援者数 (要支援率)
平成 23 年度	9,316	1,224 (13.1%)	177 (1.9%)	1,401 (15.0%)
平成 24 年度	7,181	751 (10.5%)	353 (4.9%)	1,104 (15.4%)
平成 25 年度	7,260	744 (10.2%)	357 (4.9%)	1,101 (15.2%)
平成 26 年度	7,132	645 (9.0%)	185 (2.6%)	830 (11.6%)
平成 27 年度	7,031	549 (7.8%)	364 (5.2%)	913 (13.0%)
平成 28 年度	7,326	573 (7.8%)	378 (5.2%)	951 (13.0%)
平成 29 年度	6,449	449 (7.0%)	350 (5.4%)	799 (12.4%)
平成 30 年度	6,649	424 (6.4%)	287 (4.3%)	711 (10.7%)

※うつ項目と自由記載内容のいずれにも該当した場合、うつ項目による要支援者数に計上した。

(2) 相談内容について（参照：表 21）

- ・ 要支援者における相談内容は「母親の心身の状態に関すること」53.2%が最も多く、次いで、「子育て関連（生活）のこと」41.4%、「子どもの心身の健康に関すること」16.0%であった。（「子育て関連」の具体的な内容は、授乳量や離乳食、発育・発達、子どもへの関わり方など）
- ・ 「放射線の影響や心配に関すること」の相談は3.4%であった。

【参考】

調査年度	相談内容			「放射線の影響や心配に関すること」の相談の割合
	第1位	第2位	第3位	
平成 23 年度	放射線の影響や心配に関すること 29.2%	母親の心身の状態に関すること 20.2%	子育て関連（生活）のこと 14.0%	29.2%
平成 24 年度	母親の心身の状態に関すること 33.4%	子育て関連（生活）のこと 26.7%	放射線の影響や心配に関すること 23.7%	23.7%
平成 25 年度	母親の心身の状態に関すること 42.5%	子育て関連（生活）のこと 38.7%	子どもの心身の健康に関すること 20.3%	17.1%
平成 26 年度	母親の心身の状態に関すること 49.5%	子育て関連（生活）のこと 36.1%	家庭生活に関すること 20.5%	9.5%
平成 27 年度	母親の心身の状態に関すること 53.1%	子育て関連（生活）のこと 40.9%	家庭生活に関すること 21.8%	5.9%
平成 28 年度	母親の心身の状態に関すること 59.8%	子育て関連（生活）のこと 43.4%	家庭生活に関すること 19.5%	5.0%
平成 29 年度	母親の心身の状態に関すること 55.6%	子育て関連（生活）のこと 51.8%	家庭生活に関すること 16.4%	4.1%
平成 30 年度	母親の心身の状態に関すること 53.2%	子育て関連（生活）のこと 41.4%	子どもの心身の健康に関すること 16.0%	3.4%

(3) 支援終了の理由について（参照：表 22）

支援終了の理由は、「傾聴（対象者の話をよく聴き、問題を整理し終了）」515人（72.4%）、「既に受診先や相談先があることを確認し終了」151人（21.2%）「情報提供・行政窓口を紹介し終了」140人（19.7%）であった（複数回答あり。割合の分母は要支援者数）。

(4) まとめ

- ・ 平成 30 年度のうつ項目による要支援率は、平成 23 年度以降減少傾向であった。
- ・ 平成 30 年度の相談内容は、平成 24 年度以降、「母親の心身の状態に関すること」が一番多かった。また、「放射線の影響や心配に関すること」の相談割合は、経年的に減少傾向を示した。

5 平成30年度「妊産婦に関する調査」結果集計

集計における「県外」は、福島県内の産科医療機関の協力により調査票を配布し、回答をいただいた方（里帰り出産）のこと

(1) 送付数と回答状況

【表 1-1】送付数と回答状況

地域	送付数		回答数 (回答率)		うちオンライン回答数 (回答率)	
県北	3,015	23.5%	1,702	56.5%	320	18.8%
県中	3,923	30.6%	2,006	51.1%	391	19.5%
県南	1,008	7.9%	504	50.0%	83	16.5%
相双	1,003	7.8%	424	42.3%	63	14.9%
いわき	2,105	16.4%	1,034	49.1%	192	18.6%
会津	1,579	12.3%	815	51.6%	148	18.2%
南会津	97	0.8%	56	57.7%	7	12.5%
県外	108	0.8%	108	100.0%	16	14.8%
合計	12,838	100.0%	6,649	51.8%	1,220	18.3%

【表 1-2】回答者の年齢分類（年齢は転帰（出産、死産等）発生時年齢とした）

回答者 6,649 人より無効回答 69 人を除いた 6,580 人について集計した。

なお、各項目には、それぞれ無回答・無効回答がある。また、割合（%）は、端数処理を行っているため、各項目の%の合計は 100%とまらないこともある。

地域	15～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40～44 歳	45～49 歳	無・無効回答	合計
県北	7 0.4%	115 6.8%	475 28.1%	648 38.3%	350 20.7%	70 4.1%	8 0.5%	18 1.1%	1,691
県中	11 0.6%	162 8.1%	533 26.8%	745 37.5%	421 21.2%	90 4.5%	1 0.1%	25 1.3%	1,988
県南	3 0.6%	50 10.1%	129 26.1%	183 37.0%	89 18.0%	20 4.0%	2 0.4%	19 3.8%	495
相双	4 0.9%	37 8.8%	125 29.6%	153 36.3%	75 17.8%	18 4.3%	2 0.5%	8 1.9%	422
いわき	5 0.5%	125 12.2%	265 25.8%	357 34.7%	210 20.4%	46 4.5%	1 0.1%	19 1.8%	1,028
会津	4 0.5%	71 8.8%	222 27.4%	298 36.7%	167 20.6%	37 4.6%	1 0.1%	11 1.4%	811
南会津	0 0.0%	6 10.7%	13 23.2%	17 30.4%	17 30.4%	1 1.8%	0 0.0%	2 3.6%	56
県外	0 0.0%	4 4.5%	35 39.3%	33 37.1%	12 13.5%	4 4.5%	0 0.0%	1 1.1%	89
合計	34 0.5%	570 8.7%	1,797 27.3%	2,434 37.0%	1,341 20.4%	286 4.3%	15 0.2%	103 1.6%	6,580

¹⁾無・無効回答：転帰（出産、死産等）の日付がなかった方

(2) 調査項目別集計

【表 2】ふだんご自分で健康だと思いますか（問 2）

地域	非常に健康		まあ健康な方		あまり健康ではない		健康ではない		無・無効回答		合計
県北	444	26.3%	1,177	69.6%	61	3.6%	6	0.4%	3	0.2%	1,691
県中	565	28.4%	1,342	67.5%	68	3.4%	7	0.4%	6	0.3%	1,988
県南	125	25.3%	346	69.9%	19	3.8%	2	0.4%	3	0.6%	495
相双	117	27.7%	284	67.3%	15	3.6%	4	0.9%	2	0.5%	422
いわき	277	26.9%	710	69.1%	34	3.3%	4	0.4%	3	0.3%	1,028
会津	202	24.9%	572	70.5%	32	3.9%	3	0.4%	2	0.2%	811
南会津	9	16.1%	45	80.4%	1	1.8%	0	0.0%	1	1.8%	56
県外	25	28.1%	64	71.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	89
合計	1,764	26.8%	4,540	69.0%	230	3.5%	26	0.4%	20	0.3%	6,580

【表 3】今回の妊娠・分娩全般に関して十分にケアが受けられたと思いますか（問 3）

地域	とてもそう思う		そう思う		どちらともいえない		そう思わない		全くそう思わない		無・無効回答		合計
県北	577	34.1%	954	56.4%	128	7.6%	24	1.4%	6	0.4%	2	0.1%	1,691
県中	685	34.5%	1,081	54.4%	184	9.3%	26	1.3%	7	0.4%	5	0.3%	1,988
県南	143	28.9%	305	61.6%	36	7.3%	6	1.2%	3	0.6%	2	0.4%	495
相双	144	34.1%	228	54.0%	39	9.2%	7	1.7%	0	0.0%	4	0.9%	422
いわき	359	34.9%	555	54.0%	87	8.5%	16	1.6%	4	0.4%	7	0.7%	1,028
会津	263	32.4%	464	57.2%	70	8.6%	13	1.6%	0	0.0%	1	0.1%	811
南会津	17	30.4%	32	57.1%	6	10.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.8%	56
県外	25	28.1%	60	67.4%	4	4.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	89
合計	2,213	33.6%	3,679	55.9%	554	8.4%	92	1.4%	20	0.3%	22	0.3%	6,580

【表 4-1】ここ最近1ヶ月間、気分が沈んだり、憂うつな気持ちになったりすることがよくありましたか。(問 4-1)

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計
県北	298	17.6%	1,389	82.1%	4	0.2%	1,691
県中	359	18.1%	1,614	81.2%	15	0.8%	1,988
県南	87	17.6%	405	81.8%	3	0.6%	495
相双	75	17.8%	344	81.5%	3	0.7%	422
いわき	158	15.4%	863	83.9%	7	0.7%	1,028
会津	143	17.6%	666	82.1%	2	0.2%	811
南会津	7	12.5%	48	85.7%	1	1.8%	56
県外	21	23.6%	67	75.3%	1	1.1%	89
合計	1,148	17.4%	5,396	82.0%	36	0.5%	6,580

【表 4-2】ここ最近1ヶ月間、どうしても物事に対して興味が湧かない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(問4-2)

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計
県北	131	7.7%	1,556	92.0%	4	0.2%	1,691
県中	149	7.5%	1,824	91.8%	15	0.8%	1,988
県南	32	6.5%	460	92.9%	3	0.6%	495
相双	31	7.3%	388	91.9%	3	0.7%	422
いわき	71	6.9%	950	92.4%	7	0.7%	1,028
会津	61	7.5%	748	92.2%	2	0.2%	811
南会津	3	5.4%	52	92.9%	1	1.8%	56
県外	7	7.9%	81	91.0%	1	1.1%	89
合計	485	7.4%	6,059	92.1%	36	0.5%	6,580

【表 4-3】うつ傾向 (問 4-1)、4-2) の両設問で両方「はい」、いずれかに「はい」と答えた方

地域	両方「はい」		いずれかに「はい」		両方「いいえ」		無・無効回答		合計
県北	115	6.8%	199	11.8%	1,373	81.2%	4	0.2%	1,691
県中	130	6.5%	248	12.5%	1,595	80.2%	15	0.8%	1,988
県南	30	6.1%	59	11.9%	403	81.4%	3	0.6%	495
相双	27	6.4%	52	12.3%	340	80.6%	3	0.7%	422
いわき	60	5.8%	109	10.6%	852	82.9%	7	0.7%	1,028
会津	51	6.3%	102	12.6%	656	80.9%	2	0.2%	811
南会津	2	3.6%	6	10.7%	47	83.9%	1	1.8%	56
県外	7	7.9%	14	15.7%	67	75.3%	1	1.1%	89
合計	422	6.4%	789	12.0%	5,333	81.0%	36	0.5%	6,580

※うつ傾向 18.4% [(両方「はい」422人+いずれかに「はい」789人) / 合計6,580人]

【表 5-1】現在、避難生活をしていますか (問 5)

地域	現在避難中で 仮設住宅で生活		現在避難中で 仮設住宅以外で生活		避難生活していた ことがあるが 現在は自宅で生活		避難していたこと はない		無・無効回答		合計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
県北	0	0.0%	3	0.2%	114	6.7%	1,548	91.5%	26	1.5%	1,691
県中	0	0.0%	3	0.2%	160	8.0%	1,784	89.7%	41	2.1%	1,988
県南	0	0.0%	2	0.4%	12	2.4%	470	94.9%	11	2.2%	495
相双	2	0.5%	97	23.0%	122	28.9%	192	45.5%	9	2.1%	422
いわき	2	0.2%	8	0.8%	304	29.6%	694	67.5%	20	1.9%	1,028
会津	0	0.0%	1	0.1%	14	1.7%	776	95.7%	20	2.5%	811
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	55	98.2%	1	1.8%	56
県外	0	0.0%	1	1.1%	4	4.5%	84	94.4%	0	0.0%	89
合計	4	0.1%	115	1.7%	730	11.1%	5,603	85.2%	128	1.9%	6,580

【表 5-2】避難生活のため、もともと同居していた家族と離れて生活していますか（問 5）

（「現在避難中で仮設住宅で生活」または「現在避難中で仮設住宅以外で生活」と回答した方 119 人のみ対象）

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計
県北	3	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	3
県中	2	66.7%	1	33.3%	0	0.0%	3
県南	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2
相双	49	49.5%	50	50.5%	0	0.0%	99
いわき	7	70.0%	3	30.0%	0	0.0%	10
会津	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
県外	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	1
合計	64	53.8%	55	46.2%	0	0.0%	119

【表 5-3】家族とコミュニケーションがとれていますか（問 5）

（「避難生活のため、もともと同居していた家族と離れて生活していますか」に「はい」と答えた方 64 人のみ対象）

地域	はい		いいえ		どちらともいえない		無・無効回答		合計
県北	3	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3
県中	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2
県南	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2
相双	45	91.8%	1	2.0%	3	6.1%	0	0.0%	49
いわき	6	85.7%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	7
会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
県外	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1
合計	59	92.2%	1	1.6%	4	6.3%	0	0.0%	64

【表 6】現在どなたと同居していますか。当てはまるもの全てにご記入ください。（問 6）（複数回答あり）

地域	一人暮らし		夫またはパートナー		子ども		義理または実父母		その他		有効回答
県北	0	0.0%	1,590	94.3%	1,524	90.3%	421	25.0%	117	6.9%	1,687
県中	2	0.1%	1,892	95.4%	1,786	90.1%	475	24.0%	98	4.9%	1,983
県南	0	0.0%	462	93.9%	441	89.6%	157	31.9%	36	7.3%	492
相双	1	0.2%	396	94.3%	386	91.9%	110	26.2%	34	8.1%	420
いわき	0	0.0%	967	94.5%	901	88.1%	236	23.1%	48	4.7%	1,023
会津	0	0.0%	761	94.0%	721	89.0%	292	36.0%	80	9.9%	810
南会津	0	0.0%	54	98.2%	49	89.1%	21	38.2%	4	7.3%	55
県外	0	0.0%	85	95.5%	67	75.3%	6	6.7%	1	1.1%	89
合計	3	0.0%	6,207	94.6%	5,875	89.6%	1,718	26.2%	418	6.4%	6,559

※割合は有効回答を分母とする（問 6 に回答があった方）。複数回答があるため、割合の合計は 100.0%にならない。

【表 7-1】今回の妊娠届出時に、あなたはタバコを吸っていましたか（問 7-1）

地域	吸ったことはない		今回の妊娠に気づく前にやめた		今回の妊娠に気づいてやめた		吸っていた		無・無効回答		合計
県北	1,278	75.6%	208	12.3%	126	7.5%	74	4.4%	5	0.3%	1,691
県中	1,449	72.9%	223	11.2%	231	11.6%	79	4.0%	6	0.3%	1,988
県南	349	70.5%	62	12.5%	49	9.9%	32	6.5%	3	0.6%	495
相双	290	68.7%	52	12.3%	42	10.0%	36	8.5%	2	0.5%	422
いわき	706	68.7%	125	12.2%	134	13.0%	58	5.6%	5	0.5%	1,028
会津	612	75.5%	82	10.1%	82	10.1%	34	4.2%	1	0.1%	811
南会津	45	80.4%	3	5.4%	7	12.5%	0	0.0%	1	1.8%	56
県外	71	79.8%	10	11.2%	6	6.7%	2	2.2%	0	0.0%	89
合計	4,800	72.9%	765	11.6%	677	10.3%	315	4.8%	23	0.3%	6,580

【表 7-2】 その後の妊娠期間中、あなたはタバコを吸っていましたか（問 7-2）

地域	吸っていなかった		吸っていた		無・無効回答		合計
県北	1,649	97.5%	33	2.0%	9	0.5%	1,691
県中	1,933	97.2%	46	2.3%	9	0.5%	1,988
県南	479	96.8%	13	2.6%	3	0.6%	495
相双	400	94.8%	18	4.3%	4	0.9%	422
いわき	985	95.8%	35	3.4%	8	0.8%	1,028
会津	794	97.9%	16	2.0%	1	0.1%	811
南会津	55	98.2%	0	0.0%	1	1.8%	56
県外	89	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	89
合計	6,384	97.0%	161	2.4%	35	0.5%	6,580

【表 7-3】 現在、あなたはタバコを吸っていますか（問 7-3）

地域	吸っていない		吸っている		無・無効回答		合計
県北	1,628	96.3%	57	3.4%	6	0.4%	1,691
県中	1,885	94.8%	94	4.7%	9	0.5%	1,988
県南	465	93.9%	26	5.3%	4	0.8%	495
相双	391	92.7%	28	6.6%	3	0.7%	422
いわき	971	94.5%	51	5.0%	6	0.6%	1,028
会津	776	95.7%	33	4.1%	2	0.2%	811
南会津	54	96.4%	1	1.8%	1	1.8%	56
県外	89	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	89
合計	6,259	95.1%	290	4.4%	31	0.5%	6,580

【表 8】 おなかの赤ちゃん（分娩（出産・死産を含む）した赤ちゃん）は一人（単胎）ですか二人（ふたご）ですか（問8）

地域	一人		ふたご		無・無効回答		合計
県北	1,675	99.1%	16	0.9%	0	0.0%	1,691
県中	1,970	99.1%	18	0.9%	0	0.0%	1,988
県南	488	98.6%	7	1.4%	0	0.0%	495
相双	420	99.5%	1	0.2%	1	0.2%	422
いわき	1,019	99.1%	8	0.8%	1	0.1%	1,028
会津	801	98.8%	10	1.2%	0	0.0%	811
南会津	55	98.2%	1	1.8%	0	0.0%	56
県外	89	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	89
合計	6,517	99.0%	61	0.9%	2	0.0%	6,580

※三つ子を出産した1人を除いて集計した。

【表 9-1】 妊娠様式（問 9）

地域	自然妊娠		排卵誘発		人工授精		体外受精		排卵誘発と人工授精		排卵誘発と体外受精		無・無効回答		合計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
県北	1,524	90.1%	52	3.1%	20	1.2%	78	4.6%	4	0.2%	9	0.5%	4	0.2%	1,691
県中	1,828	92.0%	41	2.1%	28	1.4%	66	3.3%	5	0.3%	11	0.6%	9	0.5%	1,988
県南	461	93.1%	7	1.4%	5	1.0%	15	3.0%	3	0.6%	2	0.4%	2	0.4%	495
相双	383	90.8%	8	1.9%	5	1.2%	20	4.7%	0	0.0%	2	0.5%	4	0.9%	422
いわき	932	90.7%	28	2.7%	24	2.3%	34	3.3%	3	0.3%	4	0.4%	3	0.3%	1,028
会津	744	91.7%	18	2.2%	11	1.4%	31	3.8%	2	0.2%	3	0.4%	2	0.2%	811
南会津	49	87.5%	2	3.6%	2	3.6%	0	0.0%	1	1.8%	0	0.0%	2	3.6%	56
県外	80	89.9%	6	6.7%	1	1.1%	2	2.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	89
合計	6,001	91.2%	162	2.5%	96	1.5%	246	3.7%	18	0.3%	31	0.5%	26	0.4%	6,580

【表 9-2】 妊娠結果 (問 9)

地域	出産		流産		中絶		死産		合計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
県北	1,682	99.47%	9	0.53%	0	0.00%	0	0.00%	1,691
県中	1,977	99.45%	9	0.45%	0	0.00%	2	0.10%	1,988
県南	493	99.40%	1	0.20%	0	0.00%	2	0.40%	496
相双	418	99.29%	2	0.48%	0	0.00%	1	0.24%	421
いわき	1,018	99.03%	4	0.39%	1	0.10%	5	0.49%	1,028
会津	808	99.38%	3	0.37%	0	0.00%	2	0.25%	813
南会津	56	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	56
県外	89	100.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	89
合計	6,541	99.38%	28	0.43%	1	0.02%	12	0.18%	6,582

※三つ子を出産した1人を除いて集計した。

※基本的に双胎は出産1回として集計した。ただし、双胎で第1子と第2子で転帰が違う3人については、妊娠結果を別々に計上した。例えば、双胎で第1子出産、第2子流産の場合は、出産1回、流産1回として計上した。

【表 10-1】 今まで流産の経験はございますか (問 10-1)

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
県北	333	19.7%	1,342	79.4%	16	0.9%	1,691
県中	391	19.7%	1,578	79.4%	19	1.0%	1,988
県南	95	19.2%	397	80.2%	3	0.6%	495
相双	92	21.8%	326	77.3%	4	0.9%	422
いわき	238	23.2%	778	75.7%	12	1.2%	1,028
会津	170	21.0%	631	77.8%	10	1.2%	811
南会津	18	32.1%	37	66.1%	1	1.8%	56
県外	8	9.0%	79	88.8%	2	2.2%	89
合計	1,345	20.4%	5,168	78.5%	67	1.0%	6,580

【表 10-2】 今まで中絶の経験はございますか (問 10-2)

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
県北	209	12.4%	1,427	84.4%	55	3.3%	1,691
県中	272	13.7%	1,653	83.1%	63	3.2%	1,988
県南	70	14.1%	414	83.6%	11	2.2%	495
相双	47	11.1%	354	83.9%	21	5.0%	422
いわき	162	15.8%	830	80.7%	36	3.5%	1,028
会津	109	13.4%	674	83.1%	28	3.5%	811
南会津	5	8.9%	48	85.7%	3	5.4%	56
県外	12	13.5%	71	79.8%	6	6.7%	89
合計	886	13.5%	5,471	83.1%	223	3.4%	6,580

【表 10-3】 今まで死産の経験はございますか (問 10-3)

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
県北	17	1.0%	1,656	97.9%	18	1.1%	1,691
県中	25	1.3%	1,935	97.3%	28	1.4%	1,988
県南	7	1.4%	485	98.0%	3	0.6%	495
相双	6	1.4%	412	97.6%	4	0.9%	422
いわき	12	1.2%	1,001	97.4%	15	1.5%	1,028
会津	10	1.2%	790	97.4%	11	1.4%	811
南会津	0	0.0%	55	98.2%	1	1.8%	56
県外	0	0.0%	87	97.8%	2	2.2%	89
合計	77	1.2%	6,421	97.6%	82	1.2%	6,580

【表 10-4】 今まで出産の経験はございますか (問 10-4)

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
県北	893	52.8%	742	43.9%	56	3.3%	1,691
県中	965	48.5%	957	48.1%	66	3.3%	1,988
県南	264	53.3%	220	44.4%	11	2.2%	495
相双	229	54.3%	175	41.5%	18	4.3%	422
いわき	511	49.7%	488	47.5%	29	2.8%	1,028
会津	430	53.0%	354	43.6%	27	3.3%	811
南会津	27	48.2%	26	46.4%	3	5.4%	56
県外	33	37.1%	50	56.2%	6	6.7%	89
合計	3,352	50.9%	3,012	45.8%	216	3.3%	6,580

【表 10-5】 今までふたごの出産の経験はございますか（問 10-5）

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計
県北	14	0.8%	1,651	97.6%	26	1.5%	1,691
県中	11	0.6%	1,949	98.0%	28	1.4%	1,988
県南	5	1.0%	487	98.4%	3	0.6%	495
相双	4	0.9%	415	98.3%	3	0.7%	422
いわき	2	0.2%	1,011	98.3%	15	1.5%	1,028
会津	7	0.9%	792	97.7%	12	1.5%	811
南会津	1	1.8%	53	94.6%	2	3.6%	56
県外	0	0.0%	87	97.8%	2	2.2%	89
合計	44	0.7%	6,445	97.9%	91	1.4%	6,580

【表 11-1】 あなたは、今回の妊娠前にかかったことのある病気がありましたか（問 11）

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計
県北	504	29.8%	1,182	69.9%	5	0.3%	1,691
県中	581	29.2%	1,403	70.6%	4	0.2%	1,988
県南	128	25.9%	366	73.9%	1	0.2%	495
相双	132	31.3%	290	68.7%	0	0.0%	422
いわき	335	32.6%	690	67.1%	3	0.3%	1,028
会津	247	30.5%	563	69.4%	1	0.1%	811
南会津	10	17.9%	46	82.1%	0	0.0%	56
県外	22	24.7%	67	75.3%	0	0.0%	89
合計	1,959	29.8%	4,607	70.0%	14	0.2%	6,580

【表 11-2】 問 11 の設問に「はい」と答えた方の具体的な病名数の合計に占める割合

(有効回答 1,955 人 無・無効回答 4 人)

地域	他のアレルギー性疾患 ¹⁾		呼吸器の疾患 ²⁾		精神疾患 ³⁾		甲状腺疾患		腸の病気		脳の疾患 ⁴⁾		心臓病 ⁵⁾		がん		高血圧	
県北	254	40.2%	89	14.1%	75	11.9%	41	6.5%	24	3.8%	20	3.2%	15	2.4%	9	1.4%	4	0.6%
県中	322	42.2%	125	16.4%	66	8.7%	35	4.6%	33	4.3%	17	2.2%	15	2.0%	12	1.6%	6	0.8%
県南	70	40.9%	25	14.6%	23	13.5%	8	4.7%	6	3.5%	3	1.8%	3	1.8%	4	2.3%	4	2.3%
相双	69	38.3%	28	15.6%	15	8.3%	11	6.1%	4	2.2%	8	4.4%	4	2.2%	8	4.4%	3	1.7%
いわき	182	39.1%	95	20.4%	42	9.0%	21	4.5%	18	3.9%	12	2.6%	11	2.4%	8	1.7%	3	0.6%
会津	132	39.5%	66	19.8%	29	8.7%	32	9.6%	5	1.5%	4	1.2%	7	2.1%	4	1.2%	7	2.1%
南会津	5	31.3%	4	25.0%	2	12.5%	0	0.0%	2	12.5%	1	6.3%	0	0.0%	1	6.3%	0	0.0%
県外	9	36.0%	9	36.0%	1	4.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	1,043	40.3%	441	17.0%	253	9.8%	148	5.7%	92	3.6%	66	2.6%	55	2.1%	46	1.8%	27	1.0%

地域	感染症 ⁸⁾		糖尿病		膠原病 ⁶⁾		血液の疾患 ⁷⁾		高脂血症		肝臓の病気 ⁹⁾		神経・筋疾患 ¹⁰⁾		その他		合計
県北	11	1.7%	3	0.5%	3	0.5%	6	0.9%	4	0.6%	5	0.8%	1	0.2%	68	10.8%	632
県中	4	0.5%	11	1.4%	11	1.4%	4	0.5%	7	0.9%	2	0.3%	2	0.3%	91	11.9%	763
県南	0	0.0%	4	2.3%	2	1.2%	2	1.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	17	9.9%	171
相双	2	1.1%	2	1.1%	1	0.6%	0	0.0%	2	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	23	12.8%	180
いわき	1	0.2%	2	0.4%	1	0.2%	4	0.9%	3	0.6%	4	0.9%	3	0.6%	56	12.0%	466
会津	5	1.5%	2	0.6%	5	1.5%	2	0.6%	2	0.6%	1	0.3%	0	0.0%	31	9.3%	334
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	16
県外	1	4.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.0%	0	0.0%	3	12.0%	25
合計	24	0.9%	24	0.9%	23	0.9%	19	0.7%	18	0.7%	13	0.5%	6	0.2%	289	11.2%	2,587

¹⁾アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎など ²⁾肺炎、喘息など ³⁾うつ病、統合性失調症など ⁴⁾脳卒中、てんかんなど⁵⁾心筋梗塞・狭心症、不整脈、先天性心疾患など ⁶⁾ SLE、エリテマトーデスなど ⁷⁾特発性血小板減少症など ⁸⁾結核など ⁹⁾慢性肝炎など ¹⁰⁾重症筋無力症など

※複数回答あり

【表 11-3】 問 11 の設問に「はい」と答えた方の具体的な病気の「その他」の内訳（複数回答あり）

卵巣腫瘍	70	扁桃炎	2	乳管内乳頭腫	1	紫斑病腎炎	1
子宮内膜症	34	卵管水腫	2	二分脊椎裂	1	糸球体腎炎	1
子宮筋腫	31	背柱側弯症	2	軟骨無形成症	1	子宮内膜ポリープ	1
多のう胞性卵巣症候群	10	尿管結石症	2	動脈瘤	1	子宮憩室	1
子宮頸上皮内腫瘍	9	難聴	2	低髄圧症	1	肩関節炎	1
緑内障	8	中耳炎	1	椎間板ヘルニア	1	血尿	1
胆石症	8	声帯ポリープ	1	双角子宮	1	血管腫	1
川崎病	8	子宮頸管ポリープ	1	線維筋痛症	1	頸椎椎間板ヘルニア	1
腎盂腎炎	7	腰椎ヘルニア	1	先天性表皮水疱症	1	筋緊張性頭痛	1
メニエール病	7	がま腫	1	先天性胆道拡張症	1	胸膜椎部クモ膜のう腫	1
IgA 腎症	7	アレルギー性紫斑病	1	声帯結節	1	乾癬	1
胞状奇胎	6	頸下腺腫瘍	1	腎損傷	1	滑膜炎性骨軟骨腫症	1
副鼻腔炎	5	膝炎	1	腎炎	1	角膜変性症	1
突発性難聴	5	膀胱尿管逆流症	1	上腕軟部腫瘍	1	咽頭扁桃増殖症	1
腎臓病	4	脾のう胞	1	上顎洞炎	1	リベド血管炎	1
子宮腺筋症	4	扁桃腺肥大症	1	縦隔腫瘍	1	モートン病	1
子宮外妊娠	4	卵巣出血	1	手首骨折	1	プロテイン S 欠乏症	1
発達障害	3	卵黄のう腫瘍	1	斜視	1	ナルコレプシー	1
水腎症	3	網膜剥離	1	耳硬化症	1	ドケルバン病	1
腎結石	3	鼻中隔彎曲症	1	耳ろう孔	1	そう痒性じん麻疹様丘疹	1
腰椎椎間板ヘルニア	3	肺胞蛋白症	1	痔核	1	アナフィラキシーショック	1
高プロラクチン血症	3	乳腺線維腺腫	1	痔	1	Vogt-小柳-原田病	1

【表 12-1】 あなたは今回の妊娠中に告げられた病気・状態がありましたか（問 12）

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計
県北	477	28.2%	1,207	71.4%	7	0.4%	1,691
県中	592	29.8%	1,387	69.8%	9	0.5%	1,988
県南	124	25.1%	367	74.1%	4	0.8%	495
相双	116	27.5%	305	72.3%	1	0.2%	422
いわき	262	25.5%	760	73.9%	6	0.6%	1,028
会津	273	33.7%	536	66.1%	2	0.2%	811
南会津	22	39.3%	34	60.7%	0	0.0%	56
県外	26	29.2%	63	70.8%	0	0.0%	89
合計	1,892	28.8%	4,659	70.8%	29	0.4%	6,580

地域	全疾患の発生率 ¹⁾		有効回答
県北	477	28.3%	1,684
県中	592	29.9%	1,979
県南	124	25.3%	491
相双	116	27.6%	421
いわき	262	25.6%	1,022
会津	273	33.7%	809
南会津	22	39.3%	56
県外	26	29.2%	89
合計	1,892	28.9%	6,551

¹⁾発生率の分母は有効回答（「はい」「いいえ」の合計数）

【表 12-2】 各疾患の発生率

(複数回答あり)

地域	切迫早産		切迫流産		妊娠糖尿病		妊娠高血圧症候群		感染症 ¹⁾		羊水過少		早産	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
県北	216	12.8%	129	7.7%	67	4.0%	59	3.5%	41	2.4%	21	1.2%	19	1.1%
県中	237	12.0%	124	6.3%	87	4.4%	71	3.6%	61	3.1%	57	2.9%	19	1.0%
県南	45	9.2%	23	4.7%	15	3.1%	20	4.1%	14	2.9%	5	1.0%	8	1.6%
相双	47	11.2%	26	6.2%	17	4.0%	19	4.5%	8	1.9%	4	1.0%	2	0.5%
いわき	104	10.2%	65	6.4%	24	2.3%	49	4.8%	19	1.9%	26	2.5%	12	1.2%
会津	119	14.7%	89	11.0%	41	5.1%	23	2.8%	38	4.7%	8	1.0%	13	1.6%
南会津	9	16.1%	13	23.2%	2	3.6%	2	3.6%	3	5.4%	1	1.8%	3	5.4%
県外	15	16.9%	3	3.4%	3	3.4%	2	2.2%	1	1.1%	1	1.1%	0	0.0%
合計	792	12.1%	472	7.2%	256	3.9%	245	3.7%	185	2.8%	123	1.9%	76	1.2%

地域	前置胎盤		羊水過多		不眠・不安などの精神的問題		流産		外傷		血栓症 ²⁾		その他		有効回答
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
県北	20	1.2%	4	0.2%	10	0.6%	2	0.1%	0	0.0%	1	0.1%	50	3.0%	1,684
県中	24	1.2%	19	1.0%	8	0.4%	1	0.1%	3	0.2%	1	0.1%	49	2.5%	1,979
県南	6	1.2%	2	0.4%	5	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	16	3.3%	491
相双	5	1.2%	2	0.5%	2	0.5%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	8	1.9%	421
いわき	10	1.0%	4	0.4%	5	0.5%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	26	2.5%	1,022
会津	10	1.2%	4	0.5%	4	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	24	3.0%	809
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.8%	56
県外	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	89
合計	75	1.1%	36	0.5%	34	0.5%	5	0.1%	3	0.0%	3	0.0%	175	2.7%	6,551

¹⁾肺炎・インフルエンザ・破傷風等、²⁾血栓症(エコノミークラス症候群)・肺塞栓症、³⁾脳梗塞・脳出血・クモ膜下出血など
 ※分母は問12に「はい」または「いいえ」と回答した方6,551人。複数回答があるため、割合の合計は100.0%にならない

【表 12-3】 問12の設問に「はい」と答えた方の具体的な病気・状態の「その他」の内訳(複数回答あり)

子宮筋腫	28	潰瘍性大腸炎	3	プロテインS欠乏症	1	切迫子宮破裂	1
喘息	19	気管支炎	2	ベル麻痺	1	仙腸関節炎	1
卵巣腫瘍	12	血液型不適合妊娠	2	メニエール病	1	胆汁うっ滞	1
子宮頸管ポリープ	9	甲状腺機能低下症	2	感音性難聴	1	腸腰筋膿瘍	1
妊娠性痒疹	8	子宮下垂	2	関節リウマチ	1	伝染性単核球症	1
副鼻腔炎	8	子宮内膜症	2	顔面神経麻痺	1	糖尿病合併妊娠	1
静脈瘤	6	腎盂腎炎	2	急性胆嚢炎	1	難聴	1
子宮頸上皮内腫瘍	4	双胎間輸血症候群	2	虚血性腸炎	1	妊娠性血小板減少症	1
常位胎盤早期剥離	4	虫垂炎	2	甲状腺疾患	1	脳腫瘍	1
帯状疱疹	4	特発性血小板減少性紫斑病	2	甲状腺肥大	1	敗血症	1
不整脈	4	尿管結石	2	子宮腺筋症	1	腹壁ヘルニア	1
コンジローマ	3	蕁麻疹	2	子宮脱	1	脈絡膜炎	1
バセドウ病	3	IgA腎症	1	耳管開放症	1	癒着胎盤	1
子宮頸管無力症	3	ウイルス性胃腸炎	1	腎結石	1	卵巣過剰刺激症候群	1
子宮頸癌	3	パルトリン腺のう胞	1	水腎症	1	疣贅	1

【表 12-4】 妊娠12週以降(妊娠4か月以降)に分娩した方

地域	単胎(一人)		双胎(ふたご)		無・無効回答		合計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
県北	1,669	99.1%	15	0.9%	0	0.0%	1,684
県中	1,964	99.1%	17	0.9%	0	0.0%	1,981
県南	487	98.6%	7	1.4%	0	0.0%	494
相双	418	99.8%	1	0.2%	0	0.0%	419
いわき	1,015	99.2%	8	0.8%	0	0.0%	1,023
会津	799	98.8%	10	1.2%	0	0.0%	809
南会津	55	98.2%	1	1.8%	0	0.0%	56
県外	89	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	89
合計	6,496	99.1%	59	0.9%	0	0.0%	6,555

【表 13-1】 妊娠何週何日で分娩しましたか 単胎（一人）（問 13）

地域	12週～21週		22週～23週		24週～27週		28週～31週		32週～36週		37週～41週		42週～		合計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
県北	5	0.3%	0	0.0%	6	0.4%	8	0.5%	61	3.7%	1,586	95.0%	3	0.2%	1,669
県中	3	0.2%	2	0.1%	4	0.2%	14	0.7%	75	3.8%	1,864	94.9%	2	0.1%	1,964
県南	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	5	1.0%	20	4.1%	459	94.3%	2	0.4%	487
相双	2	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	7	1.7%	408	97.6%	1	0.2%	418
いわき	3	0.3%	1	0.1%	3	0.3%	8	0.8%	37	3.6%	959	94.5%	4	0.4%	1,015
会津	0	0.0%	1	0.1%	2	0.3%	4	0.5%	29	3.6%	762	95.4%	1	0.1%	799
南会津	0	0.0%	1	1.8%	1	1.8%	1	1.8%	4	7.3%	48	87.3%	0	0.0%	55
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	89	100.0%	0	0.0%	89
合計	13	0.2%	5	0.1%	17	0.3%	40	0.6%	233	3.6%	6,175	95.1%	13	0.2%	6,496

表 13-2～表 14-28 の双胎（ふたご）の第 1 子と第 2 子を別々に集計した表では、第 2 子を 12 週以降に流産した方がいるため、第 1 子と第 2 子の週数は 2 倍にならない。

【表 13-2】 妊娠何週何日で分娩しましたか 双胎（ふたご）（問 13）

地域	12週～21週		22週～23週		24週～27週		28週～31週		32週～36週		37週～41週		42週～		合計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
県北	0	0.0%	0	0.0%	2	6.7%	0	0.0%	12	40.0%	14	46.7%	2	6.7%	30
県中	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	14	41.2%	20	58.8%	0	0.0%	34
県南	1	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	14.3%	2	14.3%	9	64.3%	0	0.0%	14
相双	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2
いわき	0	0.0%	0	0.0%	2	12.5%	2	12.5%	6	37.5%	6	37.5%	0	0.0%	16
会津	1	5.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	30.0%	13	65.0%	0	0.0%	20
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	2
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
合計	2	1.7%	0	0.0%	4	3.4%	4	3.4%	44	37.3%	62	52.5%	2	1.7%	118

【表 13-3】 分娩週数と早産率 単胎・双胎（ふたご）

地域	(単胎・ふたご) 分娩週数								早産率 ¹⁾	
	12週～ 21週	22週～ 23週	24週～ 27週	28週～ 31週	32週～ 36週	37週～ 41週	42週～	合計	22週～ 36週計	(22週～36週) / (合計-12週～21週)
	県北	5	0	8	8	73	1,600	5	1,699	89
県中	3	2	4	14	89	1,884	2	1,998	109	5.5%
県南	1	0	1	7	22	468	2	501	30	6.0%
相双	2	0	0	0	9	408	1	420	9	2.2%
いわき	3	1	5	10	43	965	4	1,031	59	5.7%
会津	1	1	2	4	35	775	1	819	42	5.1%
南会津	0	1	1	1	6	48	0	57	9	15.8%
県外	0	0	0	0	0	89	0	89	0	0.0%
合計	15	5	21	44	277	6,237	15	6,614	347	5.3%

*早産とは、在胎週数が 22 週～36 週で出産すること。

¹⁾早産率は、胎児数不明、週数不明と 12 週未満の方を除いて集計した総分娩数(6,614)から 22 週未満の分娩数(15)を引いたものを分母とした。

【表 13-4】分娩様式 単胎（一人）（問 13）

地域	自然分娩		吸引・鉗子分娩		帝王切開		無・無効回答		合計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
県北	1,159	69.4%	197	11.8%	304	18.2%	9	0.5%	1,669
県中	1,273	64.8%	218	11.1%	459	23.4%	14	0.7%	1,964
県南	316	64.9%	74	15.2%	96	19.7%	1	0.2%	487
相双	230	55.0%	90	21.5%	95	22.7%	3	0.7%	418
いわき	642	63.3%	138	13.6%	227	22.4%	8	0.8%	1,015
会津	495	62.0%	99	12.4%	201	25.2%	4	0.5%	799
南会津	28	50.9%	9	16.4%	18	32.7%	0	0.0%	55
県外	55	61.8%	17	19.1%	16	18.0%	1	1.1%	89
合計	4,198	64.6%	842	13.0%	1,416	21.8%	40	0.6%	6,496

【表 13-5】分娩様式 双胎（ふたご）第1子（問 13）

地域	自然分娩		吸引・鉗子分娩		帝王切開		無・無効回答		合計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
県北	0	0.0%	1	6.7%	14	93.3%	0	0.0%	15
県中	2	11.8%	0	0.0%	15	88.2%	0	0.0%	17
県南	1	14.3%	1	14.3%	5	71.4%	0	0.0%	7
相双	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1
いわき	1	12.5%	0	0.0%	7	87.5%	0	0.0%	8
会津	1	10.0%	0	0.0%	9	90.0%	0	0.0%	10
南会津	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
合計	5	8.5%	2	3.4%	52	88.1%	0	0.0%	59

【表 13-6】分娩様式 双胎（ふたご）第2子（問 13）

地域	自然分娩		吸引・鉗子分娩		帝王切開		無・無効回答		合計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
県北	0	0.0%	1	6.7%	14	93.3%	0	0.0%	15
県中	2	11.8%	0	0.0%	15	88.2%	0	0.0%	17
県南	0	0.0%	1	14.3%	5	71.4%	1	14.3%	7
相双	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1
いわき	1	12.5%	0	0.0%	7	87.5%	0	0.0%	8
会津	0	0.0%	0	0.0%	9	90.0%	1	10.0%	10
南会津	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
合計	3	5.1%	2	3.4%	52	88.1%	2	3.4%	59

表 14-1～表 14-14 については、性別が未回答の場合があるため、男児女児の合計は必ずしも全体の人数にはならないこともある。

【表 14-1】 (出産状況) 分娩児の性別 (単胎・ふたご第1子、第2子) (問 14)

地域	男児		女児		無・無効回答		合計
県北	874	51.4%	794	46.7%	31	1.8%	1,699
県中	983	49.2%	969	48.5%	46	2.3%	1,998
県南	252	50.3%	235	46.9%	14	2.8%	501
相双	195	46.4%	219	52.1%	6	1.4%	420
いわき	502	48.7%	509	49.4%	20	1.9%	1,031
会津	410	50.1%	389	47.5%	20	2.4%	819
南会津	28	49.1%	29	50.9%	0	0.0%	57
県外	44	49.4%	44	49.4%	1	1.1%	89
合計	3,288	49.7%	3,188	48.2%	138	2.1%	6,614

【表 14-2】 (分娩児の体重) 単胎 (一人) 全体 (問 14)

地域	1.0 kg未満		1.0～1.5 kg未満		1.5～2.0 kg未満		2.0～2.5 kg未満		2.5～3.0 kg未満	
県北	9	0.5%	5	0.3%	7	0.4%	107	6.4%	657	39.4%
県中	7	0.4%	13	0.7%	15	0.8%	120	6.1%	766	39.0%
県南	1	0.2%	2	0.4%	7	1.4%	28	5.7%	190	39.0%
相双	1	0.2%	0	0.0%	1	0.2%	31	7.4%	148	35.4%
いわき	8	0.8%	3	0.3%	6	0.6%	72	7.1%	383	37.7%
会津	2	0.3%	4	0.5%	4	0.5%	55	6.9%	300	37.5%
南会津	2	3.6%	0	0.0%	2	3.6%	4	7.3%	21	38.2%
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	3.4%	39	43.8%
合計	30	0.5%	27	0.4%	42	0.6%	420	6.5%	2,504	38.5%

地域	3.0～3.5 kg未満		3.5～4.0 kg未満		4.0～4.5 kg未満		4.5kg以上		無・無効回答		合計
県北	701	42.0%	165	9.9%	11	0.7%	1	0.1%	6	0.4%	1,669
県中	834	42.5%	187	9.5%	13	0.7%	2	0.1%	7	0.4%	1,964
県南	205	42.1%	48	9.9%	4	0.8%	1	0.2%	1	0.2%	487
相双	198	47.4%	35	8.4%	3	0.7%	0	0.0%	1	0.2%	418
いわき	430	42.4%	100	9.9%	9	0.9%	2	0.2%	2	0.2%	1,015
会津	347	43.4%	78	9.8%	8	1.0%	0	0.0%	1	0.1%	799
南会津	23	41.8%	3	5.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	55
県外	36	40.4%	11	12.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	89
合計	2,774	42.7%	627	9.7%	48	0.7%	6	0.1%	18	0.3%	6,496

【表 14-3】 (分娩児の体重) 単胎 (一人) 男児 (問 14)

地域	1.0 kg未満		1.0～1.5 kg未満		1.5～2.0 kg未満		2.0～2.5 kg未満		2.5～3.0 kg未満	
県北	2	0.2%	4	0.5%	3	0.4%	48	5.6%	322	37.7%
県中	4	0.4%	4	0.4%	9	0.9%	59	6.1%	342	35.5%
県南	0	0.0%	0	0.0%	5	2.0%	16	6.5%	88	35.9%
相双	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	14	7.3%	57	29.5%
いわき	1	0.2%	2	0.4%	2	0.4%	30	6.1%	160	32.6%
会津	1	0.3%	3	0.8%	4	1.0%	25	6.3%	130	32.6%
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.7%	12	44.4%
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	18	40.9%
合計	8	0.2%	13	0.4%	23	0.7%	193	6.0%	1,129	35.1%

地域	3.0～3.5 kg未満		3.5～4.0 kg未満		4.0～4.5 kg未満		4.5 kg以上		無・無効回答		合計
県北	372	43.6%	94	11.0%	6	0.7%	1	0.1%	2	0.2%	854
県中	415	43.0%	120	12.4%	7	0.7%	0	0.0%	4	0.4%	964
県南	103	42.0%	31	12.7%	2	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	245
相双	104	53.9%	16	8.3%	2	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	193
いわき	227	46.2%	61	12.4%	6	1.2%	1	0.2%	1	0.2%	491
会津	191	47.9%	40	10.0%	5	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	399
南会津	12	44.4%	2	7.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	27
県外	19	43.2%	7	15.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	44
合計	1,443	44.9%	371	11.5%	28	0.9%	2	0.1%	7	0.2%	3,217

【表 14-4】 (分娩児の体重) 単胎 (一人) 女児 (問 14)

地域	1.0 kg未満		1.0～1.5 kg未満		1.5～2.0 kg未満		2.0～2.5 kg未満		2.5～3.0 kg未満	
県北	7	0.9%	1	0.1%	4	0.5%	59	7.5%	327	41.7%
県中	3	0.3%	9	0.9%	6	0.6%	59	6.2%	411	43.0%
県南	1	0.4%	2	0.9%	2	0.9%	11	4.8%	98	42.6%
相双	1	0.5%	0	0.0%	1	0.5%	17	7.8%	89	40.6%
いわき	7	1.4%	1	0.2%	4	0.8%	42	8.3%	217	43.1%
会津	1	0.3%	1	0.3%	0	0.0%	28	7.3%	163	42.8%
南会津	2	7.1%	0	0.0%	2	7.1%	3	10.7%	9	32.1%
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	6.8%	20	45.5%
合計	22	0.7%	14	0.4%	19	0.6%	222	7.1%	1,334	42.4%

地域	3.0～3.5 kg未満		3.5～4.0 kg未満		4.0～4.5 kg未満		4.5 kg以上		無・無効回答		合計
県北	311	39.6%	69	8.8%	5	0.6%	0	0.0%	2	0.3%	785
県中	398	41.7%	61	6.4%	6	0.6%	2	0.2%	0	0.0%	955
県南	96	41.7%	16	7.0%	2	0.9%	1	0.4%	1	0.4%	230
相双	92	42.0%	18	8.2%	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	219
いわき	193	38.3%	37	7.3%	2	0.4%	1	0.2%	0	0.0%	504
会津	149	39.1%	36	9.4%	3	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	381
南会津	11	39.3%	1	3.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	28
県外	17	38.6%	4	9.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	44
合計	1,267	40.3%	242	7.7%	19	0.6%	4	0.1%	3	0.1%	3,146

【表 14-5】 (分娩児の体重) 双胎 (ふたご) 全体 (問 14)

地域	1.0 kg未満		1.0~1.5 kg未満		1.5~2.0 kg未満		2.0~2.5 kg未満		2.5~3.0 kg未満		3.0~3.5 kg未満		無・無効回答		合計
県北	2	6.7%	1	3.3%	4	13.3%	13	43.3%	10	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	30
県中	0	0.0%	0	0.0%	1	2.9%	25	73.5%	7	20.6%	1	2.9%	0	0.0%	34
県南	1	7.1%	1	7.1%	0	0.0%	7	50.0%	4	28.6%	0	0.0%	1	7.1%	14
相双	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2
いわき	2	12.5%	0	0.0%	8	50.0%	5	31.3%	1	6.3%	0	0.0%	0	0.0%	16
会津	1	5.0%	0	0.0%	2	10.0%	8	40.0%	8	40.0%	0	0.0%	1	5.0%	20
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
合計	6	5.1%	2	1.7%	16	13.6%	61	51.7%	30	25.4%	1	0.8%	2	1.7%	118

【表 14-6】 (分娩児の体重) 双胎 (ふたご) 男児 (問 14)

地域	1.0 kg未満		1.0~1.5 kg未満		1.5~2.0 kg未満		2.0~2.5 kg未満		2.5~3.0 kg未満		3.0~3.5 kg未満		無・無効回答		合計
県北	2	10.0%	1	5.0%	3	15.0%	8	40.0%	6	30.0%	0	0.0%	0	0.0%	20
県中	0	0.0%	0	0.0%	1	5.3%	14	73.7%	3	15.8%	1	5.3%	0	0.0%	19
県南	1	14.3%	1	14.3%	0	0.0%	2	28.6%	3	42.9%	0	0.0%	0	0.0%	7
相双	0	0.0%	0	0.0%	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2
いわき	0	0.0%	0	0.0%	7	63.6%	4	36.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	11
会津	1	9.1%	0	0.0%	0	0.0%	4	36.4%	6	54.5%	0	0.0%	0	0.0%	11
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
合計	4	5.6%	2	2.8%	12	16.9%	34	47.9%	18	25.4%	1	1.4%	0	0.0%	71

【表 14-7】 (分娩児の体重) 双胎 (ふたご) 女児 (問 14)

地域	1.0 kg未満		1.0~1.5 kg未満		1.5~2.0 kg未満		2.0~2.5 kg未満		2.5~3.0 kg未満		3.0~3.5 kg未満		無・無効回答		合計
県北	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	55.6%	4	44.4%	0	0.0%	0	0.0%	9
県中	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	10	71.4%	4	28.6%	0	0.0%	0	0.0%	14
県南	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	80.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	5
相双	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
いわき	2	40.0%	0	0.0%	1	20.0%	1	20.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	5
会津	0	0.0%	0	0.0%	2	25.0%	4	50.0%	2	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	8
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
合計	2	4.8%	0	0.0%	3	7.1%	25	59.5%	12	28.6%	0	0.0%	0	0.0%	42

【表 14-8】 分娩児の体重(単胎・双胎) (問 14) 単胎(一人)・双胎(ふたご)の無・無効回答 20 人を除く

地域	1.0 kg未満	1.0 kg未満	1.5 kg未満	2.0 kg未満	2.5 kg未満	3.0 kg未満	3.5 kg未満	4.0 kg未満	4.5 kg未満	4.5 kg以上	合計	低出生体重児	低出生体重児割合
	1.5 kg未満	2.0 kg未満	2.5 kg未満	3.0 kg未満	3.5 kg未満	4.0 kg未満	4.5 kg未満						
県北	11	6	11	120	667	701	165	11	1	1,693	148	8.7%	
県中	7	13	16	145	773	835	187	13	2	1,991	181	9.1%	
県南	2	3	7	35	194	205	48	4	1	499	47	9.4%	
相双	1	0	2	32	148	198	35	3	0	419	35	8.4%	
いわき	10	3	14	77	384	430	100	9	2	1,029	104	10.1%	
会津	3	4	6	63	308	347	78	8	0	817	76	9.3%	
南会津	2	0	2	6	21	23	3	0	0	57	10	17.5%	
県外	0	0	0	3	39	36	11	0	0	89	3	3.4%	
合計	36	29	58	481	2,534	2,775	627	48	6	6,594	604	9.2%	

※低出生体重児とは、出生時に体重が2.5kg未満の新生児のこと

【表 14-9】(分娩児の身長) 単胎(一人) 全体 (問 14)

地域	47cm 未満		47～48cm 未満		48～49cm 未満		49～50cm 未満		50～51cm 未満	
県北	186	11.1%	177	10.6%	272	16.3%	336	20.1%	360	21.6%
県中	221	11.3%	180	9.2%	295	15.0%	397	20.2%	462	23.5%
県南	39	8.0%	29	6.0%	68	14.0%	101	20.7%	117	24.0%
相双	46	11.0%	37	8.9%	71	17.0%	85	20.3%	97	23.2%
いわき	103	10.1%	98	9.7%	156	15.4%	210	20.7%	200	19.7%
会津	108	13.5%	86	10.8%	127	15.9%	197	24.7%	156	19.5%
南会津	10	18.2%	5	9.1%	14	25.5%	9	16.4%	8	14.5%
県外	7	7.9%	3	3.4%	12	13.5%	19	21.3%	24	27.0%
合計	720	11.1%	615	9.5%	1,015	15.6%	1,354	20.8%	1,424	21.9%

地域	51～52cm 未満		52cm 以上		無・無効回答		合計
県北	207	12.4%	122	7.3%	9	0.5%	1,669
県中	250	12.7%	151	7.7%	8	0.4%	1,964
県南	79	16.2%	53	10.9%	1	0.2%	487
相双	45	10.8%	34	8.1%	3	0.7%	418
いわき	135	13.3%	104	10.2%	9	0.9%	1,015
会津	77	9.6%	44	5.5%	4	0.5%	799
南会津	6	10.9%	3	5.5%	0	0.0%	55
県外	14	15.7%	10	11.2%	0	0.0%	89
合計	813	12.5%	521	8.0%	34	0.5%	6,496

【表 14-10】(分娩児の身長) 単胎(一人) 男児 (問 14)

地域	47cm 未満		47～48cm 未満		48～49cm 未満		49～50cm 未満		50～51cm 未満	
県北	79	9.3%	73	8.5%	126	14.8%	174	20.4%	201	23.5%
県中	90	9.3%	69	7.2%	147	15.2%	195	20.2%	229	23.8%
県南	19	7.8%	12	4.9%	40	16.3%	35	14.3%	62	25.3%
相双	18	9.3%	12	6.2%	32	16.6%	38	19.7%	51	26.4%
いわき	34	6.9%	34	6.9%	66	13.4%	101	20.6%	112	22.8%
会津	49	12.3%	36	9.0%	56	14.0%	96	24.1%	92	23.1%
南会津	1	3.7%	2	7.4%	7	25.9%	6	22.2%	6	22.2%
県外	2	4.5%	1	2.3%	4	9.1%	7	15.9%	14	31.8%
合計	292	9.1%	239	7.4%	478	14.9%	652	20.3%	767	23.8%

地域	51～52cm 未満		52cm 以上		無・無効回答		合計
県北	118	13.8%	79	9.3%	4	0.5%	854
県中	136	14.1%	95	9.9%	3	0.3%	964
県南	45	18.4%	32	13.1%	0	0.0%	245
相双	20	10.4%	20	10.4%	2	1.0%	193
いわき	70	14.3%	68	13.8%	6	1.2%	491
会津	40	10.0%	27	6.8%	3	0.8%	399
南会津	4	14.8%	1	3.7%	0	0.0%	27
県外	9	20.5%	7	15.9%	0	0.0%	44
合計	442	13.7%	329	10.2%	18	0.6%	3,217

【表 14-11】(分娩児の身長) 単胎(一人) 女児 (問 14)

地域	47cm 未満		47～48cm 未満		48～49cm 未満		49～50cm 未満		50～51cm 未満	
県北	104	13.2%	101	12.9%	140	17.8%	159	20.3%	153	19.5%
県中	129	13.5%	109	11.4%	142	14.9%	193	20.2%	225	23.6%
県南	18	7.8%	17	7.4%	27	11.7%	63	27.4%	50	21.7%
相双	27	12.3%	25	11.4%	38	17.4%	47	21.5%	44	20.1%
いわき	68	13.5%	64	12.7%	89	17.7%	103	20.4%	86	17.1%
会津	55	14.4%	48	12.6%	69	18.1%	98	25.7%	59	15.5%
南会津	9	32.1%	3	10.7%	7	25.0%	3	10.7%	2	7.1%
県外	5	11.4%	2	4.5%	7	15.9%	12	27.3%	10	22.7%
合計	415	13.2%	369	11.7%	519	16.5%	678	21.6%	629	20.0%

地域	51～52cm 未満		52cm 以上		無・無効回答		合計
県北	85	10.8%	40	5.1%	3	0.4%	785
県中	105	11.0%	51	5.3%	1	0.1%	955
県南	33	14.3%	21	9.1%	1	0.4%	230
相双	24	11.0%	14	6.4%	0	0.0%	219
いわき	59	11.7%	33	6.5%	2	0.4%	504
会津	36	9.4%	16	4.2%	0	0.0%	381
南会津	2	7.1%	2	7.1%	0	0.0%	28
県外	5	11.4%	3	6.8%	0	0.0%	44
合計	349	11.1%	180	5.7%	7	0.2%	3,146

【表 14-12】(分娩児の身長) 双胎(ふたご) 全体 (問 14)

地域	44cm 未満		44～45cm 未満		45～46cm 未満		46～47cm 未満		47～48cm 未満		48～49cm 未満		49cm 以上		無・無効回答		合計
県北	7	23.3%	3	10.0%	4	13.3%	5	16.7%	3	10.0%	5	16.7%	3	10.0%	0	0.0%	30
県中	4	11.8%	7	20.6%	9	26.5%	7	20.6%	2	5.9%	1	2.9%	4	11.8%	0	0.0%	34
県南	2	14.3%	0	0.0%	1	7.1%	5	35.7%	2	14.3%	2	14.3%	1	7.1%	1	7.1%	14
相双	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2
いわき	10	62.5%	1	6.3%	2	12.5%	1	6.3%	1	6.3%	0	0.0%	1	6.3%	0	0.0%	16
会津	3	15.0%	0	0.0%	1	5.0%	3	15.0%	4	20.0%	2	10.0%	5	25.0%	2	10.0%	20
南会津	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
合計	28	23.7%	11	9.3%	19	16.1%	21	17.8%	12	10.2%	10	8.5%	14	11.9%	3	2.5%	118

【表 14-13】(分娩児の身長) 双胎(ふたご) 男児 (問 14)

地域	44cm 未満		44～45cm 未満		45～46cm 未満		46～47cm 未満		47～48cm 未満		48～49cm 未満		49cm 以上		無・無効回答		合計
県北	6	30.0%	3	15.0%	2	10.0%	3	15.0%	0	0.0%	4	20.0%	2	10.0%	0	0.0%	20
県中	2	10.5%	4	21.1%	6	31.6%	3	15.8%	2	10.5%	0	0.0%	2	10.5%	0	0.0%	19
県南	2	28.6%	0	0.0%	0	0.0%	2	28.6%	1	14.3%	1	14.3%	1	14.3%	0	0.0%	7
相双	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2
いわき	7	63.6%	1	9.1%	1	9.1%	1	9.1%	1	9.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	11
会津	1	9.1%	0	0.0%	1	9.1%	2	18.2%	1	9.1%	2	18.2%	3	27.3%	1	9.1%	11
南会津	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
合計	20	28.2%	8	11.3%	11	15.5%	11	15.5%	5	7.0%	7	9.9%	8	11.3%	1	1.4%	71

【表 14-14】(分娩児の身長) 双胎(ふたご) 女児 (問 14)

地域	44cm 未満		44～45cm 未満		45～46cm 未満		46～47cm 未満		47～48cm 未満		48～49cm 未満		49cm 以上		合計
県北	0	0.0%	0	0.0%	2	22.2%	2	22.2%	3	33.3%	1	11.1%	1	11.1%	9
県中	2	14.3%	3	21.4%	3	21.4%	4	28.6%	0	0.0%	0	0.0%	2	14.3%	14
県南	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	2	40.0%	1	20.0%	1	20.0%	0	0.0%	5
相双	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
いわき	3	60.0%	0	0.0%	1	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	20.0%	5
会津	2	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	12.5%	3	37.5%	0	0.0%	2	25.0%	8
南会津	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
合計	7	16.7%	3	7.1%	8	19.0%	9	21.4%	7	16.7%	2	4.8%	6	14.3%	42

【表 14-15】 新生児仮死 単胎 (一人) (問 14)

地域	あり		なし		無・無効回答		合計
県北	19	1.1%	1,632	97.8%	18	1.1%	1,669
県中	22	1.1%	1,929	98.2%	13	0.7%	1,964
県南	7	1.4%	478	98.2%	2	0.4%	487
相双	3	0.7%	413	98.8%	2	0.5%	418
いわき	2	0.2%	997	98.2%	16	1.6%	1,015
会津	11	1.4%	779	97.5%	9	1.1%	799
南会津	0	0.0%	55	100.0%	0	0.0%	55
県外	1	1.1%	87	97.8%	1	1.1%	89
合計	65	1.0%	6,370	98.1%	61	0.9%	6,496

【表 14-16】 蘇生の有無 単胎 (一人)

新生児仮死「あり」65人のみ対象

地域	した		しなかった		わからない		無・無効回答		合計
県北	17	89.5%	0	0.0%	1	5.3%	1	5.3%	19
県中	19	86.4%	3	13.6%	0	0.0%	0	0.0%	22
県南	3	42.9%	1	14.3%	2	28.6%	1	14.3%	7
相双	2	66.7%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	3
いわき	1	50.0%	0	0.0%	1	50.0%	0	0.0%	2
会津	7	63.6%	1	9.1%	3	27.3%	0	0.0%	11
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
県外	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1
合計	50	76.9%	6	9.2%	7	10.8%	2	3.1%	65

【表 14-17】 新生児仮死 双胎 (ふたご第 1 子)

地域	あり	なし	無・無効回答	合計
県北	1	14	0	15
県中	1	16	0	17
県南	0	7	0	7
相双	0	1	0	1
いわき	0	8	0	8
会津	0	10	0	10
南会津	0	1	0	1
県外	0	0	0	0
合計	2	57	0	59

【表 14-18】 蘇生の有無 双胎 (ふたご第 1 子)
新生児仮死「あり」2人のみ対象

地域	した	しなかった	わからない	合計
県北	1	0	0	1
県中	0	0	1	1
県南	0	0	0	0
相双	0	0	0	0
いわき	0	0	0	0
会津	0	0	0	0
南会津	0	0	0	0
県外	0	0	0	0
合計	1	0	1	2

【表 14-19】 新生児仮死 双胎 (ふたご第 2 子)

地域	あり	なし	無・無効回答	合計
県北	0	15	0	15
県中	1	15	1	17
県南	0	6	1	7
相双	0	1	0	1
いわき	0	8	0	8
会津	1	8	1	10
南会津	0	1	0	1
県外	0	0	0	0
合計	2	54	3	59

【表 14-20】 蘇生の有無 双胎 (ふたご第 2 子)
新生児仮死「あり」2人のみ対象

地域	した	しなかった	わからない	合計
県北	0	0	0	0
県中	0	0	1	1
県南	0	0	0	0
相双	0	0	0	0
いわき	0	0	0	0
会津	0	1	0	1
南会津	0	0	0	0
県外	0	0	0	0
合計	0	1	1	2

【表 14-21】 先天奇形・先天異常の有無 単胎（一人） 12週以降の分娩6,496人を対象とした（表 13-1）

地域	あり		なし		無・無効回答		合計
県北	40	2.4%	1,604	96.1%	25	1.5%	1,669
県中	37	1.9%	1,911	97.3%	16	0.8%	1,964
県南	9	1.8%	475	97.5%	3	0.6%	487
相双	11	2.6%	403	96.4%	4	1.0%	418
いわき	21	2.1%	986	97.1%	8	0.8%	1,015
会津	21	2.6%	766	95.9%	12	1.5%	799
南会津	1	1.8%	54	98.2%	0	0.0%	55
県外	1	1.1%	87	97.8%	1	1.1%	89
合計	141	2.2%	6,286	96.8%	69	1.1%	6,496

【表 14-22】 先天奇形・先天異常の発生率 単胎（一人）

地域	先天奇形・異常の発生率 ¹⁾		有効回答
県北	40	2.43%	1,644
県中	37	1.90%	1,948
県南	9	1.86%	484
相双	11	2.66%	414
いわき	21	2.09%	1,007
会津	21	2.67%	787
南会津	1	1.82%	55
県外	1	1.14%	88
合計	141	2.19%	6,427

¹⁾発生率の分母は有効回答（単胎（一人）先天奇形・先天異常「あり」または「なし」いずれかに回答した方）

※平成23年度結果報告では、無効回答を含む合計数を分母としていたため本報告書の発生率とは異なる。

【表 14-23】 各疾患の発生率¹⁾ 単胎（一人）先天奇形・先天異常「あり」141人を対象とした（複数回答あり）

地域	白内障	心臓奇形	腎臓・尿路奇形	二分脊椎	水頭症	口唇・口蓋裂	消化管閉鎖 ²⁾	鎖肛	多指・合指症	その他
県北	1	16	4	1	1	1	0	2	5	17
県中	0	14	3	1	0	1	4	2	2	13
県南	1	6	0	0	0	0	0	0	0	3
相双	0	3	1	0	0	1	0	0	1	5
いわき	0	8	2	0	0	3	0	0	3	10
会津	0	12	4	1	0	0	0	0	1	4
南会津	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
県外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	2	59	14	3	1	7	4	4	12	53
発生率	0.03%	0.92%	0.22%	0.05%	0.02%	0.11%	0.06%	0.06%	0.19%	0.82%

¹⁾発生率の分母は有効回答（単胎（一人）先天奇形・先天異常「あり」または「なし」いずれかに回答した方6,427人）

²⁾消化管（食道・十二指腸・空腸・回腸）閉鎖

【表 14-24】 単胎（一人）先天奇形・先天異常「あり」のうち「その他」の内訳（複数回答あり）

副耳	7	ソ径ヘルニア	1	食道裂孔ヘルニア	1	頭皮欠損	1
ダウン症候群	6	プロピオン酸血症	1	舌小帯短縮症	1	白線ヘルニア	1
耳瘻孔	3	外耳道閉鎖	1	先天性エプーリス	1	副腎過形成	1
18トリソミー	2	巨脳症	1	先天性角膜混濁	1	母斑	1
血管腫	2	耳垂裂	1	先天性表皮水疱症	1	埋没陰茎	1
停留睪丸	2	縦隔腫瘍	1	大腿部リンパ管種	1	脈絡叢嚢胞	1
内反足	2	小耳症、難聴	1	大田原症候群	1	無脾症候群	1
難聴	2	上衣下出血	1	単純性血管腫	1	卵巣のう腫	1
West 症候群	1	色素失調症	1	腸回転異常症	1	頸部腫瘍	1

【表 14-25】 先天奇形・先天異常の有無 双胎（ふたご） 12週以降の分娩 118人を対象とした（表 13-2）

地域	あり		なし		無・無効回答		合計
県北	1	3.3%	28	93.3%	1	3.3%	30
県中	0	0.0%	32	94.1%	2	5.9%	34
県南	1	7.1%	12	85.7%	1	7.1%	14
相双	1	50.0%	1	50.0%	0	0.0%	2
いわき	0	0.0%	16	100.0%	0	0.0%	16
会津	1	5.0%	18	90.0%	1	5.0%	20
南会津	0	0.0%	2	100.0%	0	0.0%	2
県外	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
合計	4	3.4%	109	92.4%	5	4.2%	118

【表 14-26】 先天奇形・先天異常の発生率 双胎（ふたご）

地域	先天奇形・異常の発生率 ¹⁾		有効回答
県北	1	3.45%	29
県中	0	0.00%	32
県南	1	7.69%	13
相双	1	50.00%	2
いわき	0	0.00%	16
会津	1	5.26%	19
南会津	0	0.00%	2
県外	0	0.00%	0
合計	4	3.54%	113

¹⁾発生率の分母は有効回答（「あり」「なし」を回答した方の合計数）。

※平成 23 年度調査報告書と比較する場合は、平成 23 年度は無効回答を含めて計算した数値を掲載しており、平成 24 年度以降と異なることに注意

【表 14-27】 各疾患の内訳 双胎（ふたご） 先天奇形・異常「あり」4人を対象とした（複数回答あり）

地域	白内障	心臓奇形	腎・尿路奇形	二分脊椎	小頭症	水頭症	口唇口蓋裂	消化管閉鎖	鎖肛	多指・合指症	その他
県北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
県中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
相双	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いわき	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会津	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
南会津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	2

【表 15】 育児に自信がもてないことがありますか (問 15)

出産の方 6,541 人のみを対象とした

地域	はい		いいえ		何ともいえない		無・無効回答		合計
県北	315	18.7%	626	37.2%	730	43.4%	11	0.7%	1,682
県中	352	17.8%	747	37.8%	847	42.8%	31	1.6%	1,977
県南	86	17.4%	198	40.2%	202	41.0%	7	1.4%	493
相双	62	14.8%	171	40.9%	180	43.1%	5	1.2%	418
いわき	152	14.9%	460	45.2%	396	38.9%	10	1.0%	1,018
会津	158	19.6%	312	38.6%	326	40.3%	12	1.5%	808
南会津	7	12.5%	27	48.2%	21	37.5%	1	1.8%	56
県外	27	30.3%	23	25.8%	39	43.8%	0	0.0%	89
合計	1,159	17.7%	2,564	39.2%	2,741	41.9%	77	1.2%	6,541

表 16-1～表 16-5 については、生後 60 日以下で 1 カ月健診を受診した方、6,475 人(単胎 6,365 人、ふたご 110 人、不明 0 人)を対象とした。

【表 16-1】 1 ヶ月健診平均受診時期

地域	該当数	受診時 平均生後日数
県北	1,666	34.8
県中	1,966	32.4
県南	487	31.7
相双	411	32.3
いわき	1,007	33.0
会津	796	32.9
南会津	57	32.9
県外	85	32.5
合計	6,475	33.1

表 16-2～表 16-5 については、性別が未回答の場合があるため、男児女児の合計は必ずしも全体の人数にはならない。また、全体の無・無効回答者数は一番右側に示した。(人数)は有効回答である。

【表 16-2】 体重 単胎 (一人)

(平均値(g)±標準偏差(人数))

地域	全体	男児	女児	無・無効回答
県北	4268.8 ± 605.8 (1,632)	4384.2 ± 607.1 (835)	4144.7 ± 582.0 (769)	6
県中	4152.3 ± 573.0 (1,927)	4248.0 ± 598.1 (945)	4050.7 ± 529.4 (941)	5
県南	4100.6 ± 561.2 (472)	4202.6 ± 552.4 (238)	4002.5 ± 553.9 (222)	2
相双	4169.0 ± 489.9 (409)	4299.0 ± 501.8 (189)	4054.5 ± 446.4 (215)	0
いわき	4199.4 ± 594.2 (987)	4340.6 ± 576.1 (482)	4056.5 ± 580.4 (486)	6
会津	4182.7 ± 564.3 (779)	4277.1 ± 581.1 (388)	4088.3 ± 526.0 (373)	0
南会津	3939.4 ± 745.4 (55)	4218.6 ± 446.0 (27)	3670.3 ± 875.6 (28)	0
県外	4253.2 ± 439.8 (85)	4352.6 ± 468.3 (44)	4163.6 ± 373.3 (40)	0
合計	4190.1 ± 580.8 (6,346)	4302.7 ± 586.3 (3,148)	4074.5 ± 552.2 (3,074)	19

【表 16-3】 体重 双胎 (ふたご)

(平均値(g)±標準偏差(人数))

地域	全体	男児	女児	無・無効回答
県北	3216.5 ± 908.0 (28)	3126.6 ± 1015.7 (19)	3513.1 ± 584.3 (8)	0
県中	3447.3 ± 451.3 (34)	3548.6 ± 480.5 (19)	3322.4 ± 403.8 (14)	0
県南	3074.4 ± 776.5 (13)	2870.4 ± 975.6 (7)	3332.4 ± 469.7 (5)	0
相双	2103.0 ± 403.1 (2)	2103.0 ± 403.1 (2)	(0)	0
いわき	2541.2 ± 442.0 (14)	2447.5 ± 390.1 (11)	2885.0 ± 532.5 (3)	0
会津	3466.8 ± 559.1 (17)	3702.9 ± 349.0 (9)	3201.1 ± 650.5 (8)	0
南会津	3425.0 ± 289.9 (2)	3630.0 (1)	3220.0 (1)	0
県外	(0)	(0)	(0)	0
合計	3207.3 ± 717.3 (110)	3161.9 ± 822.0 (68)	3301.7 ± 510.3 (39)	0

【表 16-4】身長 単胎（一人） (平均値(cm)±標準偏差（人数）)

地域	全体	男児	女児	無・無効回答
県北	53.3 ± 3.1 (1,624)	53.7 ± 3.1 (832)	52.9 ± 3.1 (766)	14
県中	53.0 ± 3.1 (1,921)	53.3 ± 3.4 (941)	52.6 ± 2.9 (939)	11
県南	52.3 ± 2.7 (472)	52.8 ± 2.5 (238)	51.8 ± 2.9 (222)	2
相双	53.2 ± 2.6 (409)	53.4 ± 3.1 (189)	53.0 ± 2.1 (215)	0
いわき	53.0 ± 3.3 (983)	53.6 ± 3.3 (482)	52.5 ± 3.4 (482)	10
会津	53.1 ± 2.9 (777)	53.3 ± 3.2 (386)	52.9 ± 2.5 (373)	2
南会津	52.4 ± 4.2 (55)	53.8 ± 2.0 (27)	51.0 ± 5.3 (28)	0
県外	53.6 ± 1.9 (85)	54.1 ± 1.9 (44)	53.1 ± 1.8 (40)	0
合計	53.1 ± 3.1 (6,326)	53.4 ± 3.2 (3,139)	52.7 ± 3.0 (3,065)	39

【表 16-5】身長 双胎（ふたご） (平均値(cm)±標準偏差（人数）)

地域	全体	男児	女児	無・無効回答
県北	49.2 ± 4.8 (27)	48.5 ± 5.6 (18)	51.0 ± 1.8 (8)	1
県中	50.7 ± 2.1 (34)	51.3 ± 1.9 (19)	49.8 ± 2.2 (14)	0
県南	48.5 ± 4.4 (13)	47.9 ± 6.1 (7)	49.3 ± 0.5 (5)	0
相双	42.7 ± 3.8 (2)	42.7 ± 3.8 (2)	(0)	0
いわき	46.7 ± 1.9 (14)	46.4 ± 2.0 (11)	47.7 ± 1.3 (3)	0
会津	50.4 ± 1.9 (17)	50.8 ± 1.4 (9)	49.8 ± 2.3 (8)	0
南会津	50.5 ± 2.1 (2)	52.0 (1)	49.0 (1)	0
県外	(0)	(0)	(0)	0
合計	49.3 ± 3.6 (109)	49.1 ± 4.2 (67)	49.8 ± 2.0 (39)	1

【表 17-1】次回の妊娠・出産をお考えですか（問 17）

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
県北	875	51.7%	796	47.1%	20	1.2%	1,691
県中	1,015	51.1%	957	48.1%	16	0.8%	1,988
県南	269	54.3%	219	44.2%	7	1.4%	495
相双	217	51.4%	196	46.4%	9	2.1%	422
いわき	530	51.6%	486	47.3%	12	1.2%	1,028
会津	434	53.5%	367	45.3%	10	1.2%	811
南会津	36	64.3%	19	33.9%	1	1.8%	56
県外	61	68.5%	27	30.3%	1	1.1%	89
合計	3,437	52.2%	3,067	46.6%	76	1.2%	6,580

【表 17-2】次回の妊娠・出産に関する事で、あったらよいと思うサービス (複数回答あり)

地域	保育所・延長保育・ 病児保育などの充実		産休・育児休暇などの 充実		育児や小児医療に 関する情報やサービス		放射線と健康リスクに 関する情報		その他		有効回答
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
県北	727	84.8%	591	69.0%	535	62.4%	158	18.4%	71	8.3%	857
県中	778	78.6%	672	67.9%	624	63.0%	207	20.9%	94	9.5%	990
県南	192	73.0%	173	65.8%	184	70.0%	46	17.5%	15	5.7%	263
相双	170	79.8%	142	66.7%	150	70.4%	38	17.8%	17	8.0%	213
いわき	393	75.9%	329	63.5%	352	68.0%	112	21.6%	36	6.9%	518
会津	300	71.3%	307	72.9%	261	62.0%	86	20.4%	32	7.6%	421
南会津	21	61.8%	21	61.8%	24	70.6%	5	14.7%	6	17.6%	34
県外	50	83.3%	43	71.7%	44	73.3%	7	11.7%	2	3.3%	60
合計	2,631	78.4%	2,278	67.9%	2,174	64.8%	659	19.6%	273	8.1%	3,356

※分母は有効回答（問 17 で「はい」と答えた方で「次回の妊娠・出産に関する事で、あったらよいと思うサービス」に記載のあった方）。複数回答があるため、割合の合計は 100.0%にならない。

【表 17-3】 次回の妊娠を希望しない方の理由

(複数回答あり)

地域	希望していない		年齢や健康上の理由		今いる子どもに手がかかる		収入が不安定		家事・育児の協力者がいない		保育所などの預け先がない	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
県北	416	52.5%	294	37.1%	267	33.7%	223	28.1%	84	10.6%	97	12.2%
県中	504	52.9%	344	36.1%	346	36.3%	261	27.4%	115	12.1%	83	8.7%
県南	138	63.6%	82	37.8%	77	35.5%	42	19.4%	21	9.7%	17	7.8%
相双	111	57.8%	67	34.9%	65	33.9%	58	30.2%	20	10.4%	19	9.9%
いわき	268	55.3%	184	37.9%	163	33.6%	98	20.2%	38	7.8%	33	6.8%
会津	192	52.6%	141	38.6%	132	36.2%	87	23.8%	29	7.9%	22	6.0%
南会津	11	57.9%	7	36.8%	6	31.6%	2	10.5%	3	15.8%	0	0.0%
県外	14	53.8%	8	30.8%	6	23.1%	5	19.2%	6	23.1%	3	11.5%
合計	1,654	54.2%	1,127	37.0%	1,062	34.8%	776	25.5%	316	10.4%	274	9.0%

地域	家族と離れて生活しているため		放射線の影響が心配		避難生活をしているため		その他		有効回答
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
県北	16	2.0%	2	0.3%	0	0.0%	22	2.8%	793
県中	24	2.5%	9	0.9%	0	0.0%	33	3.5%	952
県南	3	1.4%	1	0.5%	0	0.0%	11	5.1%	217
相双	6	3.1%	1	0.5%	3	1.6%	5	2.6%	192
いわき	11	2.3%	3	0.6%	0	0.0%	18	3.7%	485
会津	8	2.2%	0	0.0%	0	0.0%	24	6.6%	365
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	5.3%	19
県外	6	23.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	7.7%	26
合計	74	2.4%	16	0.5%	3	0.1%	116	3.8%	3,049

※分母は有効回答（問 17 で「いいえ」と答えた方で「次回の妊娠を希望しない方の理由」の記載のあった方）。複数回答があるため、割合の合計は 100.0%にならない。

(3) 自由記載

有効回答 6,580 人中、調査票に自由記載があった 881 人の内容について集計した。

【表 18】自由記載内容の内訳（複数回答あり。記載内容の割合の分母は、自由記載ありの人数 881 人）

記載内容	件数	割合
育児支援サービスの充実の要望について	221	25.1%
育児相談 ¹⁾	209	23.7%
本人の身体的不調 ¹⁾	101	11.5%
本人の精神的不調への訴え	100	11.4%
医療サービスの充実や体のケアに対する要望	99	11.2%
検査・医療サービスの不足への不安や不満	69	7.8%
本調査への意見・苦情	66	7.5%
経済的支援の要望	62	7.0%
人間関係 ²⁾	43	4.9%
この調査への賛同	32	3.6%
経済的な不安・負担に対するもの	29	3.3%
情報発信や調査結果の公表への要望について	27	3.1%
除染・遊び場の確保への要望	17	1.9%
胎児・子どもへの放射線の影響について	16	1.8%
情報の信頼性・不足に対する不安や不満	5	0.6%
水への放射線の影響についての心配	3	0.3%
離乳食・食物への放射線の影響について	3	0.3%
今回妊娠の転帰との関連	3	0.3%
甲状腺検査への要望について	3	0.3%
外出・外遊びでの放射線の心配	2	0.2%
検査健診全体への要望	2	0.2%
家族離散・避難に対する不安や不満	1	0.1%
県民健康調査への要望	1	0.1%
健診・検診への要望	1	0.1%
内部被ばく（ホールボディカウンタ等）検査の要望	1	0.1%
外部被ばく（ガラスバッジ配布、線量計配布等）に関すること	1	0.1%
避難に対する支援の要望について	1	0.1%
心のケアや相談窓口の充実の要望について	1	0.1%
その他	157	17.8%

¹⁾平成 23 年度調査ではみられなかった内容

²⁾平成 24 年度調査ではみられなかった内容

(4) 支援状況

平成30年 要支援者数 711人（回答6,649人）（要支援率10.7%）

支援に関する集計は、平成30年11月1日～令和元年12月20日の期間の回答者（6,649人）を対象に行った（対象外を含む）。

【表19】 要支援者数

地域	回答者数	要支援者数	
県北	1,702	191	11.2%
県中	2,006	219	10.9%
県南	504	52	10.3%
相双	424	44	10.4%
いわき	1,034	100	9.7%
会津	815	87	10.7%
南会津	56	3	5.4%
県外	108	15	13.9%
合計	6,649	711	10.7%

※回答者数の割合の分母は送付数。要支援者数の割合の分母は回答者数。

【表20】 地域別要支援者の内訳

地域	うつ項目による支援		自由記載内容による支援		合計
	件数	割合	件数	割合	
県北	115	60.2%	76	39.8%	191
県中	130	59.4%	89	40.6%	219
県南	30	57.7%	22	42.3%	52
相双	27	61.4%	17	38.6%	44
いわき	61	61.0%	39	39.0%	100
会津	51	58.6%	36	41.4%	87
南会津	2	66.7%	1	33.3%	3
県外	8	53.3%	7	46.7%	15
合計	424	59.6%	287	40.4%	711

【表21】 地域別「主な相談内容」の内訳

地域	母親の心身の状態に関すること		子育て関連(生活)のこと		子どもの心身の健康に関すること		家庭生活に関すること		放射線の影響や心配に関すること		避難生活に関すること		その他		要支援者数
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
県北	110	57.6%	89	46.6%	29	15.2%	17	8.9%	5	2.6%	0	0.0%	52	27.2%	191
県中	114	52.1%	81	37.0%	36	16.4%	17	7.8%	6	2.7%	0	0.0%	72	32.9%	219
県南	29	55.8%	22	42.3%	11	21.2%	7	13.5%	3	5.8%	0	0.0%	16	30.8%	52
相双	20	45.5%	17	38.6%	9	20.5%	5	11.4%	1	2.3%	1	2.3%	16	36.4%	44
いわき	52	52.0%	44	44.0%	16	16.0%	14	14.0%	9	9.0%	0	0.0%	30	30.0%	100
会津	45	51.7%	38	43.7%	11	12.6%	6	6.9%	0	0.0%	0	0.0%	33	37.9%	87
南会津	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	66.7%	3
県外	7	46.7%	3	20.0%	2	13.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	8	53.3%	15
総計	378	53.2%	294	41.4%	114	16.0%	66	9.3%	24	3.4%	1	0.1%	229	32.2%	711

※分母は要支援者数。複数回答があるため、割合の合計は100.0%にならない。

【表 22】 支援終了の理由の内訳

地域	傾聴 ¹⁾		受診先等あり ²⁾		情報提供 ³⁾		受診勧奨 ⁴⁾		Q&A 対応 ⁵⁾		市町村へ ⁶⁾		こころへ ⁷⁾	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
県北	146	76.4%	46	24.1%	37	19.4%	19	9.9%	18	9.4%	0	0.0%	1	0.5%
県中	160	73.1%	48	21.9%	44	20.1%	20	9.1%	22	10.0%	1	0.5%	0	0.0%
県南	39	75.0%	9	17.3%	7	13.5%	2	3.8%	3	5.8%	1	1.9%	0	0.0%
相双	30	68.2%	6	13.6%	8	18.2%	3	6.8%	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%
いわき	71	71.0%	23	23.0%	24	24.0%	11	11.0%	11	11.0%	1	1.0%	0	0.0%
会津	60	69.0%	17	19.5%	14	16.1%	8	9.2%	8	9.2%	0	0.0%	2	2.3%
南会津	2	66.7%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
県外	7	46.7%	1	6.7%	6	40.0%	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	515	72.4%	151	21.2%	140	19.7%	64	9.0%	63	8.9%	3	0.4%	3	0.4%

地域	専門医紹介 ⁸⁾		放射線へ ⁹⁾		不在		連絡先不明		拒否		その他		要支援者数
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
県北	0	0.0%	0	0.0%	37	19.4%	6	3.1%	0	0.0%	2	1.0%	191
県中	1	0.5%	0	0.0%	48	21.9%	8	3.7%	0	0.0%	1	0.5%	219
県南	0	0.0%	0	0.0%	9	17.3%	4	7.7%	0	0.0%	0	0.0%	52
相双	0	0.0%	0	0.0%	11	25.0%	2	4.5%	1	2.3%	0	0.0%	44
いわき	0	0.0%	0	0.0%	25	25.0%	1	1.0%	0	0.0%	2	2.0%	100
会津	0	0.0%	0	0.0%	22	25.3%	5	5.7%	0	0.0%	0	0.0%	87
南会津	0	0.0%	0	0.0%	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3
県外	0	0.0%	0	0.0%	7	46.7%	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%	15
総計	1	0.1%	0	0.0%	160	22.5%	27	3.8%	1	0.1%	5	0.7%	711

※分母は要支援者数。内訳は延べ数。複数回答があるため、割合の合計は100.0%にならない。

¹⁾対象者の話をよく聴き、問題を整理し終了。

²⁾対象者に既に受診先や相談先があることを確認し終了。

³⁾対象者へ適切な情報提供・行政窓口を紹介し終了。

⁴⁾対象者に医師の診察を受けることを勧めて終了。

⁵⁾対象者の疑問・質問に回答し終了。

⁶⁾対象者の了承を得た上で、対象者の情報を市町村へ繋ぎ終了。

⁷⁾対象者の了承を得た上で、対象者の情報をこころの健康支援チーム（医大内）へ繋ぎ終了。

⁸⁾専門医（医大内）へ繋ぎ終了。

⁹⁾対象者の了承を得た上で、対象者の情報を放射線相談窓口（医大内）へ繋ぎ終了。

平成26年度「妊産婦に関する調査」回答者に対するフォローアップ調査結果報告

1 調査概要

(1) 目的

平成23年度以降、毎年異なる集団を対象とする横断調査「妊産婦に関する調査」を行っている。震災時に「妊産婦に関する調査」に回答した方は、特にうつ傾向の割合が高く、自由記載内容も深刻な内容を含んでいたため、平成23・24年度「妊産婦に関する調査」の回答者に対し、育児に自信がないと感じる母親が増加する時期である出産4年後にフォローアップ調査を行なった。その結果、うつ傾向と放射線の影響について不安を抱えている方が減少傾向であるが9割を占めたため、平成25年度に引き続き、平成26年度「妊産婦に関する調査」の回答者に対してもフォローアップ調査を実施し、健康状態を把握し、支援が必要な方には電話支援を継続することを目的とした。

(2) 対象者

平成26年度の調査の回答者（流産、中絶、死産を除く）のうち、市町村への照会により母子ともに生存が確認された5,856人

[参考]	実施年度	対象者	対象者数
	平成27年度	平成23年度調査回答者	7,252人
	平成28年度	平成24年度調査回答者	5,602人
	平成29年度	平成25年度調査回答者	5,734人
	平成30年度	平成26年度調査回答者	5,856人

(3) 実施方法

ア 調査票：自記式調査票（ハガキ）

イ 調査票送付日：平成31年1月11日

ウ 調査回答方法：郵送及びオンライン

※オンライン回答期間は、平成31年1月11日から平成31年4月30日

(4) 調査項目

調査項目は以下のとおり

問1 あなたはふだんご自分で健康だと思いますか？

問2 ここ最近1ヶ月間、気分が沈んだり、憂うつな気持ちになったりすることがよくありましたか？

問3 ここ最近1ヶ月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは、心から楽しめない感じがよくありましたか？

問4 育児に自信がもてないことがありますか？

問5 放射線の影響について不安なこと全ての□に✓を記入してください。

□水 □食品 □子どもの外遊び □子どもの健康 □偏見 □遺伝的な影響 □その他

問6 お子様はこれまでに入院を要した病気にかかったことがありますか？

問7 お子様のことで心配なこと全ての□に✓を記入してください。

□こころと身体の発達 □病気 □生活習慣 □その他

(5) 集計対象期間

平成31年1月11日から令和元年8月31日の回答

[参考]

実施年度	調査名	集計対象期間 (オンライン回答受付期間)
平成 27 年度	平成 23 年度調査回答者に対するフォローアップ調査 (以下「平成 23 年度フォローアップ調査」という。)	平成 27 年 9 月 14 日～平成 28 年 5 月 31 日 (オンライン回答は行っていない)
平成 28 年度	平成 24 年度調査回答者に対するフォローアップ調査 (以下「平成 24 年度フォローアップ調査」という。)	平成 28 年 11 月 22 日～平成 29 年 6 月 30 日 (平成 28 年 11 月 22 日～平成 29 年 6 月 30 日)
平成 29 年度	平成 25 年度調査回答者に対するフォローアップ調査 (以下「平成 25 年度フォローアップ調査」という。)	平成 30 年 1 月 12 日～8 月 31 日 (平成 30 年 1 月 12 日～4 月 30 日)
平成 30 年度	平成 26 年度調査回答者に対するフォローアップ調査 (以下「平成 26 年度フォローアップ調査」という。)	平成 31 年 1 月 11 日～令和元年 8 月 31 日 (平成 31 年 1 月 11 日～4 月 30 日)

2 集計結果概要

集計結果は、『5 平成 26 年度フォローアップ調査結果集計(1)、(2)、(3)』のとおり。なお、各項目に欠損値があるため、合計は有効回答者数と一致しない場合がある。

(1) 回答数及び回答率について (参照：表 1)

平成 26 年度フォローアップ調査の回答者数(回答率)は 2,719 人(46.4%)であった。集計対象とした有効回答者数は 2,719 人であった(無効回答者数 0 人)。そのうち、オンライン回答者数(回答率)は 768 人(28.2%)であった。

[参考]

実施年度	調査名	回答者数(人)			
		全体 回答者数 (回答率)	回答方法の内訳		
			郵送	オンライン	全回答のうち オンライン回答の 占める割合
平成 27 年度	平成 23 年度 フォローアップ調査	2,554 人 (35.2%)	2,554	-	-
平成 28 年度	平成 24 年度 フォローアップ調査	2,021 人 (36.1%)	1,719	302	14.9%
平成 29 年度	平成 25 年度 フォローアップ調査	2,706 人 (47.2%)	2,062	644	23.8%
平成 30 年度	平成 26 年度 フォローアップ調査	2,719 人 (46.4%)	1,951	768	28.2%

(2) 地域別回答者数について (参照：表 1)

平成 26 年度フォローアップ調査の回答者数(回答率)を地域別にみると、県北地域 753 人(51.5%)、県中地域 815 人(45.8%)、県南地域 194 人(45.9%)、相双地域 175 人(41.8%)、いわき地域 480 人(46.7%)、会津地域 281 人(40.5%)、南会津地域 21 人(38.9%)であった。

[参考] 実施年度	調査名	地域別回答者数（人） （地域別回答率：％）						
		県北	県中	県南	相双	いわき	会津	南会津
平成 27 年度	平成 23 年度 フォローアップ調査	679 (38.7)	721 (32.7)	168 (34.1)	256 (34.9)	434 (35.9)	271 (34.5)	25 (34.7)
平成 28 年度	平成 24 年度 フォローアップ調査	675 (45.3)	508 (32.2)	165 (36.4)	113 (30.5)	330 (32.5)	212 (33.4)	18 (29.0)
平成 29 年度	平成 25 年度 フォローアップ調査	770 (49.4)	716 (47.1)	204 (44.0)	192 (46.6)	479 (46.0)	315 (46.9)	30 (44.1)
平成 30 年度	平成 26 年度 フォローアップ調査	753 (51.5)	815 (45.8)	194 (45.9)	175 (41.8)	480 (46.7)	281 (40.5)	21 (38.9)

(3) 母親のメンタルヘルスについて（参照：表 2～5）

ア 主観的健康感の悪い（「あまり健康ではない」または「健康ではない」と答えた母親の割合は 7.9%であった。4 年前の平成 26 年度調査では、3.9%であった。（問 1）

[参考]	フォローアップ調査時	4 年前の調査時
平成 23 年度 対象者	9.6%	該当設問なし
平成 24 年度 対象者	9.3%	3.8%
平成 25 年度 対象者	7.9%	3.7%
平成 26 年度 対象者	7.9%	3.9%

イ うつ傾向ありと判定された母親の割合は 22.5%であった。4 年前の平成 26 年度調査では、23.4%であった。（問 2、問 3）

[参考]	調査名	フォローアップ調査時	4 年前の調査時
	平成 23 年度 対象者	25.6%	27.1%
	平成 24 年度 対象者	25.7%	25.5%
	平成 25 年度 対象者	23.5%	24.5%
	平成 26 年度 対象者	22.5%	23.4%

(4) 家庭と育児の状況について（参照：表 6）

育児の自信がもてないことがあると回答した割合は 17.7%であった。4 年前の平成 26 年度調査では、16.6%であった。（問 4）

[参考]	調査名	フォローアップ調査時	4 年前の調査時
	平成 23 年度 対象者	15.8%	該当設問なし
	平成 24 年度 対象者	18.2%	15.4%
	平成 25 年度 対象者	16.7%	17.5%
	平成 26 年度 対象者	17.7%	16.6%

参考値：平成 22 年乳幼児健康度調査によると、児が 4 歳の時に育児に自信がもてないことがあると回答した割合は 23.0%であった。

(5) 放射線の影響への不安について（参照：表 7）

放射線の影響への不安なことについて、項目にひとつでもチェックした方の割合は 85.4%であった。放射線の影響への不安にチェックをした方の中で、「子どもの健康」について不安があると回答した割合は 63.3%であった。（問 5）

[参考]

実施年度	調査名	放射線の影響への不安について、ひとつでもチェックした割合	放射線の影響への不安にチェックをした方の中で「子どもの健康」に不安があるにチェックした割合
平成 27 年度	平成 23 年度 フォローアップ調査	94.2%	79.5%
平成 28 年度	平成 24 年度 フォローアップ調査	90.9%	68.7%
平成 29 年度	平成 25 年度 フォローアップ調査	87.5%	66.3%
平成 30 年度	平成 26 年度 フォローアップ調査	85.4%	63.3%

(6) 出産した子どもの健康状態・不安について（参照：表 8-1～8-2、表 9）

ア これまでに入院を要した病気にかかったことがある割合は 25.3%であった。

入院時の主な疾患は肺炎、RS ウイルス感染症、気管支炎などであった。（問 6）

[参考]

実施年度	調査名	これまでに入院を要した病気にかかったことがある割合
平成 27 年度	平成 23 年度 フォローアップ調査	24.7%
平成 28 年度	平成 24 年度 フォローアップ調査	24.4%
平成 29 年度	平成 25 年度 フォローアップ調査	23.7%
平成 30 年度	平成 26 年度 フォローアップ調査	25.3%

イ お子様のことで心配なことについて、ひとつでもチェックした方の割合は 63.4%であった。（問 7）

[参考]

実施年度	調査名	子どものことで心配について、ひとつでもチェックした割合	「こころと身体の発達」にチェックした割合	「病気」にチェックした割合
平成 27 年度	平成 23 年度 フォローアップ調査	70.8%	56.1%	57.6%
平成 28 年度	平成 24 年度 フォローアップ調査	66.9%	56.9%	45.5%
平成 29 年度	平成 25 年度 フォローアップ調査	61.2%	57.4%	40.4%
平成 30 年度	平成 26 年度 フォローアップ調査	63.4%	56.9%	38.7%

(7) 自由記載内容について（参照：表 10-1～10-2）

自由記載欄の記載者数（記載割合）は 198 人（7.3%）であった。記載内容を分類したところ、主な自由記載内容は、「この調査への賛同」、「この調査への意見・苦情」、「育児相談」であった。

[参考]

実施年度	調査名	自由記載の記載者数 (記載割合)	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
平成27年度	平成23年度 フォローアップ調査	383人 (15.0%)	胎児・子どもへの放射線の影響の心配 53(13.8%)	この調査への賛同 47(12.3%)	この調査への意見・苦情 44(11.5%)	放射線についての情報発信や調査結果の公表の要望 37(9.7%)	甲状腺検査への要望 23(6.0%)
平成28年度	平成24年度 フォローアップ調査	186人 (9.2%)	この調査への賛同 33(17.7%)	この調査への意見・苦情 24(12.9%)	胎児・子どもへの放射線の影響の心配 23(12.4%)	育児相談 17(9.1%)	育児支援サービスの充実の要望 14(7.5%)
平成29年度	平成25年度 フォローアップ調査	208人 (7.7%)	この調査への賛同 36(17.3%)	この調査への意見・苦情 25(12.0%)	胎児・子どもへの放射線の影響の心配 24(11.5%)	本人の精神的不調の訴え 16(7.7%)	育児支援サービスの充実の要望 15(7.5%)
平成30年度	平成26年度 フォローアップ調査	198人 (7.3%)	この調査への賛同 42(21.2%)	この調査への意見・苦情 26(13.1%)	育児相談 17(8.6%)	胎児・子どもへの放射線の影響の心配 14(7.1%)	育児支援サービスの充実の要望 14(7.1%)

(8) まとめ

平成26年度フォローアップ調査では、主観的健康感の悪い方の割合は昨年度と変わらず、うつ傾向、放射線の影響への不安の割合は経年的に減少傾向を示した。

- ア 回答率は46.4%であり、平成23・24年度フォローアップ調査より上回り、平成25年度フォローアップ調査より下回った。
- イ 主観的健康度の悪い方（あまり健康ではない、健康ではない）の割合は7.9%であり、平成23・24年度フォローアップ調査より下回り、平成25年度フォローアップ調査と同様であった。
- ウ うつ傾向は22.5%であり、経年的に減少傾向を示した。また、4年前の平成26年度調査より下回った。
- エ 放射線の影響への不安について、ひとつでもチェックした方の割合は85.4%であり、経年的に減少傾向を示した。
- オ お子様のことで心配なことについて、ひとつでもチェックした方の割合は63.4%であり、平成23・24年度フォローアップ調査より下回り、平成25年度フォローアップ調査より上回った。心配の内容としては、「こころと身体の発達」の割合が最も高かった（56.9%）。
- カ 自由記載ありの割合は7.3%であり、胎児・子どもへの放射線の影響の心配は経年的に減少傾向を示した。

3 支援概要

(1) 支援目的

平成 26 年度フォローアップ調査の回答者のうち、相談・支援の必要があると判断された方に、助産師・保健師等による電話・メールによる相談・支援を実施することにより不安等を軽減させること。

(2) 要支援対象者（参照：表 11）

平成 26 年度フォローアップ調査回答者（平成 31 年 1 月 11 日から令和元年 8 月 31 日の期間内に回答があった方）のうち、電話による相談・支援が必要だと判断された方（以下「要支援者」という。）

(3) 支援選定基準（参照：表 12）

下記のア、イいずれかに該当する方

ア 調査票のうつ 2 項目に該当のある方（問 2、問 3）

イ 自由記載内容により支援が必要と判断された方（自由記載欄、その他の項目の記載内容）

例：落ち込みの激しい書き込みがあった方、育児支援を必要としている方、放射線の数値について気にしている方、体調不良を訴えている方、直接的要望・具体的に回答を希望している方、支援要望のあった方など

(4) 方法

電話やメールによる相談・支援

4 支援結果概要

支援結果は、『5 平成 26 年度フォローアップ調査結果集計（4）支援状況』のとおりである。

(1) 要支援者数について（参照：表 11、表 12）

平成 31 年 1 月 11 日から令和元年 8 月 31 日の期間内の回答者 2,719 人のうち、電話による相談・支援が必要だと判断された方（要支援者）は 380 人であった。

自由記載内容による支援については、平成 29 年度から、自由記載欄以外にその他の項目の記載内容に具体的な心配の内容を記載している方も支援対象へ加えた。その結果、うつ項目による要支援率は 9.7%、自由記載内容による要支援率は 4.2%であり、合計要支援率は 14.0%となった。

[参考]

実施年度	調査名	回答者数	うつ項目による要支援者数 (要支援率)	自由記載内容による要支援者数 (要支援率)		合計要支援者数 (要支援率)
				自由記載欄内容	その他の項目の記載内容	
平成 27 年度	平成 23 年度 フォローアップ調査	2,554	299 (11.7%)	76 (3.0%)	-	375 (14.7%)
平成 28 年度	平成 24 年度 フォローアップ調査	2,021	209 (10.3%)	47 (2.3%)	-	256 (12.7%)
平成 29 年度	平成 25 年度 フォローアップ調査	2,706	277 (10.2%)	51 (1.9%)	65 (2.4%)	393 (14.5%)
平成 30 年度	平成 26 年度 フォローアップ調査	2,719	265 (9.7%)	31 (1.1%)	84 (3.1%)	380 (14.0%)

※うつ項目と自由記載内容のいずれにも該当した場合、うつ項目による要支援者数に計上した。

(2) 相談内容について（参照：表 13）

電話での相談内容は、これまでのフォローアップ調査と同様の支援基準によると「母親の心身の状態に関すること」26.4%が最も多く、次いで、「子育て関連（生活）のこと」12.2%であった。

「放射線の影響や心配に関すること」の相談割合は5.7%であり、前年度より減少した。

[参考]

実施年度	調査名	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	要支援者数	
平成27年度	平成23年度 フォローアップ調査 (うつ項目と自由記載欄)	母親の心身の 状態 に関すること 129(34.4%)	放射線の影響や 心配 に関すること 96(25.6%)	子育て関連 (生活)のこと 81(21.6%)	子どもの心身の 健康 に関すること 68(18.1%)	家庭生活 に関すること 52(13.9%)	375	
平成28年度	平成24年度 フォローアップ調査 (うつ項目と自由記載欄)	母親の心身の 状態 に関すること 115(44.9%)	子育て関連 (生活)のこと 59(23.0%)	子どもの心身の 健康 に関すること 58(22.7%)	放射線の影響や 心配 に関すること 34(13.3%)	家庭生活 に関すること 27(10.5%)	256	
平成29年度 ※1	平成25年度 フォローアップ調査 (うつ項目と自由記載欄)	母親の心身の 状態 に関すること 118(36.0%)	子育て関連 (生活)のこと 91(27.7%)	家庭生活 に関すること 48(14.6%)	放射線の影響や 心配 に関すること 43(13.1%)	子どもの心身の 健康 に関すること 32(9.8%)	328	393
	※2(その他の項目の記載内容による支援)	子育て関連 (生活)のこと 30(46.2%)	放射線の影響や 心配 に関すること 17(26.2%)	子どもの心身の 健康 に関すること 6(9.2%)	母親の心身の 状態 に関すること 4(6.2%)	家庭生活 に関すること 2(3.1%)	65	
平成30年度 ※1	平成26年度 フォローアップ調査 (うつ項目と自由記載欄)	母親の心身の 状態 に関すること 78(26.4%)	子育て関連 (生活)のこと 36(12.2%)	家庭生活 に関すること 19(6.4%)	放射線の影響や 心配 に関すること 17(5.7%)	子どもの心身の 健康 に関すること 16(5.4%)	296	380
	※2(その他の項目の記載内容による支援)	放射線の影響や 心配 に関すること 19(22.6%)	子育て関連 (生活)のこと 9(10.7%)	子どもの心身の 健康 に関すること 8(9.5%)	母親の心身の 状態 に関すること 4(4.8%)	家庭生活 に関すること 3(3.6%)	84	

※1 平成25年度フォローアップ調査以降、支援基準や入力方法（入力フォームや入力者）に変更あり

※2 平成25年度フォローアップ調査以降で追加

(3) 支援終了の理由について（参照：表 14）

支援終了の理由は、「傾聴（対象者の話をよく聴き、問題を整理し終了）」229 件（60.3%）、「情報提供・行政窓口を紹介し終了」90 件（23.7%）であった。不在は 124 件（32.6%）であった（複数回答あり。割合の分母は要支援者数）。

[参考]

実施年度	調査名	第 1 位	第 2 位	第 3 位	不在
平成 27 年度	平成 23 年度 フォローアップ調査	傾聴* ₁ 197(52.5%)	情報提供* ₂ 105(28.0%)	受診先等あり* ₃ 29(7.7%)	131 (34.9%)
平成 28 年度	平成 24 年度 フォローアップ調査	傾聴 159(62.1%)	情報提供 53(20.7%)	受診先等あり 26(10.2%)	70 (27.3%)
平成 29 年度	平成 25 年度 フォローアップ調査	傾聴 245(62.3%)	情報提供 133(33.8%)	受診先等あり 66(16.8%)	119 (30.3%)
平成 30 年度	平成 26 年度 フォローアップ調査	傾聴 229(60.3%)	情報提供 90(23.7%)	受診先等あり 55(14.5%)	124 (32.6%)

*₁ 対象者の話をよく聴き、問題を整理し支援終了、*₂ 適切な情報提供・行政窓口を紹介し支援終了、

*₃ 既に受診先や相談先があることを確認し終了

(4) まとめ

ア うつ項目による要支援率は 9.7%であり、前年度のフォローアップ調査と同様であった

イ 初年度、次年度のフォローアップ調査と同様の支援基準（うつ傾向と自由記載欄のみ）によると、相談内容では「母親の心身の状態に関すること」が最も多かった。また、「放射線の影響や心配に関すること」の相談内容の割合は減少傾向を示した。

ウ 支援終了の理由は主に「傾聴（対象者の話をよく聴き、問題を整理し終了）」であった。

5 平成 26 年度フォローアップ調査結果集計

調査対象者：平成 26 年度妊産婦調査回答者の中で、出産された方のうち、平成 30 年 9 月に母子の生存が確認された 5,856 人

集計対象者：平成 31 年 1 月 11 日にアンケート送付。平成 31 年 1 月 11 日～令和元年 8 月 31 日までに回答のあった 2,719 人

※割合（％）は、端数処理を行っているため、各項目の％の合計は 100％とならないこともある。

(1) 送付数と回答状況

【表 1】

地域	送付数		回答者数					
			全体（回答率）		回答方法の内訳			
					郵送		オンライン	
県北	1,461	24.9%	753	(51.5%)	547	72.6%	206	27.4%
県中	1,778	30.4%	815	(45.8%)	574	70.4%	241	29.6%
県南	423	7.2%	194	(45.9%)	144	74.2%	50	25.8%
相双	419	7.2%	175	(41.8%)	130	74.3%	45	25.7%
いわき	1,028	17.6%	480	(46.7%)	337	70.2%	143	29.8%
会津	693	11.8%	281	(40.5%)	204	72.6%	77	27.4%
南会津	54	0.9%	21	(38.9%)	15	71.4%	6	28.6%
合計	5,856	100.0%	2,719	(46.4%)	1,951	71.8%	768	28.2%

(2) 調査項目別集計

回答者 2,719 人について集計した（無効回答 0 人）。なお、各項目には、それぞれ無回答・無効回答がある。

【表 2】あなたはふだご自分で健康だと思いますか？（問 1）

主観的健康度の悪い（「あまり健康ではない」または「健康ではない」と答えた）方の割合 7.9%

地域	非常に健康		まあ健康な方		あまり健康ではない		健康ではない		無・無効回答		合計
県北	123	16.3%	568	75.4%	55	7.3%	6	0.8%	1	0.1%	753
県中	143	17.5%	596	73.1%	65	8.0%	6	0.7%	5	0.6%	815
県南	24	12.4%	152	78.4%	17	8.8%	1	0.5%	0	0.0%	194
相双	25	14.3%	135	77.1%	14	8.0%	1	0.6%	0	0.0%	175
いわき	113	23.5%	335	69.8%	30	6.3%	1	0.2%	1	0.2%	480
会津	48	17.1%	213	75.8%	16	5.7%	4	1.4%	0	0.0%	281
南会津	2	9.5%	19	90.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	21
合計	478	17.6%	2018	74.2%	197	7.2%	19	0.7%	7	0.3%	2,719

【表 3】ここ最近 1 ヶ月間、気分が沈んだり、憂うつな気持ちになったりすることがよくありましたか？（問 2）

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計
県北	161	21.4%	585	77.7%	7	0.9%	753
県中	163	20.0%	640	78.5%	12	1.5%	815
県南	36	18.6%	155	79.9%	3	1.5%	194
相双	46	26.3%	127	72.6%	2	1.1%	175
いわき	80	16.7%	394	82.1%	6	1.3%	480
会津	62	22.1%	218	77.6%	1	0.4%	281
南会津	2	9.5%	19	90.5%	0	0.0%	21
合計	550	20.2%	2,138	78.6%	31	1.1%	2,719

【表4】ここ最近1ヶ月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか？(問3)

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計
県北	92	12.2%	654	86.9%	7	0.9%	753
県中	108	13.3%	695	85.3%	12	1.5%	815
県南	20	10.3%	171	88.1%	3	1.5%	194
相双	22	12.6%	151	86.3%	2	1.1%	175
いわき	41	8.5%	433	90.2%	6	1.3%	480
会津	42	14.9%	238	84.7%	1	0.4%	281
南会津	2	9.5%	19	90.5%	0	0.0%	21
合計	327	12.0%	2,361	86.8%	31	1.1%	2,719

【表5】うつ傾向 (問2、問3の両設間で「はい」またはいずれかに「はい」と答えた方)

地域	両方「はい」		いずれかが「はい」		両方「いいえ」		無・無効回答		合計
県北	76	10.1%	101	13.4%	569	75.6%	7	0.9%	753
県中	86	10.6%	99	12.1%	618	75.8%	12	1.5%	815
県南	15	7.7%	26	13.4%	150	77.3%	3	1.5%	194
相双	18	10.3%	32	18.3%	123	70.3%	2	1.1%	175
いわき	32	6.7%	57	11.9%	385	80.2%	6	1.3%	480
会津	36	12.8%	32	11.4%	212	75.4%	1	0.4%	281
南会津	2	9.5%	0	0.0%	19	90.5%	0	0.0%	21
合計	265	9.7%	347	12.8%	2,076	76.4%	31	1.1%	2,719

※うつ傾向 22.5% [612人(両方「はい」+いずれかが「はい」) / 合計2,719人]

【表6】育児に自信がもてないことがありますか？(問4)

地域	はい		いいえ		何ともいえない		無・無効回答		合計
県北	153	20.3%	297	39.4%	298	39.6%	5	0.7%	753
県中	130	16.0%	308	37.8%	375	46.0%	2	0.2%	815
県南	38	19.6%	86	44.3%	70	36.1%	0	0.0%	194
相双	35	20.0%	70	40.0%	70	40.0%	0	0.0%	175
いわき	70	14.6%	236	49.2%	173	36.0%	1	0.2%	480
会津	54	19.2%	115	40.9%	111	39.5%	1	0.4%	281
南会津	0	0.0%	13	61.9%	8	38.1%	0	0.0%	21
合計	480	17.7%	1,125	41.4%	1,105	40.6%	9	0.3%	2,719

【表7】放射線の影響について不安なこと全ての□に✓を記入してください。(問5)

地域	子どもの健康		偏見		食品		遺伝的な影響		水		子どもの外遊び		その他		有効回答
県北	434	67.1%	297	45.9%	208	32.1%	204	31.5%	146	22.6%	156	24.1%	8	1.2%	647
県中	453	64.4%	340	48.4%	234	33.3%	239	34.0%	218	31.0%	199	28.3%	8	1.1%	703
県南	117	69.6%	88	52.4%	69	41.1%	52	31.0%	65	38.7%	45	26.8%	0	0.0%	168
相双	85	57.0%	72	48.3%	64	43.0%	55	36.9%	59	39.6%	27	18.1%	0	0.0%	149
いわき	226	57.1%	168	42.4%	145	36.6%	111	28.0%	151	38.1%	98	24.7%	4	1.0%	396
会津	142	59.4%	87	36.4%	105	43.9%	54	22.6%	78	32.6%	61	25.5%	1	0.4%	239
南会津	12	63.2%	6	31.6%	9	47.4%	7	36.8%	3	15.8%	4	21.1%	0	0.0%	19
合計	1,469	63.3%	1,058	45.6%	834	35.9%	722	31.1%	720	31.0%	590	25.4%	21	0.9%	2,321

※分母は有効回答(□に✓を記入した方)。複数回答があるため、割合の合計は100.0%にならない。

※ひとつでもチェックをした方 85.4% [2,321人 / 合計2,719人]

以下の問6、問7は、平成25年8月1日～平成27年4月23日に生まれたお子様についてお尋ねいたします。

【表8-1】 お子様はこれまでに入院を要した病気にかかったことがありますか？(問6)

地域	はい		いいえ		無・無効回答		合計
県北	207	27.5%	538	71.4%	8	1.1%	753
県中	208	25.5%	593	72.8%	14	1.7%	815
県南	55	28.4%	137	70.6%	2	1.0%	194
相双	48	27.4%	126	72.0%	1	0.6%	175
いわき	88	18.3%	388	80.8%	4	0.8%	480
会津	72	25.6%	206	73.3%	3	1.1%	281
南会津	11	52.4%	10	47.6%	0	0.0%	21
合計	689	25.3%	1,998	73.5%	32	1.2%	2,719

【表8-2】 問6の設問(お子様はこれまでに入院を要した病気にかかったことがありますか?)に「はい」と答えた方の病名の内訳(複数回答あり)

肺炎	160	てんかん	3	ウイルス性肺炎	1	神経芽腫	1
R S ウィルス感染症	85	ロタウイルス胃腸炎	3	ウエスト症候群	1	水頭症	1
気管支炎	58	黄疸	3	クループ	1	赤芽球癆	1
熱性けいれん	48	急性鼻咽頭炎	3	クレブシエラ肺炎	1	先天性くも膜のう胞	1
川崎病	44	細気管支炎	3	けいれん重積	1	先天性十二指腸狭窄	1
喘息	34	食物アレルギー	3	ヒトメタニューモウイルス感染症	1	先天性上気道狭窄症	1
胃腸炎	31	心臓病	3	ヒトメタニューモウイルス気管支炎	1	多発性紅斑	1
鼠径ヘルニア	26	アレルギー性紫斑病	2	ヒトメタニューモウイルス気管支肺炎	1	太田母斑	1
気管支喘息	14	ウイルス性胃腸炎	2	ヒトメタニューモウイルス肺炎	1	胎便吸引症候群	1
インフルエンザ	13	ノロウイルス胃腸炎	2	ヘルパンギーナ	1	大腸ポリープ	1
尿路感染症	13	移動性精巣	2	ヘルペス感染症	1	中毒疹	1
アデノウイルス感染症	10	気管支肺炎	2	ヘルペス性歯肉口内炎	1	腸閉塞	1
R S ウィルス肺炎	9	急性喉頭炎	2	リンパ節炎	1	低酸素脳症	1
中耳炎	9	急性上気道炎	2	下顎骨骨折	1	頭蓋骨縫合早期癒合症	1
マイコプラズマ肺炎	8	口唇裂	2	化膿性リンパ節炎	1	特発性血小板減少性紫斑病	1
クループ症候群	7	好中球減少症	2	化膿性膝関節炎	1	難聴	1
腸重積	7	脂肪芽腫	2	回腸末端炎	1	尿管肥大	1
かぜ症候群	6	心房中隔欠損症	2	眼瞼下垂	1	尿管管遺残	1
ノロウイルス感染症	6	新生児黄疸	2	気胸	1	熱傷	1
脱水症	6	水腎症	2	急性筋炎	1	副耳	1
突発性発疹	6	多形滲出性紅斑	2	極低出生体重児	1	蜂窩織炎	1
溶連菌感染症	6	超低出生体重児	2	結膜デルモイド	1	慢性肺疾患	1
けいれん	5	停留睾丸	2	血管腫	1	卵アレルギー	1
ネフローゼ症候群	5	尿道下裂	2	口唇口蓋裂	1	卵巣滑脱ヘルニア	1
ロタウイルス感染症	5	肥厚性幽門狭窄症	2	喉頭炎	1	漏斗胸	1
咽頭炎	5	母斑	2	喉頭軟化症	1	喘息性気管支炎	1
急性気管支肺炎	5	無呼吸症候群	2	合趾症	1	喘息発作	1
手足口病	5	扁桃炎	2	骨折	1	扁桃咽頭炎	1
腎盂腎炎	5	臍ヘルニア	2	紫斑病	1	扁桃腺肥大	1
低血糖症	5	I型糖尿病	1	耳下リンパ節炎	1	肛門周囲膿瘍	1
停留精巣	5	E B ウィルス	1	自家中毒	1	腋窩部蜂窩織炎	1
陰嚢水腫	4	R S ウィルス気管支肺炎	1	若年性ポリープ	1	膀胱尿管逆流症	1
心室中隔欠損症	4	アデノウイルス胃腸炎	1	小児てんかん	1	頸部膿瘍	1
低出生体重児	4	アフタ性口内炎	1	小腸異常症	1	Peters 奇形(先天性角膜混濁)	1
扁桃肥大	4	アレルギー	1	小腸閉鎖	1	ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群	1
R S ウィルス気管支炎	3	インフルエンザ菌肺炎	1	心疾患	1		
Aナフィキシーショック	3	ウイルス性気管支炎	1	新生児仮死	1		

【表 9】 お子様のことで心配なこと全ての□に✓を記入してください。(問 7)

地域	こころと身体の発達		生活習慣		病気		その他		有効回答
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
県北	281	56.8%	247	49.9%	190	38.4%	24	4.8%	495
県中	307	56.9%	275	50.9%	217	40.2%	16	3.0%	540
県南	79	63.2%	54	43.2%	54	43.2%	5	4.0%	125
相双	61	62.9%	42	43.3%	29	29.9%	7	7.2%	97
いわき	164	57.5%	126	44.2%	115	40.4%	10	3.5%	285
会津	82	48.0%	82	48.0%	57	33.3%	7	4.1%	171
南会津	7	58.3%	4	33.3%	5	41.7%	0	0.0%	12
合計	981	56.9%	830	48.1%	667	38.7%	69	4.0%	1,725

※分母は有効回答（□に✓を記入した方）。複数回答があるため、割合の合計は100.0%にならない。

※ひとつでもチェックをした方63.4% [1,725人 / 合計2,719人]

(3) 自由記載

【表 10-1】 自由記載ありの割合

地域	あり		なし		合計
	件数	割合	件数	割合	
県北	51	6.8%	702	93.2%	753
県中	60	7.4%	755	92.6%	815
県南	22	11.3%	172	88.7%	194
相双	12	6.9%	163	93.1%	175
いわき	29	6.0%	451	94.0%	480
会津	24	8.5%	257	91.5%	281
南会津	0	0.0%	21	100.0%	21
合計	198	7.3%	2,521	92.7%	2,719

【表 10-2】 自由記載内容の内訳

記載内容	件数	割合
この調査への賛同	42	21.2%
この調査への意見・苦情	26	13.1%
育児相談	17	8.6%
胎児・子どもへの放射線の影響についての心配	14	7.1%
育児支援サービスの充実の要望について	14	7.1%
情報発信や調査結果の公表への要望について	11	5.6%
医療サービスの不足への不安や不満	9	4.5%
本人の精神的不調への訴え	9	4.5%
医療サービスの充実や体のケアに対する要望	9	4.5%
除染・遊び場の確保への要望	7	3.5%
離乳食・食物への放射線の影響についての心配	6	3.0%
本人の身体的不調の訴え	6	3.0%
情報の信頼性・不足に対する不安や不満	4	2.0%
水への放射線の影響についての心配	3	1.5%
甲状腺検査への要望について	3	1.5%
経済的な不安・負担に対するもの	2	1.0%
経済的支援の要望	2	1.0%
県民健康調査への要望	2	1.0%
人間関係	2	1.0%
その他の検査調査関係	1	0.5%
避難の支援	1	0.5%
その他	48	24.2%

※複数回答あり。記載内容の割合の分母は、自由記載ありの人数198人

(4) 支援状況

平成 26 年フォローアップ調査 要支援者数 380 人（回答 2,719 人）（要支援率 14.0%）

支援に対しての集計は、平成 31 年 1 月 11 日～令和元年 8 月 31 日の回答者（2,719 人）を対象に行った。

【表 11】 要支援者数

地域	回答者数	要支援者数	
県北	753	105	13.9%
県中	815	121	14.8%
県南	194	24	12.4%
相双	175	26	14.9%
いわき	480	50	10.4%
会津	281	52	18.5%
南会津	21	2	9.5%
合計	2,719	380	14.0%

※回答者数の割合の分母は送付数。要支援者数の割合の分母は回答者数。

【表 12】 地域別要支援者の内訳

地域	うつ項目による支援		自由記載内容による支援		合計
県北	76	72.4%	29	27.6%	105
県中	86	71.1%	35	28.9%	121
県南	15	62.5%	9	37.5%	24
相双	18	69.2%	8	30.8%	26
いわき	32	64.0%	18	36.0%	50
会津	36	69.2%	16	30.8%	52
南会津	2	100.0%	0	0.0%	2
合計	265	69.7%	115	30.3%	380

※割合（%）は、端数処理を行っているため、各項目の%の合計は 100%とにならないこともある。

【表 13】 地域別「主な相談内容」の内訳

地域	母親の心身の状態 に関する事		子育て関連 (生活) の事		放射線の影響や 心配に関する事		子どもの心身の健康 に関する事		家庭生活 に関する事		避難生活 に関する事		その他		要支援者数
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
県北	32	30.5%	16	15.2%	5	4.8%	7	6.7%	4	3.8%	0	0.0%	62	59.0%	105
県中	23	19.0%	14	11.6%	16	13.2%	6	5.0%	9	7.4%	1	0.8%	73	60.3%	121
県南	4	16.7%	2	8.3%	4	16.7%	1	4.2%	0	0.0%	0	0.0%	17	70.8%	24
相双	7	26.9%	4	15.4%	0	0.0%	3	11.5%	4	15.4%	0	0.0%	15	57.7%	26
いわき	8	16.0%	4	8.0%	5	10.0%	4	8.0%	1	2.0%	0	0.0%	33	66.0%	50
会津	8	15.4%	5	9.6%	6	11.5%	3	5.8%	4	7.7%	0	0.0%	33	63.5%	52
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%	2
合計	82	21.6%	45	11.8%	36	9.5%	24	6.3%	22	5.8%	1	0.3%	235	61.8%	380

※分母は要支援者数。複数回答があるため、割合の合計は 100.0%にならない。

【表 14】 支援終了の理由の内訳

	傾聴 ¹⁾		情報提供 ²⁾		受診先等あり ³⁾		Q&A 対応 ⁴⁾		受診勧奨 ⁵⁾		ころへ ⁶⁾		市町村へ ⁷⁾	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
県北	73	69.5%	33	31.4%	24	22.9%	6	5.7%	3	2.9%	2	1.9%	0	0.0%
県中	71	58.7%	26	21.5%	18	14.9%	6	5.0%	4	3.3%	1	0.8%	0	0.0%
県南	13	54.2%	6	25.0%	4	16.7%	5	20.8%	1	4.2%	0	0.0%	0	0.0%
相双	14	53.8%	4	15.4%	3	11.5%	0	0.0%	1	3.8%	0	0.0%	0	0.0%
いわき	26	52.0%	9	18.0%	4	8.0%	7	14.0%	3	6.0%	0	0.0%	0	0.0%
会津	30	57.7%	12	23.1%	2	3.8%	2	3.8%	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%
南会津	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	229	60.3%	90	23.7%	55	14.5%	26	6.8%	13	3.4%	3	0.8%	0	0.0%

	放射線へ ⁸⁾		専門医紹介 ⁹⁾		不在		連絡先不明		拒否		その他		要支援者数
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
県北	0	0.0%	0	0.0%	27	25.7%	2	1.9%	1	1.0%	1	1.0%	105
県中	0	0.0%	0	0.0%	42	34.7%	3	2.5%	0	0.0%	3	2.5%	121
県南	0	0.0%	0	0.0%	9	37.5%	2	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	24
相双	0	0.0%	0	0.0%	8	30.8%	4	15.4%	0	0.0%	0	0.0%	26
いわき	0	0.0%	0	0.0%	21	42.0%	3	6.0%	0	0.0%	0	0.0%	50
会津	0	0.0%	0	0.0%	17	32.7%	4	7.7%	0	0.0%	1	1.9%	52
南会津	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2
合計	0	0.0%	0	0.0%	124	32.6%	18	4.7%	1	0.3%	5	1.3%	380

※分母は要支援者数。内訳は延べ数。複数回答があるため、割合の合計は100.0%にならない。

1) 対象者の話をよく聴き、問題を整理し終了。

2) 対象者へ適切な情報提供・行政窓口を紹介し終了。

3) 対象者に既に受診先や相談先があることを確認し終了。

4) 対象者の疑問・質問に回答し終了。

5) 対象者に医師の診察を受けることを勧めて終了。

6) 対象者の了承を得た上で、対象者の情報をころの健康支援チーム（医大内）へ繋ぎ終了。

7) 対象者の了承を得た上で、市町村へ繋ぎ終了。

8) 対象者の了承を得た上で、対象者の情報を放射線相談窓口（医大内）へ繋ぎ終了。

9) 専門医（医大内）へ繋ぎ終了。

県民健康調査「妊産婦に関する調査」結果まとめ（平成23年度～平成30年度）

1 調査の目的と概要

「妊産婦に関する調査」については、福島県で子どもを産み育てようとする妊産婦のこころやかからだの健康状態、意見・要望等を的確に把握し、不安の軽減や必要なケアを提供することを目的に、平成23年度から毎年調査を実施してきた。

また、「フォローアップ調査（追跡調査）」については、震災時の調査回答者は、特にうつ傾向の割合が高かったことから、育児に自信が無いと感じる母親が増加するが、健康診査がない時期の出産4年後にあたる平成27年度（平成23年度回答者）から毎年調査を実施してきた。

2 調査と支援の実施概要

(1) 本調査

対象者 県内の市町村から母子健康手帳を交付された方

県外で母子健康手帳を交付された方のうち、県内で妊婦健診を受け、分娩した方

- 調査項目
- ・妊娠の転帰と子どもの健康状態
 - ・妊産婦のこころの健康度
 - ・現在の生活状況（避難生活、家族離散の状況）
 - ・出産状況や妊娠経過中の健康状態
 - ・育児の自信
 - ・次回妊娠に対する意識

調査方法 調査票を発送し、郵送による回答及び平成28年度よりオンライン回答を導入。

(2) フォローアップ調査（追跡調査）

対象者 平成23年度～26年度の本調査に回答された方

- 調査項目
- ・母親のこころの健康度
 - ・子育ての自信
 - ・放射線の影響で心配なこと
 - ・子どもの入院
 - ・子どものことで心配なこと

調査方法 調査票を発送し、郵送による回答及び平成28年度よりオンライン回答を導入。

(3) 支援の実施

支援基準

下記のア、イいずれかに該当する方

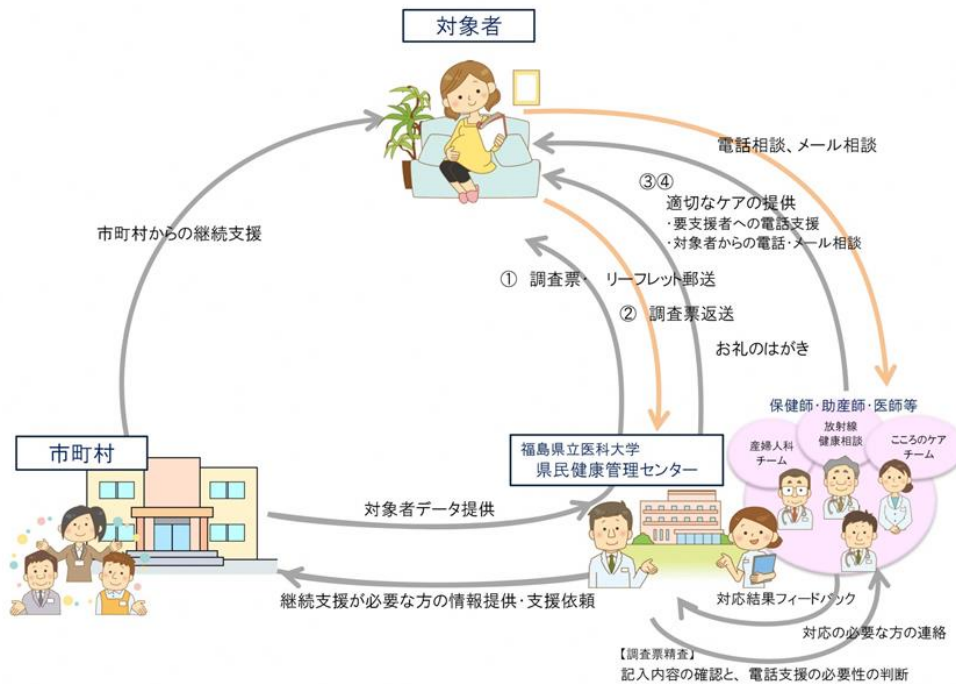
ア 調査票のうち2項目に該当のある方

イ 自由記載内容により支援が必要と判断された方（自由記載欄、その他の項目の記載内容）

例：落ち込みの激しい書き込みがあった方、育児支援を必要としている方、放射線の数値について気にしている方、体調不良を訴えている方、具体的に回答を希望している方、支援要望のあった方など

支援方法

- ア 対象者から返送された調査票を、受領後速やかに回答内容を確認し、支援の必要のある方をピックアップする。
- イ 県民健康管理センター専任の助産師、保健師等が架電による相談・支援を順次実施する。
- ウ 電話対応時、より専門的な対応が必要と思われるケースが発生した場合は、専門の医師につなぎ対応を依頼する。また、地域での見守りが必要と判断した方へは、居住地の市町村へ対応を依頼する。
- エ 妊産婦調査の専用メールアドレスや、専用回線を設け、対象者からの相談を受け付け、支援を行う。



3 調査の結果

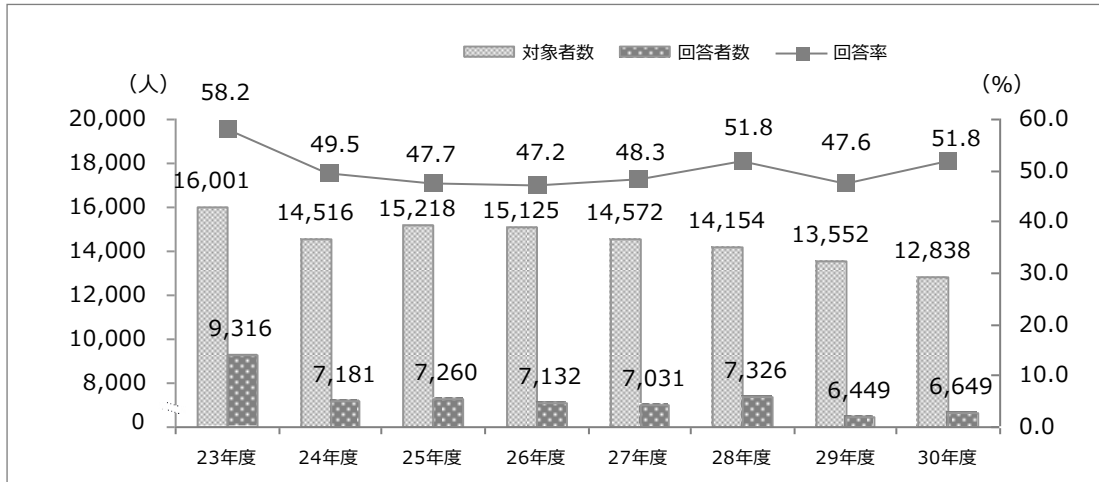
(1) 対象者数、回答数及び回答率

本調査は、8年間を通じ、5割前後の回答率を維持し、調査への関心の高さが示された。地域別にみると、震災後は県北地域と相双地域が6割を超していたが、その後は各地域とも目立った変化は見られない。対象者数は、震災直後の平成24年度は一時的に落ち込み、平成25年度には回復したが、その後は全国の出生数の傾向と同様に減少傾向にある。

また、フォローアップ調査の回答率は、本調査よりはやや低いものの、上昇傾向である。地域別にみても同様に全地域において直近2回の調査が高くなっている。

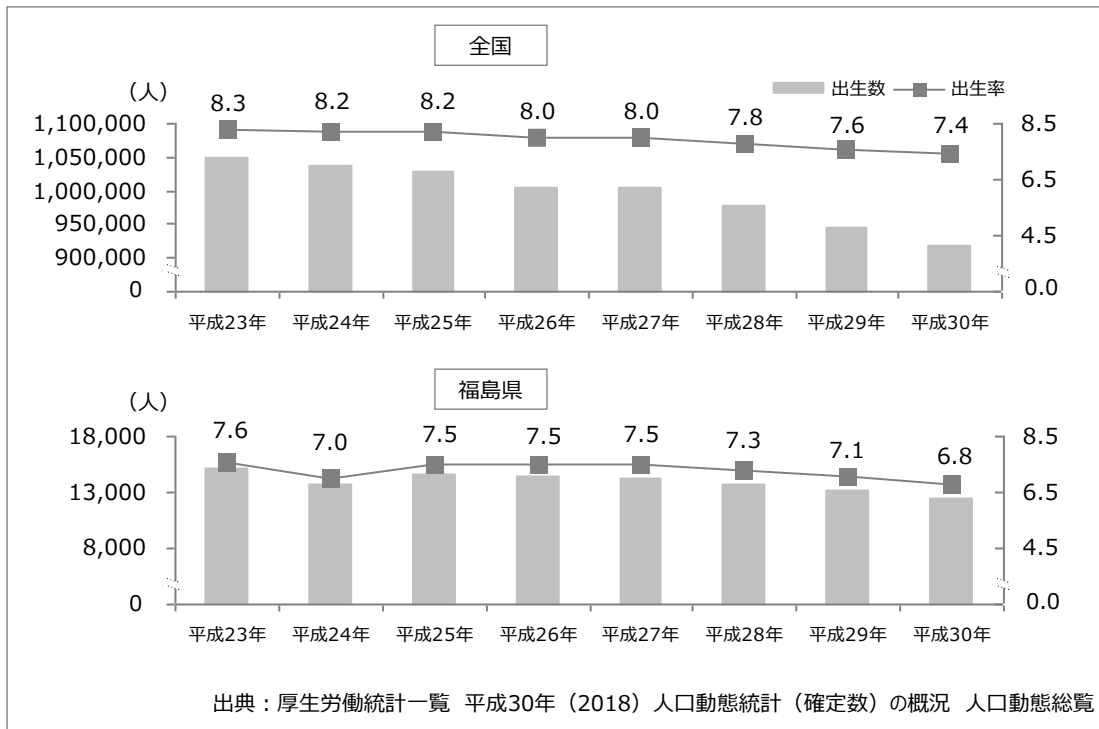
(本調査)

【対象者数、回答者数と回答率】

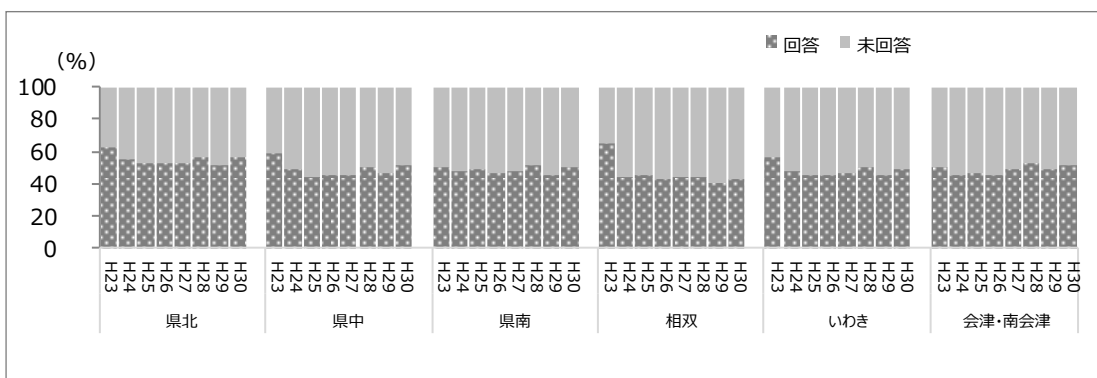


【参考】人口動態調査 人口動態統計

(年次別にみた出生数・出生率(人口千対)・出生性比及び合計特殊出生率)

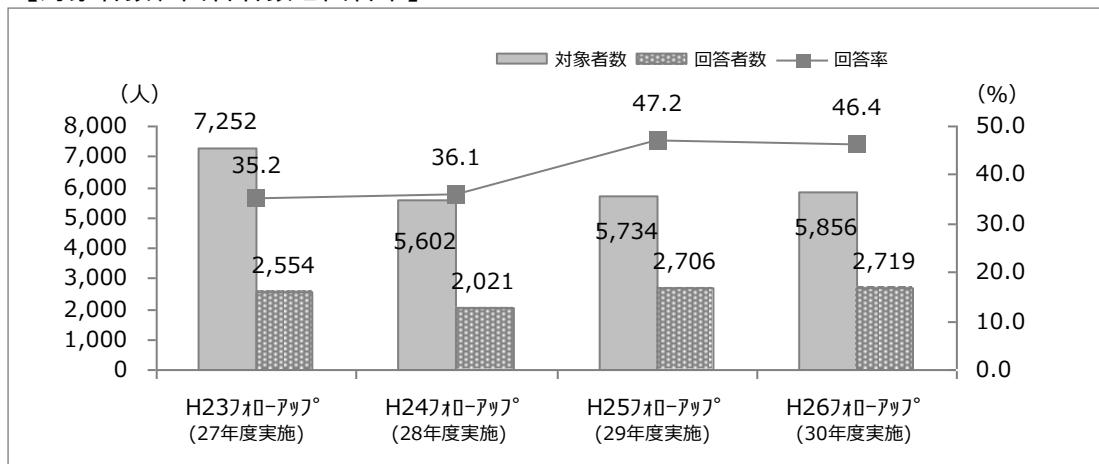


【地域別回答率】

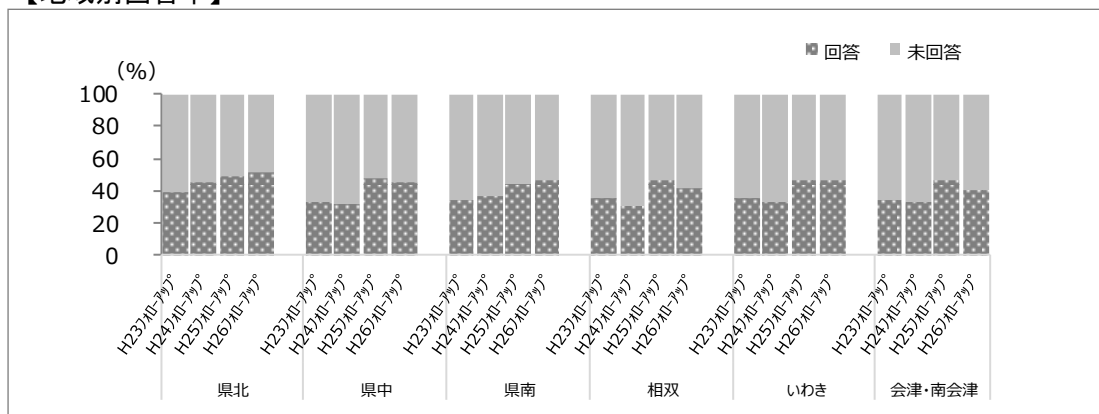


(フォローアップ調査)

【対象者数、回答者数と回答率】



【地域別回答率】



(2) 回答結果

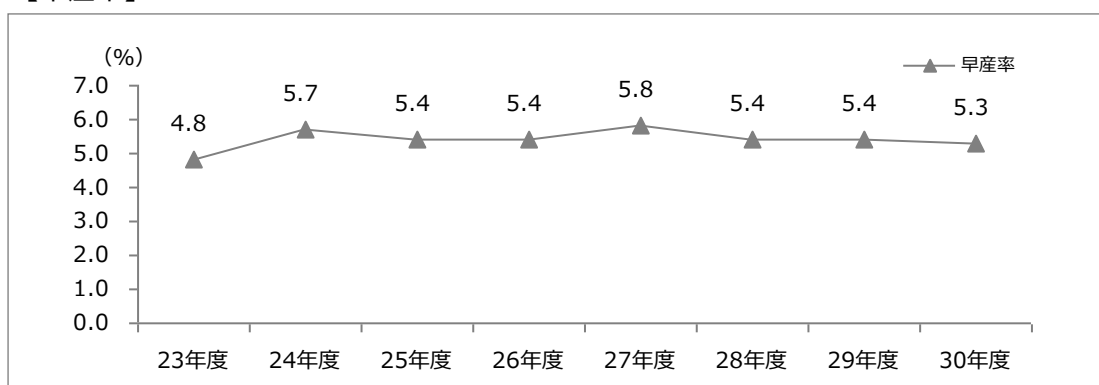
ア 妊娠結果について（早産の割合、先天奇形・先天異常の発生率）

平成23～30年度調査の結果では、各年度とも政府統計や一般的に報告されているデータとの差はほとんどない。また、先天奇形・先天異常の発生率を地域別に見ても同様に差はない。

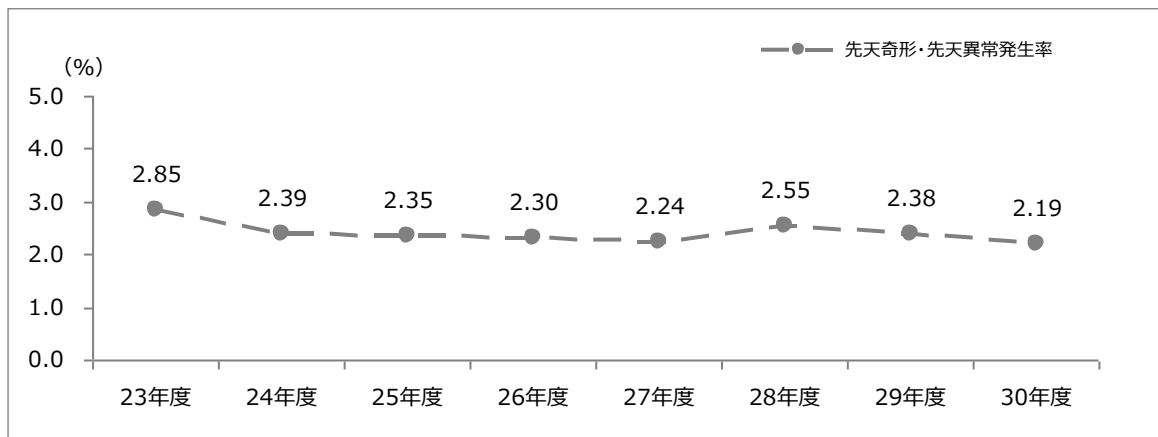
※早産率は、平成29年度全国平均：5.7%（早産：妊娠22～36週までの出産）

※出生時に確認できる形態上の異常（胎児奇形）頻度は3～5%とされ、その原因は多岐にわたる。（産婦人科診療ガイドライン産科編2017）

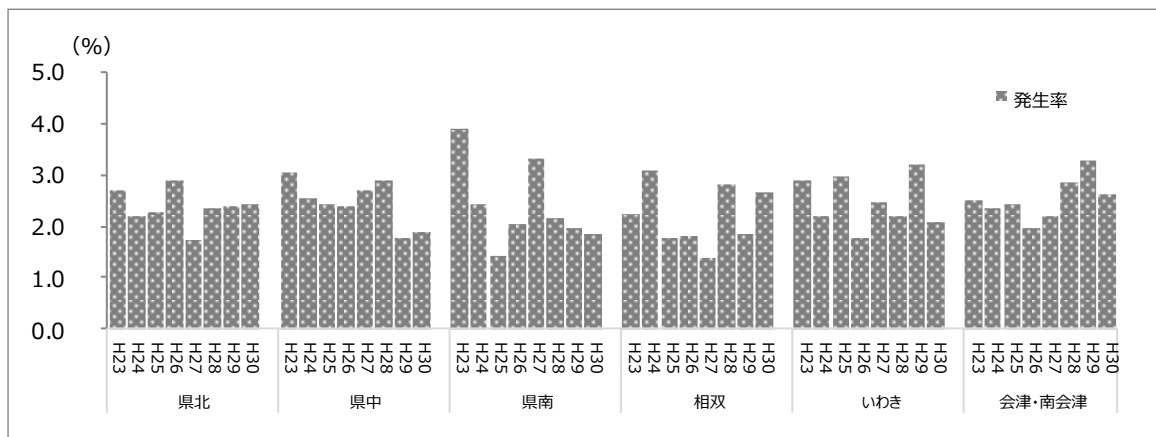
【早産率】



【先天奇形・先天異常発生率（単胎）】



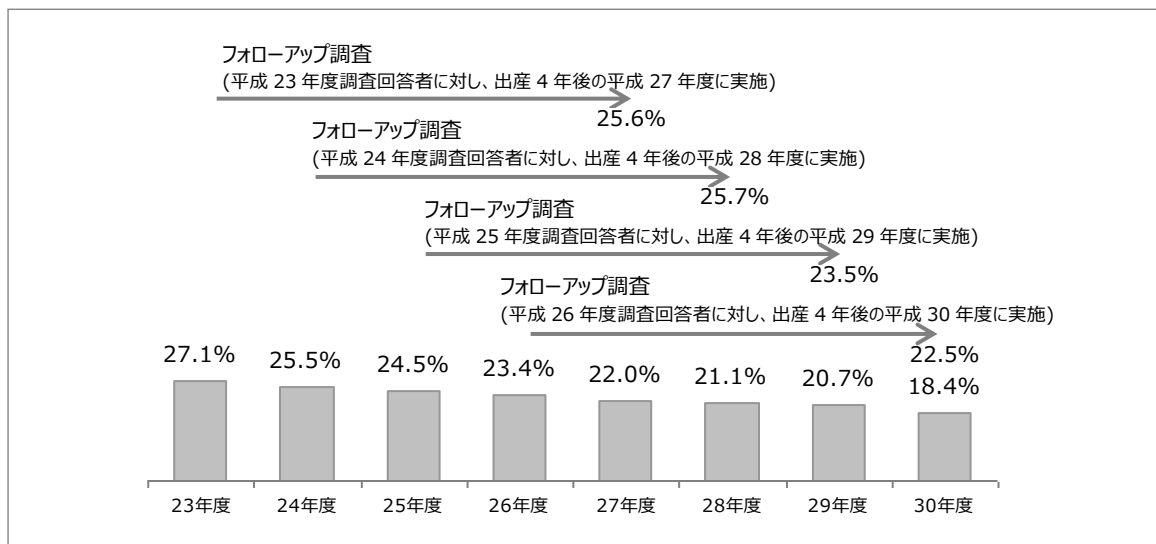
【地域別：先天奇形・先天異常発生率（単胎）】



イ 母親のメンタルヘルスについて（うつ傾向の割合）

「気分が沈みがち」「物事に興味がわかない」という設問に、両方、あるいはいずれかに当てはまると回答された方の数は、調査開始当初は高い水準にあったが、その後は減少傾向にある。

【うつ傾向の推移】



ウ 妊娠・分娩のケアについて

妊娠・分娩全般のケアに関して満足していないと回答した方の割合は、全体としては少なく、かつ、経年的に減少している。

【妊娠・分娩全般のケアの不満足割合】

調査年度	「そう思わない」、「全くそう思わない」と回答した割合
平成 23 年度	該当設問なし
平成 24 年度	3.5%
平成 25 年度	2.3%
平成 26 年度	2.7%
平成 27 年度	2.4%
平成 28 年度	2.1%
平成 29 年度	1.7%
平成 30 年度	1.7%

エ 家庭と育児の状況について（避難生活の割合、育児の自信がない人の割合）

- ・現在避難生活していると回答した方の割合は、経年的に減少している。
- ・育児に自信がもてないことがあると回答した方の割合は、震災後から現在までほぼ2割弱で推移している。

【避難生活の割合】

調査年度	現在避難生活をしている（仮設、仮設以外含む）と回答した割合
平成 23 年度	該当設問なし
平成 24 年度	7.7%
平成 25 年度	5.5%
平成 26 年度	4.9%
平成 27 年度	3.8%
平成 28 年度	3.4%
平成 29 年度	2.3%
平成 30 年度	1.8%

【育児の自信がない人の割合】

調査年度	育児に自信が持てないと回答した割合
平成 23 年度	該当設問なし
平成 24 年度	15.4%
平成 25 年度	17.5%
平成 26 年度	16.6%
平成 27 年度	17.7%
平成 28 年度	16.6%
平成 29 年度	18.1%
平成 30 年度	17.7%

オ 次の妊娠・出産の希望、要望について

次の妊娠・出産の希望については、震災後から現在まで一貫して50%を超えている。また、妊娠・出産を希望しない理由として、放射線の影響を心配している方の割合は、直近の調査で1%を下回っている状況である。

【次回の妊娠・出産の希望の有無】

調査年度	次回の妊娠・出産を希望すると回答した割合	次回の妊娠を希望しない理由を「放射線の影響が心配なため」と回答した割合
平成 23 年度	該当設問なし	該当設問なし
平成 24 年度	52.9%	14.8%
平成 25 年度	52.8%	5.6%
平成 26 年度	57.1%	3.9%
平成 27 年度	53.3%	1.6%
平成 28 年度	54.6%	1.2%
平成 29 年度	52.4%	0.8%
平成 30 年度	52.2%	0.5%

カ 自由記載について（記載者の割合、相談内容、特に「胎児・子どもへの放射線の影響について」の記載割合）

自由記載の中で「胎児・子どもへの放射線の影響について」の記載割合は、調査開始当初約30%であったがその後は経年的に減少し、直近では2%程度まで減少している。

【自由記載内容】

調査年度	自由記載欄の記載者数（記載割合）	「胎児・子どもへの放射線の影響について」の割合
平成 23 年度	3,722 人 (42.2%)	29.6%
平成 24 年度	1,481 人 (20.7%)	26.4%
平成 25 年度	867 人 (12.0%)	12.9%
平成 26 年度	745 人 (10.5%)	9.5%
平成 27 年度	1,101 人 (15.7%)	5.2%
平成 28 年度	965 人 (13.3%)	6.1%
平成 29 年度	799 人 (12.4%)	4.8%
平成 30 年度	881 人 (13.4%)	1.8%

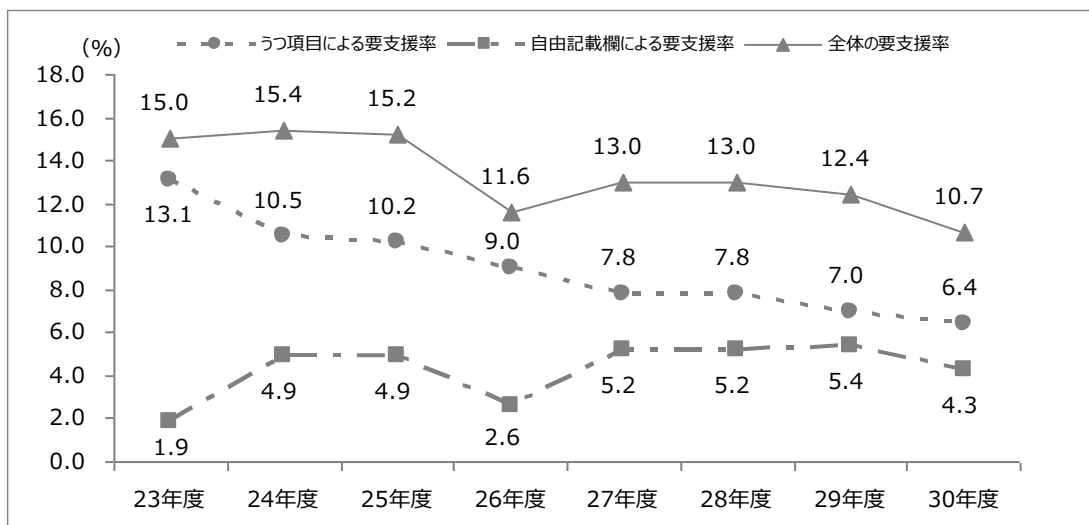
(3) 支援結果

ア 支援実績

調査票の回答者のうち、記載内容から相談・支援が必要と判断された方に、専任の助産師・保健師等による電話やメールによる相談・支援を行っている。本調査における「うつ項目による要支援率」は震災後の約半分程度まで減少しており、フォローアップ調査も同様に減少傾向である。平成24年度以降、自由記載内容による支援対象を広げ、要支援率は平成30年度では、10.7%となっている。

【支援実績とその内容】

(本調査)

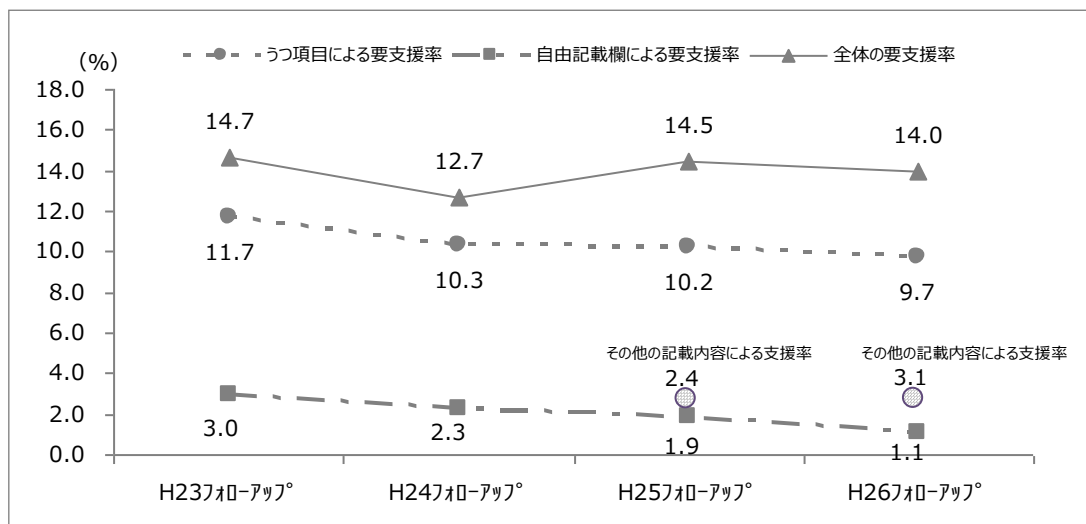


(件)

		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
要支援者数	うつ項目	1,224	751	744	645	549	573	449	424
	自由記載欄	177	353	357	185	364	378	350	287
回答者数		9,316	7,181	7,260	7,132	7,031	7,326	6,449	6,649

※うつ項目と自由記載内容のいずれにも該当した場合、うつ項目による要支援者数に計上した。

(フォローアップ調査)



(件)

		H23フォローアップ° (27年度実施)	H24フォローアップ° (28年度実施)	H25フォローアップ° (29年度実施)	H26フォローアップ° (30年度実施)
要支援者数	うつ項目	299	209	277	265
	自由記載欄	76	47	51	31
	その他の記載内容	-	-	65	84
回答者数		2,554	2,021	2,706	2,719

※うつ項目と自由記載内容のいずれにも該当した場合、うつ項目による要支援者数に計上した。

イ 相談内容

本調査では、毎年度、1,000名近くの方へ電話支援を行ってきたが、最近は減少してきている。電話での主な相談内容は年度とともに変わってきており、震災後には「放射線の影響や心配に関すること」の相談が最も多かったが、その割合は時間の経過とともに低下している。平成24年度以降、「母親の心身の状態に関すること」、「子育て関連(生活)のこと」などの割合が増え、上位を占めるようになってきた。

フォローアップ調査では、平成27年度の調査開始当初から平成30年度まで一貫して「母親の心身の状態に関すること」が第1位を占めており、「放射線の影響や心配に関すること」の相談割合は経年的に減少している。

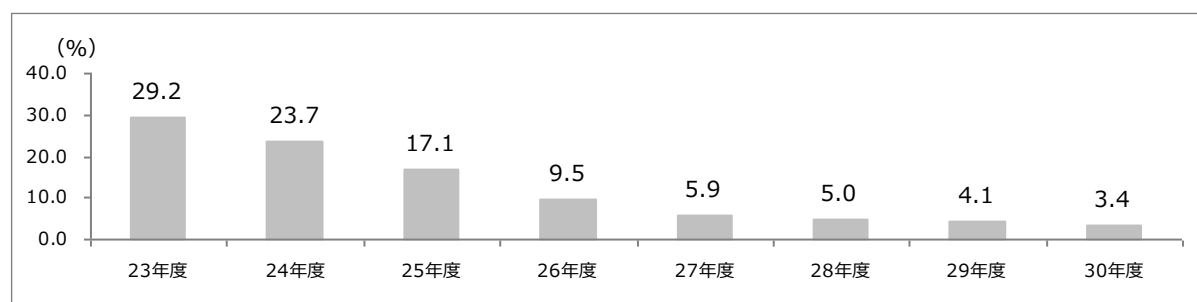
【電話による相談内容】

(本調査)

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
第1位	放射線の影響や 心配に関すること 29.2%	母親の心身の状 態に関すること 33.4%	母親の心身の状 態に関すること 42.5%	母親の心身の状 態に関すること 49.5%	母親の心身の状 態に関すること 53.1%	母親の心身の状 態に関すること 59.8%	母親の心身の状 態に関すること 55.6%	母親の心身の状 態に関すること 53.2%
第2位	母親の心身の状 態に関すること 20.2%	子育て関連 (生活)のこと 26.7%	子育て関連 (生活)のこと 38.7%	子育て関連 (生活)のこと 36.1%	子育て関連 (生活)のこと 40.9%	子育て関連 (生活)のこと 43.4%	子育て関連 (生活)のこと 51.8%	子育て関連 (生活)のこと 41.4%
第3位	子育て関連 (生活)のこと 14.0%	放射線の影響や 心配に関すること 23.7%	子どもの心身の 健康に関すること 20.3%	家庭生活に関す ること 20.5%	家庭生活に関す ること 21.8%	家庭生活に関す ること 19.5%	家庭生活に関す ること 16.4%	子どもの心身の 健康に関すること 16.0%
第4位	子どもの心身の 健康に関すること 10.5%	子どもの心身の 健康に関すること 13.4%	家庭生活に関す ること 19.8%	子どもの心身の 健康に関すること 14.5%	子どもの心身の 健康に関すること 20.6%	子どもの心身の 健康に関すること 18.0%	子どもの心身の 健康に関すること 8.6%	家庭生活に関す ること 9.3%
第5位	避難生活に関す ること 9.3%	家庭生活に関す ること 10.3%	放射線の影響や 心配に関すること 17.1%	放射線の影響や 心配に関すること 9.5%	放射線の影響や 心配に関すること 5.9%	放射線の影響や 心配に関すること 5.0%	放射線の影響や 心配に関すること 4.1%	放射線の影響や 心配に関すること 3.4%

※一人につき複数相談あり

【放射線の影響や心配に関する相談内容】



(フォローアップ調査)

	H23フォローアップ° (27年度実施)	H24フォローアップ° (28年度実施)	H25フォローアップ° (29年度実施)	H26フォローアップ° (30年度実施)
第1位	母親の心身の状態 に関すること 34.4%	母親の心身の状態 に関すること 44.9%	母親の心身の状態 に関すること 36.0%	母親の心身の状態 に関すること 26.4%
第2位	放射線の影響や心 配に関すること 25.6%	子育て関連 (生活) のこと 23.0%	子育て関連 (生活) のこと 27.7%	子育て関連 (生活) のこと 12.2%
第3位	子育て関連 (生活) のこと 21.6%	子どもの心身の健康 に関すること 22.7%	家庭生活に関するこ と 14.6%	家庭生活に関するこ と 6.4%
第4位	子どもの心身の健康 に関すること 18.1%	放射線の影響や心 配に関すること 13.3%	放射線の影響や心 配に関すること 13.1%	放射線の影響や心 配に関すること 5.7%
第5位	家庭生活に関するこ と 13.9%	家庭生活に関するこ と 10.5%	子どもの心身の健康 に関すること 9.8%	子どもの心身の健康 に関すること 5.4%

※平成25年度フォローアップ調査から入力方法（入力フォームや入力者）を変更

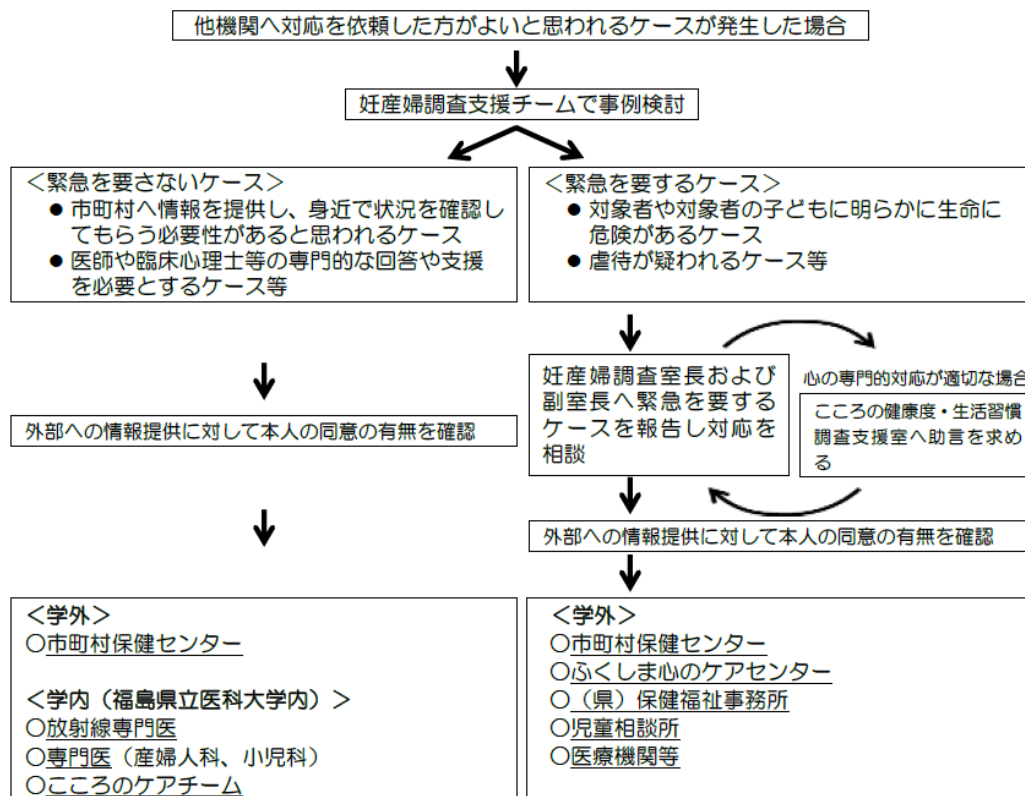
ウ 他機関への紹介

調査票の回答から、精神的症状の悪化、育児困難、育児放棄、虐待やDVなど、緊急に市町村につながり必要があると判断した場合は、妊産婦調査専門委員に相談後、市町村窓口で紹介することについて本人の同意をとって、市町村窓口継続支援を依頼している。

【要支援者の他機関紹介件数】

紹介先	市町村の 母子担当者へ		医大内の 放射線相談窓口へ		医大内の こころの健康支援チームへ		医大内の 専門医へ	
	本調査	フォローアップ° 調査	本調査	フォローアップ° 調査	本調査	フォローアップ° 調査	本調査	フォローアップ° 調査
23年度	2	—	7	—	4	—	2	—
24年度	6	—	1	—	14	—	0	—
25年度	1	—	0	—	6	—	1	—
26年度	3	—	0	—	1	—	0	—
27年度	1	0	1	1	0	0	0	0
28年度	8	0	0	0	5	0	0	0
29年度	4	2	0	0	2	1	0	0
30年度	3	0	0	0	3	3	1	0

【他機関（妊産婦調査室外）へ連絡するためのフロー】



4 調査結果の公表と地域へのフィードバック

- 放射線医学県民健康管理センターのホームページにて最新の調査結果を公表している。
- 平成26年度より平成29年度まで県内5方部（県北、県南、相双、会津、いわき）で結果報告会を開催した。
- 平成27年度より県主催の全市町村を対象とした母子保健担当者の会議等にて、保健師等へ結果概要を報告した。
- 令和元年度は、主に浜通り地区の13市町村連絡会に直接出向いて、調査結果を個別に報告した。
- 調査の概要やこれまでの調査結果からわかったことを紹介するリーフレットを作成し、調査票に同封し対象者全員に発送するとともに、市町村や産婦人科等関係機関に配布した。
- 医師会主催の公開シンポジウムや健康増進センター主催の「いきいき健康づくりフォーラム」会場にて調査結果のパネルを掲示するとともに、リーフレットを配布した。

5 回答率向上への取組み

- 平成28年度本調査より利用者の利便性向上のため、オンライン回答を導入した。
- 市町村と連携し、調査協力について広報誌への掲載を行った。
- 出産後の1か月児健診について問う設問があるため、回答時期が見合うよう、平成26年度調査より、出産予定日を目安に3回に分けて発送した。
- 質問紙の項目を見直して軽減化を図り、回答者の負担に配慮した。
- リマインダーの送付や、調査票の再送付を行い、未回答者へ回答の協力を促した。

- ・平成26年度調査の対象者への回答状況調査を実施

浜通り、中通り、会津の3方部から各1市町村を選択し、3～4か月児健診を受診する子どもの母親約100名（1市町村30～40名程度）に健診会場にてアンケートを行い、調査の実施方法の工夫について示唆を得た。

6 調査の果たしてきた役割

(1) 県内での妊娠・出産の安全性の提示

県内の早産率、低出生体重児出産率、胎児奇形発生率などの経年変化を明らかにし、全国調査の値や一般的な水準と変わりがなく、県内での妊娠・出産の安全性を示すことができた。

(2) 調査実施による見守りと支援のきっかけ

調査を毎年実施することにより、県内妊産婦の継続的な見守りに寄与するとともに、個人ごとの状況を把握し具体的な支援に結びつけるきっかけとすることができた。

(3) 双方向性の支援の実施

- ・調査の結果、支援が必要と判断される方（自ら行動することが難しい方を含む）を対象に電話支援員から架電し、現在の状況を把握してケースに応じた支援を実施するとともに、個別訪問が必要なケースを見極めて地域に継いできた。
- ・専用ダイヤル、専用メールアドレスを設け相談しやすい環境を提供し、対象者からの相談を受ける窓口を設けた。

(4) 産婦人科等関係機関との連携と支援体制の構築

- ・調査票の配付協力依頼を行なうとともに、専門的な支援が必要と判断される方には、専門医や関係機関の紹介を行ない、継続的な支援へと繋げることができた。
- ・助産師会を訪問し、本調査の支援について連携を図れる体制をつくった。主に、死産の方の相談先として紹介している。
- ・福島県産科婦人科学会、福島県産婦人科医会を通して、調査票に記載のあった要望などを各医療施設に伝えてきた。

(5) 市町村との緊密な連携

調査の回答内容や電話支援等の結果、緊急の対応や継続した支援が必要な方については、市町村担当者に引き継ぎ、地域と連携した支援を実施した。

(6) 母子保健の現状と課題の情報共有（県、市町村、関係機関）

- ・平成25年度より、福島県内の保健師、看護師等、関係機関を対象とした調査結果報告会や県主催の会議（市町村母子保健事業担当者会議）において、直接、医師による説明を行った。平成29年度本調査では、浜通り地区の13市町村の連絡会において、市町村ごとの状況について説明、意見交換を実施し、情報共有を図った。
- ・市町村の要望に応じて、市町村ごとの調査結果を提供した。

(7) 放射線の不安への対応

- ・平成23年度本調査開始後、お子さんと保護者のための心と身体の健康維持を支援するためのサポートブックを作成し、調査対象者へ郵送した。また翌年度からは、調査票発送時に同封することとした。（平成25年度本調査まで実施）。
- ・平成26年度以降の本調査では、調査の概要やこれまでの調査結果からわかったことを紹介するリーフレットを作成し、調査票に同封し発送した。

(8) 支援者支援

支援者の一層の資質の向上を図り、現場の不安や疑問に答えられるよう、専門的な知識の習得やケーススタディを行なうとともに、放射線や甲状腺の知識などについて研修会を開催し、幅広い相談等に的確に対応した。

(9) 特筆すべき成果

- ・ 高い回答率を維持し、調査に対する意見として批判もあったが、お礼や励ましの記載があった。調査の実施手法として、質問の簡便化やオンライン調査導入の工夫を行ない、また、初年度から多めに自由記載を設ける書面上の工夫に加えて、電話やメールによる支援を提供したことが、調査への賛同に反映されていると考えられる。
- ・ 妊娠の転帰については、死産、早産、低出生体重児、先天奇形・先天異常は日本の平均的な頻度と変わらなかった。震災後はネガティブな影響ばかりが目立ちがちであるが、ポジティブな側面も提示することができた。
- ・ 調査結果を県内の各方部に出向き、市町村担当者と直接顔を合わせ説明することで、調査への関心が高められ、市町村と連携して支援をスムーズに行うことができた。参加した市町村の母子保健担当者からは、「福島県の現状が分かり参考になった」、「育児相談への対応について、電話相談や健診、訪問時に参考にできる」という意見をいただいた。

論文のまとめ

- 1 死産 (0.25%)、早産 (4.4%)、低出生体重 (8.7%) 及び先天性異常 (2.72%) の発生率は日本の平均的な頻度とほぼ同様だった。
Pregnancy and Birth Survey after the Great East Japan Earthquake and Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident in Fukushima Prefecture
Fujimori K, et al. *Fukushima J Med Sci.* 2014;60(1):75-81.
- 2 県全体のうつ症状陽性は28%で、相双地域と産科ケア施設を変更した母親にうつ症状が高く、いわきと会津で低かった。
Immediate effects of the Fukushima nuclear power plant disaster on depressive symptoms among mothers with infants: A prefectural-wide cross-sectional study from the Fukushima Health Management Survey
Goto A, et al. *BMC Psychiatry.* 2015 Mar 26;15:59.
- 3 流産と死産を経験した福島県の母親は、出生を経験した母親と比較して、高い割合でうつ症状がみられた。
IMMEDIATE MENTAL CONSEQUENCES OF THE GREAT EAST JAPAN EARTHQUAKE AND FUKUSHIMA NUCLEAR POWER PLANT ACCIDENT ON MOTHERS EXPERIENCING MISCARRIAGE, ABORTION, AND STILLBIRTH: THE FUKUSHIMA HEALTH MANAGEMENT SURVEY
Komiya H, et al. *Fukushima J Med Sci.* 2015;61(1):66-71.
- 4 医学的理由で施設を変更した場合、早産しやすい。しかし、妊婦自身による施設の変更については、早産との有意な関連はなかった。
Effect of medical institution change on gestational duration after the Great East Japan Earthquake: The Fukushima Health Management Survey
Suzuki K, et al. *J Obstet Gynaecol Res.* 2016 Dec;42(12):1704-1711.
- 5 震災による1か月の児の成長には影響は見られなかったが、相双地区では震災の経過とともにミルク栄養の割合の増加傾向が見られた。
Impact of the Great East Japan Earthquake on feeding methods and newborn growth at 1 month postpartum: results from the Fukushima Health Management Survey. Kyojuka H, et al. *Radiat Environ Biophys.* 2016 May;55(2):139-46.
- 6 避難区域内、妊婦健診を予定通り受診できなかった母親は放射能汚染への不安から粉ミルクを使用した割合が有意に高かった。
Factors Associated with Infant Feeding Methods after the Nuclear Power Plant Accident in Fukushima: Data from the Pregnancy and Birth Survey for the Fiscal Year 2011 Fukushima Health Management Survey.
Ishii K, et al. *Matern Child Health J.* 2016 Aug;20(8):1704-12.
- 7 震災後6ヶ月以内に妊娠した女性は、早産や低出生体重児が増加し、さらに呼吸器疾患や精神疾患の増加もみられた。
Obstetric outcomes in women in Fukushima prefecture during and after the Great East Japan Earthquake and Fukushima nuclear power plant accident: The Fukushima Health Management Survey
Hayashi M, et al. *Open Journal of Obstetrics and Gynecology,* 2016, 6, 705-713
- 8 電話要支援者には被災で妊婦健診や施設の変更を余儀なくされた者、ハイリスク妊娠、帝王切開術、初産の割合が有意に高く、非支援者よりも、放射線の影響を心配してミルクを使用する割合が高かった。
東京電力福島第一原子力発電所事故後の電話要支援者の特徴と電話相談内容—平成23年度福島県県民健康調査・妊産婦に関する調査を用いて—
石井 佳世子, 他 日本母性衛生学会 (2016)
- 9 SGA (胎児が在胎週数に比べて小さい児) の胎児を出生した女性は5.6%だった。事故当時の地域や妊娠時期はSGAに影響を及ぼさなかった。
Influence of the Great East Japan Earthquake and the Fukushima Daiichi Nuclear

- Disaster on the Birth Weight of Newborns in Fukushima Prefecture: Fukushima Health Management Survey.*
Yasuda S, et al. *J Matern Fetal Neonatal Med.* 2017 Dec;30(24):2900-2904
- 1 0 福島県の生殖補助医療（ART）による妊娠を検討したところ、東日本大震災直後に ART 施行率が低下したものの、長期的な影響は認められなかった。
Impact of the Great East Japan Earthquake and Fukushima nuclear power plant accident on assisted reproductive technology in Fukushima prefecture: The Fukushima Health Management Survey
Hayashi M, et al. *J Clin Med Res.* 2017 Sep;9(9):776-781.
- 1 1 避難と放射線の心配はうつ傾向には関係していたが、育児の自信が低いことには関係していなかった。
The Fukushima Nuclear Accident Affected Mothers' Depression but Not Maternal Confidence.
Goto A, et al. *Asia Pac J Public Health.* 2017 Mar;29(2_suppl):139S-150S.
- 1 2 自由記載欄の記入者は、未記入者と比べて「30 歳以上」「抑うつ傾向あり」の割合が多く、放射線に関する問題から、母親自身の身体的・精神的健康へと関心が変化していた。
Fukushima mothers' concerns and associated factors after the Fukushima nuclear power plant disaster: analysis of qualitative data from the Fukushima Health Management Survey 2011- 2013
Ito S, et al. *Asia Pac J Public Health.* 2017 Mar;29(2_suppl):151S-160S.
- 1 3 4 年間の調査から得られた主な研究論文結果をまとめた。
Pregnancy and Birth Survey of the Fukushima Health Management Survey: Review of four surveys conducted annually after the disaster
Ishii K, et al. *Asia Pac J Public Health.* 2017 Mar;29(2_suppl):56S-62S. Review.
- 1 4 41.2%の母親が偏見・差別に伴う不安を感じ、特に、母親の年齢、抑うつ症状の有無、予定通りの妊婦健診の受診、震災後の新たな病気・状態の有無が有意に偏見・差別に伴う不安と関連していた。
Overview of the Pregnancy and Birth Survey section of the Fukushima Health Management Survey: Focusing on mother's anxieties toward radioactive exposure
Ito S, et al. *Journal of the National Institute of Public Health* 2018 67 (1) 59-70
- 1 5 「避難区域内」、「現在も避難中」の母親は、うつ傾向が有意に高かった。特に、現在避難中で家族と別居中の母親と、家族とコミュニケーションがとれていると回答しなかった母親にうつ傾向が高かった。
東日本大震災による妊産婦の避難生活とメンタルヘルスに関する検討
太田 操, 他 *日本母子看護学会誌* (2018)
- 1 6 震災時に妊娠後期であった妊婦は妊娠高血圧症候群のリスクが増加した。
The effect of the Great East Japan Earthquake on Hypertensive Disorders during pregnancy: A study from the Fukushima Health Mangement Survey
Kyoizuka H, et al. *J Matern Fetal Neonatal Med.* 2019 Apr 1:1-6.
- 1 7 子どもが 1 人の場合、放射線に関する不安が次回の妊娠を意図しないことに関連していた。
Factors associated with intention of future pregnancy among women affected by the Fukushima Nuclear Accident: Analysis of Fukushima Health Management Survey Data from 2012 to 2014
Goto A, et al. *J Epidemiol.* 2019 Aug 5;29(8):308-314
- 1 8 紙調査とオンライン調査を組み合わせるにより、回答率の向上に貢献した。また、紙の調査の回答者は自分の感情や意見をより表現していた。
Development and Implementation of an Internet Survey to Assess Community Health in the Face of a Health Crisis: Data from the Pregnancy and Birth Survey of the Fukushima Health Management Survey, 2016
Nakano H, et al. *Int J Environ Res Public Health.* 2019 Jun 1;16(11). pii: E1946.

令和2年度「妊産婦に関する調査」実施計画（案）

1 令和2年度「妊産婦に関する調査」

(1) 実施目的

福島県で子どもを産み育てようとする妊産婦の現状、こころや身体の健康度、意見・要望等を的確に把握し、不安の軽減や必要なケアを提供するとともに、安心の提供と今後の福島県内の産科・周産期医療の充実へつなげていくこと。

(2) 対象者

- ① 令和元年8月1日から令和2年7月31日までに、福島県内の市町村から母子健康手帳を交付された方
- ② 上記期間内に福島県外から母子健康手帳を交付された方のうち、福島県で妊婦健診を受診し分娩された方（いわゆる里帰り分娩をした方）

(3) 実施方法

ア 調査票の配布方法及び配布時期

【対象者①】福島県内59市町村から得られた対象者情報をもとに、分娩予定日により3回に分けて調査票を送付

※市町村が把握している流産、死産および児の生存が確認できない方を除く

【対象者②】福島県内の産科医療機関の協力のもと随時調査票を配布

イ 回答方法

郵送及びオンライン

ウ 支援の実施

- ・回答内容から支援が必要と思われる方に対し、助産師・保健師等による電話支援を行う。
- ・メールや専用ダイヤルによる支援体制を整え、調査対象者からの相談に応じる。

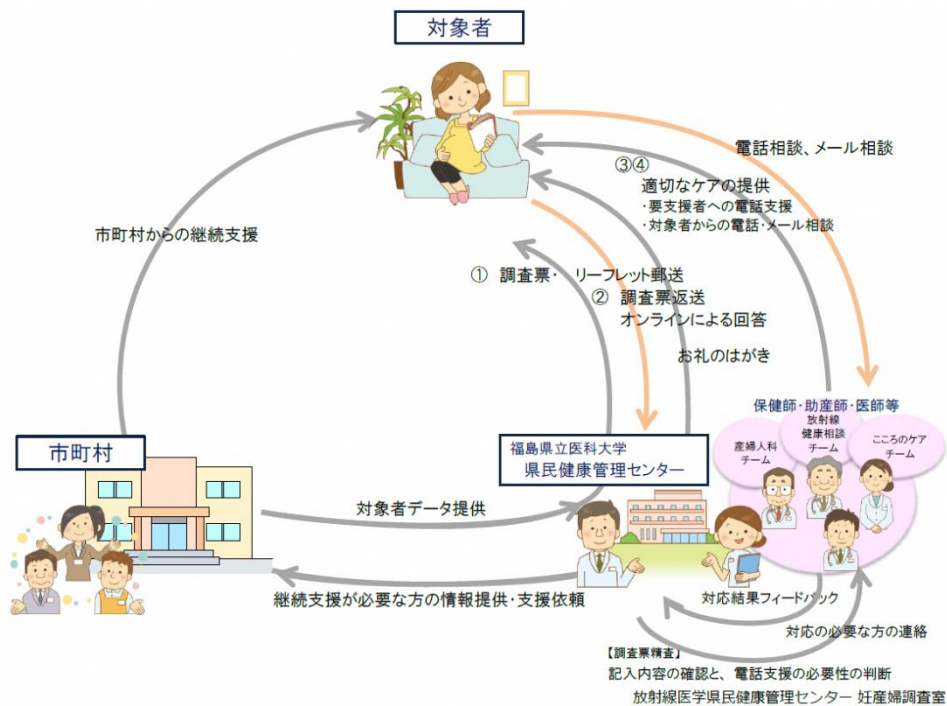
(4) 調査項目（令和元年度と大きな変更なし）

- ア 妊産婦のこころの健康度
- イ 現在の生活状況（避難生活、家族離散の状況）
- ウ 出産状況や妊娠経過中の妊産婦の健康状態
- エ 育児の自信
- オ 次回妊娠に対する意識

(5) スケジュール

内容	令和2年												令和3年											
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
令和2年度調査対象者情報提供を市町村へ依頼				▼																				
令和2年度調査調査票の発送							▼		▼		▼													
調査票の回収																								
回答者へのお礼状発送																								
支援対象者への支援																								

(6) 調査及び支援の流れ



2 フォローアップ調査（追跡調査）

震災時の調査回答者は、特にうつ傾向の割合が高かったことから、育児に自信が無いと感じる母親が増加する時期の出産4年後にあたる平成27年度(平成23年度調査回答者)からフォローアップ調査を実施してきた。

平成23・24年度調査回答者は、放射線に関する不安が強く、うつ傾向が高い状態であり、フォローアップ調査でも同様の傾向がみられたため、震災時の影響が懸念された。一方、平成25・26年度調査回答者は、育児に関する一般的な悩みが多く、フォローアップ調査では、うつ傾向の割合が減少していた。

このことから、令和元年度調査においては、平成27年度調査回答者に対する4年後のフォローアップ調査を行うことに替え、平成23年度調査回答者への2回目のフォローアップ（及び支援）を実施し、震災時に妊産婦であった方々の継続的な支援を行っている。令和2年度においても、平成24年度調査回答者に対し、同様に2回目フォローアップ調査を実施し、継続的な支援を行うこととする。

3 関係機関との連携

関係機関と連携をより密にし、各地域の意見を反映させつつ、回答率の向上及び得られた回答に基づく妊産婦支援の向上に努める。

(1) 調査結果の周知

市町村等関係機関との連携を図るため、福島県内の市町村保健師等母子保健に関わる方を対象とした研修会等にて報告を行う。

(2) リーフレットの作成・配布

- ア 調査票送付時に、調査に基づく結果内容や支援状況を説明したリーフレットを同封する。
- イ 県内の協力医療機関や関係機関に対して配布し、調査を周知する。

県民健康調査「健康診査」平成23～令和元年度実施状況

1 健康診査概要

(1) 目的

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故により、多くの方が避難生活を余儀なくされ、食生活、運動習慣など生活習慣が大きく変化し、また、受診すべき健康診査も受けることができなくなるなど、健康に不安を抱えている住民もいることから、県民の健康状態を把握し、生活習慣病の予防や疾病の早期発見、早期治療につなげることを目的に実施している。

(2) 対象者

- ・平成23年3月11日から平成24年4月1日までに対象地域※に住民登録をしていた方（対象地域を転出後も対象とする）
- ・実施年度の4月1日時点で避難区域等に住民登録をしていた方
- ・上記以外で基本調査の結果、必要と認められた方

※対象地域：平成23年時に避難区域等に指定された市町村等

広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村、南相馬市、田村市、川俣町、伊達市の一部（特定避難勧奨地点の属する区域）

(3) 健診項目

年齢区分	健診項目
0歳～6歳 (就学前乳幼児)	身長、体重、 [希望がある場合のみ] 血算（赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン、血小板数、白血球数、白血球分画）
7歳～15歳 (小学校1年生～中学校3年生)	身長、体重、血圧、 血算（赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン、血小板数、白血球数、白血球分画） [希望による追加項目] 血液生化学（AST、ALT、 γ -GT、TG、HDL-C、LDL-C、HbA1c、血糖、血清クレアチニン、尿酸）
16歳以上	身長、体重、腹囲（又はBMI）、血圧、 血算（赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン、血小板数、白血球数、白血球分画）、 尿検査（尿蛋白、尿糖、尿潜血） 血液生化学（AST、ALT、 γ -GT、TG、HDL-C、LDL-C、HbA1c、血糖、血清クレアチニン、eGFR、尿酸） ※下線部は、通常、特定健康診査では検査しない追加項目

2 平成23～30年度の実施状況

(1) 実施方法等

年齢区分	居住地	実施方法	H30年度協力医療機関数	集計区分
16歳以上	県内	市町村が実施する特定健診・総合健診において、追加項目を上乗せして同時に実施する健診	—	県内市町村が実施する総合健診
		県内指定医療機関での個別健診	471施設	県内個別健診
		医大が実施する集団健診	県内29会場 (延べ48回実施)	県内集団健診
16歳以上	県外	市町村が実施する特定健診・総合健診において、追加項目を上乗せして同時に実施する健診	—	その他※2
		県外指定医療機関での個別健診	635施設（うち249施設は15歳以下も対応可能）	県外個別健診
15歳以下	県内	県内指定医療機関での小児健診	94施設	県内小児健診
	県外	県外指定医療機関での小児健診	376施設（うち249施設は16歳以上も対応可能）	県外小児健診

(2) 受診状況

ア 実施方法及び受診場所（県内・県外）別受診者数

(ア) 16歳以上

平成30年度の受診率は20.2%で、平成29年度の20.5%と比較すると、0.3ポイント減少している。

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	確報値 平成24年9月11日	確報値 平成25年7月5日	確報値 平成26年9月1日	確報値 平成27年9月1日	確報値 平成28年9月1日	確報値 平成29年12月31日	確報値 平成30年3月31日	確報値 平成31年3月31日
対象者数	182,370	184,910	186,970	188,328	190,019	191,101	191,636	191,974
県内市町村が実施する総合健診	8,798	23,907	25,604	25,913	26,195	26,636	26,411	26,140
県内個別健診	—	6,692	5,806	4,927	4,443	3,941	3,782	3,730
県内集団健診	41,949	10,603	6,767	5,808	5,183	4,341	3,963	3,776
県外個別健診	3,815	3,055	3,205	3,418	3,332	2,118	2,102	2,087
その他 ※1、※2	2,045	3,206	2,017	1,846	2,113	3,011	3,154	3,122
上記のうち 重複受診者数	208	454	359	38	55	57	45	40
合計 (重複受診者数を除く)	56,399	47,009	43,040	41,874	41,211	39,990	39,367	38,815
受診率 (%)	30.9%	25.4%	23.0%	22.2%	21.7%	20.9%	20.5%	20.2%

※1 その他（県内で実施（市町村が「都市医師会、医療機関に委託」）

※2 その他（県外で実施（市町村が健診代行機関に委託）

(イ) 15歳以下

平成30年度の受診率は19.7%で、平成29年度の22.8%と比較すると、3.1ポイント減少している。

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	確報値 平成24年9月11日	確報値 平成25年7月5日	確報値 平成26年9月1日	確報値 平成27年9月1日	確報値 平成28年9月1日	確報値 平成29年12月31日	確報値 平成30年3月31日	確報値 平成31年3月31日
対象者数	27,819	27,077	26,474	25,883	25,296	24,600	23,660	22,744
県内小児健診	15,002	9,534	8,432	7,432	6,206	5,193	4,474	3,648
県外小児健診	2,949	2,283	1,822	1,792	1,403	1,226	929	834
上記のうち 重複受診者数	17	37	6	8	6	6	0	3
合計 (重複受診者数を除く)	17,934	11,780	10,248	9,216	7,603	6,413	5,403	4,479
受診率 (%)	64.5%	43.5%	38.7%	35.6%	30.1%	26.1%	22.8%	19.7%

【参考】平成30年度 受診者の健診案内送付先別（県内・県外）受診者数*

(16歳以上)	県内	県外	合計	(15歳以下)	県内	県外	合計
	対象者数 (人)	161,911	30,063		191,974	対象者数 (人)	18,455
受診者数 (人)	35,434	3,381	38,815	受診者数 (人)	3,648	831	4,479
受診率	21.9%	11.2%	20.2%	受診率	19.8%	19.4%	19.7%

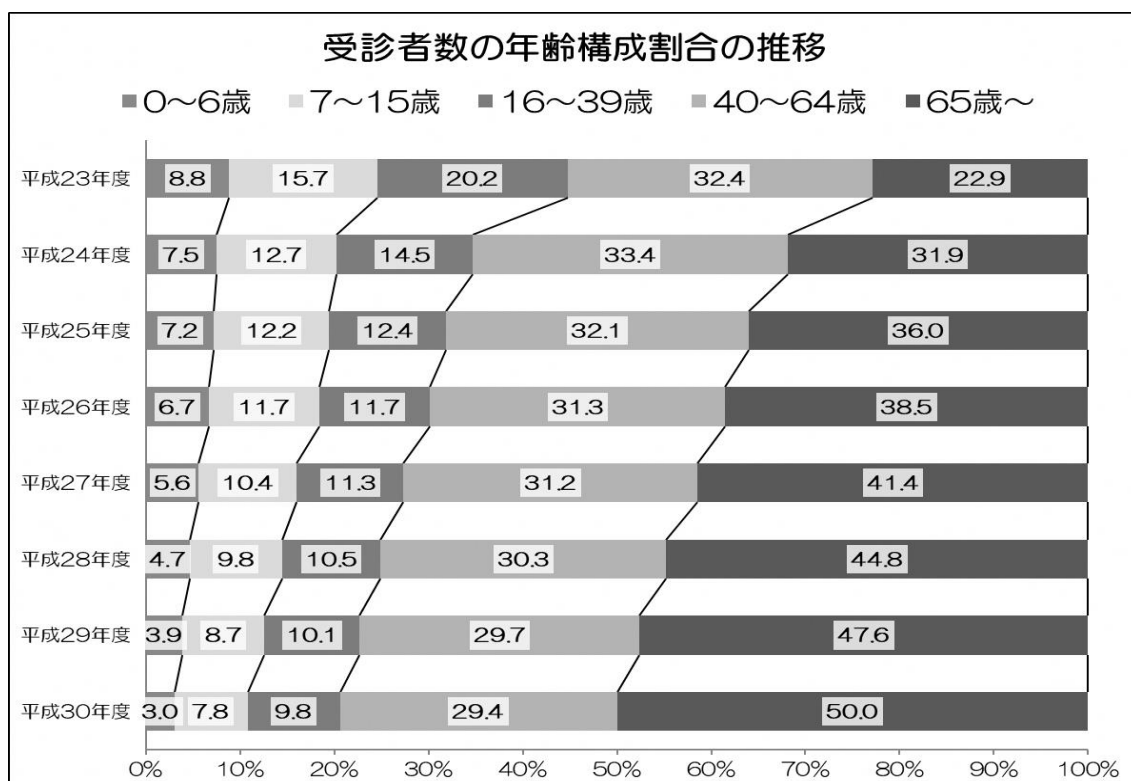
* 健診案内送付先の住所等を基に県内・県外を分けた。実施方法及び受診場所（県内・県外）別受診者数とは異なる。

イ 年齢区分別受診者数の推移

0～6歳、7～15歳、16～39歳、40～64歳の受診者数は年々減少し、65歳以上の受診者数は増加している。

(人)

	0～6歳	7～15歳	16～39歳	40～64歳	65歳～
平成23年度	6,462	11,481	14,762	23,651	16,726
平成24年度	4,365	7,437	8,480	19,553	18,642
平成25年度	3,802	6,429	6,536	16,922	18,969
平成26年度	3,328	5,840	5,843	15,594	19,166
平成27年度	2,655	4,903	5,354	14,748	19,559
平成28年度	2,057	4,315	4,632	13,386	19,768
平成29年度	1,647	3,712	4,309	12,677	20,299
平成30年度	1,220	3,169	3,979	11,948	20,337



(グラフ中の数字は四捨五入して示しているため合計で100%とはならない場合がある。)

【参考】平成30年度 年齢区分別受診率

	0～6歳	7～15歳	16～39歳	40～64歳	65歳～
対象者数(人)	6,937	15,807	57,121	67,990	66,863
受診者数(人)	1,220	3,169	3,979	11,948	20,337
受診率	17.6%	20.0%	7.0%	17.6%	30.4%

引用資料；平成23～26年度；第21回検討委員会資料3-2「健診項目別受診実績基礎統計表」

平成27年度；第26回検討委員会資料3-2「健診項目別受診実績基礎統計表」

平成28年度；第30回検討委員会資料2-3「健診項目別受診実績基礎統計表」

平成29年度；第34回検討委員会資料2-3「健診項目別受診実績基礎統計表」

受診者数；健診項目のうち1項目でも受診した方

3 令和元年度の実施状況【令和元年12月31日現在】

対象者：214,231人（15歳以下21,580人、16歳以上192,651人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
16歳以上	県内	市町村が実施する特定健診・総合健診での上乗せ健診 田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町 川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村 受診者数 25,283人（速報値）									集団健診 1月11日より実施中		
	県外	県外指定医療機関での健診 受診者数 1,869人（速報値）									医療機関での 個別健診 1月4日より実施中		
15歳以下	県内	県内指定医療機関での小児健診 受診者数 2,607人（速報値）											
	県外	県外指定医療機関での小児健診 受診者数 650人（速報値）											

(1) 県内に居住している対象者

ア 16歳以上

昨年度と同様に伊達市を除く12市町村において市町村が実施する特定健康診査・総合健診で追加項目を上乗せ（以下「上乗せ健診」という。）して同時に実施した。

また、上乗せ健診を受診出来なかった方等を対象とした集団健診や医療機関での個別健診を令和2年1月から実施している。（個別健診協力医療機関数457施設。）

イ 15歳以下

昨年度と同様に令和元年7月～12月までの約6ヵ月間で実施した。（協力医療機関数91施設。）

(2) 県外に居住している対象者

各都道府県で受診できるよう調整を行い、6月下旬より順次案内を発送し実施している。

(3) 健康診査受診結果の活用について

ア 対象市町村への情報還元

健康診査受診結果の推移について対象市町村からの要望に沿った「分析結果報告書」を作成し、市町村に情報還元をしている。

また、受診結果や分析結果は、健康セミナーにおける医師等の講話にて対象市町村の住民へ報告をしている。

イ 健康セミナーの実施

住民が毎年度健康診査を受診する重要性について理解を深めるとともに、継続した健康診査の受診につながるよう支援することを目的に、対象市町村が実施する行事等において健康セミナーを実施している。

健康セミナーでは、対象市町村の住民に対し、医師等が受診結果や分析結果等を用いて健康講話を行ったり、専門職による個別相談、血圧・血糖測定等を実施したりしている。

実施時期	回数	実施内容・実施主体
5月	7会場	<ul style="list-style-type: none"> ・医師による講話 ・専門職による個別相談 ・血圧測定 ・血糖測定（協力機関 一般社団法人福島県臨床検査技師会） ・健康体操 ・こころの健康に関すること
7月	3会場	
8月	3会場	
9月	7会場	
10月	6会場	
11月	12会場	
合計	38会場	

ウ 住民への啓発活動

対象者へ集団・個別健診の案内に、健康診査の結果から分かったこと等をまとめたリーフレットを同封している。令和元年度は、福島県のメタボリックシンドロームの現状や県民健康調査からわかったこと、何が問題なのか、また生活上注意する点等について具体例を挙げて紹介している。

また、小児健診では、医師が受診者と保護者に健診結果に基づいた説明を直接行い、地域に根差した取組みに努めている。

(4) 受診率向上の取組み

ア 生活習慣病予防等のための取組み

ふくしま健民アプリを活用し、自身が健康に関心を持ち、楽しく運動習慣を身につける等、生活習慣改善のきっかけとなるよう取組みを行っている。

イ 集団健診会場の確保

健康診査開始当初より対象者の多い地域に、集団健診会場を設置しているが、避難指示解除に伴い新たに会場を設置したり、対象者が少ない地域では、地域内で開催場所を変更したりするなど、対象者にとって利便性の良い会場の確保に努めている。

ウ 広報活動及び受診勧奨（リマインダー）の実施

健康診査受診の案内については、対象市町村の協力を得て広報誌に掲載いただいている。また、3（3）健康診査受診結果の活用を通じて、住民の方にきめ細かく周知できるように広報活動を行っている。

さらに、期間の途中には、未受診の対象者に対し、受診勧奨（リマインダー）を行った。

平成30年度県民健康調査「小児健康診査」 (15歳以下) 結果報告

＜補足事項＞

※小児健康診査の実施時期について

平成23年度 : 平成24年1月～3月

平成24～30年度 : 当該年度7月～12月

※0～6歳未満の身長および体重について

年齢階級については受診時年齢を使用した。

成長曲線は厚生労働省「平成22年度乳幼児身体発育調査報告書」より引用した。

グラフ上の点は、平成30年度小児健康診査の平均値を成長曲線にプロットしたものである。

※6～15歳の身長および体重について

年齢階級については受診時年齢を使用した。

文部科学省 平成23年度・平成30年度「学校保健統計調査報告書」より引用した。

平成23年度の学校保健統計調査全国の結果は、東北3県（福島県・宮城県・岩手県）については除かれている。そのため、福島県の学校保健統計調査は平成22年度の結果を使用している。

※血液検査では年齢による変動が大きく、また、0～6歳と7～15歳に区分しており、経年的な変化を比較することが出来ないため、断定的なことは言えない。

※統計的な検定は行っていない。

※集計結果の表章記号の規約は、厚生労働省の人口動態調査と同様に表記した。

計数のない場合

—

比率が微小（0.05未満）の場合

0.0%

※参考資料

平成23～26年度 ; 第21回検討委員会資料3-2「健診項目別受診実績基礎統計表」

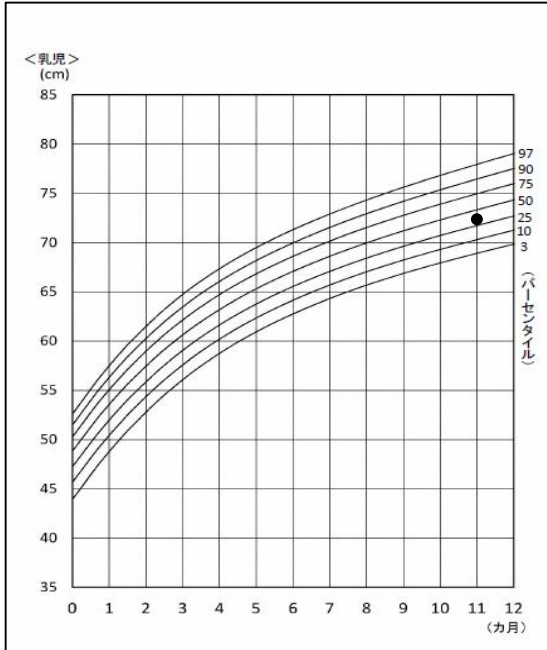
平成27年度 ; 第26回検討委員会資料3-2「健診項目別受診実績基礎統計表」

平成28年度 ; 第30回検討委員会資料2-3「健診項目別受診実績基礎統計表」

平成29年度 ; 第34回検討委員会資料2-3「健診項目別受診実績基礎統計表」

平成30年度 小児健康診査（0歳～6歳未満）男児 【身長】

0歳10ヵ月～1歳未満（男児）

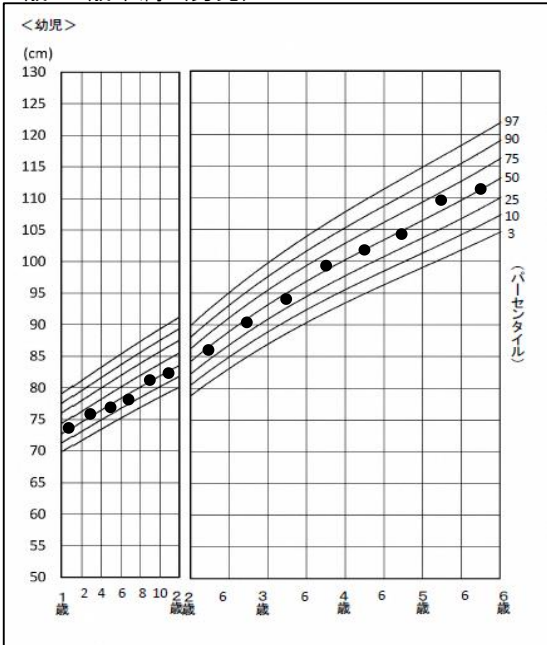


0歳10ヵ月～1歳未満（男児）

階級	H23		H30		
	人数(人)	平均値(cm)	人数(人)	平均値(cm)	中央値(cm)
10ヵ月～1歳未満	44	73.6	21	73.2	73.0
合計	44		21		

平成30年度の0歳10ヵ月～1歳未満の男児の身長の平均値は、平成23年度に比べ0.4cm低かった。

1歳～6歳未満（男児）



1歳～2歳未満（男児）

階級	H23		H30		
	人数(人)	平均値(cm)	人数(人)	平均値(cm)	中央値(cm)
1歳0ヵ月～	77	74.8	28	74.3	74.3
1歳2ヵ月～	68	76.5	20	76.6	76.4
1歳4ヵ月～	93	78.7	18	77.9	77.5
1歳6ヵ月～	80	81.2	13	78.1	78.0
1歳8ヵ月～	73	82.1	16	82.2	82.5
1歳10ヵ月～2歳未満	83	83.8	17	82.5	82.5
合計	474		112		

2歳～6歳未満（男児）

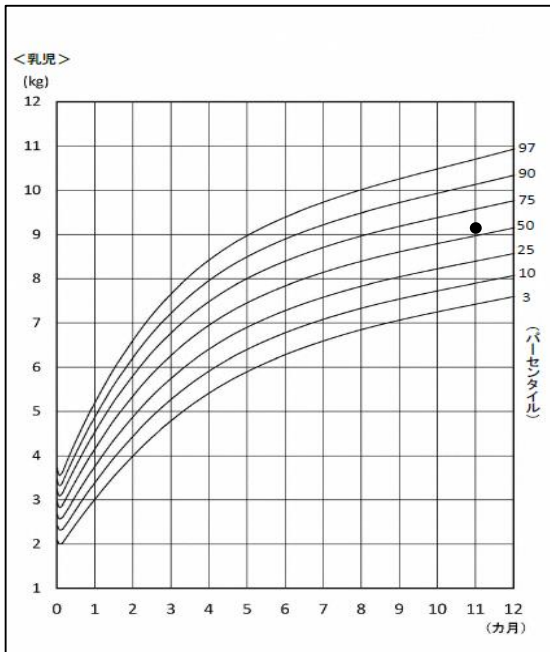
階級	H23		H30		
	人数(人)	平均値(cm)	人数(人)	平均値(cm)	中央値(cm)
2歳0ヵ月～	281	86.6	58	86.0	86.0
2歳6ヵ月～	269	90.7	48	90.6	90.6
3歳0ヵ月～	281	94.8	55	94.9	94.7
3歳6ヵ月～	257	98.6	54	99.0	99.1
4歳0ヵ月～	258	101.7	58	102.3	102.3
4歳6ヵ月～	280	105.7	45	104.2	104.0
5歳0ヵ月～	286	108.5	41	109.8	110.3
5歳6ヵ月～6歳未満	293	111.4	57	111.2	111.2
合計	2,205		416		

1歳0ヵ月～2ヵ月未満、1歳4ヵ月～1歳8ヵ月未満、1歳10ヵ月～3歳0ヵ月未満、4歳6ヵ月～5歳0ヵ月未満、5歳6ヵ月～6歳未満の身長の平均値は、平成23年度に比べわずかに低かった。

1歳2ヵ月～1歳4ヵ月未満、1歳8ヵ月～1歳10ヵ月未満、3歳0ヵ月～4歳6ヵ月未満、5歳0ヵ月～5歳6ヵ月未満の身長の平均値は、平成23年度に比べわずかに高かった。

平成30年度 小児健康診査（0歳～6歳未満）男児 【体重】

0歳10ヵ月～1歳未満（男児）

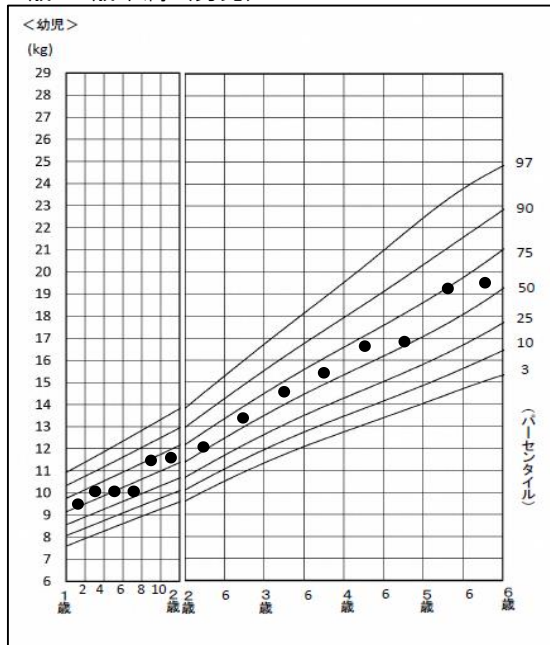


0歳10ヵ月～1歳未満（男児）

階級	H23		H30		
	人数(人)	平均値(kg)	人数(人)	平均値(kg)	中央値(kg)
10ヵ月～1歳未満	44	9.8	21	9.1	9.1
合計	44		21		

0歳10ヵ月～1歳未満の男児の体重の平均値は、平成23年度に比べ0.7kg少なかった。

1歳～6歳未満（男児）



1歳～2歳未満（男児）

階級	H23		H30		
	人数(人)	平均値(kg)	人数(人)	平均値(kg)	中央値(kg)
1歳0ヵ月～	77	9.9	28	9.4	9.3
1歳2ヵ月～	68	10.4	20	10.0	10.1
1歳4ヵ月～	93	10.9	18	10.0	10.2
1歳6ヵ月～	80	11.2	13	10.0	9.9
1歳8ヵ月～	73	11.6	16	11.4	11.8
1歳10ヵ月～2歳未満	83	12.0	17	11.6	11.4
合計	474		112		

2歳～6歳未満（男児）

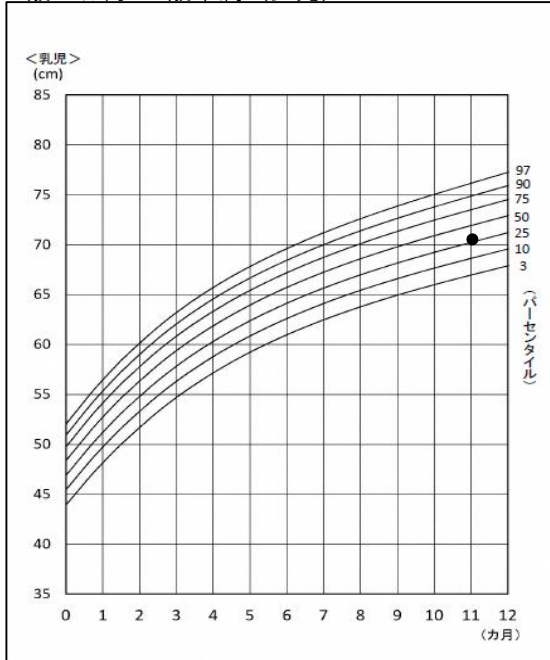
階級	H23		H30		
	人数(人)	平均値(kg)	人数(人)	平均値(kg)	中央値(kg)
2歳0ヵ月～	281	12.7	58	12.1	12.0
2歳6ヵ月～	269	13.8	48	13.2	13.3
3歳0ヵ月～	281	14.8	55	14.5	14.5
3歳6ヵ月～	257	15.9	54	15.3	15.3
4歳0ヵ月～	258	16.8	58	16.7	16.1
4歳6ヵ月～	280	17.9	45	16.9	16.6
5歳0ヵ月～	286	18.7	41	19.2	19.1
5歳6ヵ月～6歳未満	293	20.0	57	19.5	19.0
合計	2,205		416		

1歳0ヵ月～5歳0ヵ月未満、5歳6ヵ月未満～6歳未満の体重の平均値は、平成23年度に比べわずかに少なかった。

5歳0ヵ月～5歳6ヵ月未満の体重の平均値は、平成23年度に比べわずかに多かった。

平成30年度 小児健康診査（0歳～6歳未満）女児 【身長】

0歳10ヵ月～1歳未満（女児）

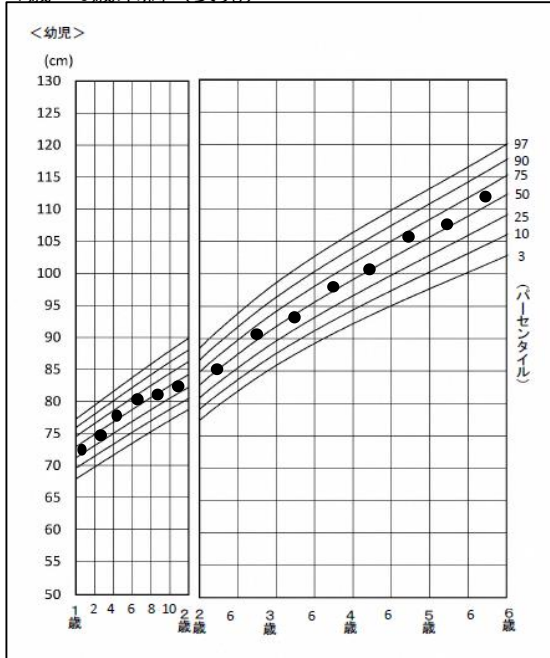


0歳10ヵ月～1歳未満（女児）

階級	H23		H30		
	人数(人)	平均値(cm)	人数(人)	平均値(cm)	中央値(cm)
10ヵ月～1歳未満	36	71.5	13	70.3	70.8
合計	36		13		

0歳10ヵ月～1歳未満の女児の身長は、平成23年度に比べ1.2cm低かった。

1歳～6歳未満（女児）



1歳～2歳未満（女児）

階級	H23		H30		
	人数(人)	平均値(cm)	人数(人)	平均値(cm)	中央値(cm)
1歳0ヵ月～	79	73.7	21	73.0	73.0
1歳2ヵ月～	85	75.1	11	74.7	75.5
1歳4ヵ月～	80	77.4	14	78.0	78.0
1歳6ヵ月～	78	78.9	13	80.4	80.3
1歳8ヵ月～	86	81.2	15	80.9	80.4
1歳10ヵ月～2歳未満	98	82.0	15	82.5	83.2
合計	506		89		

2歳～6歳未満（女児）

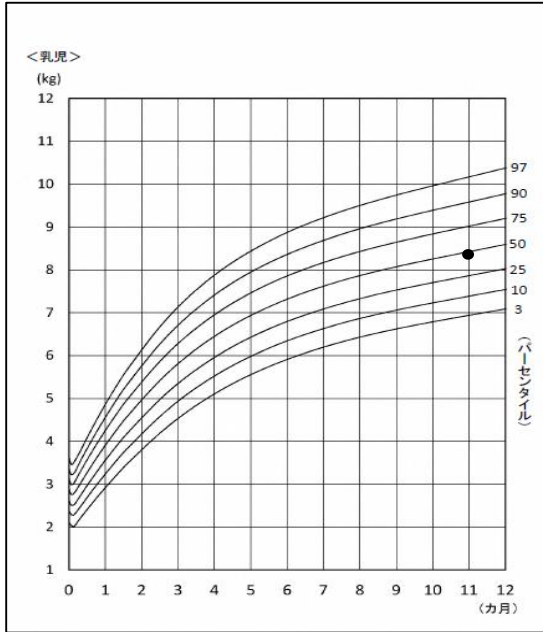
階級	H23		H30		
	人数(人)	平均値(cm)	人数(人)	平均値(cm)	中央値(cm)
2歳0ヵ月～	263	85.4	52	85.3	85.0
2歳6ヵ月～	288	89.9	45	90.9	91.2
3歳0ヵ月～	255	93.5	54	93.9	94.3
3歳6ヵ月～	246	97.3	44	97.9	98.2
4歳0ヵ月～	275	100.6	65	100.9	101.5
4歳6ヵ月～	253	104.2	40	105.9	106.0
5歳0ヵ月～	286	107.6	43	107.6	108.3
5歳6ヵ月～6歳未満	296	110.3	61	113.0	113.1
合計	2,162		404		

1歳0ヵ月～1歳4ヵ月未満、1歳8ヵ月～1歳10ヵ月未満、2歳0ヵ月～2歳6ヵ月未満の女児の身長は、平成23年度に比べわずかに低かった。

5歳0ヵ月～5歳6ヵ月未満では変化なく、1歳4ヵ月～1歳8ヵ月未満、1歳10ヵ月～2歳未満、2歳6ヵ月～5歳0ヵ月未満、5歳6ヵ月～6歳未満の身長は、平成23年度に比べわずかに高かった。

平成30年度 小児健康診査（0歳～6歳未満）女児 【体重】

0歳10ヵ月～1歳未満（女児）

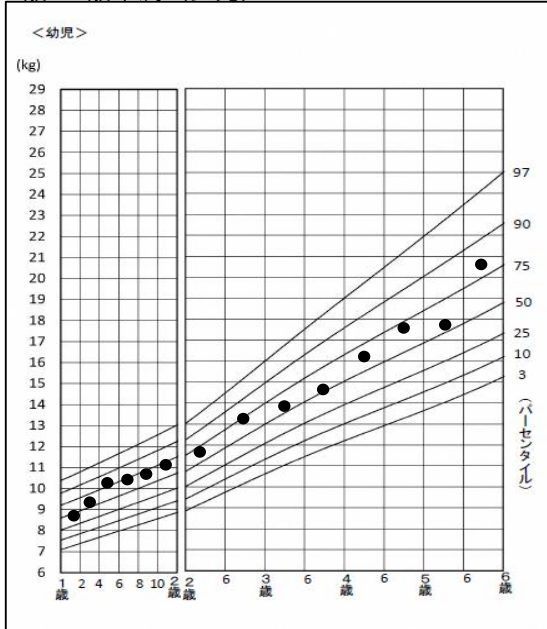


0歳10ヵ月～1歳未満（女児）

階級	H23		H30		
	人数(人)	平均値(kg)	人数(人)	平均値(kg)	中央値(kg)
10ヵ月～1歳未満	36	8.9	13	8.3	7.9
合計	36		13		

0歳10ヵ月～1歳未満の女児の体重の平均値は、平成23年度に比べ0.6kg少なかった。

1歳～6歳未満（女児）



1歳～2歳未満（女児）

階級	H23		H30		
	人数(人)	平均値(kg)	人数(人)	平均値(kg)	中央値(kg)
1歳0ヵ月～	79	9.4	21	8.8	8.8
1歳2ヵ月～	85	9.7	11	9.4	9.3
1歳4ヵ月～	80	10.3	14	10.2	10.6
1歳6ヵ月～	79	10.5	13	10.3	10.6
1歳8ヵ月～	86	11.0	15	10.7	10.7
1歳10ヵ月～2歳未満	98	11.2	15	11.1	11.0
合計	507		89		

2歳～6歳未満（女児）

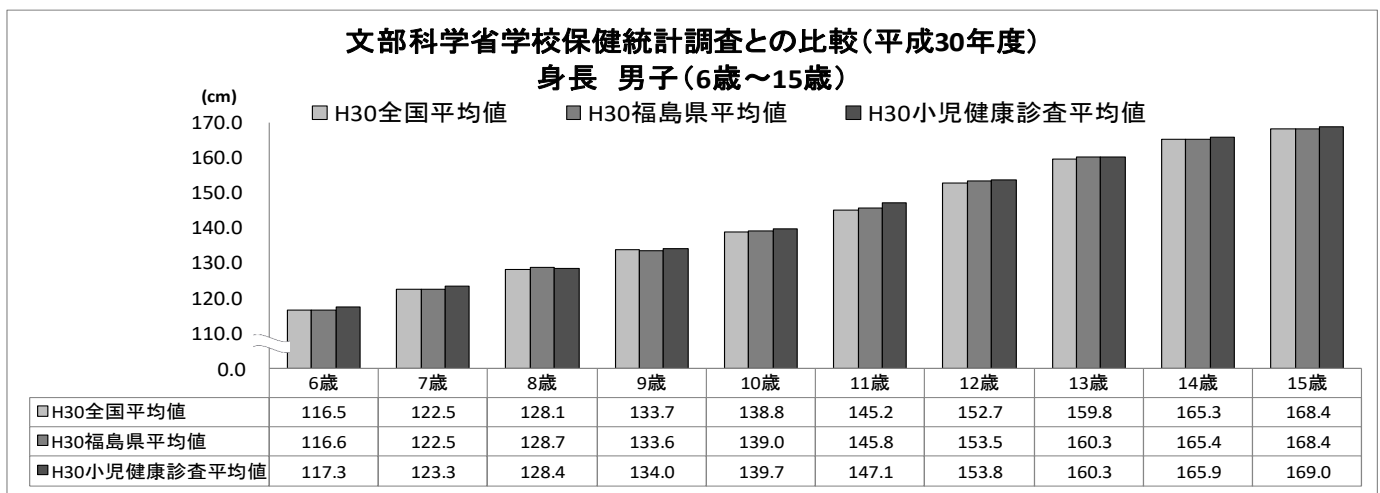
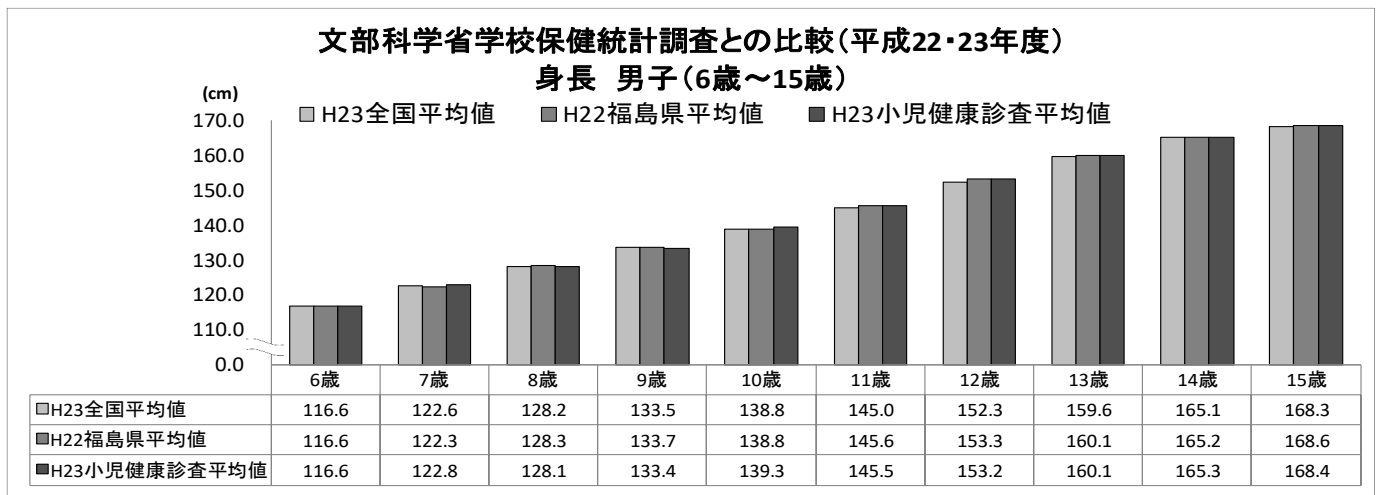
階級	H23		H30		
	人数(人)	平均値(kg)	人数(人)	平均値(kg)	中央値(kg)
2歳0ヵ月～	263	12.1	52	11.7	11.9
2歳6ヵ月～	288	13.2	45	13.2	13.3
3歳0ヵ月～	255	14.1	54	13.9	13.7
3歳6ヵ月～	246	15.2	44	14.8	14.9
4歳0ヵ月～	275	16.4	65	16.2	16.0
4歳6ヵ月～	253	17.2	40	17.7	17.4
5歳0ヵ月～	286	18.4	43	17.9	17.5
5歳6ヵ月～6歳未満	296	19.3	61	20.8	20.1
合計	2,162		404		

1歳0ヵ月～2歳6ヵ月未満、3歳0ヵ月～4歳6ヵ月未満、5歳0ヵ月～5歳6ヵ月未満の体重の平均値は、平成23年度に比べわずかに少なかった。

2歳6ヵ月～3歳0ヵ月未満では変化なく、4歳6ヵ月～5歳0ヵ月未満、5歳6ヵ月～6歳未満の体重の平均値は、平成23年度に比べわずかに多かった。

文部科学省学校保健統計調査との比較
男子（6歳～15歳）【身長】

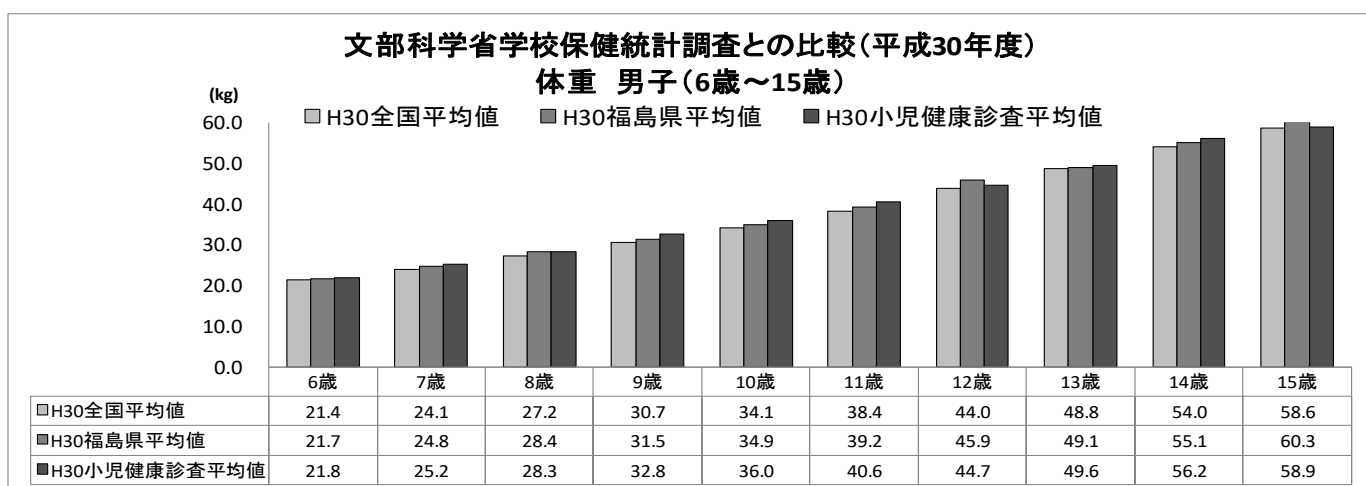
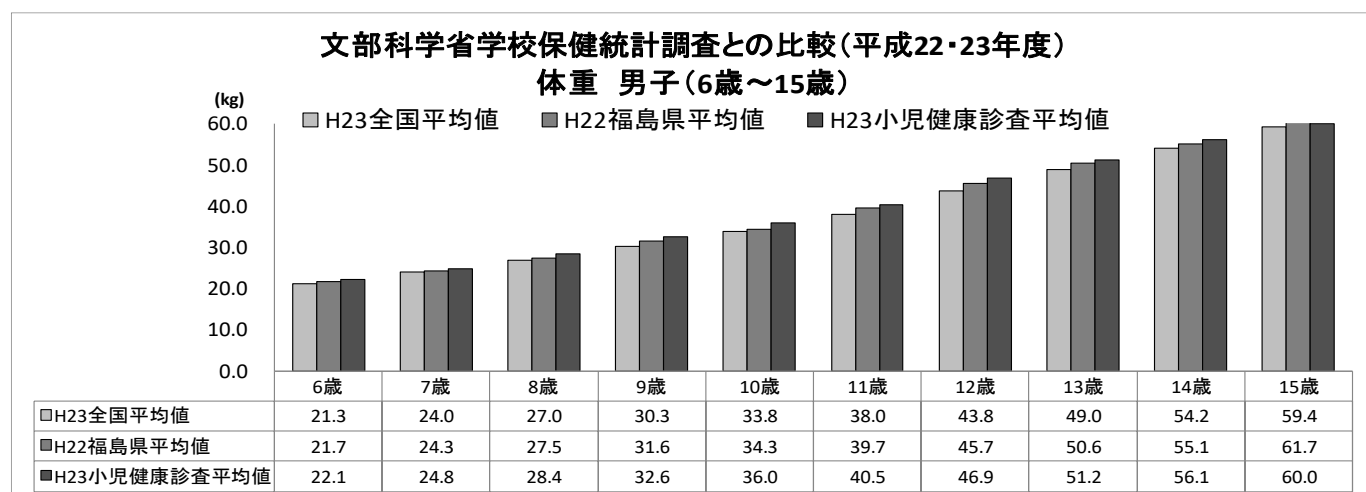
	年齢	文部科学省学校保健統計調査						県民健康調査「小児健康診査」		差	
		平成23年度 全国平均値	平成30年度 全国平均値	差	平成22年度 福島県平均値	平成30年度 福島県平均値	差	平成23年度 平均値	平成30年度 平均値	(H30小児)- (H23小児)	(H30小児)- (H30全国)
		(a)	(b)	(b)-(a)	(c)	(d)	(d)-(c)	(e)	(f)	(f)-(e)	(f)-(b)
小学校	6歳	116.6	116.5	△ 0.1	116.6	116.6	0.0	116.6	117.3	0.7	0.8
	7歳	122.6	122.5	△ 0.1	122.3	122.5	0.2	122.8	123.3	0.5	0.8
	8歳	128.2	128.1	△ 0.1	128.3	128.7	0.4	128.1	128.4	0.3	0.3
	9歳	133.5	133.7	0.2	133.7	133.6	△ 0.1	133.4	134.0	0.6	0.3
	10歳	138.8	138.8	0.0	138.8	139.0	0.2	139.3	139.7	0.4	0.9
	11歳	145.0	145.2	0.2	145.6	145.8	0.2	145.5	147.1	1.6	1.9
中学校	12歳	152.3	152.7	0.4	153.3	153.5	0.2	153.2	153.8	0.6	1.1
	13歳	159.6	159.8	0.2	160.1	160.3	0.2	160.1	160.3	0.2	0.5
	14歳	165.1	165.3	0.2	165.2	165.4	0.2	165.3	165.9	0.6	0.6
高等学校	15歳	168.3	168.4	0.1	168.6	168.4	△ 0.2	168.4	169.0	0.6	0.6



平成30年度の男子小中学生の身長は、平成23年度に比べ全年齢で上回り、同年度の全国平均と比べ全年齢で上回った。平成30年度の男子高校生（15歳）の身長は同様の傾向がみられた。
平成23年度の小児健康診査と全国平均を比べると、7歳、10歳～15歳では上回った。
平成30年度の小児健康診査と全国平均を比べると、全年齢で上回っていた。

文部科学省学校保健統計調査との比較
男子（6歳～15歳）【体重】

	年齢	文部科学省学校保健統計調査						県民健康調査「小児健康診査」		差	
		平成23年度 全国平均値	平成30年度 全国平均値	差	平成22年度 福島県平均値	平成30年度 福島県平均値	差	平成23年度 平均値	平成30年度 平均値	(H30小児)- (H23小児)	(H30小児)- (H30全国)
		(a)	(b)	(b)-(a)	(c)	(d)	(d)-(c)	(e)	(f)	(f)-(e)	(f)-(b)
小学校	6歳	21.3	21.4	0.1	21.7	21.7	0.0	22.1	21.8	△ 0.3	0.4
	7歳	24.0	24.1	0.1	24.3	24.8	0.5	24.8	25.2	0.4	1.1
	8歳	27.0	27.2	0.2	27.5	28.4	0.9	28.4	28.3	△ 0.1	1.1
	9歳	30.3	30.7	0.4	31.6	31.5	△ 0.1	32.6	32.8	0.2	2.1
	10歳	33.8	34.1	0.3	34.3	34.9	0.6	36.0	36.0	0.0	1.9
	11歳	38.0	38.4	0.4	39.7	39.2	△ 0.5	40.5	40.6	0.1	2.2
中学校	12歳	43.8	44.0	0.2	45.7	45.9	0.2	46.9	44.7	△ 2.2	0.7
	13歳	49.0	48.8	△ 0.2	50.6	49.1	△ 1.5	51.2	49.6	△ 1.6	0.8
	14歳	54.2	54.0	△ 0.2	55.1	55.1	0.0	56.1	56.2	0.1	2.2
高等学校	15歳	59.4	58.6	△ 0.8	61.7	60.3	△ 1.4	60.0	58.9	△ 1.1	0.3



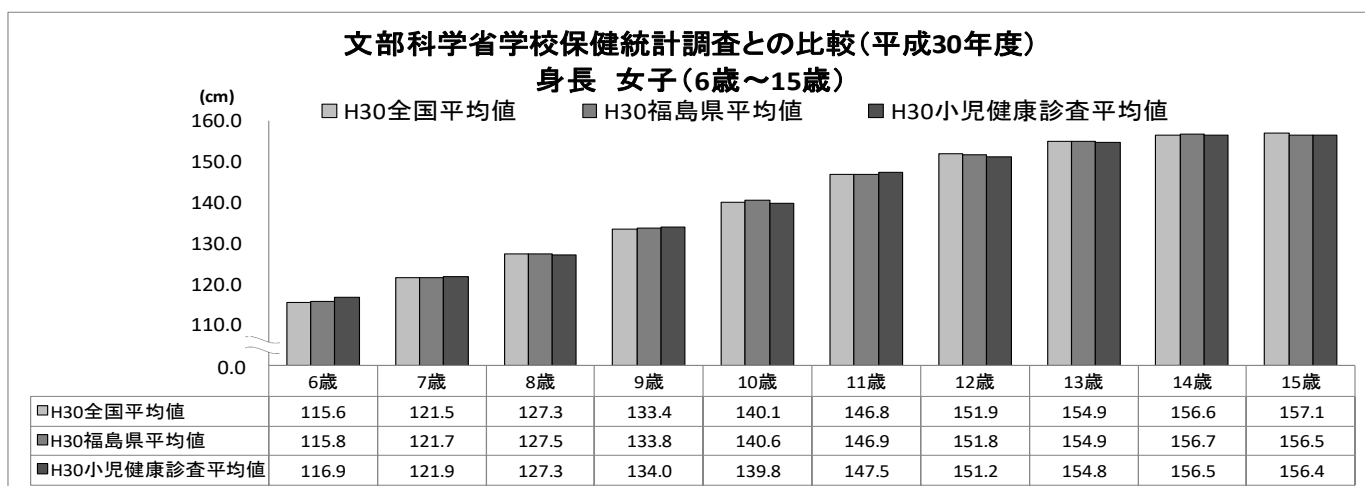
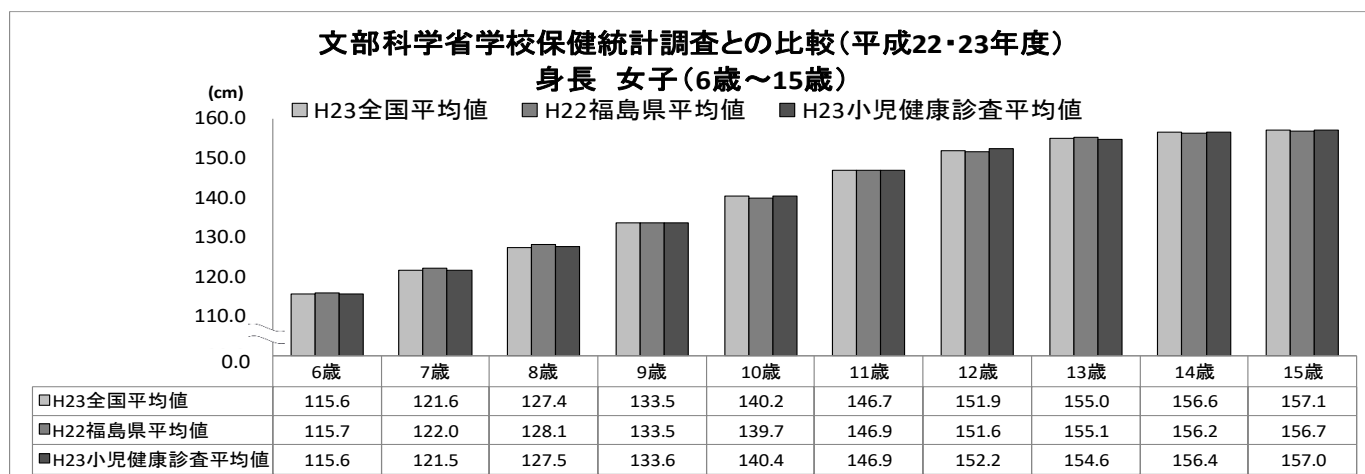
平成30年度の男子小中学生の体重は、平成23年度に比べ6歳、8歳、12歳、13歳を除いた年齢区分において上回り、また、同年度の全国平均と比べるといずれの年齢においても上回った。平成30年度の男子高校生（15歳）の体重は平成23年度に比べ下回ったが、同年度における全国平均と比べると上回った。

平成23年度の小児健康診査と全国平均を比べると、全年齢で上回っていた。

平成30年度の小児健康診査と全国平均を比べると、全年齢で上回っていた。

文部科学省学校保健統計調査との比較
女子（6歳～15歳）【身長】

	年齢	文部科学省学校保健統計調査						県民健康調査「小児健康診査」		差	
		平成23年度 全国平均値	平成30年度 全国平均値	差	平成22年度 福島県平均値	平成30年度 福島県平均値	差	平成23年度 平均値	平成30年度 平均値	(H30小児)- (H23小児)	(H30小児)- (H30全国)
		(a)	(b)	(b)-(a)	(c)	(d)	(d)-(c)	(e)	(f)	(f)-(e)	(f)-(b)
小学校	6 歳	115.6	115.6	0.0	115.7	115.8	0.1	115.6	116.9	1.3	1.3
	7 歳	121.6	121.5	△ 0.1	122.0	121.7	△ 0.3	121.5	121.9	0.4	0.4
	8 歳	127.4	127.3	△ 0.1	128.1	127.5	△ 0.6	127.5	127.3	△ 0.2	△ 0.0
	9 歳	133.5	133.4	△ 0.1	133.5	133.8	0.3	133.6	134.0	0.4	0.6
	10 歳	140.2	140.1	△ 0.1	139.7	140.6	0.9	140.4	139.8	△ 0.6	△ 0.3
中学校	11 歳	146.7	146.8	0.1	146.9	146.9	0.0	146.9	147.5	0.6	0.7
	12 歳	151.9	151.9	0.0	151.6	151.8	0.2	152.2	151.2	△ 1.0	△ 0.7
	13 歳	155.0	154.9	△ 0.1	155.1	154.9	△ 0.2	154.6	154.8	0.2	△ 0.1
高等学校	14 歳	156.6	156.6	0.0	156.2	156.7	0.5	156.4	156.5	0.1	△ 0.1
	15 歳	157.1	157.1	0.0	156.7	156.5	△ 0.2	157.0	156.4	△ 0.6	△ 0.7



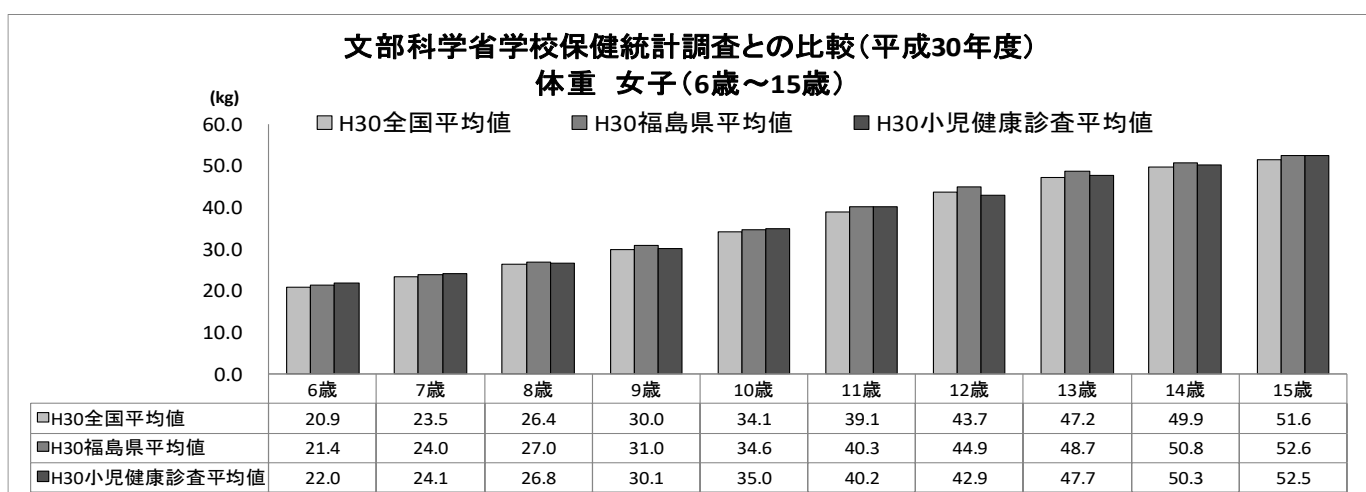
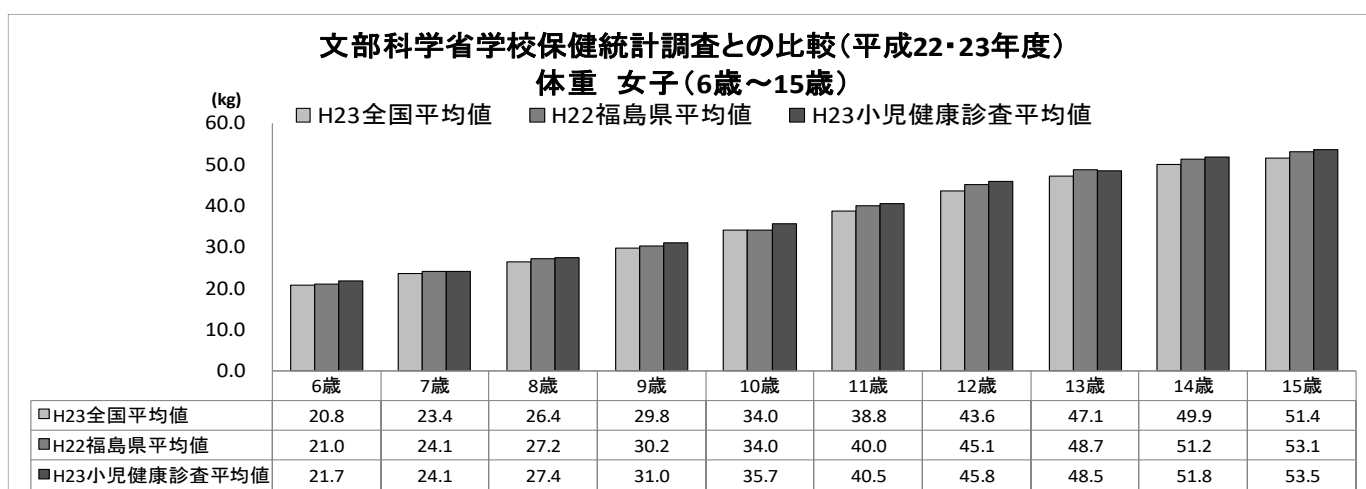
平成30年度の女子小中学生の身長は、平成23年度に比べ6歳、7歳、9歳、11歳、13歳、14歳で上回り、同年度の全国平均と比べて6歳、7歳、9歳、11歳で上回った。平成30年度の女子高校生（15歳）の身長は平成23年度に比べ下回り、同年度における全国平均と比べても下回った。

平成23年度の小児健康診査と全国平均を比べると、8歳～12歳で上回っていた。

平成30年度の小児健康診査と全国平均を比べると、6歳、7歳、9歳、11歳で上回っていた。

文部科学省学校保健統計調査との比較
女子（6歳～15歳）【体重】

	年齢	文部科学省学校保健統計調査						県民健康調査「小児健康診査」		差	
		平成23年度 全国平均値	平成30年度 全国平均値	差	平成22年度 福島県平均値	平成30年度 福島県平均値	差	平成23年度 平均値	平成30年度 平均値	(H30小児)- (H23小児)	(H30小児)- (H30全国)
		(a)	(b)	(b)-(a)	(c)	(d)	(d)-(c)	(e)	(f)	(f)-(e)	(f)-(b)
小学校	6歳	20.8	20.9	0.1	21.0	21.4	0.4	21.7	22.0	0.3	1.1
	7歳	23.4	23.5	0.1	24.1	24.0	△ 0.1	24.1	24.1	△ 0.0	0.6
	8歳	26.4	26.4	0.0	27.2	27.0	△ 0.2	27.4	26.8	△ 0.6	0.4
	9歳	29.8	30.0	0.2	30.2	31.0	0.8	31.0	30.1	△ 0.9	0.1
	10歳	34.0	34.1	0.1	34.0	34.6	0.6	35.7	35.0	△ 0.7	0.9
中学校	11歳	38.8	39.1	0.3	40.0	40.3	0.3	40.5	40.2	△ 0.3	1.1
	12歳	43.6	43.7	0.1	45.1	44.9	△ 0.2	45.8	42.9	△ 2.9	△ 0.8
	13歳	47.1	47.2	0.1	48.7	48.7	0.0	48.5	47.7	△ 0.8	0.5
高等学校	14歳	49.9	49.9	0.0	51.2	50.8	△ 0.4	51.8	50.3	△ 1.5	0.4
	15歳	51.4	51.6	0.2	53.1	52.6	△ 0.5	53.5	52.5	△ 1.0	0.9



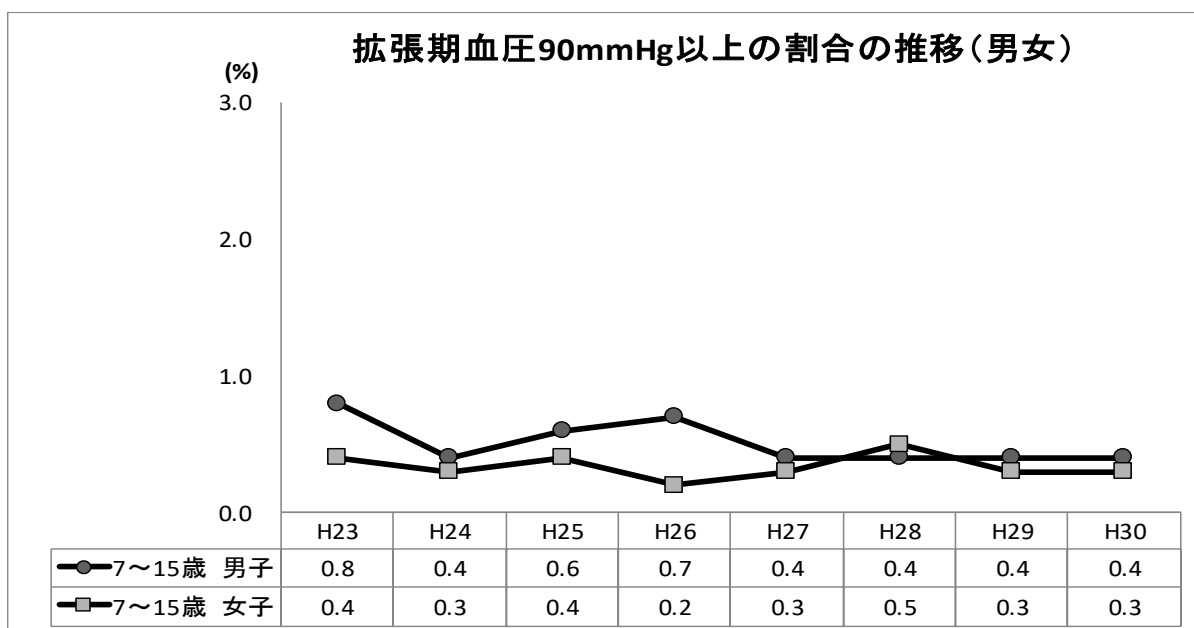
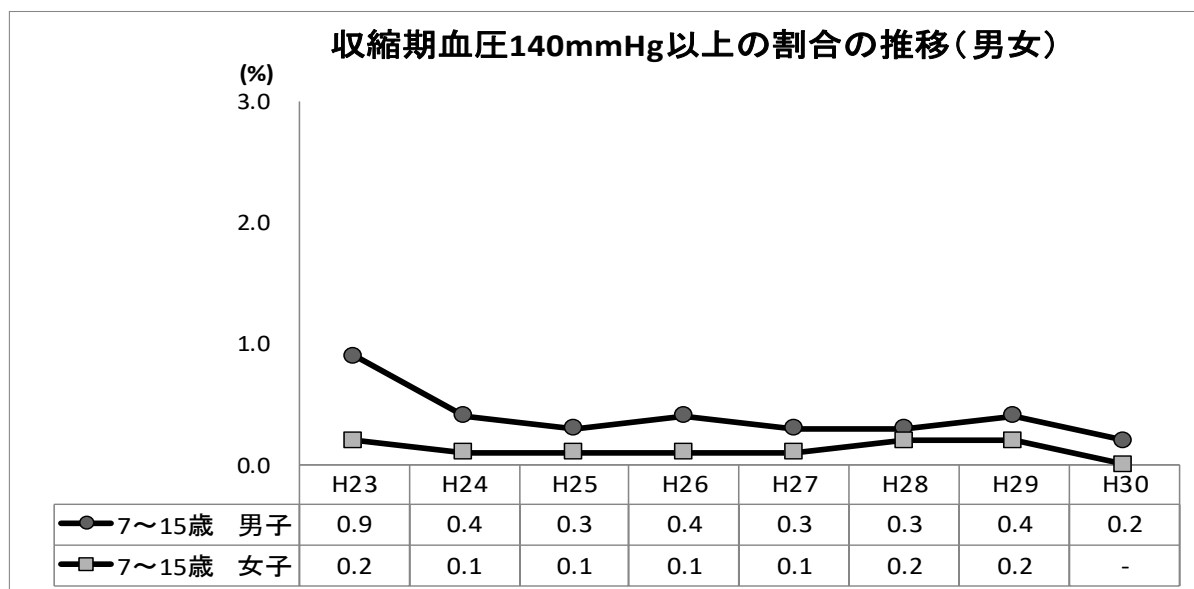
平成30年度の女子小中学生の体重は、平成23年度に比べ6歳を除いた他の年齢区分において下回ったが、同年度の全国平均と比べると12歳を除いた他の年齢においては上回った。平成30年度の女子高校生（15歳）の体重は平成23年度に比べ下回ったが、同年度における全国平均と比べると上回った。

平成23年度の小児健康診査と全国平均を比べると、全年齢で上回っていた。

平成30年度の小児健康診査と全国平均を比べると、12歳を除き全年齢で上回っていた。

1.身体検査（1） 血圧

高血圧者の割合

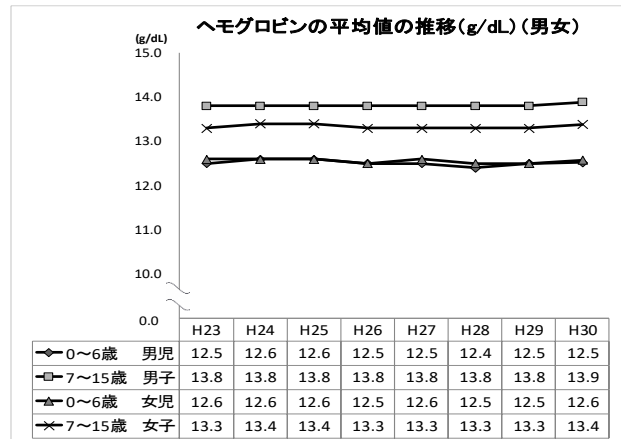
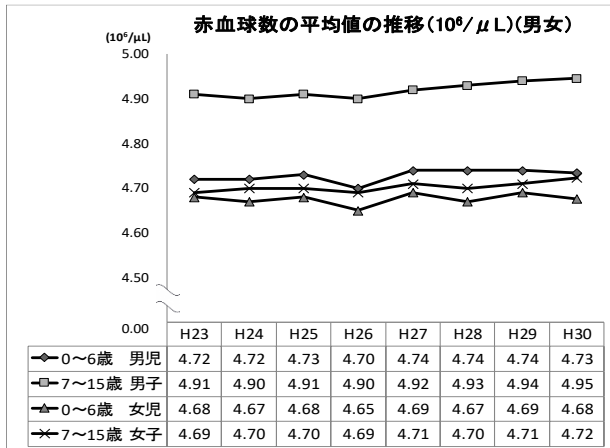


高血圧者は、全年度で女子と比較して男子の方が高い傾向がみられた。男子では平成23年度が最も多かったが、その後減少傾向がみられ、平成27年度以降は大きな変化はみられなかった。女子は大きな変化はみられなかった。

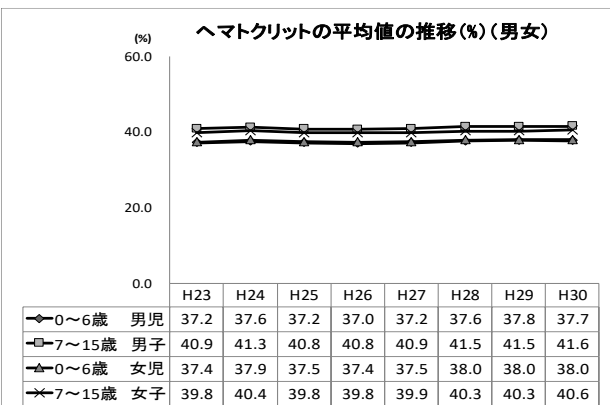
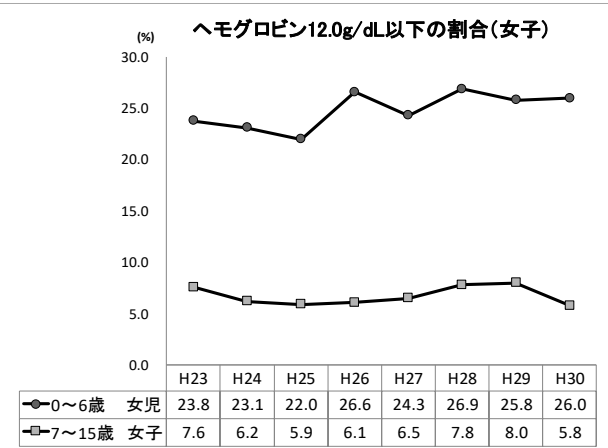
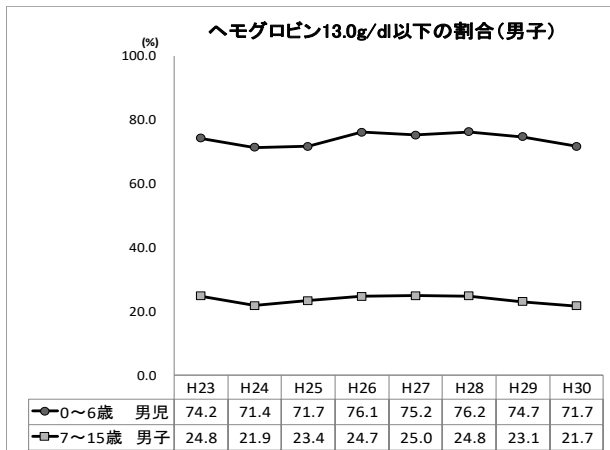
※収縮期血圧140mmHg以上および拡張期血圧90mmHg以上は、16歳以上の集団健診・個別健診で使用している判定基準の異常値。

2.末梢血液検査

(1) 赤血球、ヘモグロビン、ヘマトクリット



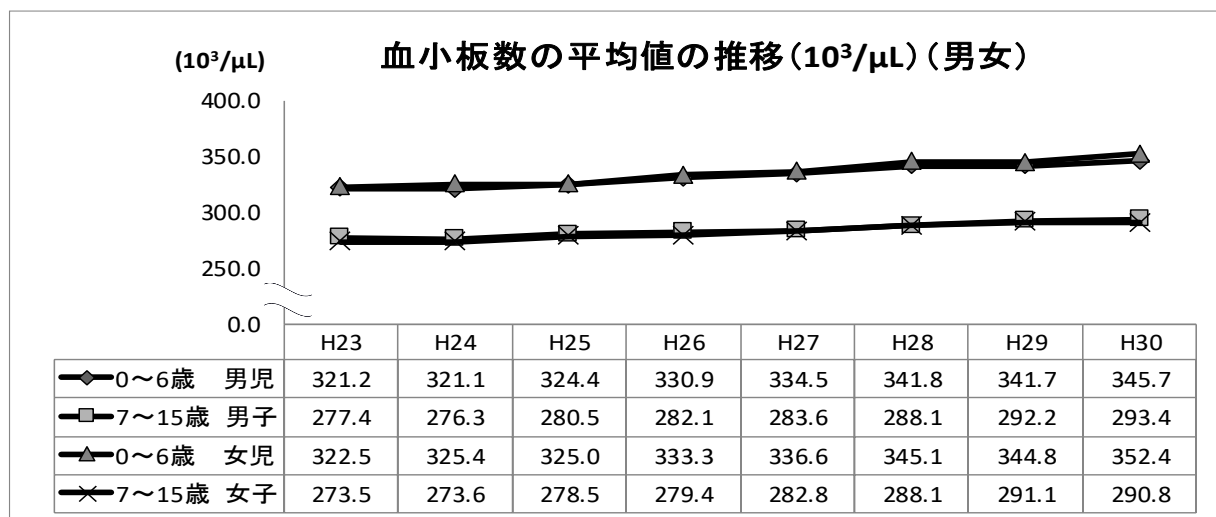
ヘモグロビン（男子）13.0g/dL以下の割合と（女子）12.0g/dL以下の割合



赤血球数、ヘモグロビンおよびヘマトクリットは、男女ともに全ての年齢区分において大きな変化はみられなかった。

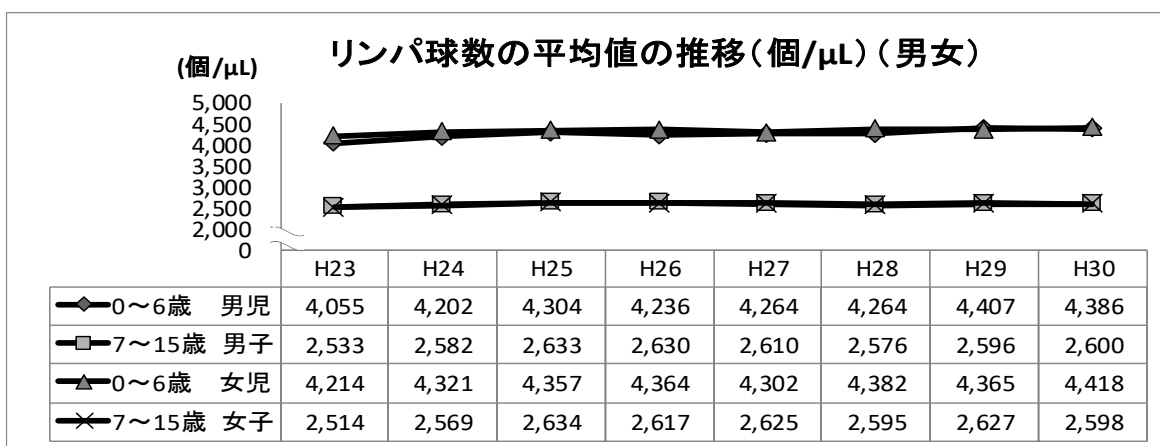
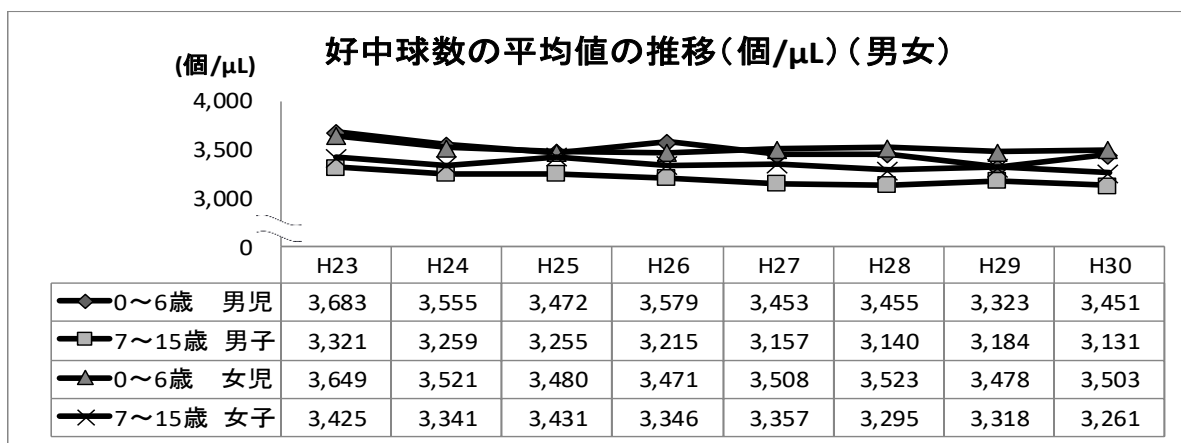
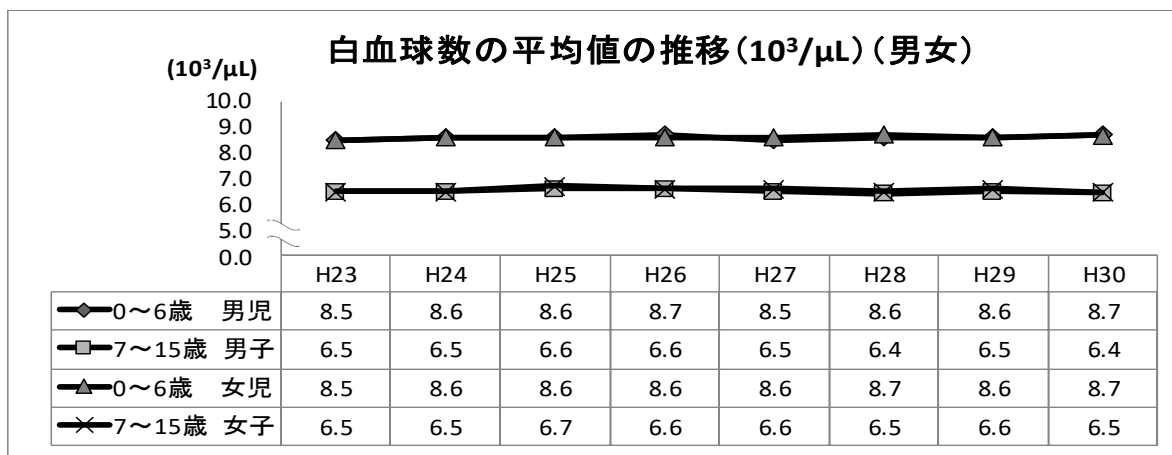
※ヘモグロビン男子13.0g/dL以下および女子12.0g/dL以下は、16歳以上の集団健診・個別健診で使用している判定基準の軽度異常値。

3.末梢血液検査 (2) 血小板数

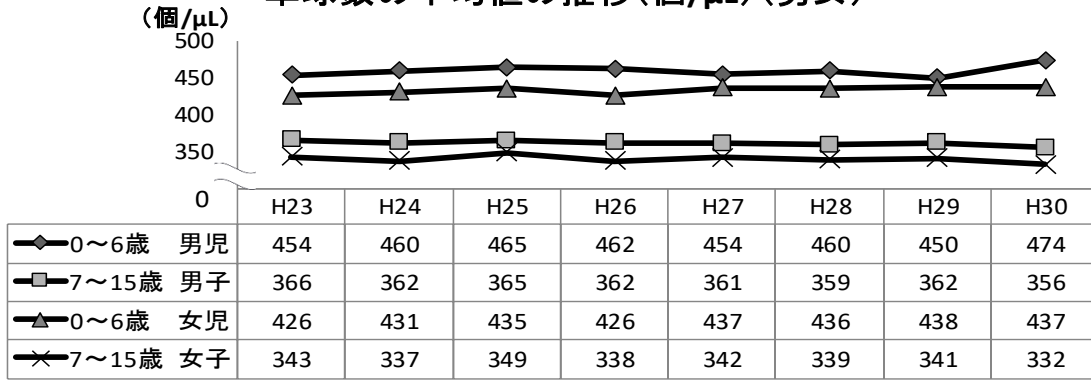


血小板数は、男女ともに全ての年齢区分において大きな変化はみられなかった。

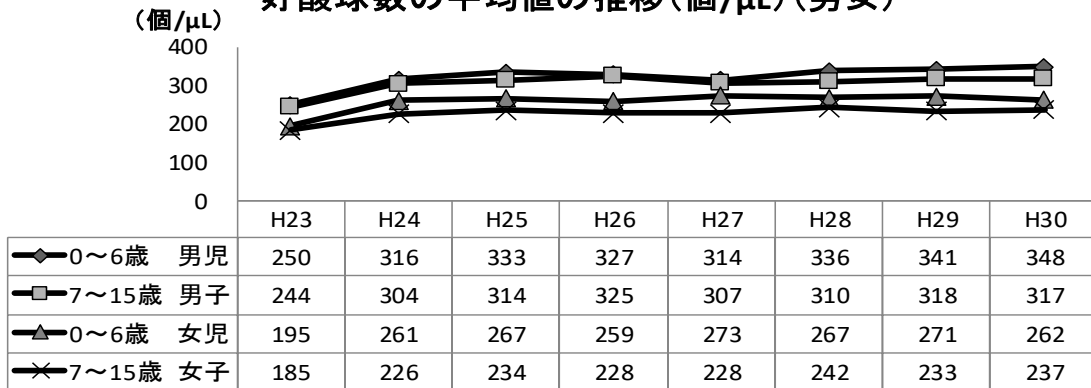
3.末梢血液検査 (3) 白血球数、白血球分画



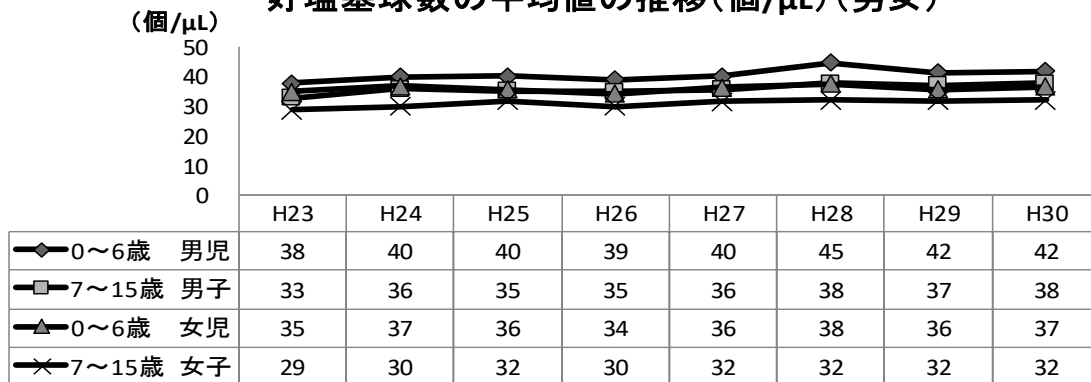
単球数の平均値の推移(個/μL)(男女)



好酸球数の平均値の推移(個/μL)(男女)



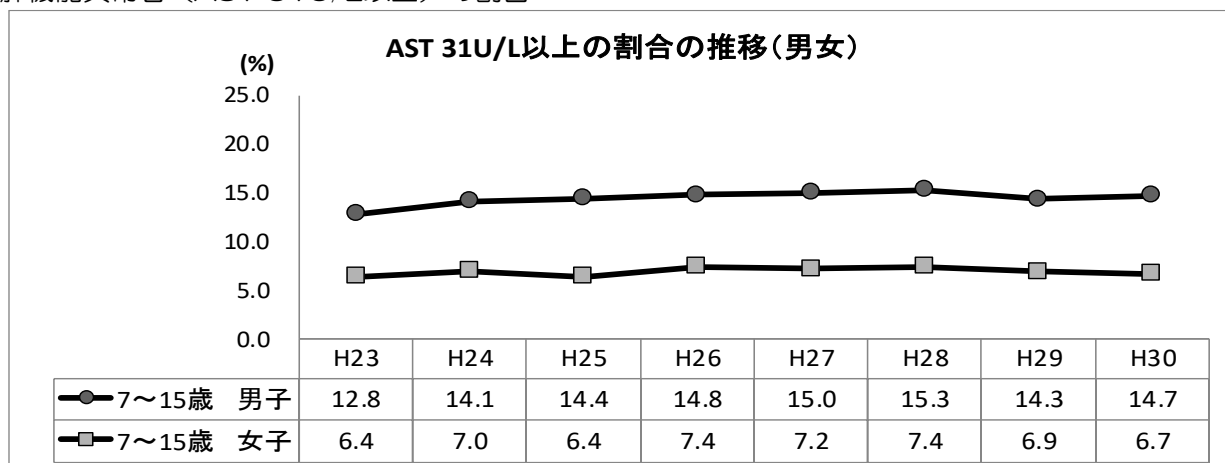
好塩基球数の平均値の推移(個/μL)(男女)



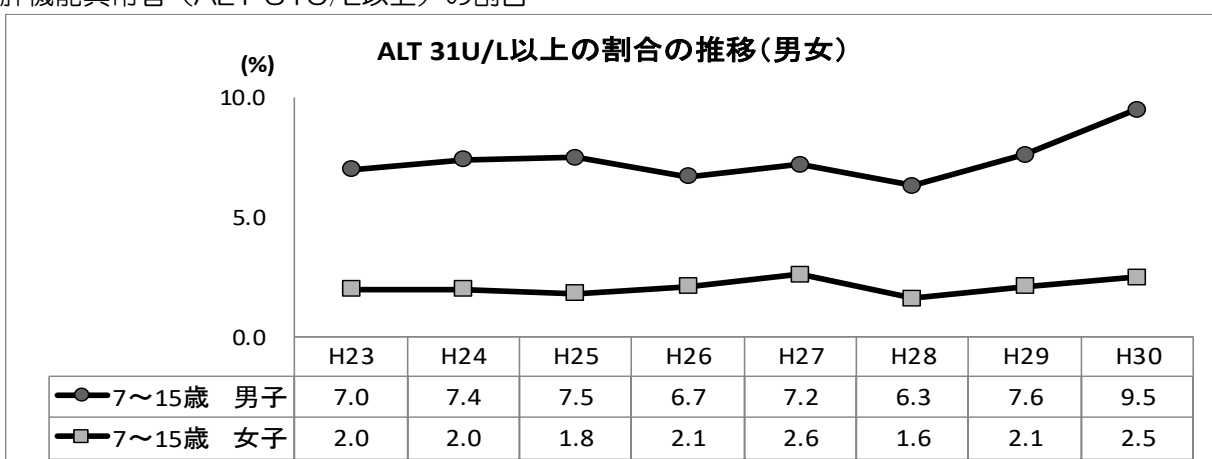
白血球数および白血球分画は、男女ともに全ての年齢区分において大きな変化はみられなかった。

3.血液生化学（1）肝機能（AST、ALT、 γ -GT）

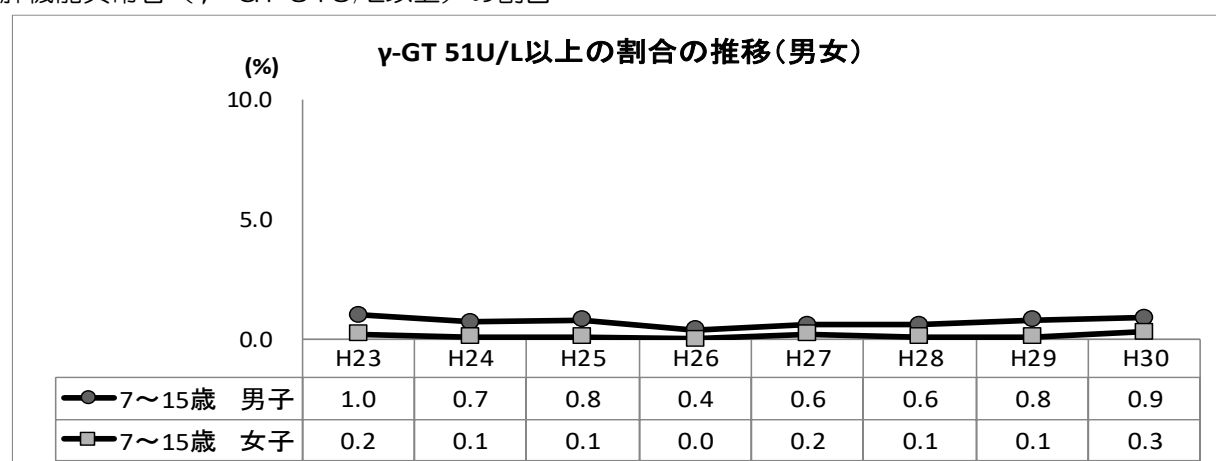
肝機能異常者（AST 31U/L以上）の割合



肝機能異常者（ALT 31U/L以上）の割合



肝機能異常者（ γ -GT 51U/L以上）の割合



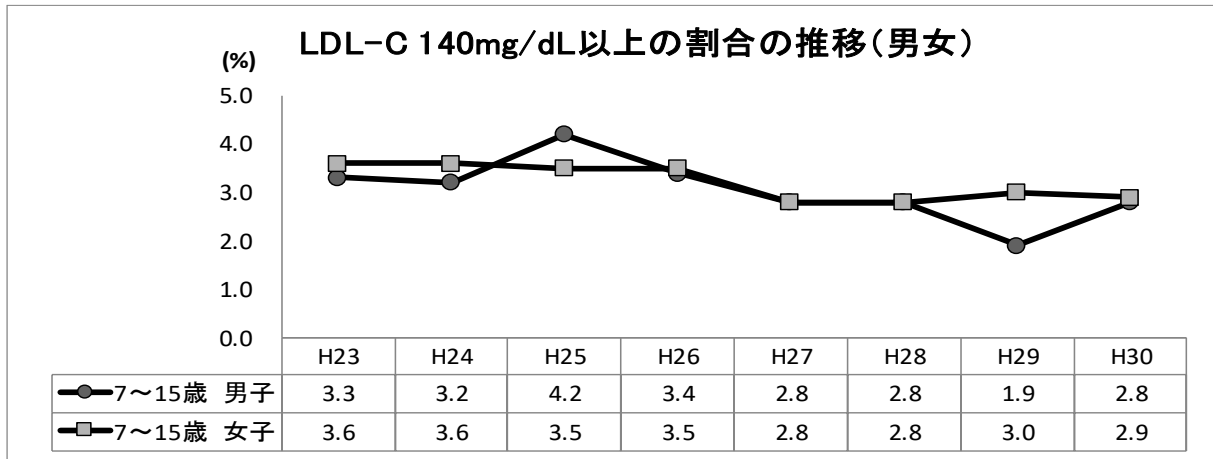
肝機能異常者は、全年度で女子と比較して男子に多くみられた。男女とも大きな変化はみられなかった。

※AST31U/L以上、ALT31U/L以上および γ -GT51U/L以上は、16歳以上の集団健診・個別健診で使用している判定基準の軽度異常値。

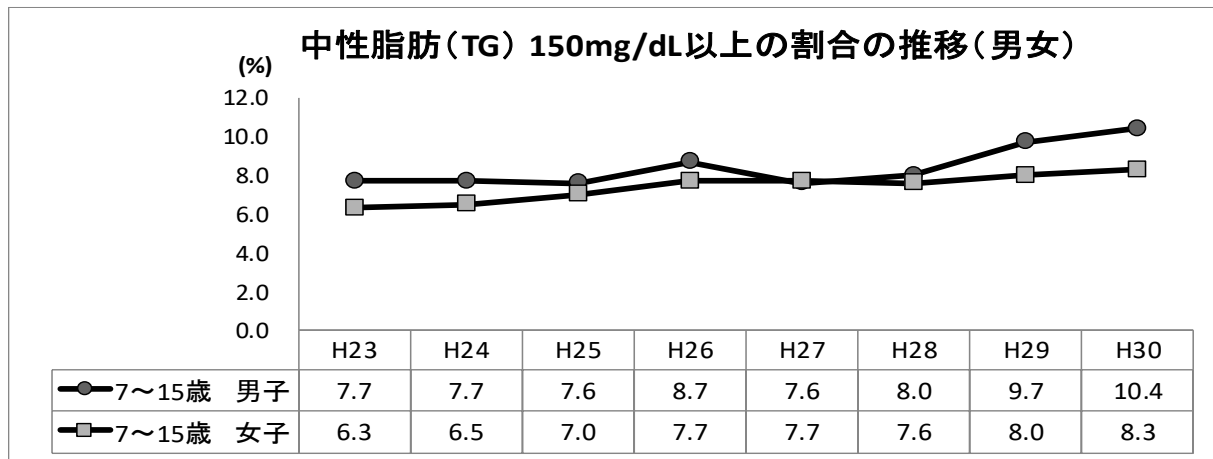
4.血液生化学

(2) 脂質 (LDLコレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール)

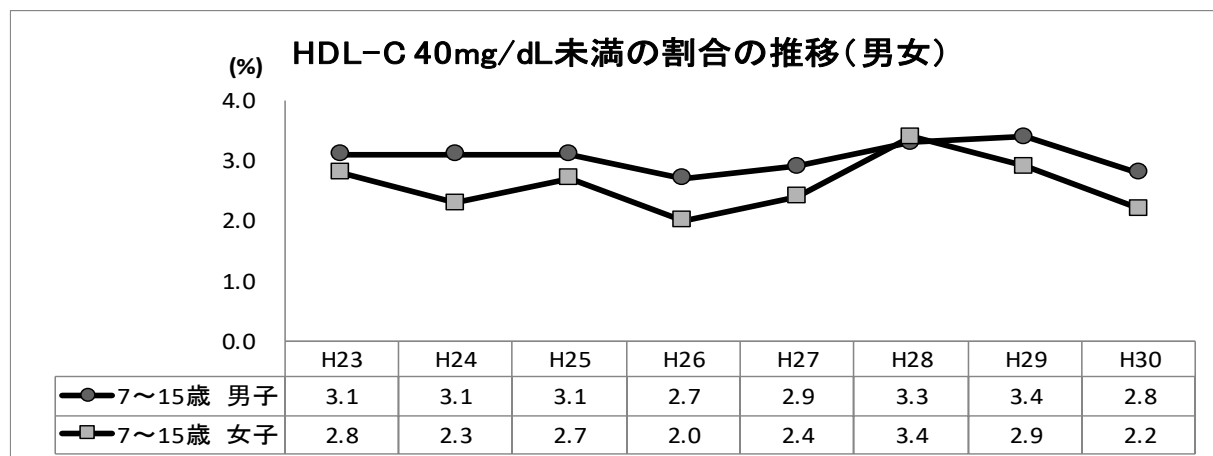
脂質代謝異常者 (LDL-C 140mg/dL以上) の割合



脂質代謝異常者 (中性脂肪150mg/dL以上) の割合



脂質代謝異常者 (HDL-C 40mg/dL未満) の割合



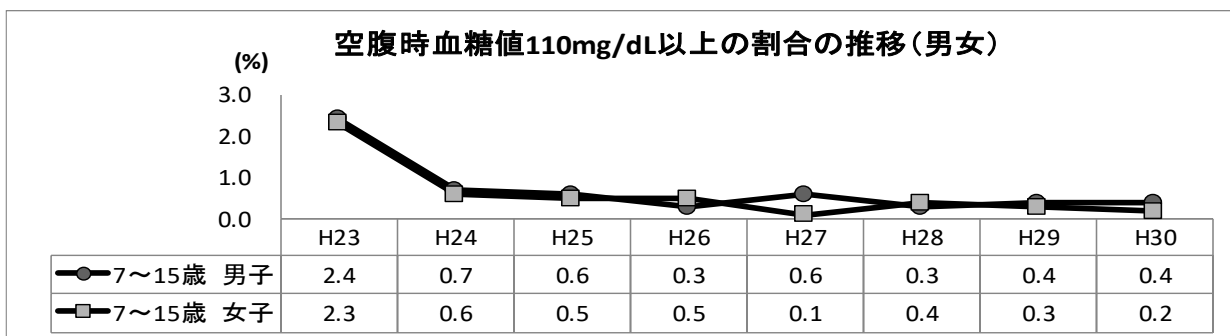
LDL-C 140mg/dL以上の割合、中性脂肪150mg/dL以上の割合、HDL-C 40mg/dL未満の割合は、男女で大きな差はみられなかった。男女とも大きな変化はみられなかった。

※LDL-C140mg/dL以上は、16歳以上の集団健診・個別健診で使用している判定基準の異常値。

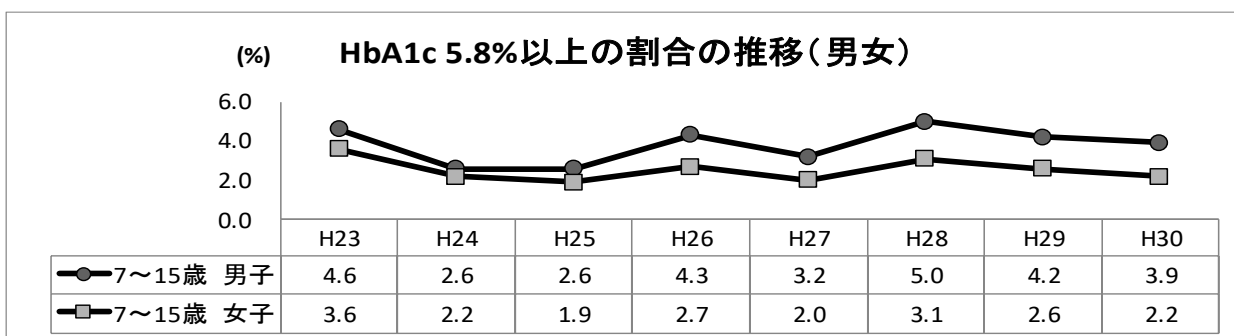
中性脂肪150mg/dL以上およびHDL-C40mg/dL未満は、16歳以上の集団健診・個別健診で使用している判定基準の軽度異常値。

4.血液生化学 (3) 糖 (空腹時血糖、HbA1c)

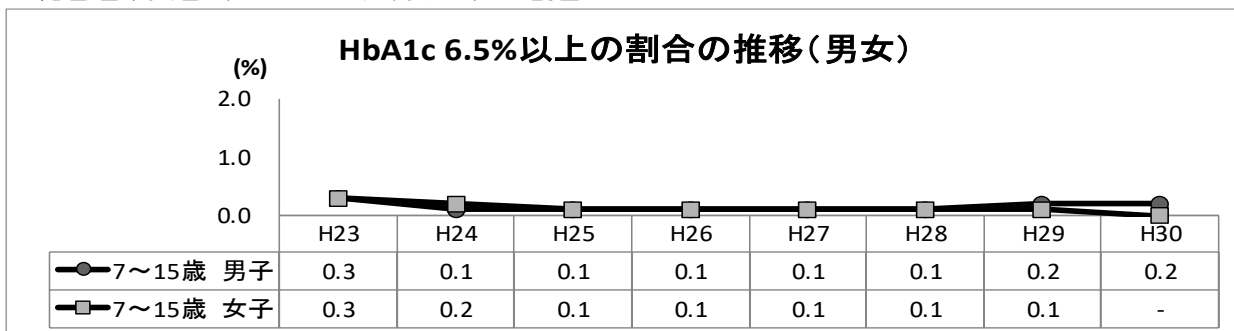
耐糖能異常者 (空腹時血糖値110mg/dL以上) の割合



耐糖能異常者 (HbA1c 5.8%以上) の割合



血糖管理不良者 (HbA1c 6.5%以上) の割合



空腹時血糖値110mg/dL以上の割合は、男女とも平成23年度をピークに平成24年度は減少し、それ以降は大きな変化は見られなかった。

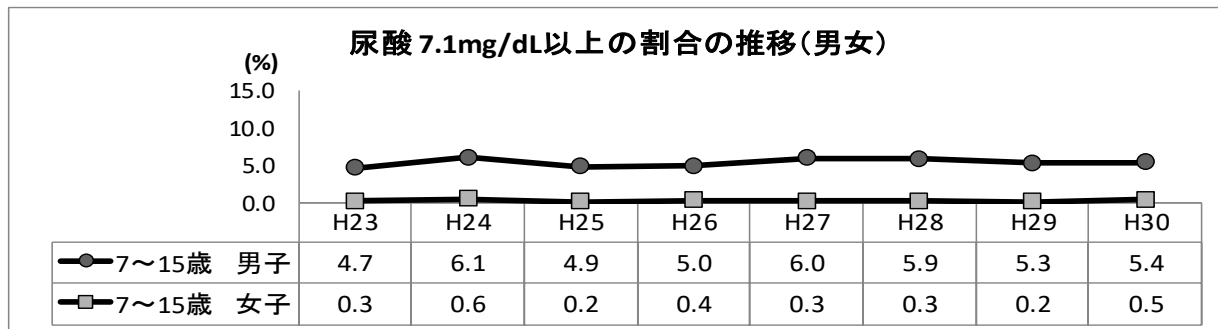
HbA1c5.8%以上の割合は、男女で大きな差はみられなかった。男女とも、平成23年度から平成25年度にかけて減少し、その後は増加と減少を繰り返す傾向がみられた。

HbA1c6.5%以上の割合は、男女間で大きな差はみられず、また、男女とも大きな変化はみられなかった。

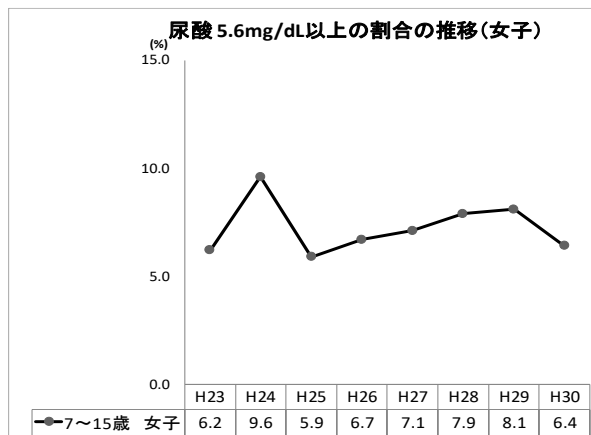
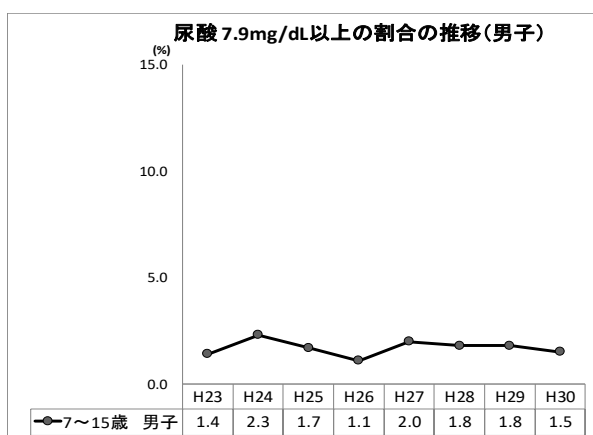
※HbA1c5.8%以上および6.5%以上は、「糖尿病治療ガイド2012-2013」における指標。

4.血液生化学 (4) 腎機能 (尿酸)

高尿酸血症者 (尿酸値7.1mg/dL以上) の割合



高尿酸血症者 男子 (尿酸値7.9mg/dL以上) の割合と女子 (尿酸値5.6mg/dL以上) の割合



尿酸値7.1mg/dL以上の割合は、男女とも大きな変化はみられなかった。

※尿酸値7.1mg/dL以上は、日本痛風・核酸代謝学会作成「高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン」の定義による値。

尿酸値男子7.9mg/dL以上および女子5.6mg/dL以上は、日本臨床検査標準化協議会設定共用基準範囲の上限の値。

小児の判定基準値（参考値）

（小児臨床検査ガイドより引用：2017年版）

赤血球数(RBC)、ヘモグロビン(Hb)、ヘマトクリット(Ht)、平均赤血球容積(MCV)

年齢	赤血球数($\times 10^{12}/L$)	ヘモグロビン(g/dL)	ヘマトクリット(%)	MCV(fL)
生下時	5.25 \pm 0.40	16.6 \pm 1.5	53 \pm 4.5	107 \pm 10
1日	5.14 \pm 0.60	19.0 \pm 2.0	58 \pm 5.5	108 \pm 13
1週	4.86 \pm 0.60	17.9 \pm 1.5	56 \pm 6.0	104 \pm 12
1ヵ月	4.10 \pm 0.60	14.2 \pm 2.0	43 \pm 6.0	101 \pm 10
3ヵ月	3.70 \pm 0.35	11.3 \pm 1.0	33 \pm 3.0	89 \pm 17
6ヵ月	4.60 \pm 0.35	12.3 \pm 1.0	36 \pm 3.0	78 \pm 8
12ヵ月	4.60 \pm 0.40	11.6 \pm 0.75	36 \pm 1.5	78 \pm 7
1~4歳	4.70 \pm 0.35	12.6 \pm 0.5	38 \pm 1.5	81 \pm 6
4~12歳	4.80 \pm 0.30	13.0 \pm 1.0	40 \pm 2.5	83 \pm 9
成人男性	5.40 \pm 0.35	16.0 \pm 1.0	47 \pm 3.0	90 \pm 10
成人女性	4.80 \pm 0.30	14.0 \pm 1.0	42 \pm 2.5	88 \pm 10

※平均値 \pm 標準偏差

※赤血球数単位は国際単位を使用($\times 10^{12}/L = \times 10^6/\mu L$)

白血球数(WBC)

($\times 10^9/L$)

年齢	平均値	95%信頼区間	年齢	平均値	95%信頼区間
出生時	18.1	9.0~30.0	1歳	11.4	6.0~17.5
12時間	22.8	13.0~38.0	2歳	10.6	6.0~17.0
24時間	18.9	9.4~34.0	4歳	9.1	5.5~15.5
1週	12.2	5.0~21.0	6歳	8.5	5.0~14.5
2週	11.4	5.0~20.0	8歳	8.3	4.5~13.5
1ヵ月	10.8	5.0~19.5	10歳	8.1	4.5~13.5
6ヵ月	11.9	6.0~17.5	16歳	7.8	4.5~13.0
			21歳	7.4	4.5~11.0

※白血球数単位は国際単位を使用($\times 10^9/L = \times 10^3/\mu L$)

好中球数、リンパ球数、単球数、好酸球数と割合

($\times 10^3/\mu\text{L}$, 範囲は 95%信頼区間)

年齢	好中球数			リンパ球数			単球数		好酸球数	
	平均値	範囲	%	平均値	範囲	%	平均値	%	平均値	%
出生時	11.0	6.0~26.0	61	5.5	2.0~11.0	31	1.1	6	0.4	2
12 時間	15.5	6.0~28.0	68	5.5	2.0~11.0	24	1.2	5	0.5	2
24 時間	11.5	5.0~21.0	61	5.8	2.0~11.5	31	1.1	6	0.5	2
1 週	5.5	1.5~10.0	45	5.0	2.0~17.0	41	1.1	9	0.5	4
2 週	4.5	1.0~9.5	40	5.5	2.0~17.0	48	1.0	9	0.4	3
1 ヶ月	3.8	1.0~9.0	35	6.0	2.5~16.5	56	0.7	7	0.3	3
6 ヶ月	3.8	1.0~8.5	32	7.3	4.0~13.5	61	0.6	5	0.3	3
1 歳	3.5	1.5~8.5	31	7.0	4.0~10.5	61	0.6	5	0.3	3
2 歳	3.5	1.5~8.5	33	6.3	3.0~9.5	59	0.5	5	0.3	3
4 歳	3.8	1.5~8.5	42	4.5	2.0~8.0	50	0.5	5	0.3	3
6 歳	4.3	1.5~8.0	51	3.5	1.5~7.0	42	0.4	5	0.2	3
8 歳	4.4	1.5~8.0	53	3.3	1.5~6.8	39	0.4	4	0.2	2
10 歳	4.4	1.8~8.0	54	3.1	1.5~6.5	38	0.4	4	0.2	2
16 歳	4.4	1.8~8.0	57	2.8	1.2~5.2	35	0.4	5	0.2	3
21 歳	4.4	1.8~7.7	59	2.5	1.0~4.8	34	0.3	4	0.2	3

血小板数 (PLT)

検査項目	基準値
血小板数	150~400

※血小板数単位は国際単位を使用 ($\times 10^9/\text{L} = \times 10^3 \mu\text{L}$)

AST (GOT) (U/L)

年齢	男性	女性
生後 1 ヶ月	19~61	20~71
生後 6 ヶ月	25~85	22~76
1 歳	23~51	22~50
3 歳	20~45	20~44
6 歳	17~39	16~38
12 歳	14~33	12~30
成人	30 以下	

ALT (GPT) (U/L)

年齢	男性	女性
生後 1 ヶ月	10~50	11~68
生後 6 ヶ月	12~62	10~63
1 歳	5~25	5~31
3 歳	4~24	5~27
6 歳	4~23	4~25
12 歳	3~20	3~18
成人	30 以下	

 γ -GT (U/L)

	男性	女性
成人	0~50	0~30
小児から若年者	生後 5~6 ヶ月で成人レベルになる。	
新生児	正常上限の 5~6 倍	

血糖 (mg/dL)

	低血糖	正常域	糖尿病域
空腹時値		70~109	≥ 126
随時血糖値			≥ 200

*** 低血糖基準**

- ・ 新生児：45~50mg/dL 以下 (低血糖症診断基準における確実診断基準値：30mg/dL 以下)
- ・ 小児：65~70mg/dL 以下 (低血糖症診断基準における確実診断基準値：40mg/dL 以下)

*** 高血糖基準**

- ・ 空腹時血糖値：110mg/dL 未満を正常型、110mg/dL 以上 126mg/dL 未満を空腹時血糖異常、126mg/dL 以上を糖尿病型とする。
- ・ 随時血糖値 ≥ 200 mg/dL 以上および HbA1c $\geq 6.5\%$ の場合も糖尿病型とみなす。
(日本糖尿病学会：糖尿病の分類と診断基準に関する委員会報告 (国際標準化対応版). 糖尿病 55 (7) 492, 2012 より一部改変)

HbA1c (%) (NGSP 単位)

- * 基準値：4.6~6.2

中性脂肪 (TG) (mg/dL)

年齢	男性	女性
臍帯血	10~98	10~98
0~5 歳	30~86	32~99
6~11 歳	31~108	35~114
12~15 歳	36~138	41~138

HDL コレステロール (HDL-C) (mg/dL)

LDL コレステロール (LDL-C) (mg/dL)

検査項目	測定法	適正域	境界域	高値
HDL コレステロール (HDL-C)	直接法	≥40	—	—
LDL コレステロール (LDL-C)	直接法	<110	110~139	≥140

尿酸 (UA) (mg/dL)

* 男性 : 3.7~7.0、女性 : 2.5~7.0

血清クレアチニン (mg/dL)

3 ヶ月~12 歳未満 (男女共通)			
年齢	2.5% tile	50% tile	97.5 tile
3~5 ヶ月	0.14	0.20	0.26
6~8 ヶ月	0.14	0.22	0.31
9~11 ヶ月	0.14	0.22	0.34
1 歳	0.16	0.23	0.32
2 歳	0.17	0.24	0.37
3 歳	0.21	0.27	0.37
4 歳	0.20	0.30	0.40
5 歳	0.25	0.34	0.45
6 歳	0.25	0.34	0.48
7 歳	0.28	0.37	0.49
8 歳	0.29	0.40	0.53
9 歳	0.34	0.41	0.51
10 歳	0.30	0.41	0.57
11 歳	0.35	0.45	0.58

12 歳~17 歳未満 (男女別)						
年齢	2.5% tile		50% Tile		97.5% Tile	
	男児	女児	男児	女児	男児	女児
12 歳	0.40	0.40	0.53	0.52	0.61	0.66
13 歳	0.42	0.41	0.59	0.53	0.80	0.69
14 歳	0.54	0.46	0.65	0.58	0.96	0.71
15 歳	0.48	0.47	0.68	0.56	0.93	0.72
16 歳	0.62	0.51	0.73	0.59	0.96	0.74

小児の健診項目

健診項目		内 容
問診、診察		普段の健康状態をみます。
身長、体重		身長と体重を測って肥満度をみます。
血圧（小学1年生～中学3年生）		血圧の状態を確認します。高血圧症などを見つけます。
血液検査（0歳～6歳の方は、希望がある場合のみ）		
血算	赤血球数、ヘマトクリット 血色素量（ヘモグロビン）	貧血などの種類と程度をみます。
	血小板数、白血球数、 白血球分画	感染症や白血病などを見つける手がかりとなります。
血液生化学検査	中性脂肪(TG) HDL コレステロール LDL コレステロール	動脈硬化のなりやすさの程度をみます。
	AST(GOT)、ALT(GPT) γ-GT	肝臓の病気を見つける手がかりとなります。
	血糖 ヘモグロビンA1c(HbA1c)	糖尿病などを見つける手がかりとなります。
	血清クレアチニン	腎臓の病気を見つける手がかりとなります。
	尿酸	痛風などを見つける手がかりとなります。

基本検査

追加希望検査
(小学校1年生以上対象)

平成30年度県民健康調査「健康診査」 (16歳以上) 結果報告

<補足事項>

※16～39歳、40～64歳、65歳以上の3つの年齢に区分し、グラフ化した。

※全く同じ母集団ではなく、経年的な変化を比較することが出来ないため、断定的なことは言えない。

※統計的な検定は行っていない。

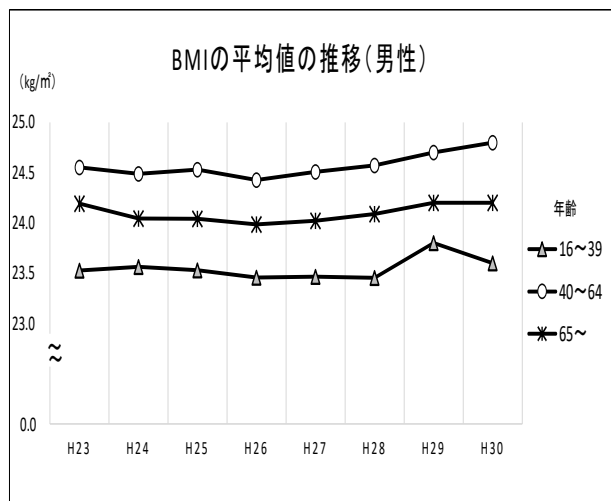
※集計結果の表章記号の規約は、厚生労働省の人口動態調査と同様に表記した。

計数のない場合	—
比率が微小(0.05未満)の場合	0.0%

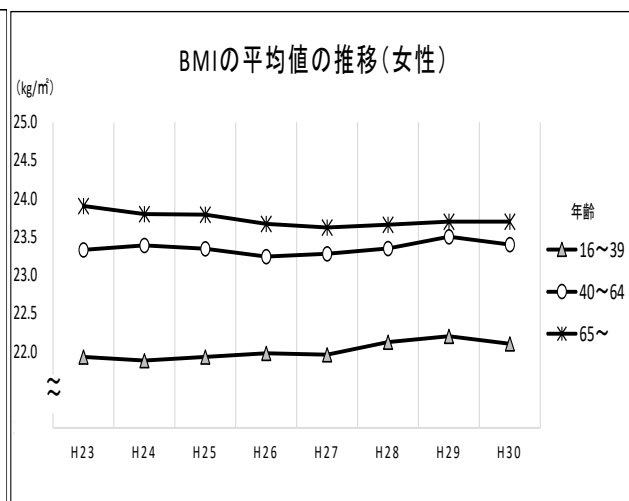
※参考資料

平成23～26年度	；	第21回検討委員会資料3-2	「健診項目別受診実績基礎統計表」
平成27年度	；	第26回検討委員会資料3-2	「健診項目別受診実績基礎統計表」
平成28年度	；	第30回検討委員会資料2-3	「健診項目別受診実績基礎統計表」
平成29年度	；	第34回検討委員会資料2-3	「健診項目別受診実績基礎統計表」

1.身体検査 (1) BMI (体重/身長²)

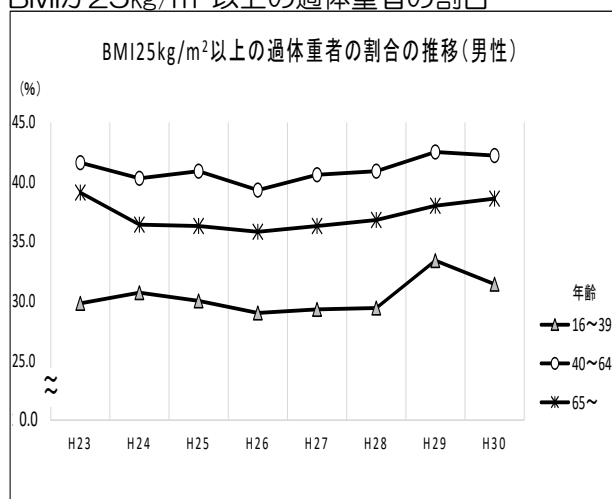


年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	23.5	23.6	23.5	23.5	23.5	23.5	23.8	23.6
40~64	24.6	24.5	24.5	24.4	24.5	24.6	24.7	24.8
65~	24.2	24.0	24.0	24.0	24.0	24.1	24.2	24.2

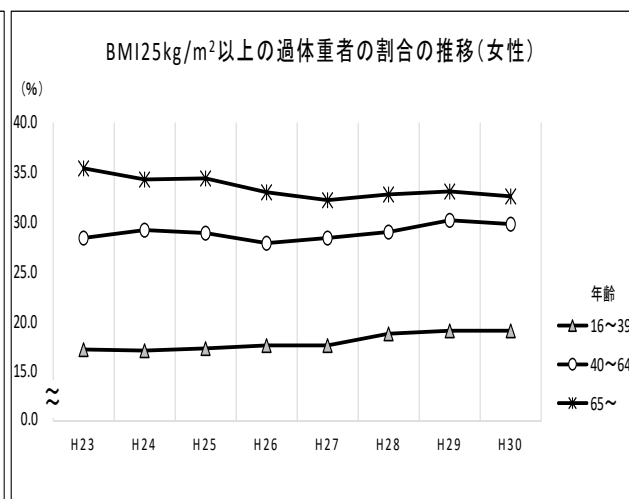


年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	21.9	21.9	21.9	22.0	22.0	22.1	22.2	22.1
40~64	23.3	23.4	23.3	23.2	23.3	23.3	23.5	23.4
65~	23.9	23.8	23.8	23.7	23.6	23.7	23.7	23.7

BMIが25kg/m²以上の過体重者の割合



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	29.8	30.7	30.0	29.0	29.3	29.4	33.4	31.4
40~64	41.6	40.3	40.9	39.3	40.6	40.9	42.5	42.2
65~	39.1	36.4	36.3	35.8	36.3	36.8	38.0	38.6



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	17.2	17.1	17.3	17.6	17.6	18.8	19.1	19.1
40~64	28.4	29.2	28.9	27.9	28.4	29.0	30.2	29.8
65~	35.4	34.3	34.4	33.0	32.2	32.8	33.1	32.6

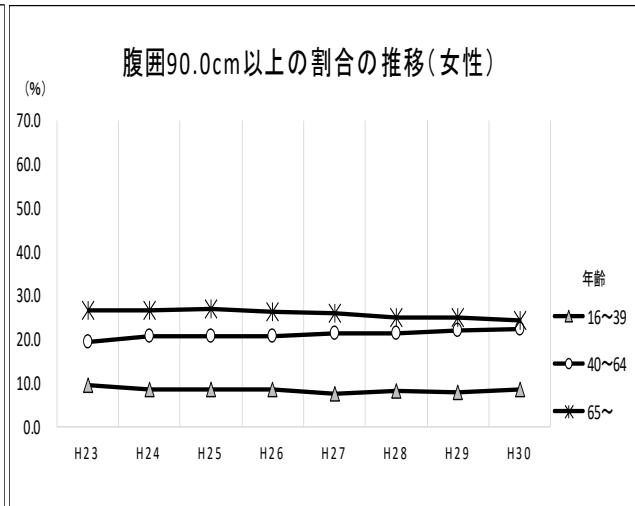
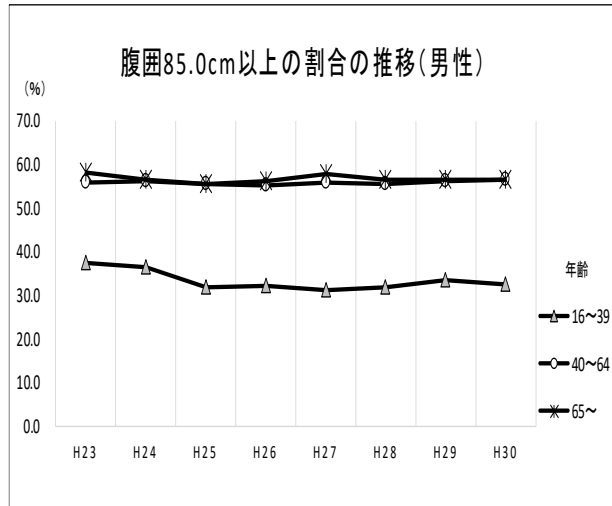
BMIは、16歳～39歳の平均値および25kg/m²以上の男性の割合において、平成29年度で増加し平成30年度では減少する傾向がみられたが、他の年齢区分では大きな変化はみられなかった。

BMI25kg/m²以上の女性の割合では、65歳以上で平成23年度から平成27年度までは減少傾向であったが、平成28年度から平成30年度では大きな変化がみられなかった。

※BMI 25kg/m²以上は、集団健診・個別健診で使用している判定基準の軽度異常値。

1.身体検査 (2) 腹囲

腹部内臓脂肪肥満者の割合(腹囲高値者)



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	37.3	36.3	31.7	32.0	31.3	31.8	33.4	32.4
40~64	56.0	56.2	55.6	55.3	55.8	55.7	56.3	56.4
65~	58.2	56.4	55.6	56.2	57.7	56.4	56.7	56.6

年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	9.5	8.6	8.6	8.5	7.5	8.1	8.0	8.5
40~64	19.5	20.8	20.7	20.7	21.4	21.5	22.2	22.5
65~	26.7	26.6	26.9	26.4	25.9	25.0	25.0	24.4

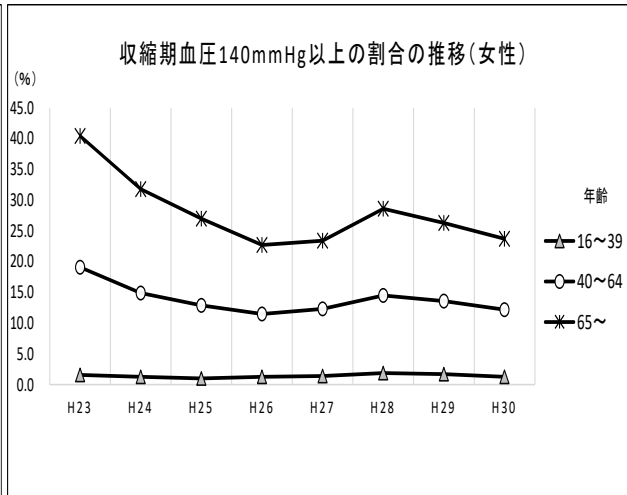
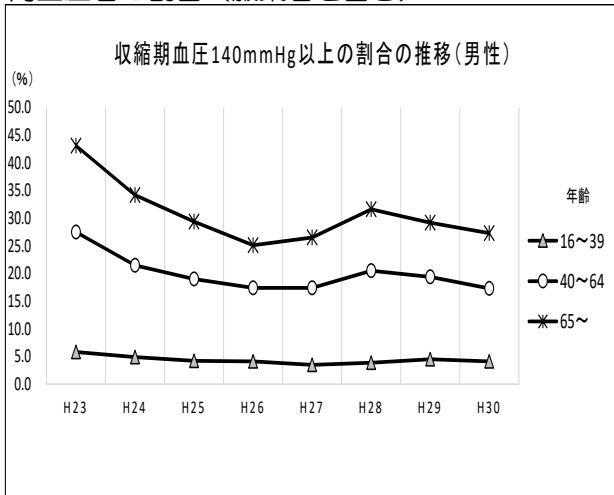
腹囲85.0cm以上の男性の割合では、16~39歳では平成23年度から平成25年度にかけて減少傾向がみられたが、平成26年度以降は大きな変化はみられなかった。

腹囲90.0cm以上の女性の割合では、40~64歳では平成23年度から平成30年度にかけて増加傾向がみられた。

※腹囲男性85.0cm以上および女性90.0cm以上は、集団健診・個別健診で使用している判定基準の軽度異常値。

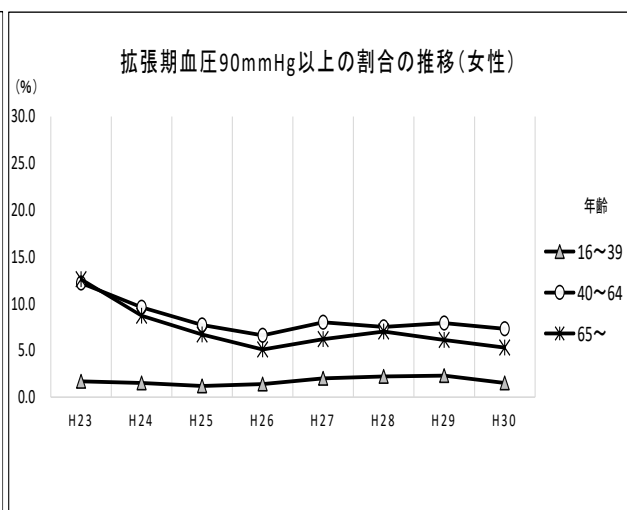
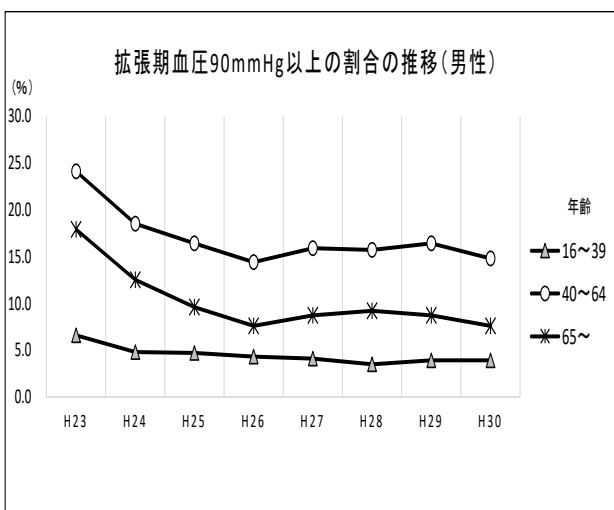
1.身体検査 (3) 血圧

高血圧者の割合（服薬者を含む）



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	5.8	4.9	4.2	4.1	3.5	3.9	4.5	4.1
40~64	27.5	21.5	19.0	17.4	17.4	20.5	19.4	17.3
65~	43.1	34.2	29.4	25.1	26.5	31.6	29.2	27.3

年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	1.6	1.3	1.0	1.3	1.4	1.9	1.7	1.3
40~64	19.1	14.9	12.9	11.5	12.3	14.5	13.6	12.2
65~	40.4	31.8	27.0	22.7	23.4	28.6	26.3	23.7



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	6.6	4.8	4.7	4.3	4.1	3.5	3.9	3.9
40~64	24.1	18.5	16.4	14.4	15.9	15.7	16.4	14.8
65~	17.9	12.5	9.6	7.6	8.7	9.2	8.7	7.6

年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	1.7	1.5	1.2	1.4	2.0	2.2	2.3	1.5
40~64	12.2	9.6	7.7	6.6	8.0	7.5	7.9	7.3
65~	12.6	8.7	6.7	5.1	6.2	7.0	6.1	5.3

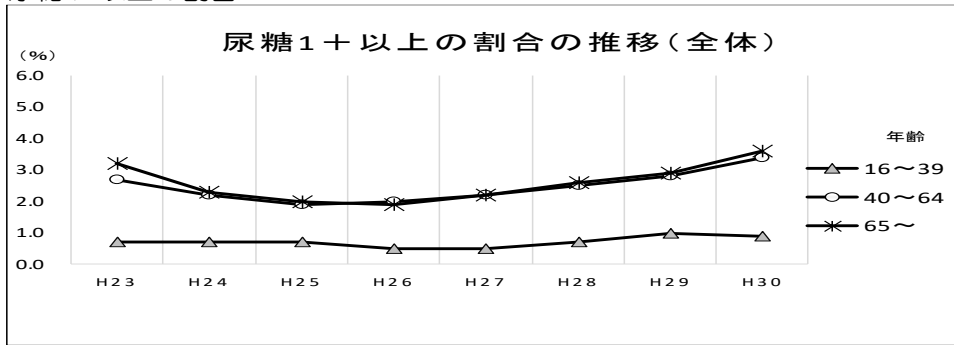
収縮期血圧140mmHg以上の割合は、40歳以上の男女ともに、平成23年度から平成26年度まで減少傾向がみられた。平成27年度から平成28年度にかけては増加傾向がみられたが、平成30年度にかけては減少傾向がみられた。

拡張期血圧90mmHg以上の割合は、40歳以上の男女ともに、平成23年度から平成26年度まで減少傾向がみられたが、平成27年度以降は大きな変化はみられなかった。

※収縮期血圧140mmHg以上および拡張期血圧90mmHg以上は、集団健診・個別健診で使用している判定基準の異常値。

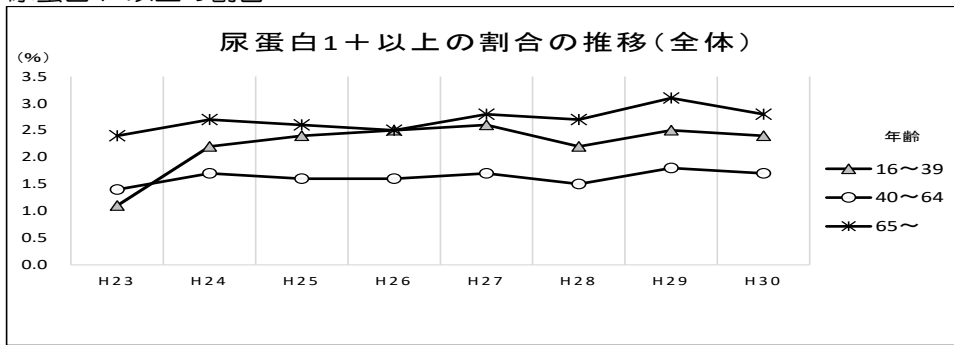
2.尿検査 (1) 尿糖 (2) 尿蛋白 (3) 尿潜血

尿糖1+以上の割合



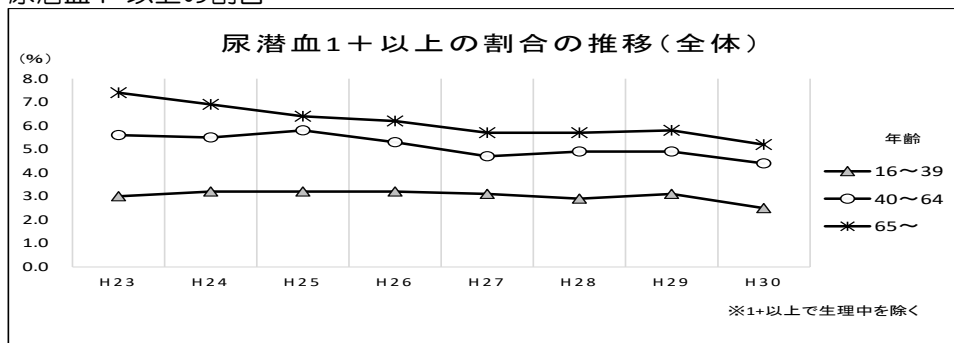
年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	0.7	0.7	0.7	0.5	0.5	0.7	1.0	0.9
40~64	2.7	2.2	1.9	2.0	2.2	2.5	2.8	3.4
65~	3.2	2.3	2.0	1.9	2.2	2.6	2.9	3.6

尿蛋白1+以上の割合



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	1.1	2.2	2.4	2.5	2.6	2.2	2.5	2.4
40~64	1.4	1.7	1.6	1.6	1.7	1.5	1.8	1.7
65~	2.4	2.7	2.6	2.5	2.8	2.7	3.1	2.8

尿潜血1+以上の割合



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	3.0	3.2	3.2	3.2	3.1	2.9	3.1	2.5
40~64	5.6	5.5	5.8	5.3	4.7	4.9	4.9	4.4
65~	7.4	6.9	6.4	6.2	5.7	5.7	5.8	5.2

尿糖1+以上の割合は、40歳以上において、平成27年度から増加傾向がみられた。

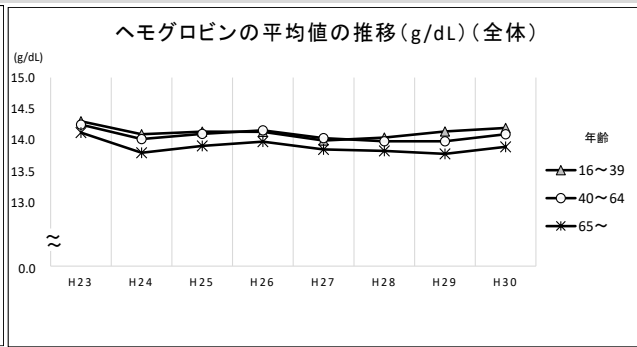
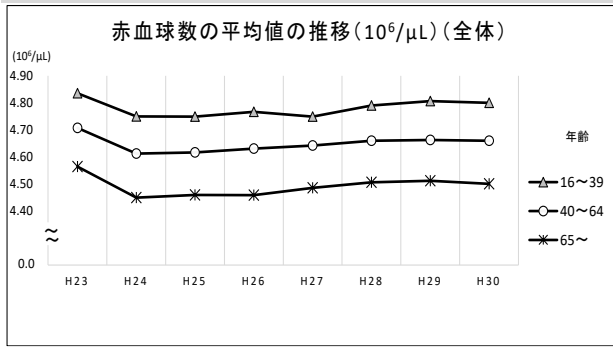
尿蛋白1+以上の割合は、16~39歳の年齢区分において、平成23年度から平成30年度まで増加傾向がみられた。

尿潜血1+以上の割合は、40歳以上では、平成23年度から平成30年度まで減少傾向がみられた。

※尿糖1+以上、尿蛋白1+以上および尿潜血1+以上は、集団健診・個別健診で使用している判定基準の異常値。

3.末梢血液検査

(1) 赤血球、ヘモグロビン、ヘマトクリット

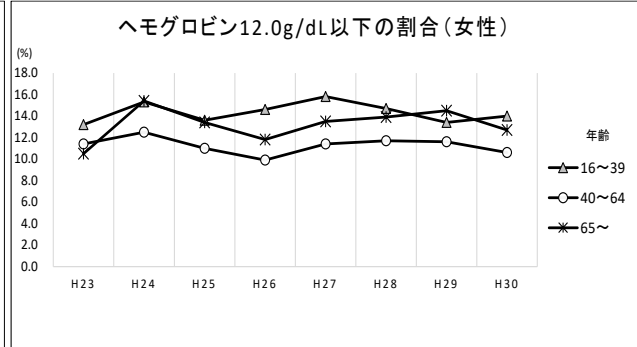
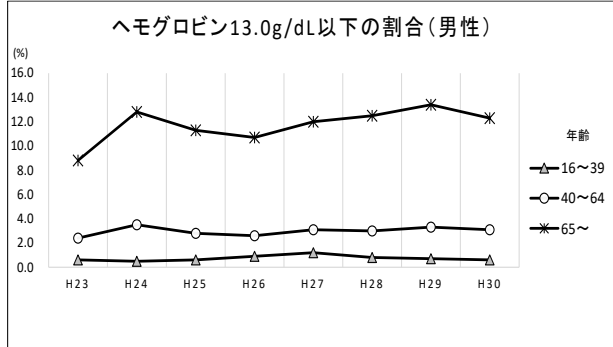


年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	4.84	4.75	4.75	4.77	4.75	4.79	4.81	4.80
40~64	4.71	4.61	4.62	4.63	4.64	4.66	4.66	4.66
65~	4.56	4.45	4.46	4.46	4.49	4.51	4.51	4.50

年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	14.3	14.1	14.1	14.1	14.0	14.0	14.1	14.2
40~64	14.3	14.0	14.1	14.2	14.0	14.0	14.0	14.1
65~	14.1	13.8	13.9	14.0	13.9	13.8	13.8	13.9

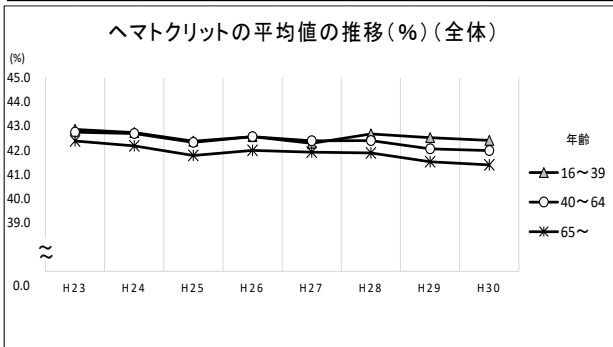
ヘモグロビン (男性) 13.0g/dL以下の割合と (女性)

12.0g/dL以下の割合



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	0.6	0.5	0.6	0.9	1.2	0.8	0.7	0.6
40~64	2.4	3.5	2.8	2.6	3.1	3.0	3.3	3.1
65~	8.8	12.8	11.3	10.7	12.0	12.5	13.4	12.3

年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	13.2	15.3	13.6	14.6	15.8	14.7	13.4	14.0
40~64	11.4	12.5	11.0	9.9	11.4	11.7	11.6	10.6
65~	10.5	15.4	13.4	11.8	13.5	13.9	14.5	12.7



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	42.9	42.7	42.4	42.6	42.3	42.7	42.5	42.4
40~64	42.8	42.7	42.3	42.6	42.4	42.4	42.1	42.0
65~	42.4	42.2	41.8	42.0	41.9	41.9	41.5	41.4

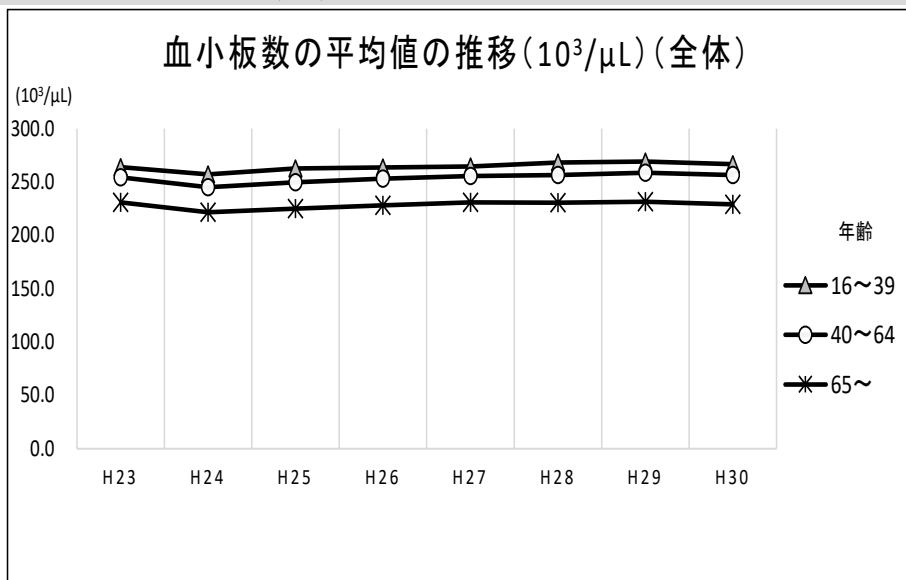
赤血球数およびヘモグロビンの平均値は、全ての年齢区分で平成23年度から平成24年度にかけて減少がみられたが、平成25年度には増加し、その後は大きな変化はみられなかった。

ヘモグロビン13.0g/dL以下の男性の割合は、65歳以上で平成23年度から平成24年度にかけて増加し、その後は横ばいの傾向がみられた。12.0g/dL以下の女性の割合は、65歳以上で平成23年度から平成24年度にかけて増加し、その後は減少と増加を繰り返す傾向がみられた。

ヘマトクリットは、全ての年齢区分において、大きな変化はみられなかった。

※ヘモグロビン男性13.0g/dL以下および女性12.0g/dL以下は、集団健診・個別健診で使用している判定基準の軽度異常値。

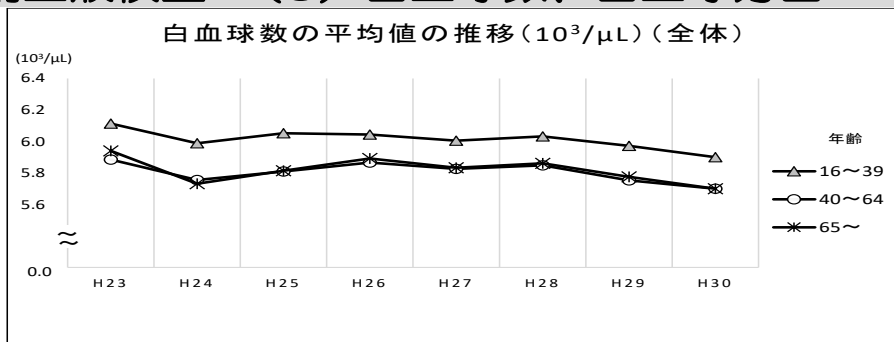
3.末梢血液検査 (2) 血小板数



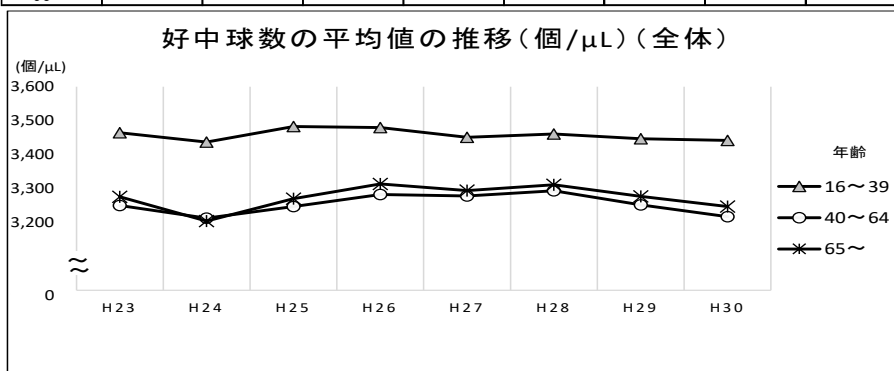
年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	263.9	257.0	262.6	263.7	264.5	268.1	269.1	266.7
40~64	254.2	244.9	249.7	252.9	255.6	256.3	258.7	256.5
65~	230.9	221.6	225.1	228.0	230.8	230.6	231.3	229.0

血小板数の平均値では、全ての年齢区分で、平成23年度から平成30年度まで大きな変化はみられなかった。

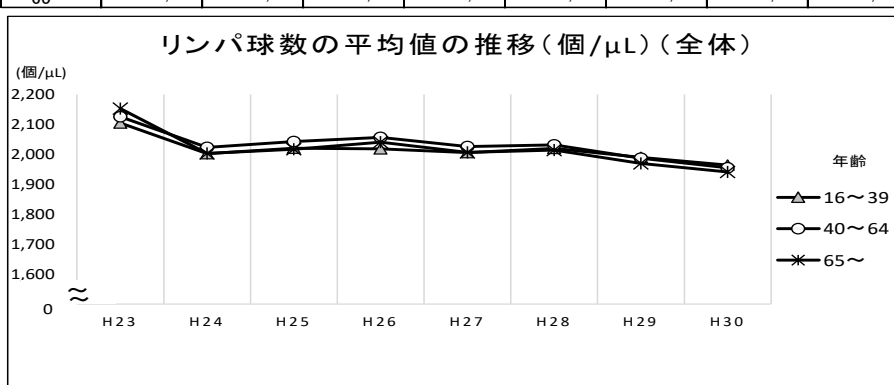
3.末梢血液検査 (3) 白血球数、白血球分画



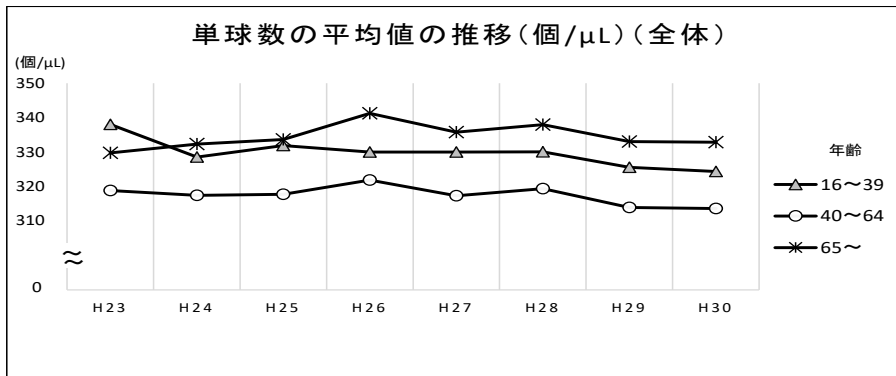
年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	6.1	6.0	6.1	6.0	6.0	6.0	6.0	5.9
40~64	5.9	5.8	5.8	5.9	5.8	5.8	5.8	5.7
65~	5.9	5.7	5.8	5.9	5.8	5.9	5.8	5.7



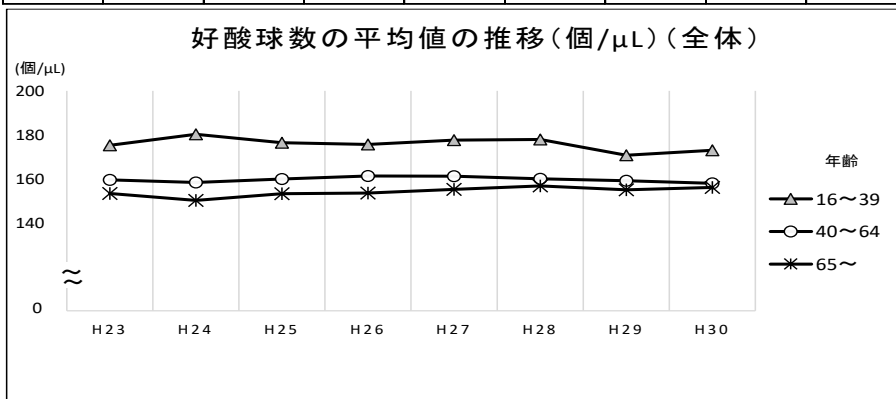
年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	3,465	3,437	3,482	3,479	3,451	3,461	3,447	3,442
40~64	3,250	3,213	3,247	3,282	3,278	3,293	3,252	3,217
65~	3,275	3,204	3,270	3,314	3,294	3,311	3,277	3,247



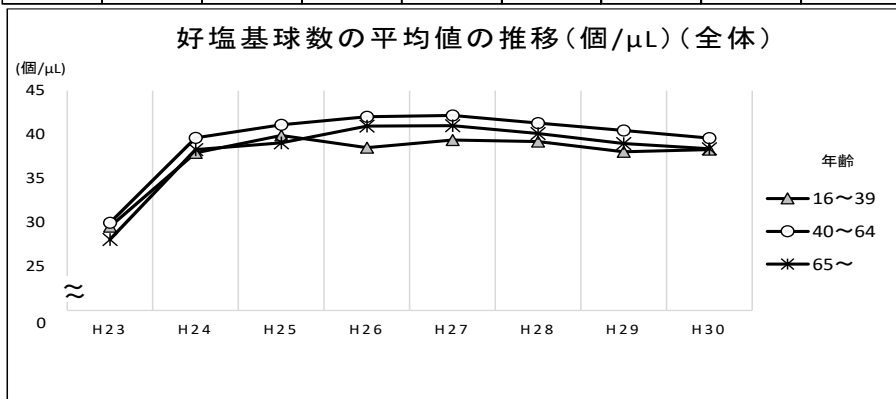
年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	2,105	2,002	2,020	2,018	2,006	2,019	1,990	1,964
40~64	2,125	2,023	2,042	2,057	2,026	2,032	1,987	1,955
65~	2,153	2,003	2,017	2,040	2,006	2,014	1,969	1,941



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	338	329	332	330	330	330	326	324
40~64	319	317	318	322	317	319	314	314
65~	330	332	334	341	336	338	333	333



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	175	180	176	176	178	178	171	173
40~64	160	158	160	161	161	160	159	158
65~	153	150	153	154	155	157	155	156



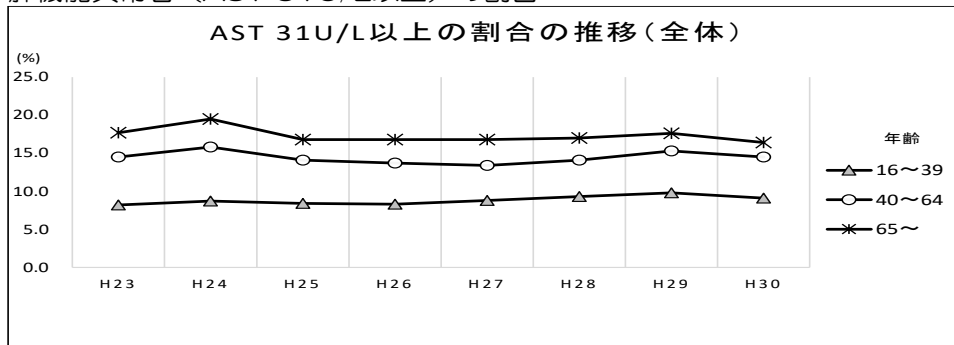
年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	30	38	40	39	39	39	38	38
40~64	30	40	41	42	42	41	40	40
65~	28	38	39	41	41	40	39	38

白血球数の平均値は、全ての年齢区分で、平成23年度から平成30年度まで大きな変化はみられなかった。

白血球分画では、好中球数、リンパ球数、単球数および好酸球数の平均値では、全ての年齢区分において、平成23年度から平成30年度まで大きな変化はみられなかった。好塩基球数の平均値では、全ての年齢区分において、平成24年度から平成30年度にかけて大きな変化はみられなかった。

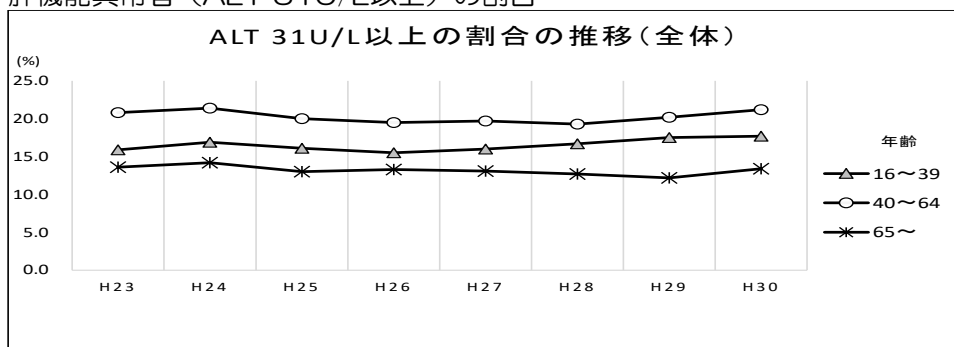
4.血液生化学 (1) 肝機能 (AST、ALT、 γ -GT)

肝機能異常者 (AST 31U/L以上) の割合



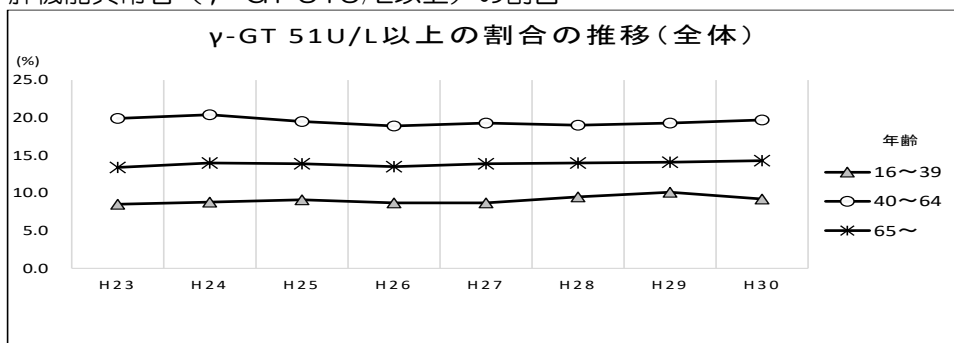
年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	8.2	8.7	8.4	8.3	8.8	9.3	9.8	9.1
40~64	14.5	15.8	14.1	13.7	13.4	14.1	15.3	14.5
65~	17.7	19.5	16.8	16.8	16.8	17.0	17.6	16.4

肝機能異常者 (ALT 31U/L以上) の割合



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	15.9	16.9	16.1	15.5	16.0	16.7	17.5	17.7
40~64	20.8	21.4	20.0	19.5	19.7	19.3	20.2	21.2
65~	13.6	14.2	13.0	13.3	13.1	12.7	12.2	13.4

肝機能異常者 (γ -GT 51U/L以上) の割合



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	8.5	8.8	9.1	8.7	8.7	9.5	10.1	9.2
40~64	19.9	20.4	19.5	18.9	19.3	19.0	19.3	19.7
65~	13.4	14.0	13.9	13.5	13.9	14.0	14.1	14.3

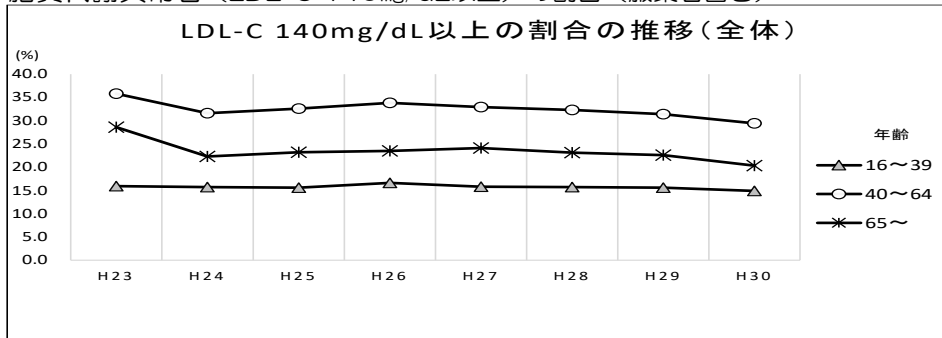
AST 31U/L以上の割合、ALT 31U/L以上の割合および γ -GT 51U/L以上の割合は、全ての年齢区分において大きな変化はみられなかった。

※AST31U/L以上、ALT31U/L以上および γ -GT51U/L以上は、集団健診・個別健診で使用している判定基準の軽度異常値。

4.血液生化学

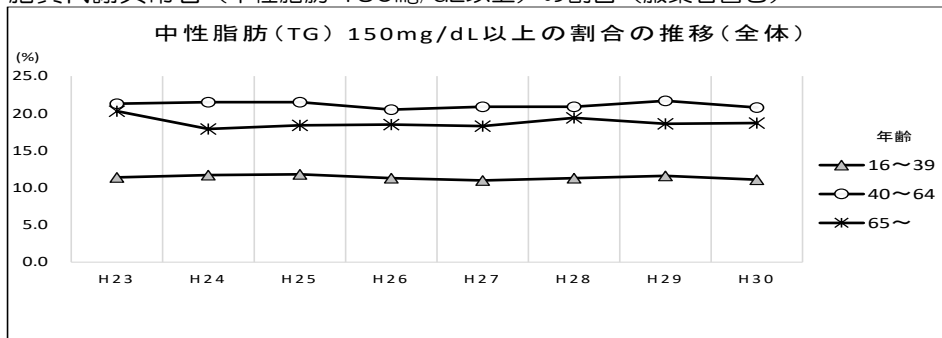
(2) 脂質 (LDLコレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール)

脂質代謝異常者 (LDL-C 140mg/dL以上) の割合 (服薬者含む)



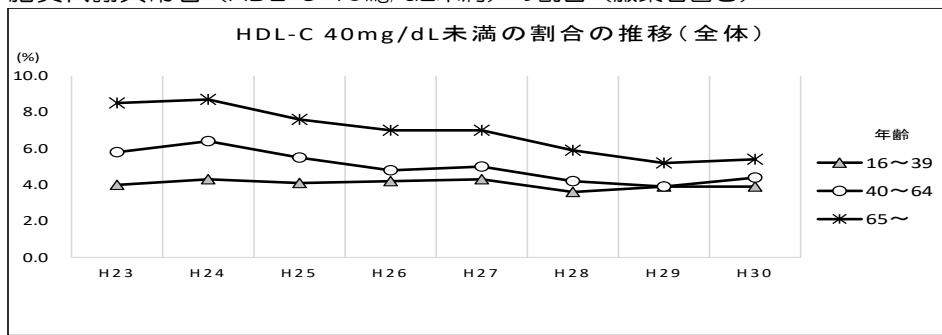
年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	15.9	15.7	15.6	16.6	15.8	15.7	15.6	14.9
40~64	35.8	31.6	32.6	33.8	32.9	32.3	31.4	29.4
65~	28.6	22.3	23.2	23.5	24.1	23.1	22.6	20.3

脂質代謝異常者 (中性脂肪 150mg/dL以上) の割合 (服薬者含む)



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	11.4	11.7	11.8	11.3	11.0	11.3	11.6	11.1
40~64	21.3	21.5	21.5	20.5	20.9	20.9	21.7	20.8
65~	20.3	17.9	18.4	18.5	18.3	19.4	18.6	18.7

脂質代謝異常者 (HDL-C 40mg/dL未満) の割合 (服薬者含む)



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	4.0	4.3	4.1	4.2	4.3	3.6	3.9	3.9
40~64	5.8	6.4	5.5	4.8	5.0	4.2	3.9	4.4
65~	8.5	8.7	7.6	7.0	7.0	5.9	5.2	5.4

LDL-C140mg/dL以上の割合および中性脂肪150mg/dL以上の割合は、65歳以上では平成23年度から平成24年度にかけてやや減少傾向がみられたが、それ以降は大きな変化はみられなかった。

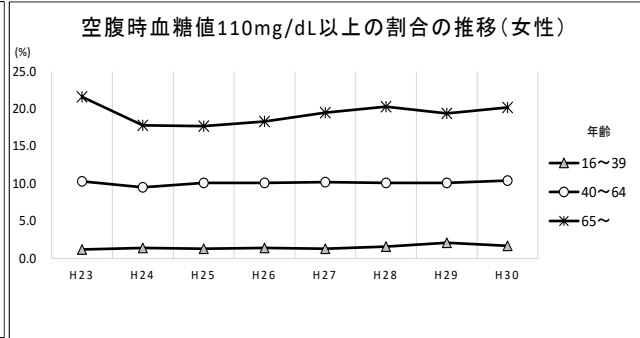
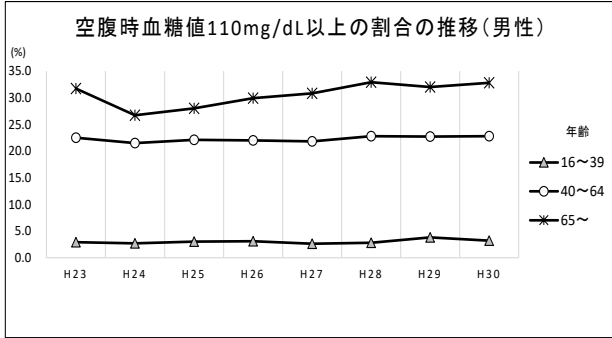
HDL-C40mg/dL未満の割合は、40歳以上で、平成23年度から平成30年度にかけて減少傾向がみられた。

※LDL-C140mg/dL以上は、集団健診・個別健診で使用している判定基準の異常値。

中性脂肪150mg/dL以上およびHDL-C40mg/dL未満は、集団健診・個別健診で使用している判定基準の軽度異常値。

4.血液生化学 (3) 糖 (空腹時血糖、HbA1c)

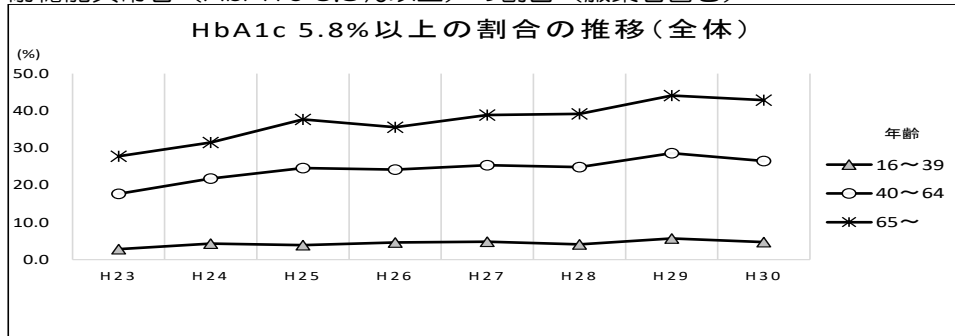
耐糖能異常者 (空腹時血糖値110mg/dL以上) の割合



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16～39	2.9	2.7	3.0	3.1	2.6	2.8	3.8	3.2
40～64	22.5	21.5	22.1	22.0	21.8	22.8	22.7	22.8
65～	31.7	26.7	28.0	29.9	30.8	32.9	32.0	32.8

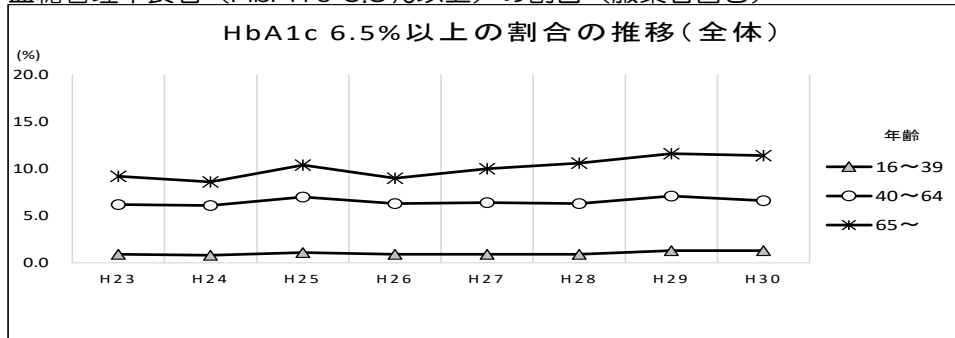
年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16～39	1.2	1.4	1.3	1.4	1.3	1.6	2.1	1.7
40～64	10.3	9.5	10.1	10.1	10.2	10.1	10.1	10.4
65～	21.6	17.8	17.7	18.3	19.5	20.3	19.4	20.2

耐糖能異常者 (HbA1c 5.8%以上) の割合 (服薬者含む)



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16～39	2.8	4.3	3.9	4.6	4.8	4.1	5.7	4.7
40～64	17.7	21.8	24.6	24.2	25.4	24.9	28.6	26.5
65～	27.8	31.5	37.7	35.6	38.9	39.2	44.1	42.9

血糖管理不良者 (HbA1c 6.5%以上) の割合 (服薬者含む)



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16～39	0.9	0.8	1.1	0.9	0.9	0.9	1.3	1.3
40～64	6.2	6.1	7.0	6.3	6.4	6.3	7.1	6.6
65～	9.2	8.6	10.4	9.0	10.0	10.6	11.6	11.4

空腹時血糖値110mg/dL以上の割合は、65歳以上の男女で、平成23年度から平成24年度にかけて減少がみられたが、その後は大きな変化はみられなかった。

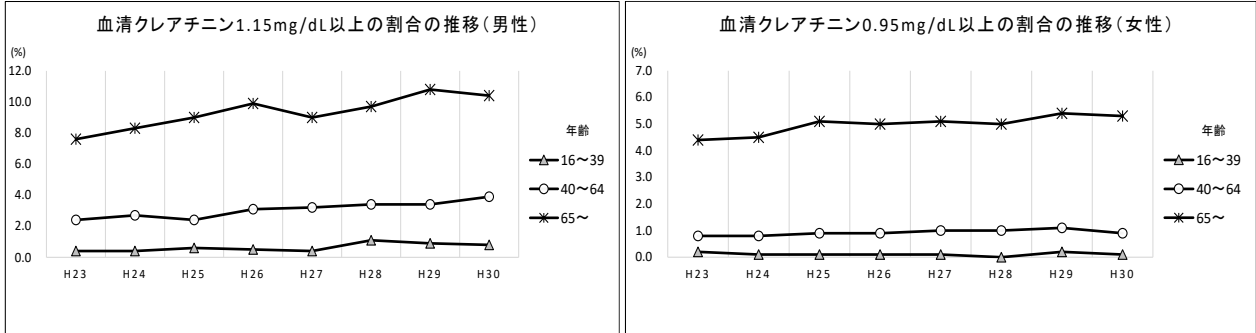
HbA1c5.8%以上の割合およびHbA1c6.5%以上の割合では、全ての年齢区分において平成23年度から平成30年度まで増加傾向がみられた。

※HbA1c5.8%以上および6.5%以上は、「糖尿病治療ガイド2012-2013」における指標。

4.血液生化学

(4) 腎機能 (血清クレアチニン、eGFR、尿酸)

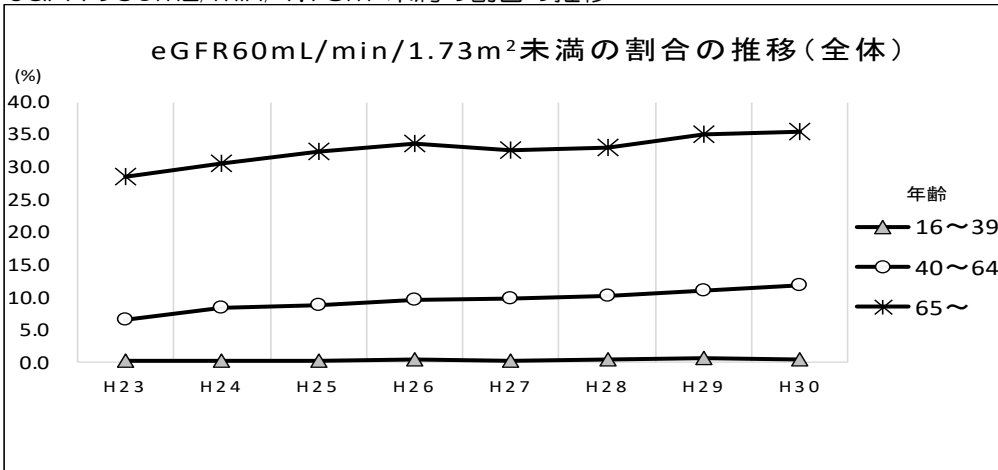
血清クレアチニン (男性) 1.15mg/dL以上の割合と (女性) 0.95mg/dL以上の割合



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	0.4	0.4	0.6	0.5	0.4	1.1	0.9	0.8
40~64	2.4	2.7	2.4	3.1	3.2	3.4	3.4	3.9
65~	7.6	8.3	9.0	9.9	9.0	9.7	10.8	10.4

年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.2	0.1
40~64	0.8	0.8	0.9	0.9	1.0	1.0	1.1	0.9
65~	4.4	4.5	5.1	5.0	5.1	5.0	5.4	5.3

eGFRの60mL/min/1.73m²未満の割合の推移



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	0.2	0.3	0.3	0.4	0.3	0.5	0.6	0.5
40~64	6.5	8.4	8.8	9.6	9.9	10.3	11.1	11.8
65~	28.5	30.5	32.3	33.7	32.7	33.1	35.0	35.5

血清クレアチニン1.15mg/dL以上の男性の割合は、40~64歳では平成23年度から平成30年度にかけて増加傾向がみられた。また、65歳以上では、平成26年度にかけて増加傾向がみられたが、平成27年度には減少し、平成30年度にかけて増加傾向がみられた。

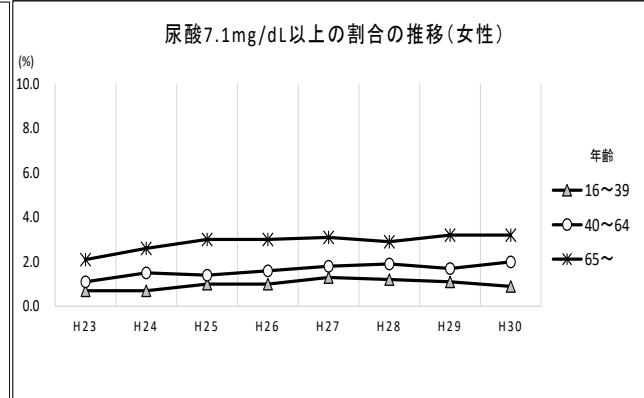
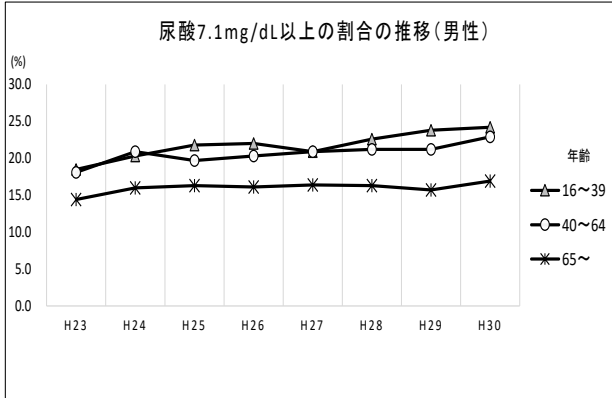
血清クレアチニン0.95mg/dL以上の女性の割合は、65歳以上では平成23年度から平成30年度にかけて増加傾向がみられた。

eGFR60mL/min/1.73m²未満の割合は、全ての年齢区分で増加傾向がみられた。

※血清クレアチニン男性1.15mg/dL以上、女性0.95mg/dL以上は、集団健診・個別健診で使用している判定基準の軽度異常値。

※eGFR60mL/min/1.73m²未満は、集団健診・個別健診で使用している判定基準の軽度異常値。

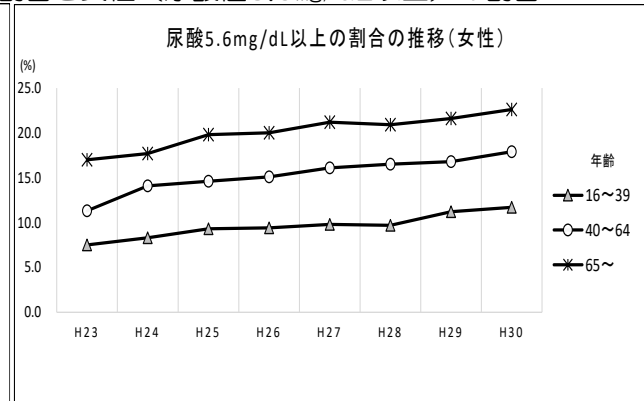
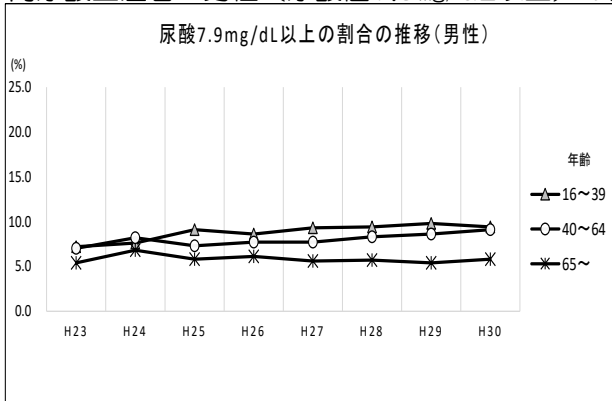
高尿酸血症者（尿酸値7.1mg/dL以上）の割合



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	18.5	20.3	21.8	22.0	20.9	22.6	23.8	24.2
40~64	18.1	20.9	19.7	20.3	20.9	21.2	21.2	22.9
65~	14.4	16.0	16.3	16.1	16.4	16.3	15.7	16.9

年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	0.7	0.7	1.0	1.0	1.3	1.2	1.1	0.9
40~64	1.1	1.5	1.4	1.6	1.8	1.9	1.7	2.0
65~	2.1	2.6	3.0	3.0	3.1	2.9	3.2	3.2

高尿酸血症者 男性（尿酸値7.9mg/dL以上）の割合と女性（尿酸値5.6mg/dL以上）の割合



年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	7.2	7.6	9.1	8.6	9.3	9.4	9.8	9.4
40~64	7.0	8.2	7.3	7.7	7.7	8.3	8.6	9.1
65~	5.4	6.8	5.8	6.1	5.6	5.7	5.4	5.8

年齢区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
16~39	7.5	8.3	9.3	9.4	9.8	9.7	11.2	11.7
40~64	11.3	14.1	14.6	15.1	16.1	16.5	16.8	17.9
65~	17.0	17.7	19.8	20.0	21.2	20.9	21.6	22.6

尿酸値7.1mg/dL以上の割合は、男性の全ての年齢区分において平成23年度から平成30年度までで増加傾向がみられた。また、女性の40歳以上において平成23年度から平成30年度まででわずかに増加傾向がみられた。

尿酸値7.9mg/dL以上の男性の割合は、16~64歳では平成23年度から平成30年度にかけて増加傾向がみられた。

尿酸値5.6mg/dL以上の女性の割合は、全ての年齢区分において平成23年度から平成30年度にかけて増加傾向がみられた。

※尿酸値7.1mg/dL以上は、日本痛風・核酸代謝学会作成「高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン」の定義による値。

尿酸値男性7.9mg/dL以上および女性5.6mg/dL以上は、日本臨床検査標準協議会設定共用基準範囲の上限の値。

【 判定基準一覧表 】

※集団健診・個別健診で使用している基準値

※小児は、年齢や月齢で基準が異なるため基準値は定めていない（参考値のみ有り）。

※白血球分画について、以下は「%」で参考値を示しているが、基礎統計表では「個数」を示している。

項目	判定区分		基準範囲内	軽度異常		異常	単位	
	項目							
肥満度	BMI (体格指数)		18.5~24.9	18.4 以下	25.0 以上	—	kg/m ³	
	腹囲	男	84.9 以下	85.0 以上		—	cm	
		女	89.9 以下	90.0 以上		—		
血圧	収縮期(最高)血圧		129 以下	130~139		140 以上	mmHg	
	拡張期(最低)血圧		84 以下	85~89		90 以上		
腎臓・尿路	血清クレアチニン (酵素法)	男	0.45~1.14	1.15~1.34		1.35 以上	mg/dL	
		女	0.35~0.94	0.95~1.14		1.15 以上		
	eGFR(推算糸球体濾過量)		60以上	50~59		49 以下	mL/min./1.73m ²	
	尿蛋白		(-)	(±)		(+) 以上		
	尿潜血		(-)	(±)		(+) 以上		
糖	尿糖		(-)	(±)		(+) 以上		
	血糖	空腹時	99 以下	100~125		126 以上	mg/dL	
		随時	139 以下	140~199		200 以上		
	ヘモグロビンA1c (NGSP)		5.5 以下	5.6~6.4		6.5以上	%	
脂質	HDLコレステロール		40 以上	35~39		34 以下	mg/dL	
	LDLコレステロール		119 以下	120~139		140 以上	mg/dL	
	中性脂肪		149以下	150~299		300 以上	mg/dL	
肝臓	AST(GOT)		30 以下	31~50		51 以上	U/L	
	ALT(GPT)		30 以下	31~50		51 以上	U/L	
	γ-GT		50 以下	51~100		101 以上	U/L	
痛風	尿酸 (UA)		7.0 以下	7.1~7.9		8.0 以上	mg/dL	
血液一般	赤血球数	男	4.00~5.79	3.70~3.99	5.80 以上	3.69 以下	×10 ⁶ /μL	
		女	3.70~5.49	3.40~3.69	5.50 以上	3.39 以下		
	血色素量	男	13.1~17.9	12.1~13.0		12.0 以下	18.0 以上	g/dL
		女	12.1~15.9	11.1~12.0		11.0 以下	16.0 以上	
	ヘマトクリット値	男	38.0~54.9	36.0~37.9	55.0 以上	35.9 以下		%
		女	33.0~47.9	29.0~32.9	48.0 以上	28.9 以下		
血小板数		130~369	90~129	370~449	89以下	450以上	×10 ³ /μL	
白血球数		4.0~9.5	3.0~3.9	9.6~11.0	2.9 以下	11.1 以上	×10 ³ /μL	
(白 参 考 球 値 分 画)	好中球		40.0~75.0					%
	リンパ球		20.0~55.0					
	単球		0~12.0					
	好酸球		0~10.0					
	好塩基球		0~3.0					

健診項目

健診項目	内 容
身長、体重、腹囲（BMI）	身長と体重を測って肥満度をみます。 腹囲（BMI）はメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の判定基準となります。
血圧	血圧の状態を確認します。高血圧症などを見つけます。
尿検査	
尿糖	糖尿病を見つける手がかりとなります。
尿蛋白	腎臓の病気を見つける手がかりとなります。
尿潜血	腎臓や尿管、膀胱の病気を見つける手がかりとなります。
血液検査	
AST(GOT) ALT(GPT) γ-GT	肝臓の病気を見つける手がかりとなります。また、AST(GOT)は心筋梗塞を見つける手がかりにもなります。
中性脂肪(TG) HDL-C LDL-C	動脈硬化のなりやすさの程度をみます。
赤血球数、ヘマトクリット 血色素量（ヘモグロビン）	貧血の種類と程度をみます。
ヘモグロビンA1c(HbA1c) 血糖	糖尿病などを見つける手がかりとなります。
白血球数、白血球分画 血小板数	感染症や白血病などを見つける手がかりとなります。
血清クレアチニン、eGFR	腎臓の病気を見つける手がかりとなります。
尿酸	痛風などを見つける手がかりとなります。

平成30年度 県民健康調査「健康診査」 健診項目別集計結果

【対象者】

- ・平成23年3月11日から平成24年4月1日までに対象地域※に住民登録をしていた方
(対象地域を転出後も対象とする)
- ・実施年度の4月1日時点で避難区域等に住民登録をしていた方
- ・上記以外で基本調査の結果、必要と認められた方

※対象地域：平成23年時に避難区域等に指定された市町村等

広野町、樫葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村、南相馬市、田村市、川俣町、伊達市の一部（特定避難勧奨地点の属する区域）

【健診項目】

年齢区分	健診項目
0歳～6歳 (就学前乳幼児)	身長、体重、 [希望がある場合のみ] 血算（赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン、血小板数、白血球数、白血球分画）
7歳～15歳 (小学校1年生～中学校3年生)	身長、体重、血圧、 血算（赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン、血小板数、白血球数、白血球分画） [希望による追加項目] 血液生化学（AST、ALT、 γ -GT、TG、HDL-C、LDL-C、HbA1c、血糖、 血清クレアチニン、尿酸）
16歳以上	身長、体重、腹囲（又はBMI）、血圧、 血算（赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン、血小板数、白血球数、白血球分画） 尿検査（尿蛋白、尿糖、尿潜血） 血液生化学（AST、ALT、 γ -GT、TG、HDL-C、LDL-C、HbA1c、血糖、 血清クレアチニン、eGFR、尿酸） ※下線部は、通常、特定健康診査では検査しない追加項目

※一般的年齢区分と「健康診査」の健診項目の違いにより0～6歳、7～15歳、16～39歳、40～64歳、65歳以上の5つの年齢に区分し、健診項目毎に結果を集計した。

※健診項目毎に年齢群別及び性別に集計した。

※集計結果には、同一年度に2回以上受診をした者（重複受診者）が含まれている。

※集計結果の表章記号の規約は、厚生労働省の人口動態調査と同様に表記した。

計数のない場合	—
集計項目のない場合（年齢区分によって健診項目がない場合）	・
計数を表章することが不適当な場合	…
比率が微小（0.05未満）の場合	0.0%

身長

身長 (cm) (全体)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	1,220	3.5	94.3
7~15	3,169	10.9	142.2
16~39	3,975	29.1	163.1
40~64	11,947	55.0	160.7
65~	20,335	73.4	155.6

身長 (cm) (男性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	150cm以下	170cm以上
0~6	632	3.4	94.0
7~15	1,603	11.0	143.9
16~39	1,566	27.8	170.9	0.6%	57.5%
40~64	4,317	55.3	168.7	0.2%	42.1%
65~	9,338	73.5	162.6	2.4%	11.7%

身長 (cm) (女性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	140cm以下	160cm以上
0~6	588	3.5	94.7
7~15	1,566	10.9	140.4
16~39	2,409	29.9	158.0	0.1%	36.1%
40~64	7,630	54.8	156.1	0.4%	24.5%
65~	10,997	73.3	149.7	5.7%	3.6%

体重

体重 (kg) (全体)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	1,220	3.5	14.6
7~15	3,169	10.9	37.9
16~39	3,974	29.1	60.7
40~64	11,947	55.0	61.9
65~	20,337	73.4	58.1

体重 (kg) (男性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	50kg以下	70kg以上
0~6	632	3.4	14.5
7~15	1,603	11.0	39.2
16~39	1,565	27.8	69.0	5.9%	41.4%
40~64	4,317	55.3	70.6	1.9%	47.5%
65~	9,340	73.5	64.0	6.4%	24.9%

体重 (kg) (女性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	45kg以下	65kg以上
0~6	588	3.5	14.7
7~15	1,566	10.9	36.5
16~39	2,409	29.9	55.3	12.9%	15.9%
40~64	7,630	54.8	57.1	8.7%	19.7%
65~	10,997	73.3	53.1	17.1%	9.1%

1.身体検査 (1) BMI

BMI (体重/身長 ²) (全体)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	18kg/m ² 未満	25kg/m ² 以上
0~6
7~15
16~39	3,974	29.1	22.7	9.2%	24.0%
40~64	11,947	55.0	23.9	3.6%	34.3%
65~	20,335	73.4	23.9	3.0%	35.3%

BMI (体重/身長 ²) (男性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	18kg/m ² 未満	25kg/m ² 以上
0~6
7~15
16~39	1,565	27.8	23.6	7.0%	31.4%
40~64	4,317	55.3	24.8	1.6%	42.2%
65~	9,338	73.5	24.2	2.0%	38.6%

BMI (体重/身長 ²) (女性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	18kg/m ² 未満	25kg/m ² 以上
0~6
7~15
16~39	2,409	29.9	22.1	10.6%	19.1%
40~64	7,630	54.8	23.4	4.8%	29.8%
65~	10,997	73.3	23.7	3.7%	32.6%

1.身体検査 (2) 腹囲

腹囲 (cm) (全体)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	.	.	.
7~15	.	.	.
16~39	806	28.9	77.2
40~64	11,943	55.0	84.1
65~	13,256	69.7	85.0

腹囲 (cm) (男性)				
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	85cm以上
0~6
7~15
16~39	358	28.6	80.7	32.4%
40~64	4,316	55.3	87.0	56.4%
65~	6,031	69.7	86.5	56.6%

腹囲 (cm) (女性)				
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	90cm以上
0~6
7~15
16~39	448	29.1	74.3	8.5%
40~64	7,627	54.8	82.5	22.5%
65~	7,225	69.6	83.8	24.4%

1.身体検査 (3) 血圧

収縮期血圧 (mmHg) (全体)				
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	140mmHg以上
0~6
7~15	3,167	10.9	105.3	0.1%
16~39	3,979	29.1	111.7	2.4%
40~64	11,948	55.0	123.4	14.0%
65~	20,336	73.4	130.6	25.3%

収縮期血圧 (mmHg) (男性)				
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	140mmHg以上
0~6
7~15	1,604	11.0	106.5	0.2%
16~39	1,569	27.8	116.6	4.1%
40~64	4,319	55.3	126.6	17.3%
65~	9,340	73.5	131.2	27.3%

収縮期血圧 (mmHg) (女性)				
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	140mmHg以上
0~6
7~15	1,563	10.9	104.0	-
16~39	2,410	29.9	108.6	1.3%
40~64	7,629	54.8	121.5	12.2%
65~	10,996	73.3	130.0	23.7%

拡張期血圧 (mmHg) (全体)				
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	90mmHg以上
0~6
7~15	3,167	10.9	61.2	0.3%
16~39	3,979	29.1	66.8	2.4%
40~64	11,948	55.0	74.9	10.0%
65~	20,336	73.4	72.9	6.4%

拡張期血圧 (mmHg) (男性)				
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	90mmHg以上
0~6
7~15	1,604	11.0	61.1	0.4%
16~39	1,569	27.8	69.3	3.9%
40~64	4,319	55.3	78.3	14.8%
65~	9,340	73.5	74.1	7.6%

拡張期血圧 (mmHg) (女性)				
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	90mmHg以上
0~6
7~15	1,563	10.9	61.3	0.3%
16~39	2,410	29.9	65.2	1.5%
40~64	7,629	54.8	72.9	7.3%
65~	10,996	73.3	71.9	5.3%

2.尿検査（1）尿糖

尿糖（全体）			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	(1+)以上
0～6	.	.	.
7～15	.	.	.
16～39	3,959	29.1	0.9%
40～64	11,926	55.0	3.4%
65～	20,269	73.4	3.6%

尿糖（男性）			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	(1+)以上
0～6	.	.	.
7～15	.	.	.
16～39	1,567	27.8	1.4%
40～64	4,308	55.3	5.9%
65～	9,316	73.5	5.5%

尿糖（女性）			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	(1+)以上
0～6	.	.	.
7～15	.	.	.
16～39	2,392	29.9	0.5%
40～64	7,618	54.8	1.9%
65～	10,953	73.2	2.1%

2.尿検査（2）尿蛋白

尿蛋白（全体）			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	(1+)以上
0～6	.	.	.
7～15	.	.	.
16～39	3,959	29.1	2.4%
40～64	11,926	55.0	1.7%
65～	20,269	73.4	2.8%

尿蛋白（男性）			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	(1+)以上
0～6	.	.	.
7～15	.	.	.
16～39	1,567	27.8	2.7%
40～64	4,308	55.3	2.5%
65～	9,316	73.5	4.4%

尿蛋白（女性）			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	(1+)以上
0～6	.	.	.
7～15	.	.	.
16～39	2,392	29.9	2.2%
40～64	7,618	54.8	1.2%
65～	10,953	73.2	1.5%

2.尿検査 (3) 尿潜血

尿潜血 (全体)				
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	(1+)以上	(1+)以上で生理中を除く
0~6
7~15
16~39	3,959	29.1	7.0%	2.5%
40~64	11,925	55.0	5.6%	4.4%
65~	20,269	73.4	5.2%	5.2%

尿潜血 (男性)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	(1+)以上
0~6	.	.	.
7~15	.	.	.
16~39	1,567	27.8	0.8%
40~64	4,307	55.3	2.2%
65~	9,316	73.5	3.5%

尿潜血 (女性)				
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	(1+)以上	(1+)以上で生理中を除く
0~6
7~15
16~39	2,392	29.9	11.0%	3.6%
40~64	7,618	54.8	7.5%	5.6%
65~	10,953	73.2	6.7%	6.7%

3.末梢血液検査 (1) -1 赤血球

赤血球数 ($10^6/\mu\text{L}$) (全体)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	1,121	3.5	4.71
7~15	3,158	10.9	4.84
16~39	3,974	29.1	4.80
40~64	11,942	55.0	4.66
65~	20,328	73.4	4.50

赤血球数 ($10^6/\mu\text{L}$) (男性)						
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	$3.39 \times 10^6/\mu\text{L}$ 以下	$3.99 \times 10^6/\mu\text{L}$ 以下	$5.80 \times 10^6/\mu\text{L}$ 以上
0~6	583	3.4	4.73	-	0.5%	0.3%
7~15	1,597	11.0	4.95	-	0.2%	1.1%
16~39	1,567	27.8	5.22	-	0.1%	5.4%
40~64	4,314	55.3	4.94	0.6%	2.2%	2.9%
65~	9,335	73.5	4.67	3.0%	8.1%	1.0%

赤血球数 ($10^6/\mu\text{L}$) (女性)						
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	$3.39 \times 10^6/\mu\text{L}$ 以下	$3.69 \times 10^6/\mu\text{L}$ 以下	$5.50 \times 10^6/\mu\text{L}$ 以上
0~6	538	3.6	4.68	-	-	1.3%
7~15	1,561	10.9	4.72	-	-	0.6%
16~39	2,407	29.9	4.53	0.1%	1.0%	0.5%
40~64	7,628	54.8	4.50	0.3%	1.3%	0.6%
65~	10,993	73.3	4.36	1.3%	5.0%	0.3%

3.末梢血液検査 (1) -2 ヘモグロビン

ヘモグロビン (g/dL) (全体)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	1,121	3.5	12.5
7~15	3,158	10.9	13.6
16~39	3,974	29.1	14.2
40~64	11,942	55.0	14.1
65~	20,328	73.4	13.9

ヘモグロビン (g/dL) (男性)						
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	12.0g/dL以下	13.0g/dL以下	18.0g/dL以上
0~6	583	3.4	12.5	26.2%	71.7%	-
7~15	1,597	11.0	13.9	3.3%	21.7%	0.1%
16~39	1,567	27.8	15.7	0.2%	0.6%	1.6%
40~64	4,314	55.3	15.3	1.1%	3.1%	1.2%
65~	9,335	73.5	14.6	4.4%	12.3%	0.7%

ヘモグロビン (g/dL) (女性)						
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	11.0g/dL以下	12.0g/dL以下	16.0g/dL以上
0~6	538	3.6	12.6	2.2%	26.0%	-
7~15	1,561	10.9	13.4	0.7%	5.8%	-
16~39	2,407	29.9	13.2	5.0%	14.0%	0.2%
40~64	7,628	54.8	13.4	4.0%	10.6%	0.7%
65~	10,993	73.3	13.3	3.1%	12.7%	0.5%

3.末梢血液検査 (1) -3 ヘマトクリット

ヘマトクリット (%) (全体)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	1,121	3.5	37.9
7~15	3,158	10.9	41.1
16~39	3,974	29.1	42.4
40~64	11,942	55.0	42.0
65~	20,328	73.4	41.4

ヘマトクリット (%) (男性)						
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	35.9%以下	37.9%以下	55.0%以上
0~6	583	3.4	37.7	23.5%	53.7%	-
7~15	1,597	11.0	41.6	2.6%	11.7%	-
16~39	1,567	27.8	46.3	0.2%	0.3%	0.3%
40~64	4,314	55.3	45.1	1.0%	2.3%	0.5%
65~	9,335	73.5	43.2	3.9%	8.8%	0.2%

ヘマトクリット (%) (女性)						
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	28.9%以下	32.9%以下	48.0%以上
0~6	538	3.6	38.0	-	1.7%	-
7~15	1,561	10.9	40.6	-	0.3%	0.1%
16~39	2,407	29.9	39.9	0.3%	2.4%	0.2%
40~64	7,628	54.8	40.2	0.4%	2.1%	0.7%
65~	10,993	73.3	39.9	0.3%	2.2%	0.5%

3.末梢血液検査 (2) 血小板数

血小板数 ($10^3/\mu\text{L}$) (全体)							
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	$89\times 10^3/\mu\text{L}$ 以下	$129\times 10^3/\mu\text{L}$ 以下	$370\times 10^3/\mu\text{L}$ 以上	$450\times 10^3/\mu\text{L}$ 以上
0~6	1,120	3.5	348.9	0.1%	0.4%	33.2%	11.0%
7~15	3,156	10.9	292.1	0.0%	0.1%	9.5%	0.8%
16~39	3,974	29.1	266.7	0.1%	0.3%	5.2%	0.7%
40~64	11,937	55.0	256.5	0.1%	0.6%	4.1%	0.7%
65~	20,305	73.4	229.0	0.3%	1.9%	1.5%	0.3%

血小板数 ($10^3/\mu\text{L}$) (男性)							
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	$89\times 10^3/\mu\text{L}$ 以下	$129\times 10^3/\mu\text{L}$ 以下	$370\times 10^3/\mu\text{L}$ 以上	$450\times 10^3/\mu\text{L}$ 以上
0~6	582	3.5	345.7	0.2%	0.2%	30.6%	10.5%
7~15	1,596	11.0	293.4	-	0.1%	10.5%	1.2%
16~39	1,567	27.8	259.5	-	0.2%	2.7%	0.4%
40~64	4,312	55.3	249.3	0.2%	0.9%	3.1%	0.6%
65~	9,324	73.5	220.8	0.4%	2.6%	1.3%	0.3%

血小板数 ($10^3/\mu\text{L}$) (女性)							
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	$89\times 10^3/\mu\text{L}$ 以下	$129\times 10^3/\mu\text{L}$ 以下	$370\times 10^3/\mu\text{L}$ 以上	$450\times 10^3/\mu\text{L}$ 以上
0~6	538	3.6	352.4	-	0.7%	36.1%	11.5%
7~15	1,560	10.9	290.8	0.1%	0.2%	8.5%	0.4%
16~39	2,407	29.9	271.4	0.2%	0.3%	6.8%	0.8%
40~64	7,625	54.8	260.6	0.1%	0.5%	4.7%	0.8%
65~	10,981	73.3	235.9	0.3%	1.3%	1.7%	0.2%

3.末梢血液検査 (3) -1 白血球数

白血球数 ($10^3/\mu\text{L}$) (全体)							
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	$2.9\times 10^3/\mu\text{L}$ 以下	$3.9\times 10^3/\mu\text{L}$ 以下	$9.6\times 10^3/\mu\text{L}$ 以上	$11.1\times 10^3/\mu\text{L}$ 以上
0~6	1,121	3.5	8.7	-	0.1%	30.2%	15.5%
7~15	3,157	10.9	6.5	0.1%	2.3%	4.9%	1.4%
16~39	3,974	29.1	5.9	0.7%	7.2%	3.3%	1.2%
40~64	11,942	55.0	5.7	0.9%	10.5%	2.1%	0.7%
65~	20,328	73.4	5.7	0.7%	8.6%	1.8%	0.6%

白血球数 ($10^3/\mu\text{L}$) (男性)							
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	$2.9\times 10^3/\mu\text{L}$ 以下	$3.9\times 10^3/\mu\text{L}$ 以下	$9.6\times 10^3/\mu\text{L}$ 以上	$11.1\times 10^3/\mu\text{L}$ 以上
0~6	583	3.4	8.7	-	-	30.4%	15.1%
7~15	1,596	11.0	6.4	0.1%	2.2%	5.5%	1.6%
16~39	1,567	27.8	6.0	0.6%	6.4%	3.3%	1.2%
40~64	4,314	55.3	6.1	0.4%	6.0%	3.2%	1.1%
65~	9,335	73.5	5.9	0.4%	6.6%	2.5%	0.8%

白血球数 ($10^3/\mu\text{L}$) (女性)							
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	$2.9\times 10^3/\mu\text{L}$ 以下	$3.9\times 10^3/\mu\text{L}$ 以下	$9.6\times 10^3/\mu\text{L}$ 以上	$11.1\times 10^3/\mu\text{L}$ 以上
0~6	538	3.6	8.7	-	0.2%	29.9%	16.0%
7~15	1,561	10.9	6.5	0.1%	2.4%	4.3%	1.3%
16~39	2,407	29.9	5.9	0.7%	7.6%	3.4%	1.2%
40~64	7,628	54.8	5.5	1.2%	13.0%	1.5%	0.4%
65~	10,993	73.3	5.5	1.0%	10.3%	1.2%	0.4%

3.末梢血液検査 (3) -2 白血球分画 (好中球)

好中球数 (個/ μ L) (全体)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	1,121	3.5	3,476
7~15	3,156	10.9	3,195
16~39	3,970	29.1	3,442
40~64	11,940	55.0	3,217
65~	20,325	73.4	3,247

好中球数 (個/ μ L) (男性)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	583	3.4	3,451
7~15	1,595	11.0	3,131
16~39	1,566	27.8	3,360
40~64	4,312	55.3	3,446
65~	9,333	73.5	3,414

好中球数 (個/ μ L) (女性)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	538	3.6	3,503
7~15	1,561	10.9	3,261
16~39	2,404	29.9	3,495
40~64	7,628	54.8	3,087
65~	10,992	73.3	3,106

3.末梢血液検査 (3) -3 白血球分画 (リンパ球)

リンパ球数 (個/ μ L) (全体)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	1,121	3.5	4,401
7~15	3,156	10.9	2,599
16~39	3,970	29.1	1,964
40~64	11,940	55.0	1,955
65~	20,325	73.4	1,941

リンパ球数 (個/ μ L) (男性)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	583	3.4	4,386
7~15	1,595	11.0	2,600
16~39	1,566	27.8	2,041
40~64	4,312	55.3	2,042
65~	9,333	73.5	1,937

リンパ球数 (個/ μ L) (女性)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	538	3.6	4,418
7~15	1,561	10.9	2,598
16~39	2,404	29.9	1,914
40~64	7,628	54.8	1,905
65~	10,992	73.3	1,944

3.末梢血液検査 (3) -4 白血球分画 (单球)

单球数 (個/ μ L) (全体)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	1,121	3.5	456
7~15	3,156	10.9	344
16~39	3,970	29.1	324
40~64	11,940	55.0	314
65~	20,325	73.4	333

单球数 (個/ μ L) (男性)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	583	3.4	474
7~15	1,595	11.0	356
16~39	1,566	27.8	345
40~64	4,312	55.3	357
65~	9,333	73.5	369

单球数 (個/ μ L) (女性)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	538	3.6	437
7~15	1,561	10.9	332
16~39	2,404	29.9	311
40~64	7,628	54.8	289
65~	10,992	73.3	302

3.末梢血液検査 (3) -5 白血球分画 (好酸球)

好酸球数 (個/ μ L) (全体)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	1,121	3.5	307
7~15	3,156	10.9	278
16~39	3,970	29.1	173
40~64	11,940	55.0	158
65~	20,325	73.4	156

好酸球数 (個/ μ L) (男性)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	583	3.4	348
7~15	1,595	11.0	317
16~39	1,566	27.8	204
40~64	4,312	55.3	187
65~	9,333	73.5	181

好酸球数 (個/ μ L) (女性)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	538	3.6	262
7~15	1,561	10.9	237
16~39	2,404	29.9	153
40~64	7,628	54.8	142
65~	10,992	73.3	135

3.末梢血液検査 (3) -6 白血球分画 (好塩基球)

好塩基球数 (個/ μ L) (全体)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	1,121	3.5	40
7~15	3,156	10.9	35
16~39	3,970	29.1	38
40~64	11,940	55.0	40
65~	20,325	73.4	38

好塩基球数 (個/ μ L) (男性)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	583	3.4	42
7~15	1,595	11.0	38
16~39	1,566	27.8	40
40~64	4,312	55.3	44
65~	9,333	73.5	40

好塩基球数 (個/ μ L) (女性)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	538	3.6	37
7~15	1,561	10.9	32
16~39	2,404	29.9	38
40~64	7,628	54.8	37
65~	10,992	73.3	37

4.血液生化学 (1) -1 肝機能 (AST)

AST (U/L) (全体)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	31 U/L以上	51 U/L以上
0~6
7~15	3,099	11.0	24.2	10.7%	0.8%
16~39	3,976	29.1	21.4	9.1%	2.0%
40~64	11,944	55.0	24.2	14.5%	2.8%
65~	20,330	73.4	25.4	16.4%	2.6%

AST (U/L) (男性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	31 U/L以上	51 U/L以上
0~6
7~15	1,563	11.0	25.6	14.7%	1.4%
16~39	1,568	27.8	25.4	17.3%	3.6%
40~64	4,316	55.3	27.1	22.2%	4.7%
65~	9,336	73.5	26.6	21.0%	3.4%

AST (U/L) (女性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	31 U/L以上	51 U/L以上
0~6
7~15	1,536	10.9	22.8	6.7%	0.3%
16~39	2,408	29.9	18.7	3.7%	1.0%
40~64	7,628	54.8	22.6	10.2%	1.8%
65~	10,994	73.3	24.3	12.6%	1.9%

4.血液生化学 (1) -2 肝機能 (ALT)

ALT (U/L) (全体)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	31 U/L以上	51 U/L以上
0~6
7~15	3,099	11.0	16.4	6.1%	1.8%
16~39	3,976	29.1	23.1	17.7%	7.7%
40~64	11,944	55.0	24.5	21.2%	6.8%
65~	20,330	73.4	21.3	13.4%	3.3%

ALT (U/L) (男性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	31 U/L以上	51 U/L以上
0~6
7~15	1,563	11.0	19.1	9.5%	2.9%
16~39	1,568	27.8	33.6	34.9%	16.5%
40~64	4,316	55.3	30.8	35.1%	11.7%
65~	9,336	73.5	23.4	18.1%	4.4%

ALT (U/L) (女性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	31 U/L以上	51 U/L以上
0~6
7~15	1,536	10.9	13.7	2.5%	0.6%
16~39	2,408	29.9	16.2	6.5%	2.0%
40~64	7,628	54.8	21.0	13.3%	4.0%
65~	10,994	73.3	19.4	9.4%	2.4%

4.血液生化学 (1) -3 肝機能 (γ -GT)

γ -GT (U/L) (全体)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	51 U/L以上	101 U/L以上
0~6
7~15	3,098	11.0	14.5	0.6%	0.1%
16~39	3,976	29.1	26.3	9.2%	2.6%
40~64	11,944	55.0	39.5	19.7%	6.1%
65~	20,330	73.4	33.8	14.3%	3.8%

γ -GT (U/L) (男性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	51 U/L以上	101 U/L以上
0~6
7~15	1,562	11.0	15.9	0.9%	0.1%
16~39	1,568	27.8	39.6	19.6%	5.9%
40~64	4,316	55.3	59.2	35.8%	12.5%
65~	9,336	73.5	44.3	23.0%	6.5%

γ -GT (U/L) (女性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	51 U/L以上	101 U/L以上
0~6
7~15	1,536	10.9	13.1	0.3%	-
16~39	2,408	29.9	17.6	2.3%	0.5%
40~64	7,628	54.8	28.4	10.6%	2.5%
65~	10,994	73.3	25.0	7.0%	1.5%

4.血液生化学 (2) -1 脂質 (LDLコレステロール)

LDL-C (mg/dL) (全体)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	120 mg/dL以上	140 mg/dL以上
0~6
7~15	3,098	11.0	92.1	10.9%	2.8%
16~39	3,976	29.1	109.2	32.0%	14.9%
40~64	11,944	55.0	124.6	54.5%	29.4%
65~	20,330	73.4	116.4	43.9%	20.3%

LDL-C (mg/dL) (男性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	120 mg/dL以上	140 mg/dL以上
0~6
7~15	1,562	11.0	90.1	9.5%	2.8%
16~39	1,568	27.8	113.8	39.3%	20.5%
40~64	4,316	55.3	122.6	51.9%	27.8%
65~	9,336	73.5	112.5	39.3%	17.0%

LDL-C (mg/dL) (女性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	120 mg/dL以上	140 mg/dL以上
0~6
7~15	1,536	10.9	94.2	12.2%	2.9%
16~39	2,408	29.9	106.2	27.3%	11.3%
40~64	7,628	54.8	125.8	56.1%	30.3%
65~	10,994	73.3	119.8	47.9%	23.2%

4.血液生化学 (2) -2 脂質 (中性脂肪)

中性脂肪 (TG) (mg/dL) (全体)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	150 mg/dL以上	300 mg/dL以上
0~6
7~15	3,098	11.0	82.1	9.4%	0.7%
16~39	3,976	29.1	88.7	11.1%	1.8%
40~64	11,944	55.0	116.9	20.8%	3.3%
65~	20,330	73.4	112.3	18.7%	1.6%

中性脂肪 (TG) (mg/dL) (男性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	150 mg/dL以上	300 mg/dL以上
0~6
7~15	1,562	11.0	82.1	10.4%	0.9%
16~39	1,568	27.8	112.0	19.5%	3.5%
40~64	4,316	55.3	144.8	32.4%	6.5%
65~	9,336	73.5	117.4	21.1%	2.4%

中性脂肪 (TG) (mg/dL) (女性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	150 mg/dL以上	300 mg/dL以上
0~6
7~15	1,536	10.9	82.0	8.3%	0.6%
16~39	2,408	29.9	73.6	5.7%	0.7%
40~64	7,628	54.8	101.1	14.2%	1.5%
65~	10,994	73.3	108.0	16.7%	0.9%

4.血液生化学 (2) -3 脂質 (HDLコレステロール)

HDL-C (mg/dL) (全体)				
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	40 mg/dL未満
0~6
7~15	3,099	11.0	60.6	2.5%
16~39	3,976	29.1	62.3	3.9%
40~64	11,944	55.0	63.6	4.4%
65~	20,330	73.4	60.7	5.4%

HDL-C (mg/dL) (男性)				
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	40 mg/dL未満
0~6
7~15	1,563	11.0	60.8	2.8%
16~39	1,568	27.8	55.9	7.9%
40~64	4,316	55.3	56.8	9.2%
65~	9,336	73.5	56.9	8.7%

HDL-C (mg/dL) (女性)				
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	40 mg/dL未満
0~6
7~15	1,536	10.9	60.3	2.2%
16~39	2,408	29.9	66.5	1.2%
40~64	7,628	54.8	67.5	1.7%
65~	10,994	73.3	64.0	2.6%

4.血液生化学 (3) -1 糖 (空腹時血糖)

空腹時血糖値 (mg/dL) (全体)						
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	110 mg/dL以上	130 mg/dL以上	160 mg/dL以上
0~6
7~15	2,010	11.2	86.8	0.3%	0.0%	0.0%
16~39	3,517	29.1	89.5	2.2%	0.9%	0.5%
40~64	10,784	54.9	99.1	14.8%	4.6%	1.3%
65~	17,386	73.1	104.5	26.0%	8.4%	1.9%

空腹時血糖値 (mg/dL) (男性)						
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	110 mg/dL以上	130 mg/dL以上	160 mg/dL以上
0~6
7~15	1,007	11.2	88.1	0.4%	0.1%	0.1%
16~39	1,353	27.8	91.6	3.2%	1.6%	0.9%
40~64	3,840	55.3	103.8	22.8%	7.7%	2.3%
65~	7,959	73.3	107.8	32.8%	11.5%	2.6%

空腹時血糖値 (mg/dL) (女性)						
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	110 mg/dL以上	130 mg/dL以上	160 mg/dL以上
0~6
7~15	1,003	11.1	85.6	0.2%	-	-
16~39	2,164	29.9	88.2	1.7%	0.6%	0.3%
40~64	6,944	54.8	96.5	10.4%	3.0%	0.8%
65~	9,427	73.0	101.8	20.2%	5.8%	1.3%

4.血液生化学 (3) -2 糖 (HbA1c)

HbA1c (%) (NGSP) (全体)						
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	6.0%以上	7.0%以上	8.0%以上
0~6
7~15	3,097	11.0	5.3	0.4%	0.1%	0.0%
16~39	3,974	29.1	5.3	2.3%	0.8%	0.5%
40~64	11,944	55.0	5.6	15.8%	3.5%	1.2%
65~	20,330	73.4	5.8	27.9%	5.0%	1.2%

HbA1c (%) (NGSP) (男性)						
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	6.0%以上	7.0%以上	8.0%以上
0~6
7~15	1,563	11.0	5.3	0.7%	0.2%	0.1%
16~39	1,567	27.8	5.3	3.2%	1.2%	0.8%
40~64	4,316	55.3	5.7	19.9%	5.3%	1.9%
65~	9,336	73.5	5.8	30.9%	6.5%	1.4%

HbA1c (%) (NGSP) (女性)						
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	6.0%以上	7.0%以上	8.0%以上
0~6
7~15	1,534	10.9	5.3	0.1%	-	-
16~39	2,407	29.9	5.3	1.8%	0.5%	0.3%
40~64	7,628	54.8	5.6	13.5%	2.5%	0.9%
65~	10,994	73.3	5.8	25.4%	3.8%	0.9%

4.血液生化学 (4) -1 腎機能 (血清クレアチニン)

血清クレアチニン (mg/dL) (全体)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	.	.	.
7~15	3,098	11.0	0.48
16~39	3,976	29.1	0.71
40~64	11,944	55.0	0.74
65~	20,330	73.4	0.81

血清クレアチニン (mg/dL) (男性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	1.15mg/dL以上	1.35mg/dL以上
0~6
7~15	1,563	11.0	0.50	-	-
16~39	1,568	27.8	0.84	0.8%	0.1%
40~64	4,316	55.3	0.89	3.9%	0.8%
65~	9,336	73.5	0.93	10.4%	3.7%

血清クレアチニン (mg/dL) (女性)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	0.95mg/dL以上	1.15mg/dL以上
0~6
7~15	1,535	10.9	0.46	0.1%	-
16~39	2,408	29.9	0.62	0.1%	-
40~64	7,628	54.8	0.66	0.9%	0.3%
65~	10,994	73.3	0.71	5.3%	1.4%

4.血液生化学 (4) -2 腎機能 (eGFR)

eGFR (mL/min/1.73m ²) (全体)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	.	.	.
7~15	.	.	.
16~39	3,976	29.1	93.8
40~64	11,944	55.0	74.1
65~	20,330	73.4	64.8

eGFR (mL/min/1.73m ²) (男性)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	.	.	.
7~15	.	.	.
16~39	1,568	27.8	93.2
40~64	4,316	55.3	73.7
65~	9,336	73.5	65.1

eGFR (mL/min/1.73m ²) (女性)			
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値
0~6	.	.	.
7~15	.	.	.
16~39	2,408	29.9	94.2
40~64	7,628	54.8	74.3
65~	10,994	73.3	64.5

4.血液生化学 (4) -3 腎機能 (尿酸)

尿酸 (mg/dL) (全体)					
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	7.1mg/dL以上	8.0mg/dL以上
0~6
7~15	3,098	11.0	4.6	2.9%	0.8%
16~39	3,976	29.1	5.1	10.1%	3.4%
40~64	11,943	55.0	5.2	9.5%	3.1%
65~	20,330	73.4	5.3	9.5%	2.7%

尿酸 (mg/dL) (男性)						
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	7.1mg/dL以上	7.9mg/dL以上	8.0mg/dL以上
0~6
7~15	1,563	11.0	4.8	5.4%	1.5%	1.5%
16~39	1,568	27.8	6.2	24.2%	9.4%	8.4%
40~64	4,315	55.3	6.1	22.9%	9.1%	7.9%
65~	9,336	73.5	5.8	16.9%	5.8%	5.0%

尿酸 (mg/dL) (女性)						
年齢区分	受診者数(人)	平均年齢	平均値	5.6mg/dL以上	7.1mg/dL以上	8.0mg/dL以上
0~6
7~15	1,535	10.9	4.3	6.4%	0.5%	-
16~39	2,408	29.9	4.4	11.7%	0.9%	0.2%
40~64	7,628	54.8	4.6	17.9%	2.0%	0.5%
65~	10,994	73.3	4.8	22.6%	3.2%	0.8%

県民健康調査「健康診査」令和2年度実施計画（案）

1 目的

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故により、多くの方が避難生活を余儀なくされ、食生活、運動習慣など生活習慣が大きく変化し、また、受診すべき健康診査も受けることができなくなるなど、健康に不安を抱えている住民もいることから、県民の健康状態を把握し、生活習慣病の予防や疾病の早期発見、早期治療につなげることを目的に実施している。

2 対象者

- 平成23年3月11日から平成24年4月1日までに対象地域※に住民登録をしていた方（対象地域を転出後も対象とする）
- 実施年度の4月1日時点で避難区域等に住民登録をしていた方
- 上記以外で基本調査の結果、必要と認められた方

※対象地域：平成23年時に避難区域等に指定された市町村等

広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村、南相馬市、田村市、川俣町、伊達市の一部（特定避難勧奨地点の属する区域）

3 健診項目

年齢区分	健診項目
0歳～6歳 (就学前乳幼児)	身長、体重、 [希望がある場合のみ] 血算（赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン、血小板数、白血球数、白血球分画）
7歳～15歳 (小学校1年生～中学校3年生)	身長、体重、血圧、 血算（赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン、血小板数、白血球数、白血球分画） [希望による追加項目] 血液生化学（AST、ALT、 γ -GT、TG、HDL-C、LDL-C、HbA1c、血糖、 血清クレアチニン、尿酸）
16歳以上	身長、体重、腹囲（又はBMI）、血圧、 血算（赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン、血小板数、白血球数、白血球分画）、 尿検査（尿蛋白、尿糖、尿潜血） 血液生化学（AST、ALT、 γ -GT、TG、HDL-C、LDL-C、HbA1c、血糖、 血清クレアチニン、eGFR、尿酸） ※下線部は、通常、特定健康診査では検査しない追加項目

4 実施方法

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
16歳以上	県内		市町村が実施する特定健診・総合健診での 上乗せ健診									集団健診			
	県外				県外指定医療機関での健診										
15歳以下	県内				県内指定医療機関での小児健診										
	県外				県外指定医療機関での小児健診										

- ・ 県内に居住している対象者

次年度も引き続き、市町村が行う特定健診・総合健診で追加項目を上乗せして同時に実施するとともに、集団健診や医療機関での個別健診、小児健診を実施する。

- ・ 県外に居住している対象者

次年度も引き続き、各都道府県の医療機関での個別健診、小児健診を実施する。

5 受診率向上の取組み

- ア 生活習慣病予防等のための取組み
- イ 集団健診会場の確保
- ウ 受診勧奨（リマインダー）の実施

県民健康調査「健康診査」対象市町村と他地域の比較

【目的と概要】

これまでの調査において、避難区域の住民の方では震災前から震災後にかけて肥満、高血圧、脂質異常、糖尿病型等の生活習慣病が大きく増加し、その傾向は特に避難区域の住民の方において強くみられることが明らかになった。これらの変化が震災後どのようなものかを検討する必要がある。また、避難区域の住民の方に特有の変化なのか福島県内の他の地域でも同様の傾向がみられるのかを比較する必要がある。そこで、今回、避難区域と同じ福島県内であり、震災の影響が少ないと考えられる他地域（会津地方）の健康診査のデータを用いて震災後の生活習慣病の推移を検討した。その結果、避難区域では、震災4年後も肥満者は減少しておらず、糖尿病型の増加がみられた。一方、肝機能異常の割合は減少し、治療者の増加に伴い血圧値、LDL コレステロール値には改善がみられた。

【対象】

・県民健康調査「健康診査」対象 13 市町村

広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村、南相馬市、田村市、川俣町、伊達市の一部（特定避難勧奨地点の属する区域）
このうち、下記の2地域に分けて解析を行った。

13 市町村（一部避難区域）：南相馬市、田村市、川俣町、伊達市

13 市町村（避難区域）：広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村

・他地域

会津地方（喜多方市、南会津町、只見町）

・集計対象者

上記の3つの地域の健診（特定健診および後期高齢者健診・県民健康調査による健診のいずれか）を受診された方のうち、平成23～24年度において少なくとも1回以上受診した方を分析対象とした。この間、2回以上受診した方については、最も震災に近い年度に受診した健診結果をベースラインとし、平成26～27年度に実施した健診との間で健診データを比較検討した。平成26～27年度に2回以上健診を受診した方については、震災から最も遠い年度に受診した健診結果を解析に用いた。

上記3つの地域の集計対象者数、および平均年齢、平均追跡期間は、下記の通りである。

	全体	男性	女性	追跡期間
会津地方(3市町)	6,216 人	2,710 人	3,506 人	3.6年
	67.5 歳	67.6 歳	67.4 歳	
13市町村(一部避難区域)	21,744 人	9,431 人	12,313 人	3.4年
	64.4 歳	65.4 歳	63.5 歳	
13市町村(避難区域)	10,768 人	4,652 人	6,116 人	3.5年
	63.9 歳	64.8 歳	63.2 歳	

【解析方法】

- 連続変量（肥満度、血圧値、HbA1c 値、コレステロール値）については、対応のある t 検定を用い、割合（肥満、やせ、高血圧、糖尿病型、脂質異常、肝機能異常、eGFR 低値、高尿酸血症の頻度、および服薬等治療中の頻度）の推移については McNemar 検定を用いて有意差検定を行った。
- 解析ソフトは SAS, version 9.4 (SAS Institute, Inc., Cary, NC, USA) を用いた。有意差検定は両側検定を行い、5%未満の有意水準 ($P < 0.05$) をもって有意と判定した。
- グラフの数字は四捨五入して示しているため合計で 100%とはならない場合があります。

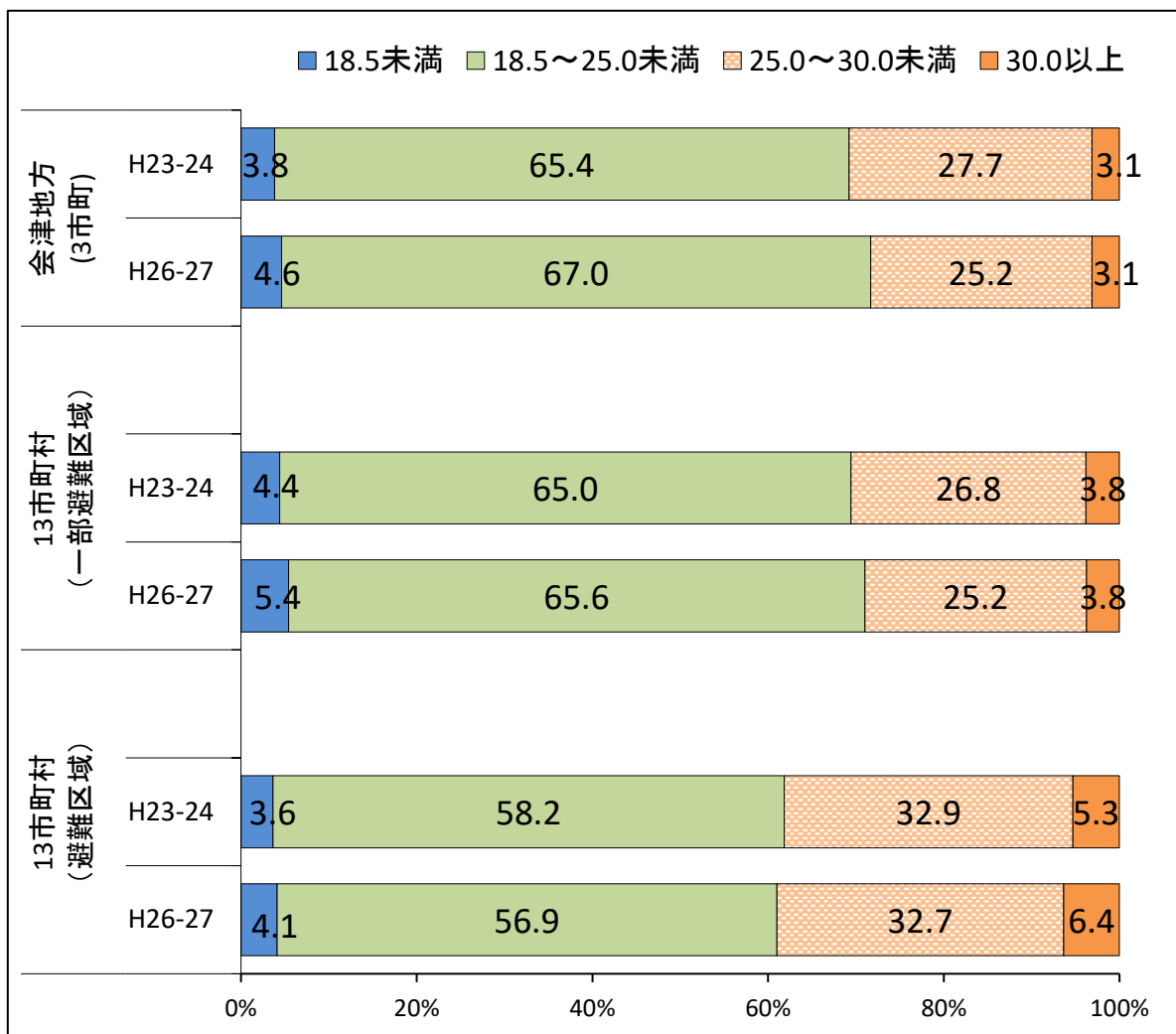


図1 BMI (Body Mass Index ; kg/m²) の割合の推移

やせ^{※1}の割合は、会津地方(3市町)、13市町村(一部避難区域)、13市町村(避難区域)のいずれにおいても、震災直後と比べて有意に増加した。3地域の中では、13市町村(一部避難区域)における変化が最も大きかった。

肥満^{※2}の割合は、会津地方(3市町)、13市町村(一部避難区域)において、震災直後と比べて有意に減少したが、13市町村(避難区域)では、有意に増加した。

※1 BMI 18.5 未満

※2 BMI 25.0 以上

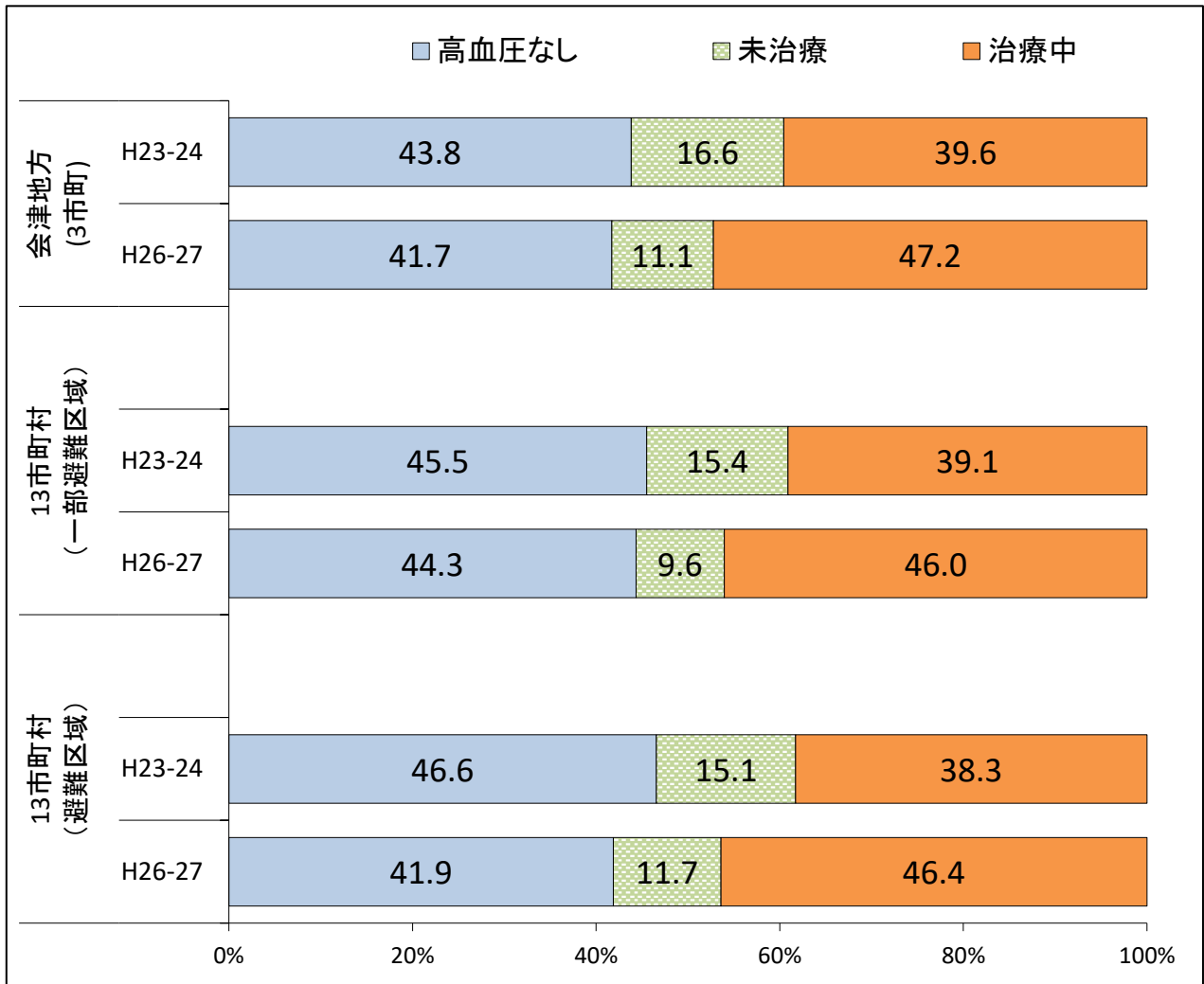


図2 高血圧未治療・治療中の割合の推移

高血圧^{※3}の割合は、会津地方（3市町）、13市町村（一部避難区域）、13市町村（避難区域）のいずれにおいても、震災直後と比べて有意に増加していた。3地域の中では、13市町村（避難区域）における増加が最も大きかった。

高血圧未治療の割合は、3地域のいずれにおいても減少したが、減少の割合は13市町村（避難区域）で最も小さかった。

※3 収縮期血圧 140 mmHg 以上、または拡張期血圧 90 mmHg 以上、もしくは降圧剤服用中

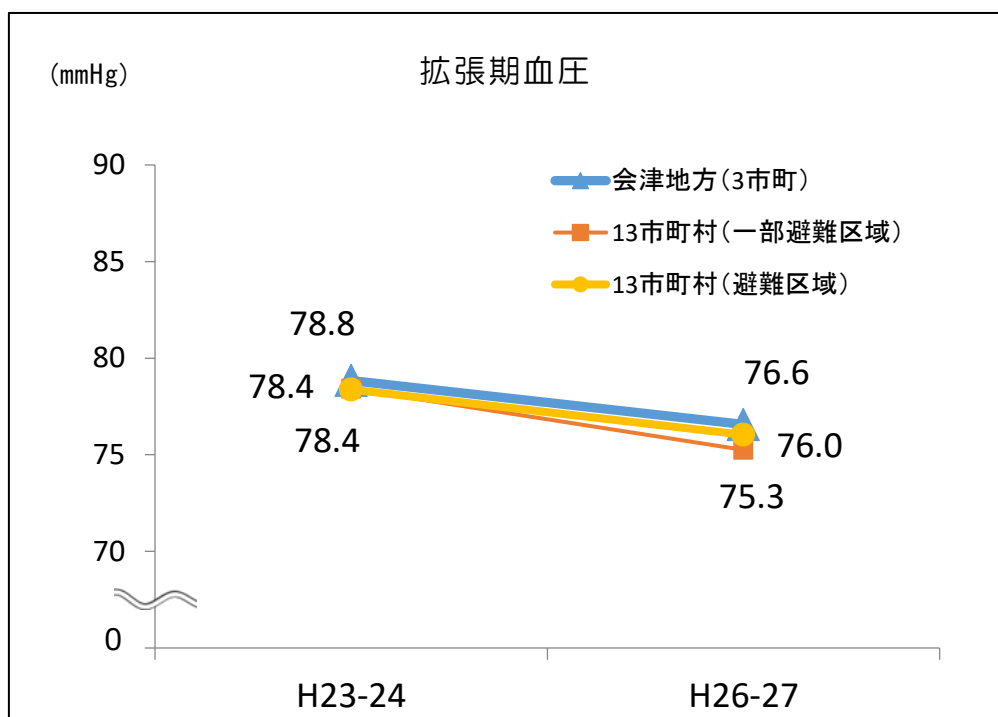
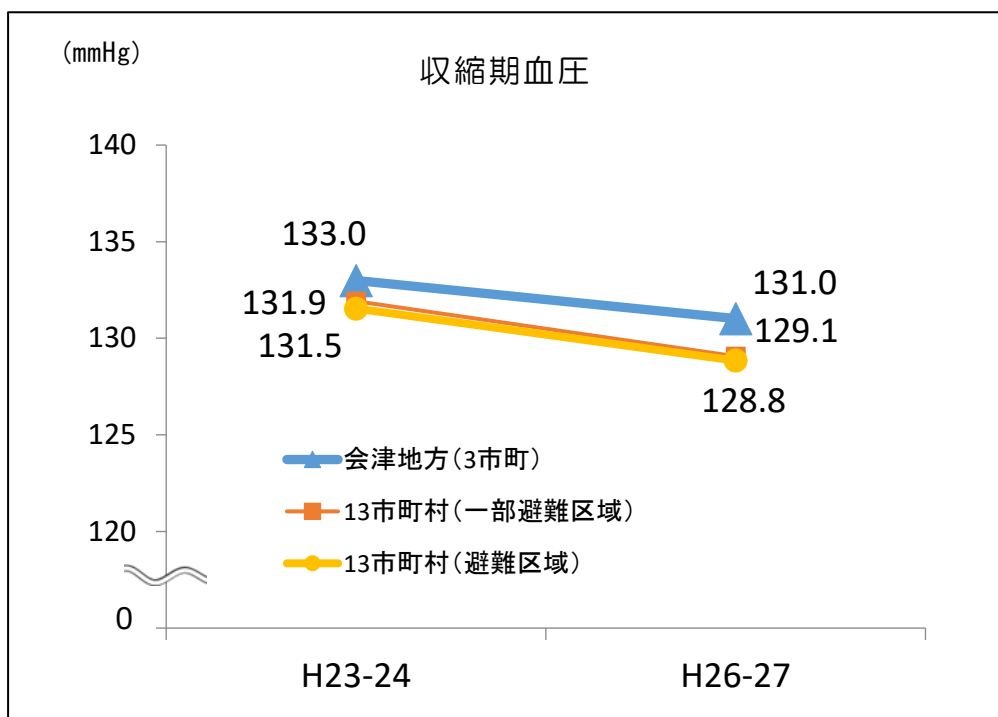


図3 収縮期血圧・拡張期血圧の平均値の推移

収縮期血圧の平均値は、会津地方（3市町）、13市町村（一部避難区域）、13市町村（避難区域）のいずれにおいても、震災直後と比べて有意に低下した。3地域の中では、13市町村（一部避難区域）における低下が最も大きかった。

拡張期血圧の平均値も、3地域すべてにおいて有意に低下したが、低下が最も大きかったのは、13市町村（一部避難区域）であった。

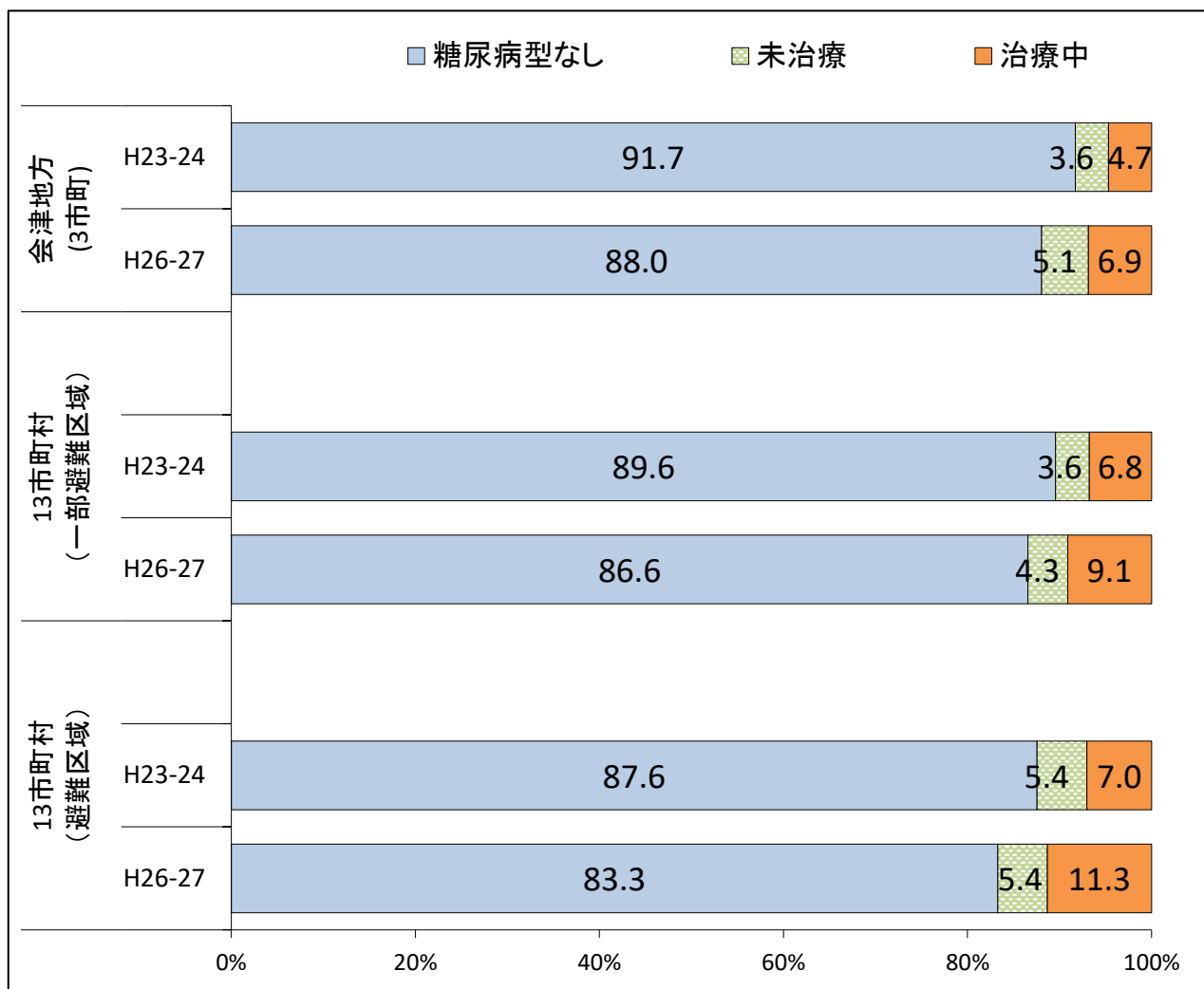


図 4 糖尿病未治療・治療中の割合の推移

糖尿病型^{※4}の割合は、会津地方（3市町）、13市町村（一部避難区域）、13市町村（避難区域）のいずれにおいても、震災直後と比べて有意に増加した。3地域の中では、13市町村（避難区域）における増加が最も大きかった。

糖尿病未治療の割合は、会津地方（3市町）、13市町村（一部避難区域）で増加したが、13市町村（避難区域）においては変化がなかった。

※4 空腹時血糖 126 mg/dL 以上、または随時血糖 200 mg/dL 以上、または HbA1c 6.5 %以上、もしくは血糖降下剤等治療中

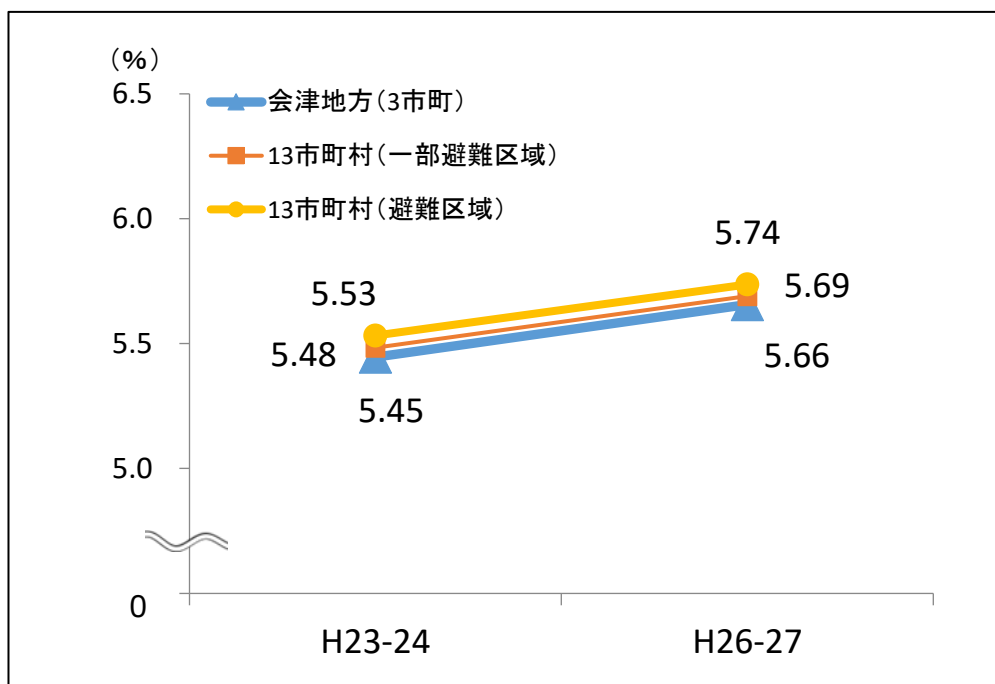


図5 HbA1cの平均値の推移

血糖コントロールの指標であるHbA1cの平均値は、会津地方（3市町）、13市町村（一部避難区域）、13市町村（避難区域）のいずれにおいても、震災直後と比べて有意に上昇した。変化量は、3地域のいずれにおいても同程度であった。

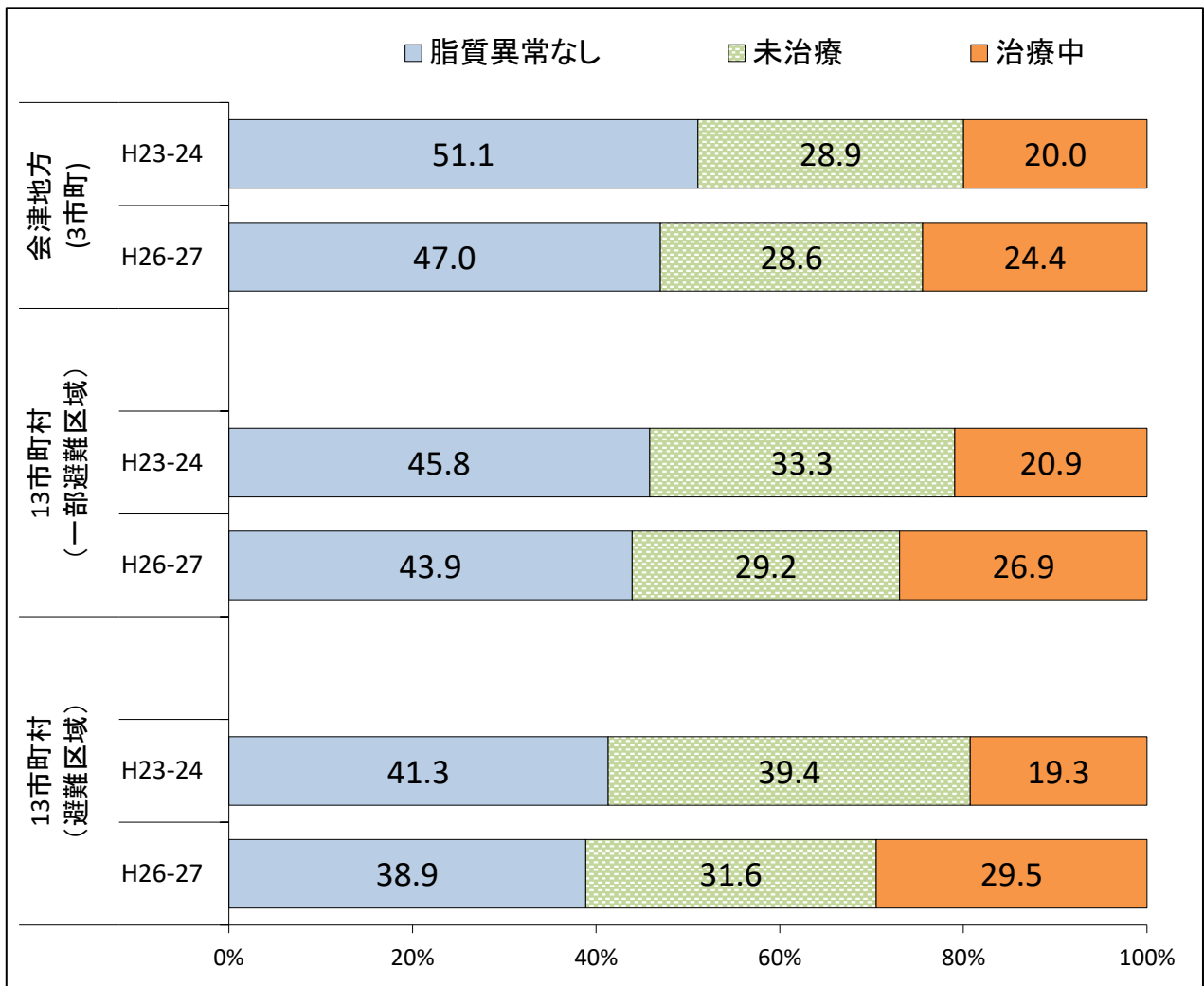


図 6 脂質異常未治療・治療中の割合の推移

脂質異常^{※5}の割合は、会津地方（3市町）、13市町村（一部避難区域）、13市町村（避難区域）のいずれにおいても、震災直後と比べて有意に増加した。また、3地域の中では、13市町村（避難区域）で最も多く、増加の割合は会津地方（3市町）で最も大きかった。

脂質異常未治療の割合は、3地域のいずれにおいても減少したが、減少の割合が最も大きかったのは、13市町村（避難区域）であった。

※5 HDL コレステロール 40 mg/dL 未満、または LDL コレステロール 140 mg/dL 以上、または空腹時トリグリセライド 150 mg/dL 以上、もしくは脂質異常治療中

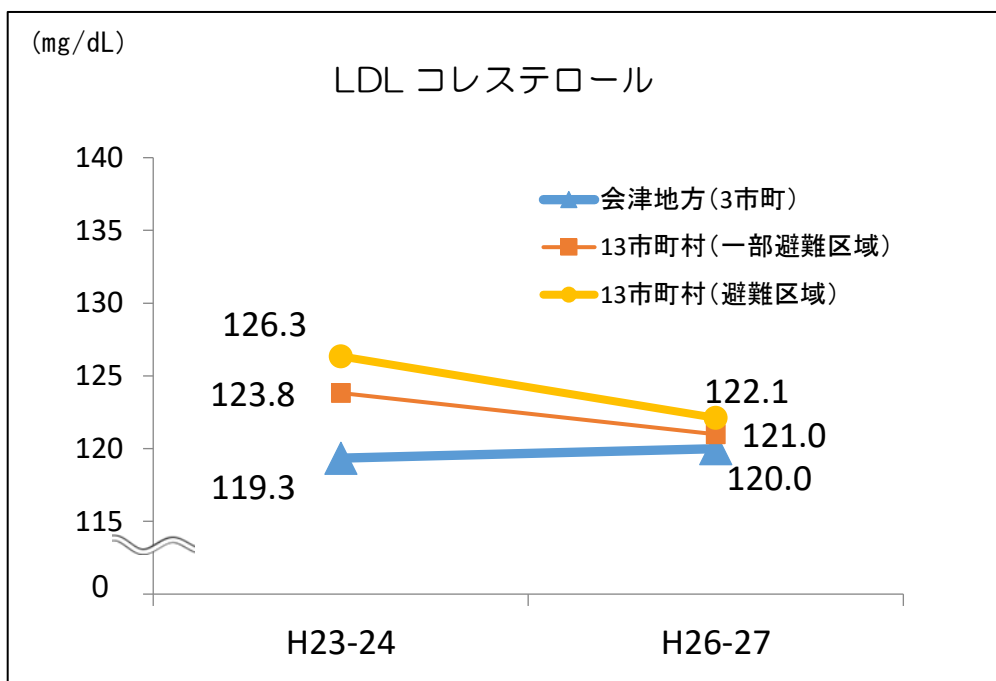
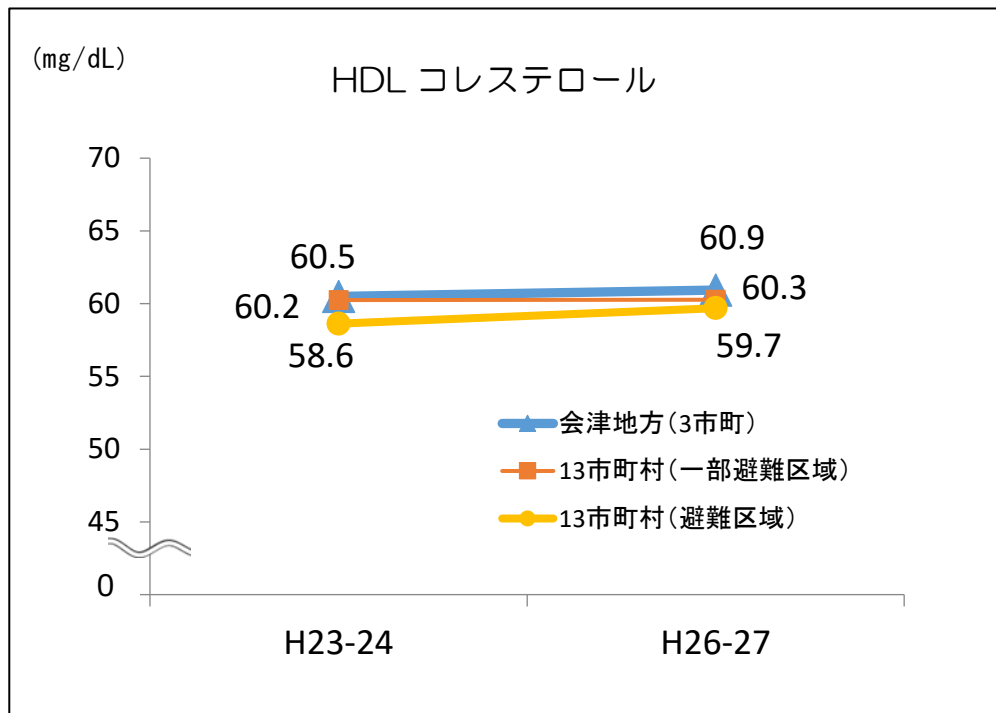


図 7 コレステロールの平均値の推移

HDL コレステロールの平均値は、会津地方（3市町）、13市町村（避難区域）において震災直後と比べて有意に上昇したが、13市町村（一部避難区域）では有意な変化がなかった。また、平均値が最も低かったのは13市町村（避難区域）であった。

LDL コレステロールの平均値は、会津地方（3市町）では震災直後と比べて有意に上昇したが、13市町村（一部避難区域・避難区域）においては、いずれも有意に低下した。また、変化量が最も大きかったのは、13市町村（避難区域）であった。

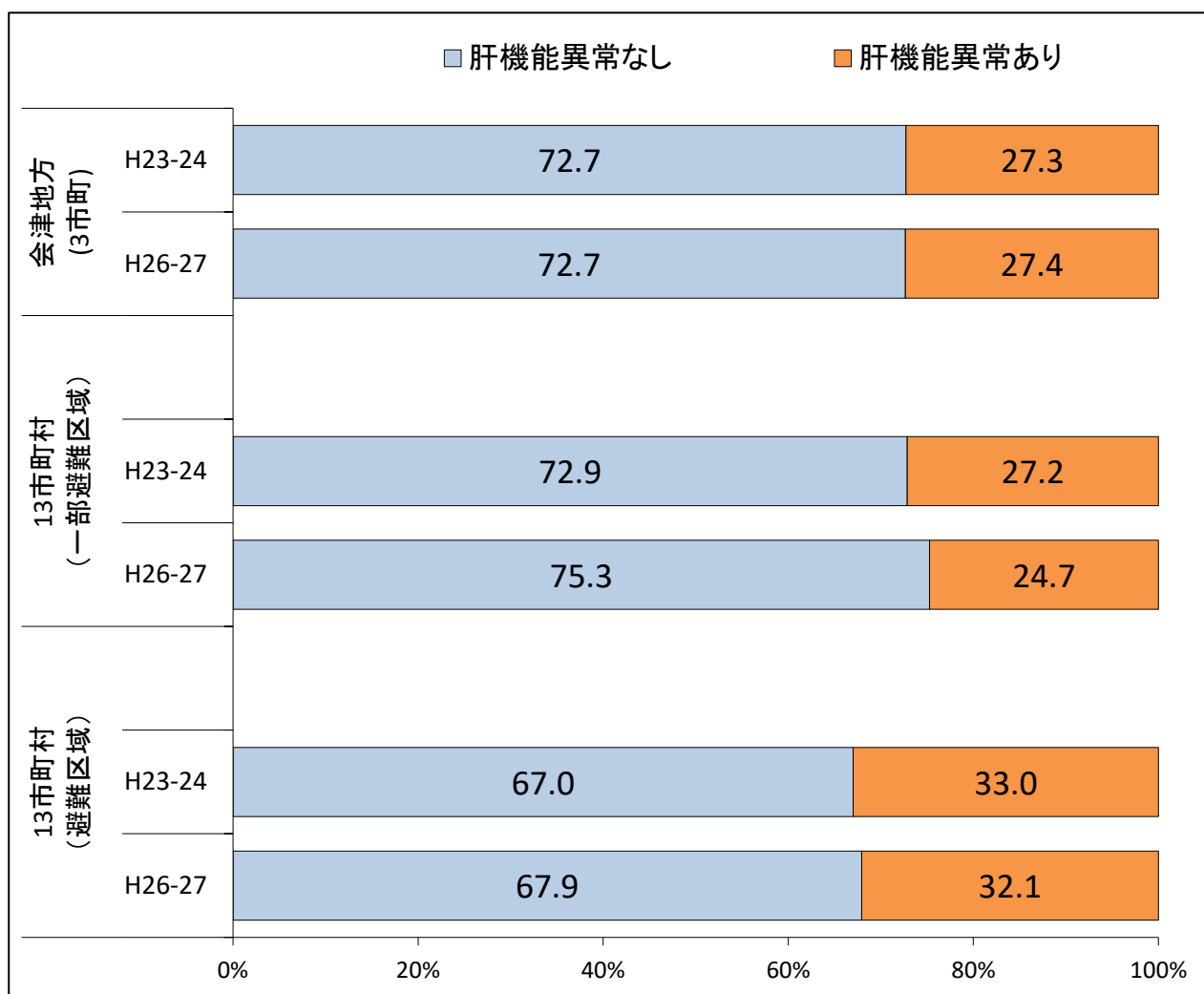


図8 肝機能異常の割合の推移

肝機能異常^{※6}の割合は、会津地方（3市町）では震災直後と比べて有意な変化がなかったが、13市町村（一部避難区域・避難区域）ではいずれも有意に減少した。また、肝機能異常の割合が最も多かったのは、13市町村（避難区域）であったが、減少の割合は、13市町村（一部避難区域）で最も大きかった。

※6 AST 31 U/L 以上、または ALT 31 U/L 以上、または γ -GT 51 U/L 以上

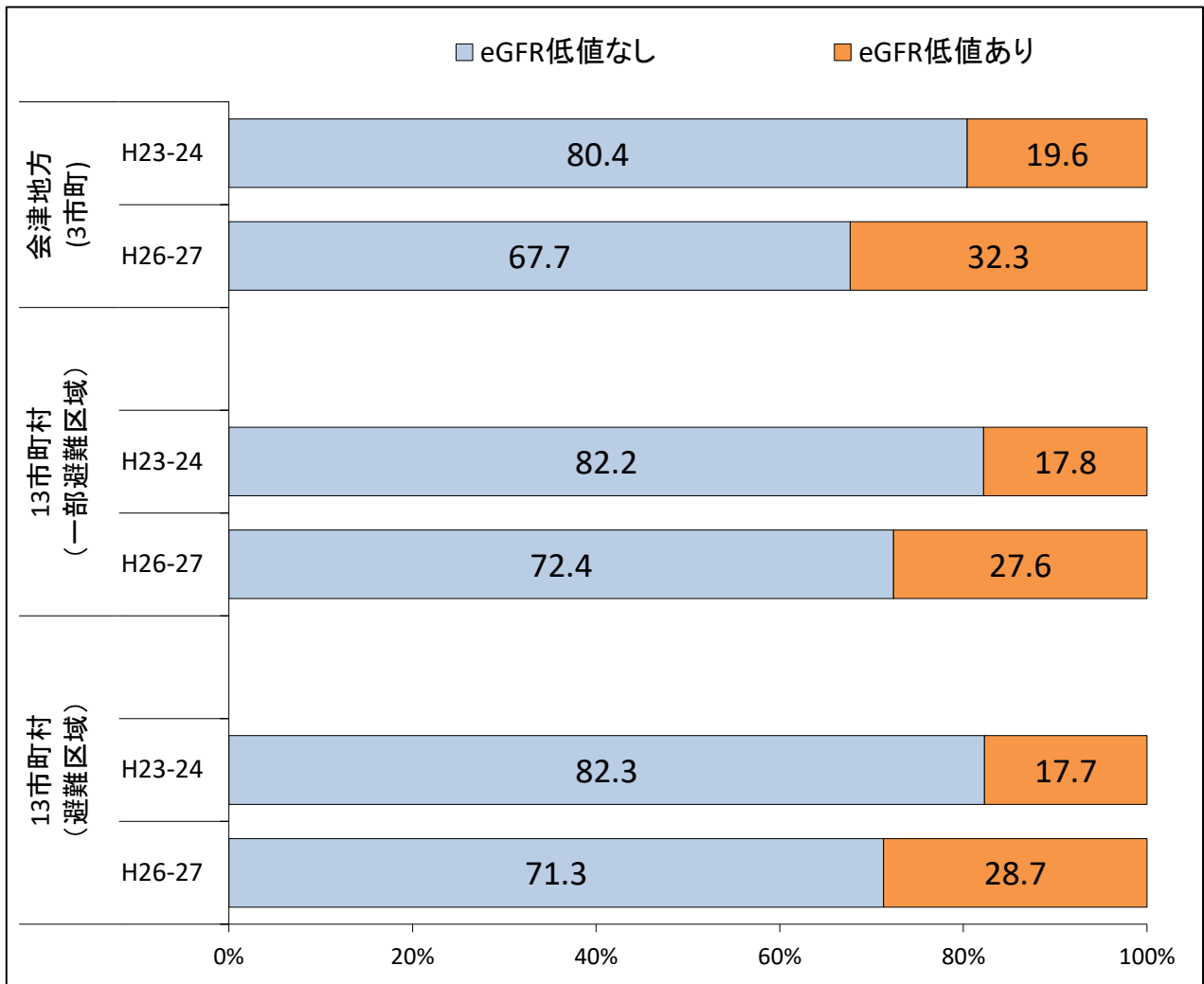


図9 eGFR (mL/min/1.73m²) 低値の割合の推移

eGFR 低値^{※7}の割合は、会津地方（3市町）、13市町村（一部避難区域）、13市町村（避難区域）のいずれにおいても、震災直後と比べて有意に増加した。また、eGFR 低値の割合が最も多かったのは、会津地方（3市町）であった。

※7 eGFR(推算糸球体濾過量) 60 mL/min/1.73m²未満

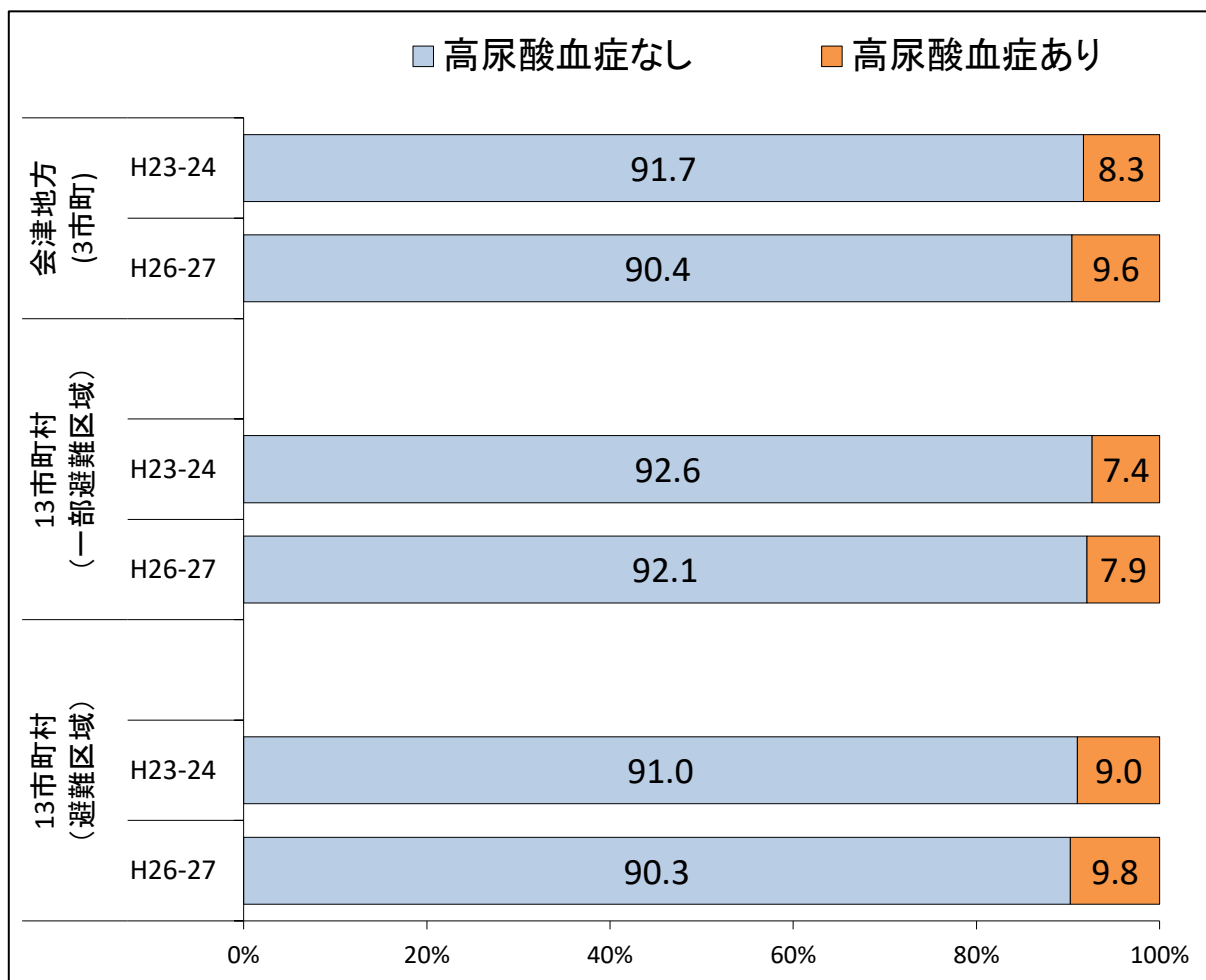


図 10 高尿酸血症の割合の推移

高尿酸血症^{※8}の割合は、会津地方（3市町）、13市町村（避難区域）において、震災直後と比べて有意に増加したが、13市町村（一部避難区域）においては有意な変化がなかった。高尿酸血症の割合が最も多かったのは、13市町村（避難区域）で、増加の割合が最も大きかったのは会津地方（3市町）であった。

※8 尿酸 7.1 mg/dL 以上

【結果のまとめ】

一部避難区域・避難区域の健康診査のデータと、これらの地域と同じ福島県内であり震災の影響が少ないと考えられる他地域（会津地方）の健康診査のデータを用いて震災後の生活習慣病の推移を検討した結果、避難区域では、震災4年後も肥満の割合は減少しておらず、糖尿病型の増加が他の地域よりも多くみられた。

高血圧にあてはまる人の割合についてはどの地域も増加した一方で、高血圧治療者の割合が増加した結果、収縮期・拡張期血圧の平均値はどの地域においても低下傾向がみられた。

脂質異常にあてはまる人の割合についてもどの地域も増加したが、治療者の割合が増加した結果、一部避難区域・避難区域ではLDLコレステロール値の低下傾向がみられた。

肝機能異常の割合は一部避難区域・避難区域では減少傾向がみられた。

腎機能障害（eGFR低値）及び高尿酸血症にあてはまる人の割合はどの地域も増加傾向がみられた。

以上の結果より、一部避難区域・避難区域では治療率の割合の増加などによる血圧値やLDLコレステロール値の改善傾向がみられているものの、引き続き循環器疾患の発症リスクが高い状態が続いており、今後も肥満対策等の疾病予防・健康増進活動が必要と考えられる。

県民健康調査「健康診査」既存健診対象外の県民に対する健康診査について

令和2年2月13日

1 目的

県民健康調査の一環として、これまで既存制度では健康診査を受診する機会がなかった県民に対して「健康診査」の機会を提供し、県民の皆様の健康の保持・増進を図り、健康長寿県を目指す。

2 対象者

健康診査実施年度に概ね19歳から39歳の年齢に達する者であって、実施年度の4月1日時点で福島県内に住民登録をしていた者のうち、別表に定める既存制度の健診を受診する機会がある者を除く。

【別表】

- ・ 労働安全衛生法に基づく健康診断（定期健康診断等）
 - ・ 学校保健安全法第13条に基づく児童生徒等の健康診断
 - ・ 県民健康調査として避難区域等*の県民を対象として県が行う健診（項目を上乗せして行う健診）等
- ※ 避難区域等とは田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村の全域、及び伊達市の一部（特定避難勧奨地点が属する区域）等

3 健診項目

身長、体重、BMI、血圧、尿検査（尿糖及び尿蛋白）、血液生化学（AST、ALT、 γ -GT、TG、HDL-C、LDL-C、HbA1c、空腹時血糖（又は随時血糖））

4 実施方法

市町村及び健診実施代行機関に実施を委託し、県内外の医療機関等または、集団健診において実施する。

5 実績

（単位：人）

実施方法別		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
市町村に実施を委託		12,148	5,559	5,484	5,291	4,962	4,751	4,233
健診実施代行機関に実施を委託	県内医療機関等受診者	10,703	9,093	8,087	7,147	6,725	6,193	5,857
	県内集団健診受診者	613	1,074	925	611	567	499	470
	県外医療機関等受診者	457	223	88	59	32	22	18
	小計	11,773	10,390	9,100	7,817	7,324	6,714	6,345
合計		23,921	15,949	14,584	13,108	12,286	11,465	10,578

6 令和2年度実施計画（案）

32市町村が市町村の実施する集団健診で実施予定。23市町村が健診実施代行機関を活用し実施予定（「市町村に実施を委託」との重複市町村を含む）。



※案内送付者数：対象者について、加入保険の種別等を事前に把握できないことから、案内送付者とした。

県民健康調査「甲状腺検査【本格検査（検査3回目）】」実施状況

I 調査概要

1. 目的

子どもたちの健康を長期に見守るために、現時点での甲状腺の状態を把握するための先行検査及び甲状腺の状態を継続して確認するための本格検査（検査2回目）に引き続き、本格検査（検査3回目）を実施している。

2. 対象者

先行検査における対象者（平成4年4月2日から平成23年4月1日までに生まれた福島県民）に加え、本格検査（検査2回目）から平成23年4月2日から平成24年4月1日までに生まれた福島県民にまで拡大して検査を実施している。

3. 実施期間

平成28年5月1日から検査を開始し、20歳を超えるまでの対象者に、平成28年度及び平成29年度の2か年で市町村順に検査を実施し、それ以降は市町村順の枠組みをなくし、受診者に対し受診時期を分かり易くするため、25歳、30歳等の5年ごとの節目の検査を実施している。ただし、25歳時の検査までは5年以上空けないこととする。

4. 実施機関

福島県から委託を受けた福島県立医科大学が、対象者の利便性も考慮し、福島県内外の医療機関等と連携して検査を実施している。（令和元年9月30日現在の協定締結数）

(1) 一次検査

- (i) 県内検査実施機関 82か所
- (ii) 県外検査実施機関 121か所

(2) 二次検査

- (i) 県内検査実施機関 5か所（福島県立医科大学を含む）
- (ii) 県外検査実施機関 37か所

5. 検査方法

(1) 一次検査

超音波画像診断装置により甲状腺の超音波検査を実施。

なお、検査の結果は、以下の基準により複数の専門医により判定している。

- (i) A判定：A1、A2判定の場合は次回（平成30年度以降）の一次検査を行う。
 - (A1) 結節やのう胞を認めなかった場合。
 - (A2) 5.0mm以下の結節や20.0mm以下ののう胞を認めた場合。
- (ii) B判定：B判定の場合は二次検査を実施している。
 - 5.1mm以上の結節や20.1mm以上ののう胞を認めた場合。
 - なお、A2の判定内容であっても、甲状腺の状態等から二次検査を要すると判断した方について、B判定としている。
- (iii) C判定：C判定の場合は二次検査を実施している。
 - 甲状腺の状態等から判断して、直ちに二次検査を要する場合。

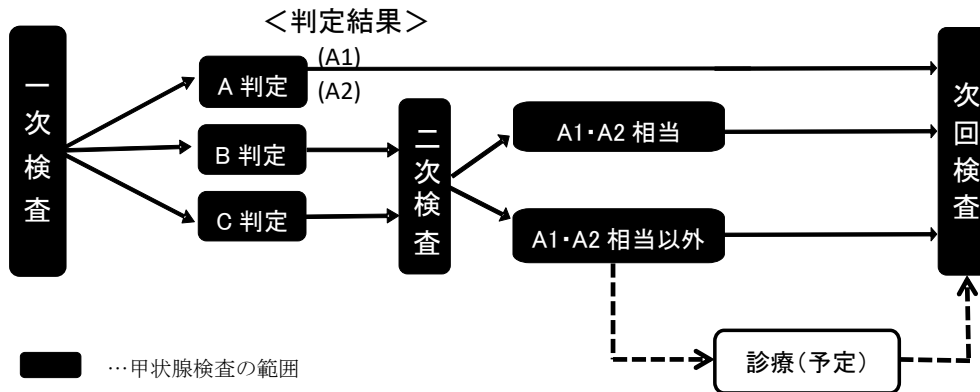
(2) 二次検査

一次検査の結果、B判定またはC判定となった場合は、二次検査の対象となる。二次検査では、詳細な超音波検査、血液検査及び尿検査を行い、必要に応じて穿刺吸引細胞診を実施する。早期に診察が必要と判断した方については優先的に二次検査を実施する。

なお、二次検査の結果、診療（予定）となる方がいる。

(3) 検査の流れ

図 1.検査の流れ



6. 実施対象年度別市町村

平成 28 年度及び平成 29 年度の各実施対象市町村は次のとおり。

図 2.実施対象年度別市町村



II 調査結果概要（令和元年9月30日現在）

1. 一次検査結果

（1）一次検査実施状況

平成28年5月1日から検査を開始し、平成28年度の25市町村及び平成29年度の34市町村の計59市町村336,669人を対象として、217,904人（64.7%）の検査を実施した（市町村別受診状況及び本県以外の都道府県受診状況は、別表1及び別表2のとおり）。

そのうち、217,897人（100.0%）の受診者について検査結果が確定し、結果通知を発送した（市町村別結果状況は、別表3のとおり）。

検査結果はA1判定の方が76,420人（35.1%）、A2判定の方が139,976人（64.2%）、B判定の方が1,501人（0.7%）、C判定の方は0人であった。

表1.一次検査進捗状況

令和元年9月30日現在

	対象者数 (人) ア	受診者数(人)		判定率 (%) ウ(ウ/イ)	結果判定数(人)				
		受診率 (%) イ(イ/ア)	うち県外 受診		判定区分別内訳(割合(%))				
					A		二次検査対象者		
					A1	エ(エ/ウ)	A2	オ(オ/ウ)	B
平成28年度 実施対象市町村計	191,876	126,383 (65.9)	8,904	126,381 (100.0)	44,038 (34.8)	81,538 (64.5)	805 (0.6)	0 (0.0)	
平成29年度 実施対象市町村計	144,793	91,521 (63.2)	3,595	91,516 (100.0)	32,382 (35.4)	58,438 (63.9)	696 (0.8)	0 (0.0)	
合計	336,669	217,904 (64.7)	12,499	217,897 (100.0)	76,420 (35.1)	139,976 (64.2)	1,501 (0.7)	0 (0.0)	

表2.結節・のう胞の人数・割合

令和元年9月30日現在

	結果判定数(人) ア	アに対する結節・のう胞の人数(割合(%))			
		結節		のう胞	
		5.1mm以上 イ(イ/ア)	5.0mm以下 ウ(ウ/ア)	20.1mm以上 エ(エ/ア)	20.0mm以下 オ(オ/ア)
平成28年度 実施対象市町村計	126,381	805 (0.6)	429 (0.3)	0 (0.0)	81,923 (64.8)
平成29年度 実施対象市町村計	91,516	693 (0.8)	399 (0.4)	3 (0.0)	58,739 (64.2)
合計	217,897	1,498 (0.7)	828 (0.4)	3 (0.0)	140,662 (64.6)

- ・小数で表示されている数値は、その下の位で四捨五入している。以降の表、別表も同様である。
- ・平成28年度実施対象市町村及び平成29年度実施対象市町村の対象者は、2年間で、前半・後半に分けて、市町村ごとに行う本格検査対象者（20歳を超えるまで）を計上しており、5年ごとの節目の検査対象者（平成4年度、平成5年度生まれ）を除いている。
- ・節目の検査対象者については、別途、計上する。平成4年度生まれの対象者（約23,000人）は平成29年度、平成5年度生まれの対象者（約22,000人）は平成30年度に検査を実施する。

(2) 年齢階級別受診率

平成 28 年度実施対象市町村の平成 28 年 4 月 1 日時点の年齢階級別の受診率は、18 歳以上で 17.2%であった。

平成 29 年度実施対象市町村の平成 29 年 4 月 1 日時点の年齢階級別の受診率は、18 歳以上で 16.5%であった。

表 3.実施対象市町村における年齢階級別受診率

令和元年 9 月 30 日現在

		計	年齢階級別内訳			
			4～7歳	8～12歳	13～17歳	18～23歳
平成28年度実施対象市町村計	年齢階級 注					
	対象者数(人) ア	191,876	36,620	51,003	56,840	47,413
	受診者数(人) イ	126,383	26,425	45,553	46,267	8,138
	受診率(%) イ/ア	65.9	72.2	89.3	81.4	17.2
平成29年度実施対象市町村計	年齢階級 注		5～7歳	8～12歳	13～17歳	18～24歳
	対象者数(人) ア	144,793	19,316	37,165	41,995	46,317
	受診者数(人) イ	91,521	14,957	33,947	34,966	7,651
	受診率(%) イ/ア	63.2	77.4	91.3	83.3	16.5
合 計	対象者数(人) ア	336,669	55,936	88,168	98,835	93,730
	受診者数(人) イ	217,904	41,382	79,500	81,233	15,789
	受診率(%) イ/ア	64.7	74.0	90.2	82.2	16.8

注 年齢階級は、各年度 4 月 1 日時点の年齢

(3) 本格検査（検査 2 回目）結果との比較

本格検査（検査 3 回目）を受診した方の本格検査（検査 2 回目）結果との比較については、表 4 のとおり。

検査 2 回目で A 判定（A1 及び A2 判定）と判断された 201,519 人のうち、検査 3 回目で A 判定（A1 及び A2 判定）は 200,823 人（99.7%）、B 判定は 696 人（0.3%）であった。

また、検査 2 回目で B 判定と判断された 1,147 人のうち、検査 3 回目で A 判定（A1 及び A2 判定）は 442 人（38.5%）、B 判定は 705 人（61.5%）であった。

表 4.本格検査(検査 2 回目)結果との比較

令和元年 9 月 30 日現在

		本格検査 (検査2回目)結果 計 注1	本格検査(検査3回目)結果内訳 注2				
			A		B	C	
			A1 イ (イ/ア)	A2 ウ (ウ/ア)			
本格検査 (検査2回目) 検査結果	A	A1	79,748 (100.0)	57,633 (72.3)	21,979 (27.6)	136 (0.2)	0 (0.0)
		A2	121,771 (100.0)	12,174 (10.0)	109,037 (89.5)	560 (0.5)	0 (0.0)
	B	1,147 (100.0)	62 (5.4)	380 (33.1)	705 (61.5)	0 (0.0)	
	C	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	
	受診なし	15,231 (100.0)	6,551 (43.0)	8,580 (56.3)	100 (0.7)	0 (0.0)	
計		217,897 (100.0)	76,420 (35.1)	139,976 (64.2)	1,501 (0.7)	0 (0.0)	

注 1 上段は検査 3 回目結果確定者の検査 2 回目検査結果(人)。検査 2 回目結果総数 (270,557 人) の内訳ではない。

注 2 上段は検査 2 回目結果に対する検査 3 回目結果内訳(人)。下段は割合(%)。

2. 二次検査結果

(1) 二次検査実施状況

平成 28 年 10 月から二次検査を実施し、対象者 1,501 人のうち 1,098 人 (73.2%) が受診し、そのうち 1,050 人 (95.6%) が二次検査を終了した (地域別実施状況については別表 5 のとおり)。

その 1,050 人のうち、詳細な検査の結果、108 人 (A1 相当 9 人と A2 相当の 99 人) (10.3%) は、一次検査基準で A1、A2 の範囲内であることが確認された (甲状腺に疾病のある方を含む)。942 人 (89.7%) は、A1・A2 相当以外と確認された。

表 5. 二次検査進捗状況

令和元年 9 月 30 日現在

	対象者数 (人) ア	受診者数(人) 受診率 (%) イ (イ/ア)	結果確定数(人)				
			確定率 (%) ウ (ウ/イ)	A1相当 エ (エ/ウ)	A2相当 オ (オ/ウ)	A1・A2相当以外	
						カ (カ/ウ)	うち細胞診受診者 キ (キ/カ)
平成28年度 実施対象市町村 計	805	610 (75.8)	577 (94.6)	5 (0.9)	58 (10.1)	514 (89.1)	37 (7.2)
平成29年度 実施対象市町村 計	696	488 (70.1)	473 (96.9)	4 (0.8)	41 (8.7)	428 (90.5)	37 (8.6)
合計	1,501	1,098 (73.2)	1,050 (95.6)	9 (0.9)	99 (9.4)	942 (89.7)	74 (7.9)

(2) 細胞診等結果

穿刺吸引細胞診を実施した方のうち、30 人が悪性ないし悪性疑いの判定となった。

30 人の性別は男性 12 人、女性 18 人であった。また、二次検査時点での年齢は 12 歳から 23 歳 (平均年齢は 16.4±2.8 歳)、腫瘍の大きさは 5.6mm から 33.0mm (平均腫瘍径は 13.0±6.5mm) であった。

なお、30 人の本格検査 (検査 2 回目) の結果は、A 判定が 20 人 (A1 が 6 人、A2 が 14 人)、B 判定が 7 人であり、未受診が 3 人であった。

表 6. 細胞診結果 (平均年齢と平均腫瘍径の () 内は範囲を示す)

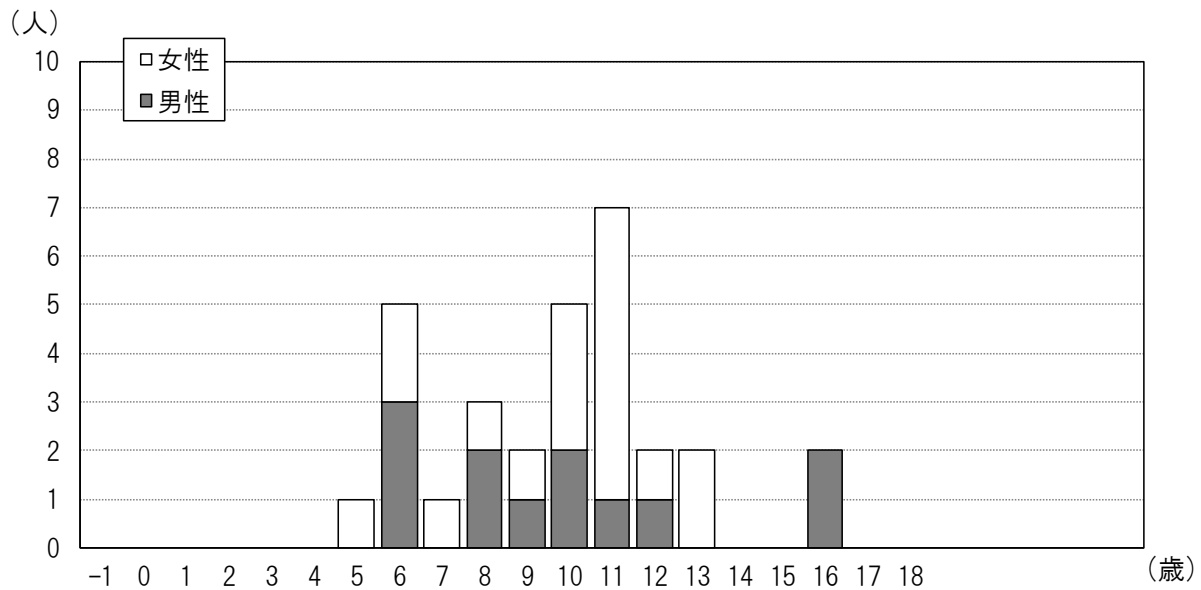
ア	平成 28 年度実施対象市町村
	・悪性ないし悪性疑い 12 人 注
	・男性：女性 6 人：6 人
	・平均年齢 16.3±3.0 歳 (12-23 歳)、震災当時 10.3±2.8 歳 (6-16 歳)
	・平均腫瘍径 14.0±6.0 mm (8.7-30.4 mm)
イ	平成 29 年度実施対象市町村
	・悪性ないし悪性疑い 18 人 注
	・男性：女性 6 人：12 人
	・平均年齢 16.5±2.7 歳 (12-22 歳)、震災当時 9.4±2.9 歳 (5-16 歳)
	・平均腫瘍径 12.4±6.9 mm (5.6-33.0 mm)
ウ	合計
	・悪性ないし悪性疑い 30 人 注
	・男性：女性 12 人：18 人
	・平均年齢 16.4±2.8 歳 (12-23 歳)、震災当時 9.8±2.8 歳 (5-16 歳)
	・平均腫瘍径 13.0±6.5 mm (5.6-33.0 mm)

注 手術症例については別表 6 のとおり。

(3) 細胞診等で悪性ないし悪性疑いであった方の年齢分布

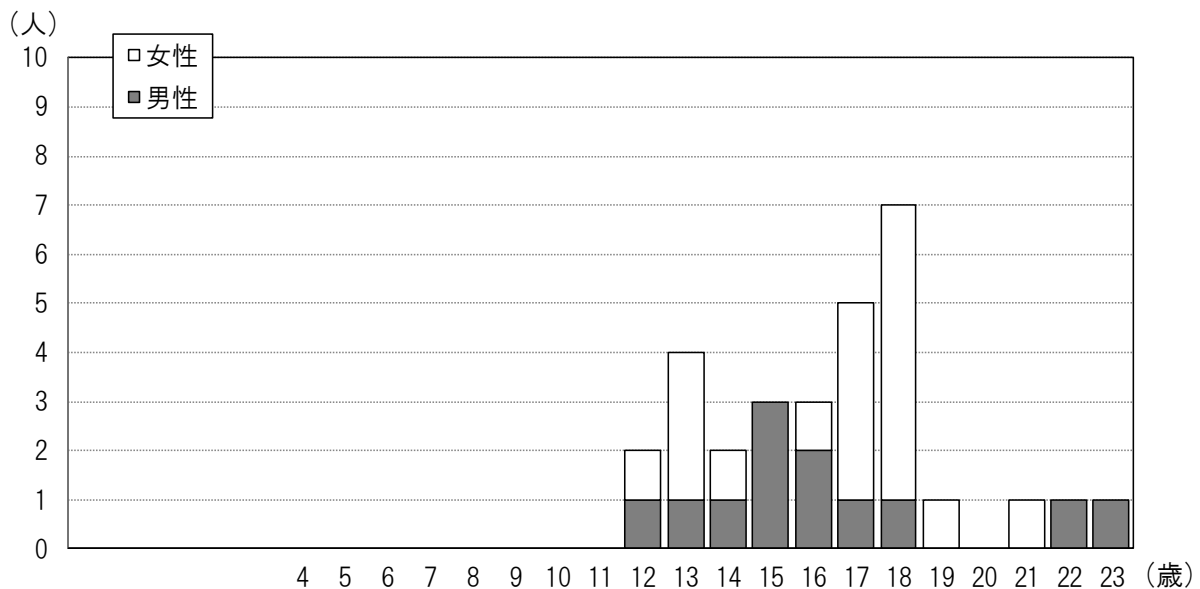
細胞診等で悪性ないし悪性疑いであった30人の平成23年3月11日時点の年齢による分布は図3、二次検査時点の年齢による分布は図4のとおり。

図3.平成23年3月11日時点の年齢による分布



-1は、平成23年4月2日から平成24年4月1日までに生まれた福島県民を示す。

図4.二次検査時点の年齢による分布



(4) 細胞診等による悪性ないし悪性疑いであった方の基本調査結果

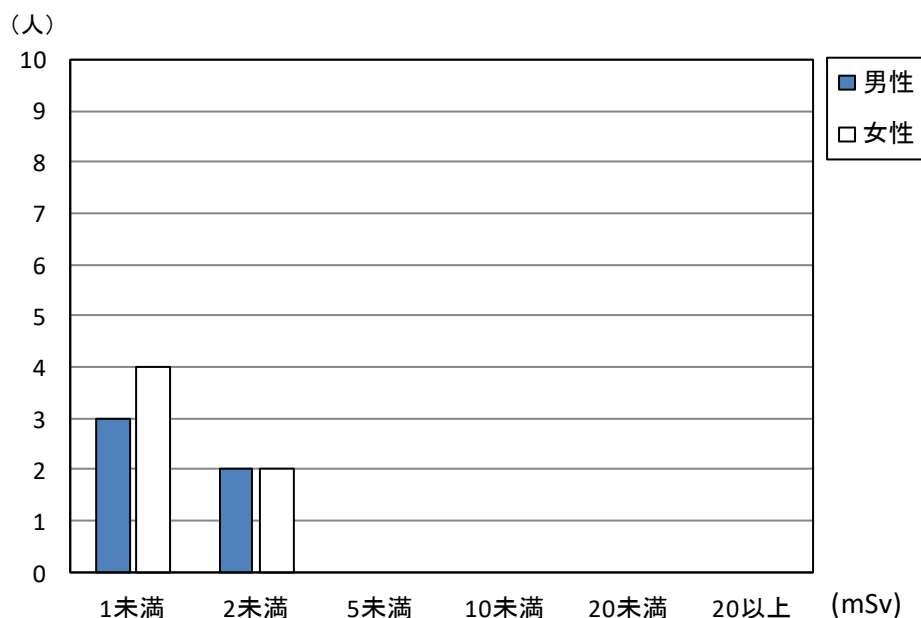
30人のうち基本調査問診票を提出した方は11人(36.7%)で、推計結果が通知された方は11人であった。このうち最大実効線量は1.5mSvであった。

表 7. 基本調査問診票提出者の外部被ばく実効線量推計内訳(人)

令和元年 9 月 30 日現在

実効線量 (mSv)	震災時年齢(歳)									
	0~5		6~10		11~15		16~18		合計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
1未満	0	0	3	0	0	4	0	0	3	4
2未満	0	0	1	1	1	1	0	0	2	2
5未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	4	1	1	5	0	0	5	6

図 5. 基本調査問診票提出者の外部被ばく実効線量推計内訳



(5) 血液検査及び尿中ヨウ素(令和元年 9 月 30 日現在)

表 8. 血液データ

	FT4 注1 (ng/dL)	FT3 注2 (pg/mL)	TSH 注3 (μ IU/mL)	Tg 注4 (ng/mL)	TgAb 注5 (IU/mL)	TPOAb 注6 (IU/mL)
基準値	0.95~1.74 注7	2.13~4.07 注7	0.340~3.880 注7	33.7 以下	28.0 未満	16.0 未満
悪性ないし悪性疑い30人	1.2 \pm 0.1 (3.3%)	3.6 \pm 0.7 (16.7%)	1.8 \pm 1.2 (16.7%)	29.8 \pm 38.8 (26.7%)	20.0%	16.7%
その他989人	1.2 \pm 0.2 (6.2%)	3.5 \pm 0.5 (6.3%)	1.3 \pm 4.4 (9.1%)	29.1 \pm 98.3 (14.4%)	8.2%	12.6%

表 9. 尿中ヨウ素データ

μ g/day

	最小値	25%値	中央値	75%値	最大値
悪性ないし悪性疑い30人	69	144	229	397	3510
その他991人	26	109	176	324	8910

注 1 FT4 (遊離サイロキシシン) ..ヨードの数が 4 つの甲状腺ホルモン。甲状腺中毒症では高値 (代表的疾患: バセドウ病)、甲状腺機能低下症では低値 (代表的疾患: 橋本病) にな

ることが多い。数値は平均±SDで示し、基準範囲外の割合を（）内に示した。

- 注2 FT3（遊離トリヨードサイロニン）・・・ヨードの数が3つの甲状腺ホルモン。甲状腺中毒症では高値（代表的疾患：バセドウ病）、甲状腺機能低下症では低値（代表的疾患：橋本病）になることが多い。数値は平均±SDで示し、基準範囲外の割合を（）内に示した。
- 注3 TSH（甲状腺刺激ホルモン）・・・脳の下垂体から出ているホルモンで甲状腺へ甲状腺ホルモンを出すよう命令する。橋本病では高値、バセドウ病では低値になることが多い。数値は平均±SDで示し、基準範囲外の割合を（）内に示した。
- 注4 Tg（サイログロブリン）・・・甲状腺ホルモンになる直前の物質。甲状腺内に多量に存在する。甲状腺が破壊されたり、腫瘍がTgを産生していたりする場合に高値になることが多い。数値は平均±SDで示し、基準範囲外の割合を（）内に示した。
- 注5 TgAb（抗サイログロブリン抗体）・・・サイログロブリンに対する自己抗体。橋本病やバセドウ病で高値になることが多い。基準値を超えたものの割合を示す。
- 注6 TPOAb（抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体）・・・ペルオキシダーゼという酵素に対しての自己抗体。橋本病やバセドウ病で高値。基準値を超えたものの割合を示す。
- 注7 基準値は年齢ごとに異なる。

(6) 地域別二次検査結果（令和元年9月30日現在）

悪性ないし悪性疑いであった方の割合は、浜通りが0.03%、国が指定した避難区域等の13市町村及び会津地方が0.02%、中通りが0.01%である。

表10. 地域別結果

	一次検査受診者 (人) ア	二次検査対象者 (人) イ	二次検査対象者 の割合(%) イ/ア	二次検査受診者 (人)	悪性ないし悪性 疑い(人) ウ	悪性ないし悪性 疑いの割合(%) ウ/ア
避難区域等 13市町村 注1	27,084	212	0.8	161	5	0.02
中通り 注2	121,916	761	0.6	564	8	0.01
浜通り 注3	41,295	323	0.8	230	12	0.03
会津地方 注4	27,609	205	0.7	143	5	0.02
合計	217,904	1,501	0.7	1,098	30	0.01

注1 田村市、南相馬市、伊達市、川俣町、広野町、檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村

注2 福島市、郡山市、白河市、須賀川市、二本松市、本宮市、桑折町、国見町、大玉村、鏡石町、天栄村、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町

注3 いわき市、相馬市、新地町

注4 会津若松市、喜多方市、下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町、北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町

3. こころのケア・サポート

(1) 一次検査におけるサポートについて

平成27年7月から公共施設等の一般会場での一次検査では検査結果説明ブースを設置し、検査終了後、医師が超音波画像を提示しながら、結果を説明している。令和元年9月30日現在で、説明ブースを利用した方は受診者32,806人のうち27,853人(84.9%)であった。また、説明ブースを設置できない学校での検査については、学校説明会での対応や必要に応じて電話相談などの代替手段を行っている。

※説明ブースを利用した方には、検査2回目の方も含む。

(2) 二次検査におけるサポートについて

福島県立医科大学内にサポートチームを立ち上げ、二次検査対象者に対して、心配や不安へのこころのケア・サポートを行い、その他WEB相談による質問・相談を受け付けるなどの対応を行っている。

なお、本格検査開始以降、令和元年9月30日現在で、1,175人のサポートをしており、性別は男性413人、女性762人であった。この方々に延べ2,433回の相談対応等をしており、その内訳は初回受診時1,347回(55.4%)、2回目以降受診時1,020回(41.9%)（うち穿刺吸引細胞診時139回(5.7%)）、インフォームドコンセント時66回(2.7%)であった。

また、保険診療移行後についても病院のチームと連携し、継続して支援を行っている。

※二次検査におけるサポートをした方には、検査2回目の方も含む。

別表 1

市町村別一次検査実施状況

令和元年 9 月 30 日現在

	対象者数 (人) ア	受診者数 (人) イ	うち 県外受診 注1	受診率 (%) イ/ア	年齢階級別受診者数(人) 年齢階級別内訳(%) 注2				イのうち県 外居住者 数(人) ウ注3	イのうち県 外居住者 の割合 (%) ウ/イ
					4~9歳	10~14歳	15~19歳	20歳以上		
平成28年度実施対象市町村										
川俣町	2,142	1,409	34	65.8	408 29.0	544 38.6	409 29.0	48 3.4	76	5.4
浪江町	3,315	1,954	508	58.9	581 29.7	664 34.0	576 29.5	133 6.8	586	30.0
飯館村	987	604	23	61.2	174 28.8	261 43.2	151 25.0	18 3.0	42	7.0
南相馬市	11,540	7,076	1,236	61.3	2,208 31.2	2,726 38.5	1,839 26.0	303 4.3	1,333	18.8
伊達市	10,210	7,085	242	69.4	2,028 28.6	2,674 37.7	2,095 29.6	288 4.1	266	3.8
田村市	6,344	4,055	99	63.9	1,269 31.3	1,594 39.3	1,105 27.3	87 2.1	186	4.6
広野町	975	546	66	56.0	163 29.9	185 33.9	154 28.2	44 8.1	61	11.2
楢葉町	1,281	771	99	60.2	214 27.8	270 35.0	222 28.8	65 8.4	103	13.4
富岡町	2,751	1,477	299	53.7	393 26.6	509 34.5	450 30.5	125 8.5	329	22.3
川内村	297	171	15	57.6	47 27.5	72 42.1	49 28.7	3 1.8	16	9.4
大熊町	2,259	1,343	270	59.5	418 31.1	496 36.9	349 26.0	80 6.0	300	22.3
双葉町	1,133	464	117	41.0	139 30.0	184 39.7	117 25.2	24 5.2	125	26.9
葛尾村	211	129	4	61.1	36 27.9	50 38.8	32 24.8	11 8.5	10	7.8
福島市	49,340	34,103	2,096	69.1	10,281 30.1	12,202 35.8	10,176 29.8	1,444 4.2	2,412	7.1
二本松市	9,308	6,347	230	68.2	1,955 30.8	2,456 38.7	1,747 27.5	189 3.0	258	4.1
本宮市	5,615	3,898	124	69.4	1,316 33.8	1,445 37.1	1,030 26.4	107 2.7	130	3.3
大玉村	1,468	1,051	34	71.6	358 34.1	405 38.5	256 24.4	32 3.0	33	3.1
郡山市	59,469	38,115	2,851	64.1	11,583 30.4	14,398 37.8	10,610 27.8	1,524 4.0	3,081	8.1
桑折町	1,854	1,354	39	73.0	424 31.3	501 37.0	370 27.3	59 4.4	38	2.8
国見町	1,405	1,021	31	72.7	275 26.9	385 37.7	304 29.8	57 5.6	32	3.1
天栄村	966	634	24	65.6	191 30.1	258 40.7	164 25.9	21 3.3	23	3.6
白河市	11,352	7,648	295	67.4	2,261 29.6	2,853 37.3	2,251 29.4	283 3.7	373	4.9
西郷村	3,722	2,562	110	68.8	787 30.7	951 37.1	705 27.5	119 4.6	142	5.5
泉崎村	1,163	799	12	68.7	239 29.9	310 38.8	222 27.8	28 3.5	19	2.4
三春町	2,769	1,767	46	63.8	454 25.7	628 35.5	595 33.7	90 5.1	44	2.5
小計	191,876	126,383	8,904	65.9	38,202 30.2	47,021 37.2	35,978 28.5	5,182 4.1	10,018	7.9

注 1 受診者のうち県外検査実施機関で検査を受診した人数及び福島県立医科大学から県外へ向いて実施した検査を受診した人数（令和元年 8 月 31 日現在）。

注 2 上段には受診者数を、下段には受診者数イの階級別割合を記載。

注 3 受診者のうち県外住所の方の人数。

・年齢階級は本格検査（検査 3 回目）の検査受診時点の年齢である。以降の別表も同様である。

	対象者数 (人) ア	受診者数 (人) イ	うち 県外受診 注1	受診率 (%) イ/ア	年齢階級別受診者数(人) 年齢階級別内訳(%) 注2				イのうち県 外居住者 数(人) ウ注3	イのうち県 外居住者 の割合 (%) ウ/イ
					4~9歳	10~14歳	15~19歳	20歳以上		
平成29年度実施対象市町村										
いわき市	56,810	36,624	2,006	64.5	8,793 24.0	13,724 37.5	11,600 31.7	2,507 6.8	2,066	5.6
須賀川市	14,113	9,247	275	65.5	2,570 27.8	3,476 37.6	2,699 29.2	502 5.4	305	3.3
相馬市	6,252	3,822	256	61.1	1,137 29.7	1,410 36.9	1,110 29.0	165 4.3	291	7.6
鏡石町	2,417	1,590	44	65.8	436 27.4	614 38.6	470 29.6	70 4.4	46	2.9
新地町	1,320	849	34	64.3	212 25.0	333 39.2	263 31.0	41 4.8	48	5.7
中島村	972	645	6	66.4	177 27.4	240 37.2	202 31.3	26 4.0	8	1.2
矢吹町	3,041	1,962	43	64.5	632 32.2	736 37.5	519 26.5	75 3.8	49	2.5
石川町	2,530	1,609	36	63.6	485 30.1	591 36.7	470 29.2	63 3.9	49	3.0
矢祭町	930	578	16	62.2	187 32.4	219 37.9	148 25.6	24 4.2	13	2.2
浅川町	1,210	820	27	67.8	214 26.1	316 38.5	251 30.6	39 4.8	36	4.4
平田村	1,101	691	8	62.8	208 30.1	268 38.8	196 28.4	19 2.7	11	1.6
棚倉町	2,749	1,752	42	63.7	536 30.6	677 38.6	479 27.3	60 3.4	54	3.1
塙町	1,492	889	27	59.6	260 29.2	348 39.1	242 27.2	39 4.4	35	3.9
鮫川村	617	382	12	61.9	120 31.4	154 40.3	96 25.1	12 3.1	17	4.5
小野町	1,716	1,031	21	60.1	318 30.8	423 41.0	254 24.6	36 3.5	19	1.8
玉川村	1,210	798	10	66.0	222 27.8	333 41.7	220 27.6	23 2.9	12	1.5
古殿町	946	623	16	65.9	197 31.6	232 37.2	158 25.4	36 5.8	17	2.7
檜枝岐村	94	47	5	50.0	14 29.8	13 27.7	17 36.2	3 6.4	4	8.5
南会津町	2,512	1,472	25	58.6	437 29.7	559 38.0	428 29.1	48 3.3	25	1.7
金山町	177	89	1	50.3	19 21.3	42 47.2	25 28.1	3 3.4	1	1.1
昭和村	127	74	3	58.3	26 35.1	26 35.1	20 27.0	2 2.7	4	5.4
三島町	174	107	1	61.5	24 22.4	44 41.1	37 34.6	2 1.9	1	0.9
下郷町	873	528	9	60.5	160 30.3	200 37.9	148 28.0	20 3.8	8	1.5
喜多方市	8,079	4,925	101	61.0	1,336 27.1	1,903 38.6	1,518 30.8	168 3.4	110	2.2
西会津町	885	476	9	53.8	135 28.4	175 36.8	145 30.5	21 4.4	15	3.2
只見町	642	391	7	60.9	119 30.4	147 37.6	112 28.6	13 3.3	5	1.3
猪苗代町	2,383	1,504	40	63.1	456 30.3	560 37.2	420 27.9	68 4.5	47	3.1
磐梯町	555	355	9	64.0	105 29.6	143 40.3	98 27.6	9 2.5	13	3.7
北塩原村	502	318	7	63.3	98 30.8	129 40.6	79 24.8	12 3.8	7	2.2
会津美里町	3,311	2,063	41	62.3	568 27.5	832 40.3	563 27.3	100 4.8	45	2.2
会津坂下町	2,790	1,736	48	62.2	489 28.2	679 39.1	490 28.2	78 4.5	38	2.2
柳津町	538	342	4	63.6	103 30.1	129 37.7	96 28.1	14 4.1	3	0.9
会津若松市	21,119	12,768	401	60.5	3,585 28.1	4,811 37.7	3,915 30.7	457 3.6	470	3.7
湯川村	606	414	5	68.3	121 29.2	159 38.4	115 27.8	19 4.6	8	1.9
小計	144,793	91,521	3,595	63.2	24,499 26.8	34,645 37.9	27,603 30.2	4,774 5.2	3,880	4.2
合計	336,669	217,904	12,499	64.7	62,701 28.8	81,666 37.5	63,581 29.2	9,956 4.6	13,898	6.4

別表 2

都道府県別県外検査実施状況

令和元年 8 月 31 日現在

都道府県名	県外検査実施機関数	受診者数(人)	都道府県名	県外検査実施機関数	受診者数(人)	都道府県名	県外検査実施機関数	受診者数(人)
北海道	7	355	福井県	1	23	広島県	2	33
青森県	2	143	山梨県	2	105	山口県	1	22
岩手県	3	306	長野県	3	139	徳島県	1	9
宮城県	2	2,546	岐阜県	1	43	香川県	1	17
秋田県	1	184	静岡県	2	112	愛媛県	1	12
山形県	3	594	愛知県	4	223	高知県	1	14
茨城県	4	770	三重県	1	25	福岡県	3	85
栃木県	8	751	滋賀県	1	22	佐賀県	1	5
群馬県	2	234	京都府	3	99	長崎県	2	27
埼玉県	3	589	大阪府	7	232	熊本県	1	31
千葉県	5	547	兵庫県	2	138	大分県	1	14
東京都	16	2,137	奈良県	2	30	宮崎県	1	29
神奈川県	6	1,034	和歌山県	1	6	鹿児島県	1	19
新潟県	2	590	鳥取県	1	10	沖縄県	1	54
富山県	2	23	島根県	1	15			
石川県	1	43	岡山県	3	60			
						合計	120	12,499

- ・受診者数は県外検査実施機関で検査を受診した人数及び福島県立医科大学から県外へ出向いて実施した検査を受診した人数。
- ・福島県立医科大学から県外へ出向いて検査を行ったのは、神奈川県（1回）。

別表 3

市町村別一次検査結果

令和元年 9 月 30 日現在

	受診者 (人) ア	結果確定数 (人) イ 進捗状況 イ/ア(%)	判定区分別人数(人)				結節(人)		のう胞(人)	
			判定区分別割合(%)				結節の割合(%)		のう胞の割合(%)	
			A		B	C	5.1mm 以上	5.0mm 以下	20.1mm 以上	20.0mm 以下
			A1	A2						
平成28年度実施対象市町村										
川俣町	1,409	1,409	490	910	9	0	9	7	0	915
		100.0	34.8	64.6	0.6	0.0	0.6	0.5	0.0	64.9
浪江町	1,954	1,954	652	1,286	16	0	16	9	0	1,289
		100.0	33.4	65.8	0.8	0.0	0.8	0.5	0.0	66.0
飯館村	604	604	203	397	4	0	4	2	0	397
		100.0	33.6	65.7	0.7	0.0	0.7	0.3	0.0	65.7
南相馬市	7,076	7,076	2,568	4,455	53	0	53	32	0	4,477
		100.0	36.3	63.0	0.7	0.0	0.7	0.5	0.0	63.3
伊達市	7,085	7,085	2,460	4,575	50	0	50	23	0	4,599
		100.0	34.7	64.6	0.7	0.0	0.7	0.3	0.0	64.9
田村市	4,055	4,055	1,490	2,519	46	0	46	22	0	2,544
		100.0	36.7	62.1	1.1	0.0	1.1	0.5	0.0	62.7
広野町	546	546	195	347	4	0	4	3	0	346
		100.0	35.7	63.6	0.7	0.0	0.7	0.5	0.0	63.4
楢葉町	771	771	293	475	3	0	3	2	0	476
		100.0	38.0	61.6	0.4	0.0	0.4	0.3	0.0	61.7
富岡町	1,477	1,477	511	953	13	0	13	3	0	960
		100.0	34.6	64.5	0.9	0.0	0.9	0.2	0.0	65.0
川内村	171	171	41	129	1	0	1	0	0	130
		100.0	24.0	75.4	0.6	0.0	0.6	0.0	0.0	76.0
大熊町	1,343	1,343	461	871	11	0	11	6	0	873
		100.0	34.3	64.9	0.8	0.0	0.8	0.4	0.0	65.0
双葉町	464	464	173	289	2	0	2	0	0	290
		100.0	37.3	62.3	0.4	0.0	0.4	0.0	0.0	62.5
葛尾村	129	129	50	79	0	0	0	1	0	79
		100.0	38.8	61.2	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	61.2
福島市	34,103	34,103	11,993	21,917	193	0	193	105	0	22,015
		100.0	35.2	64.3	0.6	0.0	0.6	0.3	0.0	64.6
二本松市	6,347	6,347	2,266	4,036	45	0	45	22	0	4,060
		100.0	35.7	63.6	0.7	0.0	0.7	0.3	0.0	64.0
本宮市	3,898	3,898	1,357	2,524	17	0	17	8	0	2,535
		100.0	34.8	64.8	0.4	0.0	0.4	0.2	0.0	65.0
大玉村	1,051	1,051	374	671	6	0	6	3	0	675
		100.0	35.6	63.8	0.6	0.0	0.6	0.3	0.0	64.2
郡山市	38,115	38,113	13,084	24,790	239	0	239	130	0	24,900
		100.0	34.3	65.0	0.6	0.0	0.6	0.3	0.0	65.3
桑折町	1,354	1,354	493	851	10	0	10	4	0	858
		100.0	36.4	62.9	0.7	0.0	0.7	0.3	0.0	63.4
国見町	1,021	1,021	340	673	8	0	8	2	0	678
		100.0	33.3	65.9	0.8	0.0	0.8	0.2	0.0	66.4
天栄村	634	634	213	414	7	0	7	1	0	419
		100.0	33.6	65.3	1.1	0.0	1.1	0.2	0.0	66.1
白河市	7,648	7,648	2,666	4,941	41	0	41	23	0	4,965
		100.0	34.9	64.6	0.5	0.0	0.5	0.3	0.0	64.9
西郷村	2,562	2,562	829	1,719	14	0	14	8	0	1,725
		100.0	32.4	67.1	0.5	0.0	0.5	0.3	0.0	67.3
泉崎村	799	799	272	525	2	0	2	5	0	525
		100.0	34.0	65.7	0.3	0.0	0.3	0.6	0.0	65.7
三春町	1,767	1,767	564	1,192	11	0	11	8	0	1,193
		100.0	31.9	67.5	0.6	0.0	0.6	0.5	0.0	67.5
小計	126,383	126,381	44,038	81,538	805	0	805	429	0	81,923
		100.0	34.8	64.5	0.6	0.0	0.6	0.3	0.0	64.8

受診者 (人) ア	結果確定数 (人) イ 進捗状況 イ/ア(%)	判定区分別人数(人)					結節(人)		のう胞(人)	
		判定区分別割合(%)					結節の割合(%)		のう胞の割合(%)	
		A		B	C	5.1mm 以上	5.0mm 以下	20.1mm 以上	20.0mm 以下	
		A1	A2							
平成29年度実施対象市町村										
いわき市	36,624	36,619	12,655	23,681	283	0	281	145	2	23,798
		100.0	34.6	64.7	0.8	0.0	0.8	0.4	0.0	65.0
須賀川市	9,247	9,247	3,236	5,928	83	0	83	46	0	5,969
		100.0	35.0	64.1	0.9	0.0	0.9	0.5	0.0	64.6
相馬市	3,822	3,822	1,536	2,253	33	0	33	21	0	2,270
		100.0	40.2	58.9	0.9	0.0	0.9	0.5	0.0	59.4
鏡石町	1,590	1,590	528	1,050	12	0	12	7	0	1,056
		100.0	33.2	66.0	0.8	0.0	0.8	0.4	0.0	66.4
新地町	849	849	307	535	7	0	7	4	0	537
		100.0	36.2	63.0	0.8	0.0	0.8	0.5	0.0	63.3
中島村	645	645	226	416	3	0	3	4	0	415
		100.0	35.0	64.5	0.5	0.0	0.5	0.6	0.0	64.3
矢吹町	1,962	1,962	683	1,271	8	0	8	4	0	1,274
		100.0	34.8	64.8	0.4	0.0	0.4	0.2	0.0	64.9
石川町	1,609	1,609	639	962	8	0	8	4	0	965
		100.0	39.7	59.8	0.5	0.0	0.5	0.2	0.0	60.0
矢祭町	578	578	196	379	3	0	3	1	0	381
		100.0	33.9	65.6	0.5	0.0	0.5	0.2	0.0	65.9
浅川町	820	820	292	519	9	0	9	3	0	525
		100.0	35.6	63.3	1.1	0.0	1.1	0.4	0.0	64.0
平田村	691	691	271	415	5	0	5	2	0	416
		100.0	39.2	60.1	0.7	0.0	0.7	0.3	0.0	60.2
棚倉町	1,752	1,752	635	1,107	10	0	10	8	0	1,114
		100.0	36.2	63.2	0.6	0.0	0.6	0.5	0.0	63.6
塙町	889	889	322	558	9	0	9	5	0	561
		100.0	36.2	62.8	1.0	0.0	1.0	0.6	0.0	63.1
鮫川村	382	382	139	239	4	0	4	3	0	241
		100.0	36.4	62.6	1.0	0.0	1.0	0.8	0.0	63.1
小野町	1,031	1,031	309	714	8	0	8	3	0	718
		100.0	30.0	69.3	0.8	0.0	0.8	0.3	0.0	69.6
玉川村	798	798	283	512	3	0	3	6	0	513
		100.0	35.5	64.2	0.4	0.0	0.4	0.8	0.0	64.3
古殿町	623	623	238	382	3	0	3	2	0	383
		100.0	38.2	61.3	0.5	0.0	0.5	0.3	0.0	61.5
檜枝岐村	47	47	21	26	0	0	0	0	0	26
		100.0	44.7	55.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	55.3
南会津町	1,472	1,472	552	909	11	0	11	3	0	913
		100.0	37.5	61.8	0.7	0.0	0.7	0.2	0.0	62.0
金山町	89	89	31	57	1	0	1	1	0	57
		100.0	34.8	64.0	1.1	0.0	1.1	1.1	0.0	64.0
昭和村	74	74	34	38	2	0	2	0	0	39
		100.0	45.9	51.4	2.7	0.0	2.7	0.0	0.0	52.7
三島町	107	107	28	78	1	0	1	1	0	79
		100.0	26.2	72.9	0.9	0.0	0.9	0.9	0.0	73.8
下郷町	528	528	220	303	5	0	5	1	0	307
		100.0	41.7	57.4	0.9	0.0	0.9	0.2	0.0	58.1
喜多方市	4,925	4,925	1,761	3,128	36	0	36	27	0	3,139
		100.0	35.8	63.5	0.7	0.0	0.7	0.5	0.0	63.7
西会津町	476	476	178	294	4	0	4	2	0	293
		100.0	37.4	61.8	0.8	0.0	0.8	0.4	0.0	61.6
只見町	391	391	144	245	2	0	2	1	0	247
		100.0	36.8	62.7	0.5	0.0	0.5	0.3	0.0	63.2
猪苗代町	1,504	1,504	526	963	15	0	15	7	0	974
		100.0	35.0	64.0	1.0	0.0	1.0	0.5	0.0	64.8
磐梯町	355	355	131	222	2	0	2	2	0	223
		100.0	36.9	62.5	0.6	0.0	0.6	0.6	0.0	62.8
北塩原村	318	318	107	209	2	0	2	1	0	209
		100.0	33.6	65.7	0.6	0.0	0.6	0.3	0.0	65.7
会津美里町	2,063	2,063	769	1,279	15	0	15	12	0	1,285
		100.0	37.3	62.0	0.7	0.0	0.7	0.6	0.0	62.3
会津坂下町	1,736	1,736	585	1,137	14	0	14	17	0	1,140
		100.0	33.7	65.5	0.8	0.0	0.8	1.0	0.0	65.7
柳津町	342	342	123	219	0	0	0	0	0	219
		100.0	36.0	64.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	64.0
会津若松市	12,768	12,768	4,526	8,150	92	0	91	54	1	8,191
		100.0	35.4	63.8	0.7	0.0	0.7	0.4	0.0	64.2
湯川村	414	414	151	260	3	0	3	2	0	262
		100.0	36.5	62.8	0.7	0.0	0.7	0.5	0.0	63.3
小計	91,521	91,516	32,382	58,438	696	0	693	399	3	58,739
		100.0	35.4	63.9	0.8	0.0	0.8	0.4	0.0	64.2
合計	217,904	217,897	76,420	139,976	1,501	0	1,498	828	3	140,662
		100.0	35.1	64.2	0.7	0.0	0.7	0.4	0.0	64.6

別表 4

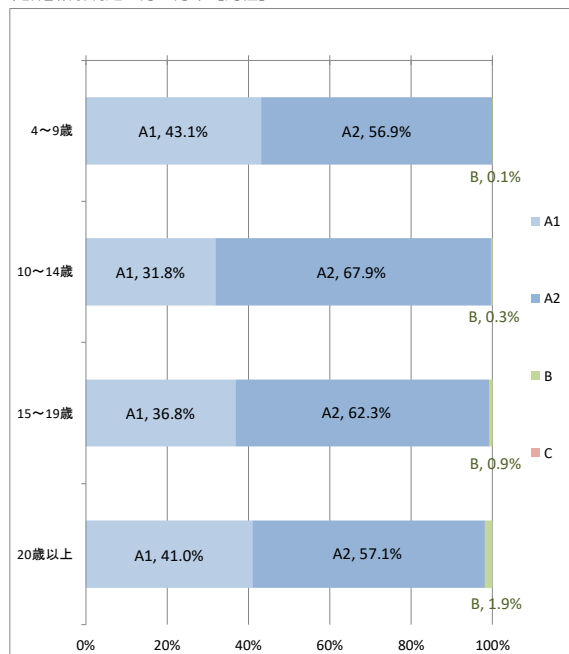
1 検査結果確定者の年齢及び性別

(単位 人)

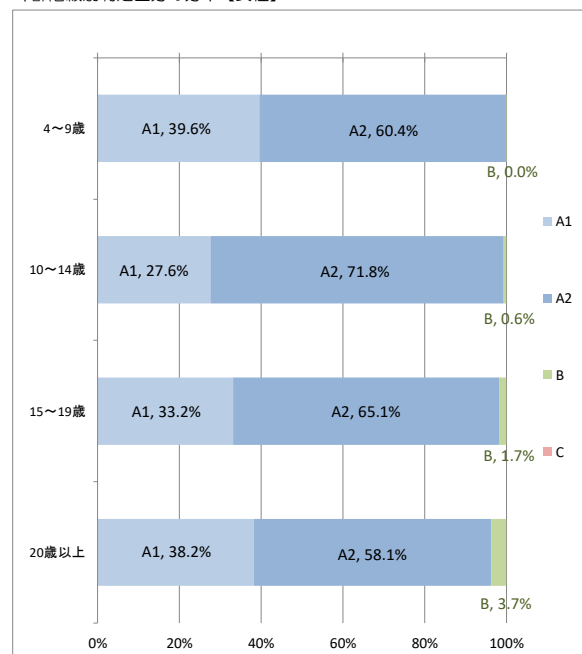
令和元年 9 月 30 日現在

判定・性別 年齢階級	A						B			C			合計		
	A1			A2			男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
	男性	女性	計	男性	女性	計									
4～9歳	13,887	12,061	25,948	18,338	18,383	36,721	17	12	29	0	0	0	32,242	30,456	62,698
10～14歳	13,268	11,055	24,323	28,284	28,707	56,991	110	242	352	0	0	0	41,662	40,004	81,666
15～19歳	11,697	10,532	22,229	19,838	20,687	40,525	286	541	827	0	0	0	31,821	31,760	63,581
20歳以上	1,772	2,148	3,920	2,470	3,269	5,739	83	210	293	0	0	0	4,325	5,627	9,952
合計	40,624	35,796	76,420	68,930	71,046	139,976	496	1,005	1,501	0	0	0	110,050	107,847	217,897

年齢階級別判定区分の分布【男性】



年齢階級別判定区分の分布【女性】

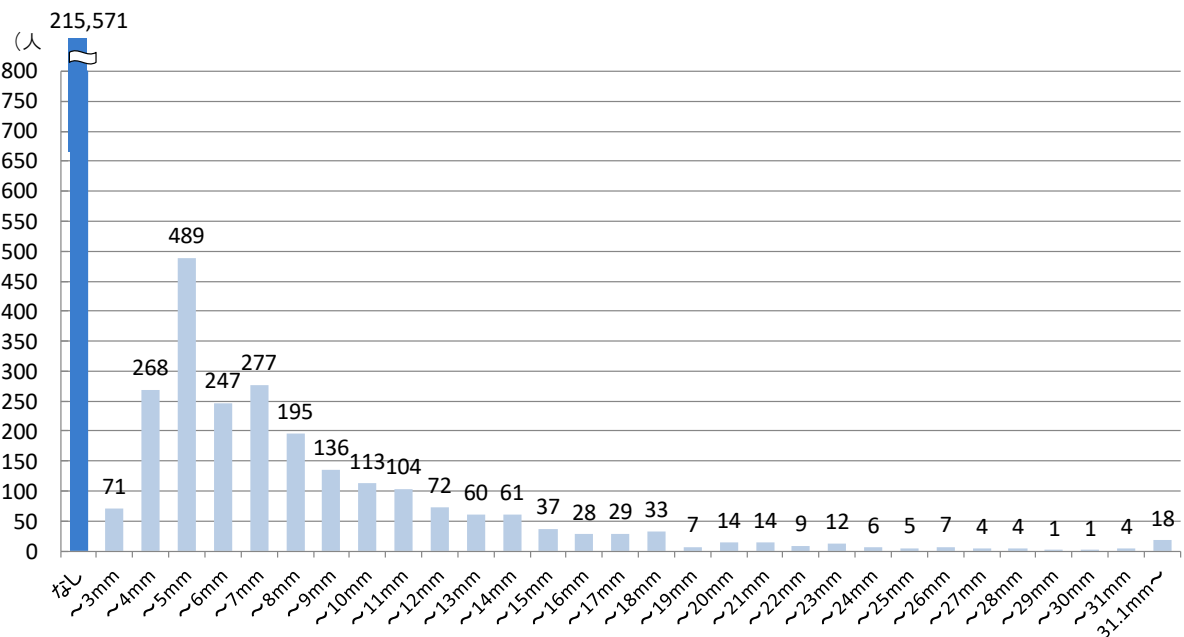
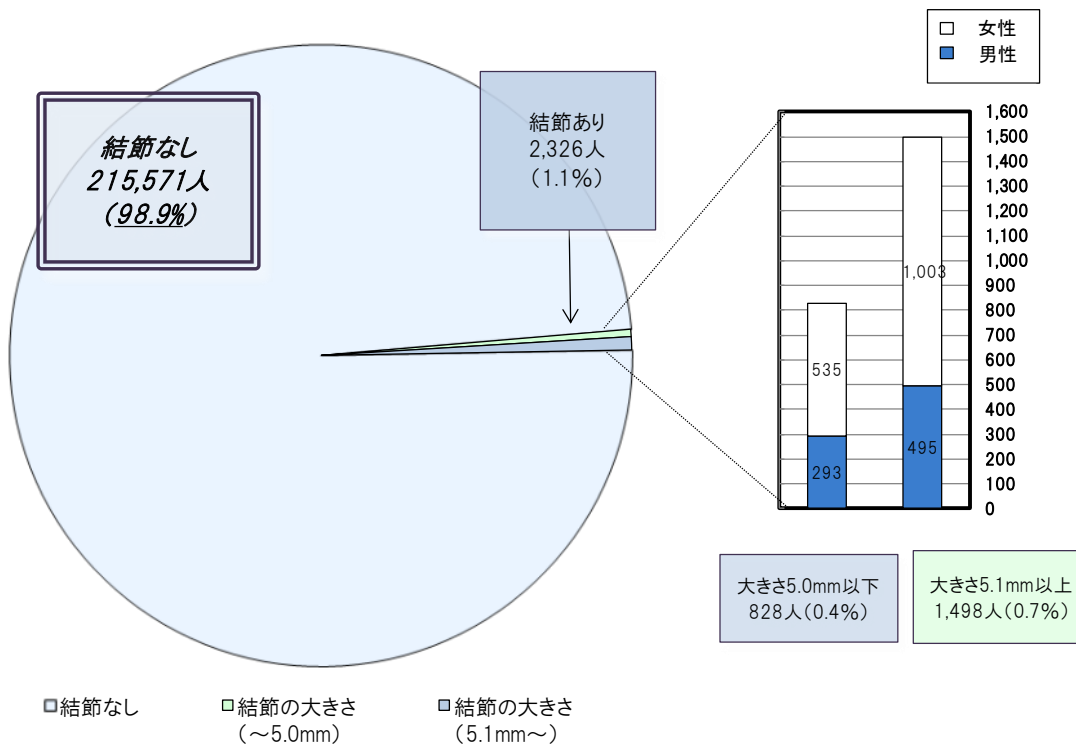


2 結節の有無及び大きさ

(単位 人)

令和元年9月30日現在

結節の有無・大きさ	全体		判定区分	割合
	男性	女性		
なし	215,571	109,262	A1	98.9%
～3.0mm	71	34	A2	0.4%
3.1～5.0mm	757	259		
5.1～10.0mm	968	329	B	0.7%
10.1～15.0mm	334	111		
15.1～20.0mm	111	27		
20.1～25.0mm	46	17		
25.1mm～	39	11		
計	217,897	110,050		

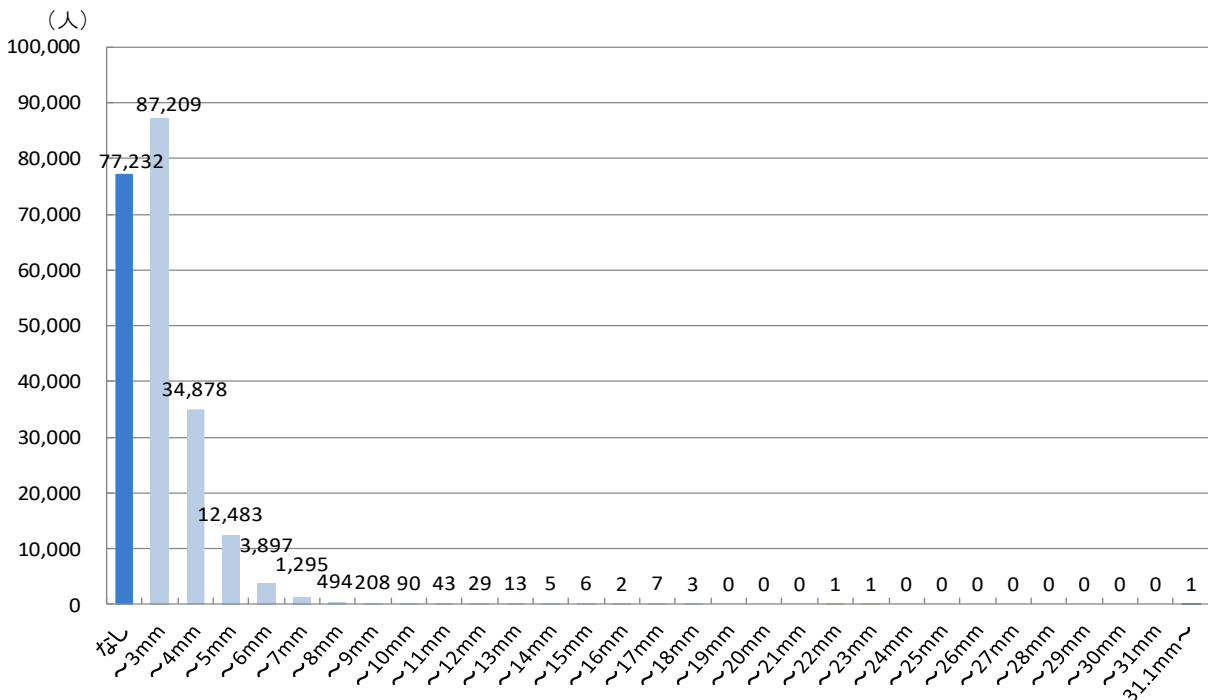
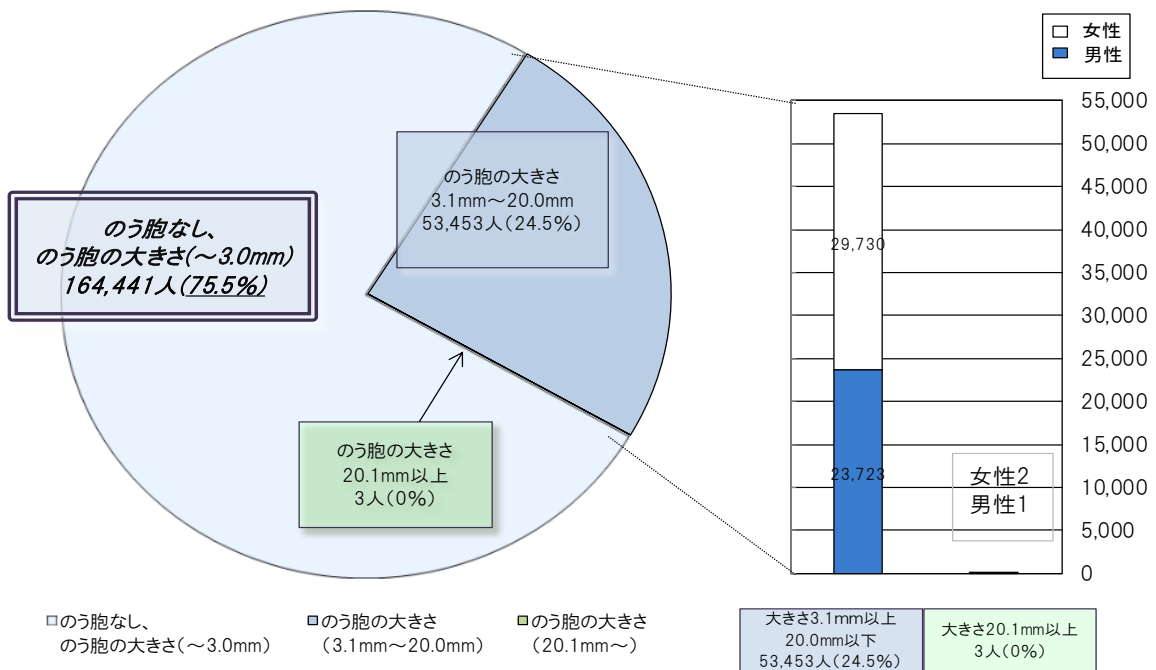


3 のう胞の有無及び大きさ

(単位 人)

令和元年 9 月 30 日現在

のう胞の有無・大きさ	全体	判定区分		割合	
		男性	女性		
なし	77,232	40,912	36,320	A1 A2	75.5%
～3.0mm	87,209	45,414	41,795		
3.1～5.0mm	47,361	21,602	25,759		
5.1～10.0mm	5,984	2,091	3,893		
10.1～15.0mm	96	25	71		
15.1～20.0mm	12	5	7	B	0.001%
20.1～25.0mm	2	0	2		
25.1mm～	1	1	0		
計	217,897	110,050	107,847		



別表 5

地域別二次検査実施状況

令和元年 9 月 30 日現在

市町村名	一次検査実施者 (人) ア	二次検査対象者 (人) イ 率 イ/ア(%)	二次検査実施者(人)					結果確定数(人)							
			計 ウ 受診率 ウ/イ(%)	ウのうち 4~9歳		ウのうち 10~14歳		ウのうち 15~19歳		ウのうち 20歳以上		A1相当 ケ 率 ク/ウ(%)	A2相当 コ 率 ク/ウ(%)	A1・A2相当以外	
				エ 率 エ/ウ(%)	オ 率 オ/ウ(%)	カ 率 カ/ウ(%)	キ 率 キ/ウ(%)	サ 率 サ/ウ(%)	シ 率 シ/サ(%)						
避難区域等 13市町村 注1	27,084	212 0.8	161 75.9	1 0.6	36 22.4	95 59.0	29 18.0	153 95.0	0 0.0	19 12.4	134 87.6	13 9.7			
中通り 注2	121,916	761 0.6	564 74.1	14 2.5	111 19.7	317 56.2	122 21.6	536 95.0	5 0.9	45 8.4	486 90.7	31 6.4			
浜通り 注3	41,295	323 0.8	230 71.2	2 0.9	53 23.0	115 50.0	60 26.1	224 97.4	2 0.9	23 10.3	199 88.8	21 10.6			
会津地方 注4	27,609	205 0.7	143 69.8	4 2.8	25 17.5	74 51.7	40 28.0	137 95.8	2 1.5	12 8.8	123 89.8	9 7.3			
合計	217,904	1,501 0.7	1,098 73.2	21 1.9	225 20.5	601 54.7	251 22.9	1,050 95.6	9 0.9	99 9.4	942 89.7	74 7.9			

注 1 田村市、南相馬市、伊達市、川俣町、広野町、檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村

注 2 福島市、郡山市、白河市、須賀川市、二本松市、本宮市、桑折町、国見町、大玉村、鏡石町、天栄村、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町

注 3 いわき市、相馬市、新地町

注 4 会津若松市、喜多方市、下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町、北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町

別表 6

悪性ないし悪性疑い者の手術症例

1	平成 28 年度実施対象市町村
	・悪性ないし悪性疑い 12 人（手術実施 11 人：乳頭癌 11 人）
2	平成 29 年度実施対象市町村
	・悪性ないし悪性疑い 18 人（手術実施 13 人：乳頭癌 13 人）
3	1～2 の合計
	・悪性ないし悪性疑い 30 人（手術実施 24 人：乳頭癌 24 人）

県民健康調査「甲状腺検査【本格検査（検査4回目）】」実施状況

I 調査概要

1. 目的

子どもたちの健康を長期に見守るために、甲状腺の状態を把握するための先行検査及び甲状腺の状態を継続して確認するための本格検査（検査2回目、検査3回目）に引き続き、本格検査（検査4回目）を実施する。

2. 対象者

震災時福島県にお住いの概ね18歳以下であった全県民（平成4年4月2日から平成24年4月1日までに生まれた福島県民）

3. 実施期間

平成30年4月から〔平成30年度・31年度（令和元年度）〕

(1) 18歳以下の対象者

平成30年度及び平成31年度（令和元年度）の2か年で市町村順に実施

(2) 19歳以上の対象者

年齢（学年）ごとに実施

平成30年度：平成8年度、10年度生まれの方

平成31年度（令和元年度）：平成9年度、11年度生まれの方

(3) 25歳時の節目の検査対象者

20歳を超えた方は、5年ごとの節目の検査を実施

平成30年度：平成5年度生まれの方

平成31年度（令和元年度）：平成6年度生まれの方

なお、報告については別途行う。

4. 実施機関

福島県から委託を受けた福島県立医科大学が、対象者の利便性も考慮し、福島県内外の医療機関等と連携して検査を実施している。（令和元年9月30日現在の協定締結数）

(1) 一次検査

(i) 県内検査実施機関 82か所

(ii) 県外検査実施機関 121か所

(2) 二次検査

(i) 県内検査実施機関 5か所（福島県立医科大学を含む）

(ii) 県外検査実施機関 37か所

5. 検査方法

(1) 一次検査

超音波画像診断装置により甲状腺の超音波検査を実施。

なお、検査の結果は、以下の基準により複数の専門医により判定している。

(i) A判定：(A1) 結節やのう胞を認めなかった場合

(A2) 5.0 mm以下の結節や20.0 mm以下ののう胞を認めた場合

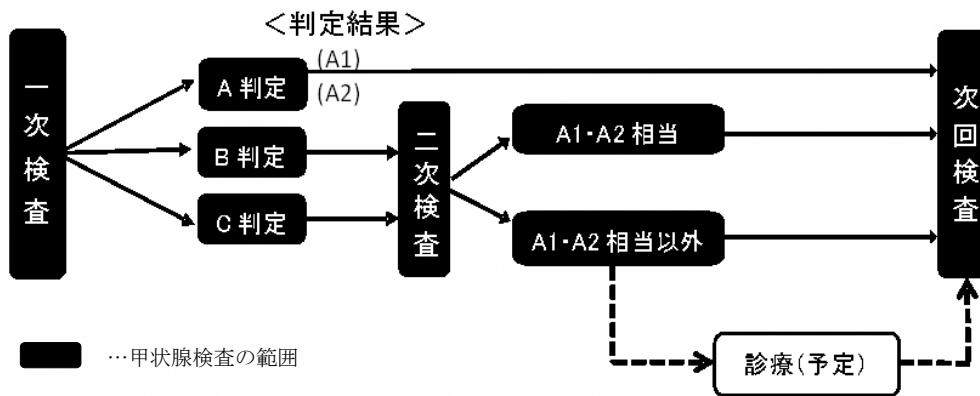
- (ii) B判定：5.1 mm以上の結節や20.1 mm以上ののう胞を認めた場合
A2の判定内容であっても、甲状腺の状態等から二次検査を要すると判断した場合も含む。
- (iii) C判定：甲状腺の状態等から判断して、直ちに二次検査を要する場合

(2) 二次検査

一次検査の結果、B判定またはC判定となった場合は、二次検査の対象となる。二次検査では、詳細な超音波検査、血液検査及び尿検査を行い、必要に応じて穿刺吸引細胞診を実施する。早期に診察が必要と判断した方については優先的に二次検査を実施する。
なお、二次検査の結果、診療（予定）となる方がいる。

(3) 検査の流れ

図 1.検査の流れ



6. 実施対象年度別市町村

平成 30 年度及び平成 31 年度（令和元年度）の各実施対象市町村は次のとおり。（18 歳以下の対象者）

図 2. 実施対象年度別市町村



II 調査結果概要（令和元年9月30日現在）

1. 一次検査結果

（1）一次検査実施状況

令和元年9月30日までに136,942人（46.5%）の検査を実施した（市町村別受診状況及び本県以外の都道府県別受診状況は、別表1及び別表2のとおり）。

そのうち、125,491人（91.6%）の受診者について検査結果が確定し、結果通知を発送した（市町村別結果状況は、別表3のとおり）。

検査結果はA1判定の方が43,064人（34.3%）、A2判定の方が81,598人（65.0%）、B判定の方が829人（0.7%）、C判定の方は0人であった。

表1.一次検査進捗状況

令和元年9月30日現在

	対象者数 (人) ア	受診者数(人)		判定率 (%) ウ(ウ/イ)	結果判定数(人)				
		受診率 (%) イ(イ/ア)	うち県外 受診		判定区分別内訳(割合(%))				
					A		二次検査対象者		
					A1	エ(エ/ウ)	A2	オ(オ/ウ)	B
平成30年度 実施対象市町村計	168,021	103,315 (61.5)	6,547	101,803 (98.5)	34,808 (34.2)	66,394 (65.2)	601 (0.6)	0 (0.0)	
平成31年度 (令和元年度) 実施対象市町村計	126,162	33,627 (26.7)	2,301	23,688 (70.4)	8,256 (34.9)	15,204 (64.2)	228 (1.0)	0 (0.0)	
合計	294,183	136,942 (46.5)	8,848	125,491 (91.6)	43,064 (34.3)	81,598 (65.0)	829 (0.7)	0 (0.0)	

表2.結節・のう胞の人数・割合

令和元年9月30日現在

	結果判定数(人) ア	アに対する結節・のう胞の人数(割合(%))			
		結節		のう胞	
		5.1mm以上 イ(イ/ア)	5.0mm以下 ウ(ウ/ア)	20.1mm以上 エ(エ/ア)	20.0mm以下 オ(オ/ア)
平成30年度 実施対象市町村計	101,803	598 (0.6)	330 (0.3)	3 (0.0)	66,695 (65.5)
平成31年度 (令和元年度) 実施対象市町村計	23,688	228 (1.0)	106 (0.4)	0 (0.0)	15,328 (64.7)
合計	125,491	826 (0.7)	436 (0.3)	3 (0.0)	82,023 (65.4)

- ・小数で表示されている数値は、その下の位で四捨五入を行っている。以降の表、別表も同様である。
- ・5年ごとの節目に検査を行う対象者（平成4年度～平成7年度生まれ）を除いている。節目の検査対象者については、別途、計上する。
- ・平成4年度生まれの対象者（約22,000人）は平成29年度、平成5年度生まれの対象者（約22,000人）は平成30年度、平成6年度生まれの対象者（約22,000人）は平成31年度（令和元年度）、平成7年度生まれの対象者（約21,000人）は令和2年度に検査を実施する。

(2) 年齢階級別受診率

各年度4月1日時点の年齢階級別の受診率は表3のとおり。

表3.実施対象市町村における年齢階級別受診率

令和元年9月30日現在

		計	年齢階級別内訳		
			6～11歳	12～17歳	18歳～24歳
平成30年度実施対象市町村計	年齢階級 注		6～11歳	12～17歳	18歳～24歳
	対象者数(人) ア	168,021	56,927	64,829	46,265
	受診者数(人) イ	103,315	47,728	51,231	4,356
	受診率(%) イ/ア	61.5	83.8	79.0	9.4
平成31年度(令和元年度) 実施対象市町村計	年齢階級 注		7～11歳	12～17歳	18歳～24歳
	対象者数(人) ア	126,162	34,159	47,276	44,727
	受診者数(人) イ	33,627	12,904	16,429	4,294
	受診率(%) イ/ア	26.7	37.8	34.8	9.6
合 計	対象者数(人) ア	294,183	91,086	112,105	90,992
	受診者数(人) イ	136,942	60,632	67,660	8,650
	受診率(%) イ/ア	46.5	66.6	60.4	9.5

注 年齢階級は、各年度4月1日時点の年齢。

(3) 本格検査(検査3回目)結果との比較

本格検査(検査4回目)を受診した方の本格検査(検査3回目)結果との比較については表4のとおり。

検査3回目でA判定(A1及びA2判定)と判断された111,234人のうち、検査4回目でA判定(A1及びA2判定)は110,838人(99.6%)、B判定は396人(0.4%)であった。

また、検査3回目でB判定と判断された449人のうち、検査4回目でA判定(A1及びA2判定)は88人(19.6%)、B判定は361人(80.4%)であった。

表4.本格検査(検査3回目)結果との比較

令和元年9月30日現在

		本格検査 (検査3回目)結果 計 注1	本格検査(検査4回目)結果内訳 注2				
			A		B エ (エ/ア)	C オ (オ/ア)	
			A1 イ (イ/ア)	A2 ウ (ウ/ア)			
本格検査 (検査3回目) 検査結果	A	A1	38,604 (100.0)	29,395 (76.1)	9,159 (23.7)	50 (0.1)	0 (0.0)
		A2	72,630 (100.0)	7,931 (10.9)	64,353 (88.6)	346 (0.5)	0 (0.0)
	B	449 (100.0)	4 (0.9)	84 (18.7)	361 (80.4)	0 (0.0)	
	C	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	
	受診なし	13,808 (100.0)	5,734 (41.5)	8,002 (58.0)	72 (0.5)	0 (0.0)	
計		125,491 (100.0)	43,064 (34.3)	81,598 (65.0)	829 (0.7)	0 (0.0)	

注1 上段は検査4回目結果確定者の検査3回目検査結果(人)。検査3回目結果総数(217,897人)の内訳ではない。

注2 上段は検査3回目結果に対する検査4回目の検査結果内訳(人)。下段は割合(%)。

2. 二次検査結果

(1) 二次検査実施状況

令和元年9月30日までに、対象者829人のうち484人(58.4%)が受診し、そのうち418人(86.4%)が二次検査を終了した。

その418人のうち、詳細な検査の結果、38人(A1相当2人とA2相当36人)(9.1%)は、一次検査基準でA1、A2の範囲内であることが確認された(甲状腺に疾病のある方を含む)。380人(90.9%)は、A1・A2相当以外と確認された。

表5.二次検査進捗状況

令和元年9月30日現在

	対象者数(人) ア	受診者数(人) イ(イ/ア) 受診率(%)	結果確定数(人)				
			確定率(%) ウ(ウ/イ)	A1相当 エ(エ/ウ)	A2相当 オ(オ/ウ)	A1・A2相当以外	
						カ(カ/ウ)	うち細胞診受診者 キ(キ/カ)
平成30年度 実施対象市町村計	601	399 (66.4)	369 (92.5)	2 (0.5)	34 (9.2)	333 (90.2)	28 (8.4)
平成31年度 (令和元年度) 実施対象市町村計	228	85 (37.3)	49 (57.6)	0 (0.0)	2 (4.1)	47 (95.9)	1 (2.1)
合計	829	484 (58.4)	418 (86.4)	2 (0.5)	36 (8.6)	380 (90.9)	29 (7.6)

(2) 細胞診等結果

穿刺吸引細胞診を実施した方のうち、16人が悪性ないし悪性疑いの判定となった。

16人の性別は男性8人、女性8人であった。また、二次検査時点での年齢は11歳から20歳(平均年齢は16.1±2.6歳)、腫瘍の大きさは6.1mmから29.4mm(平均腫瘍径は11.5±5.7mm)であった。

なお、16人の本格検査(検査3回目)の結果は、A判定が13人(A1が3人、A2が10人)、B判定が3人であった。

表6.細胞診結果(平均年齢と平均腫瘍径の()内は範囲を示す)

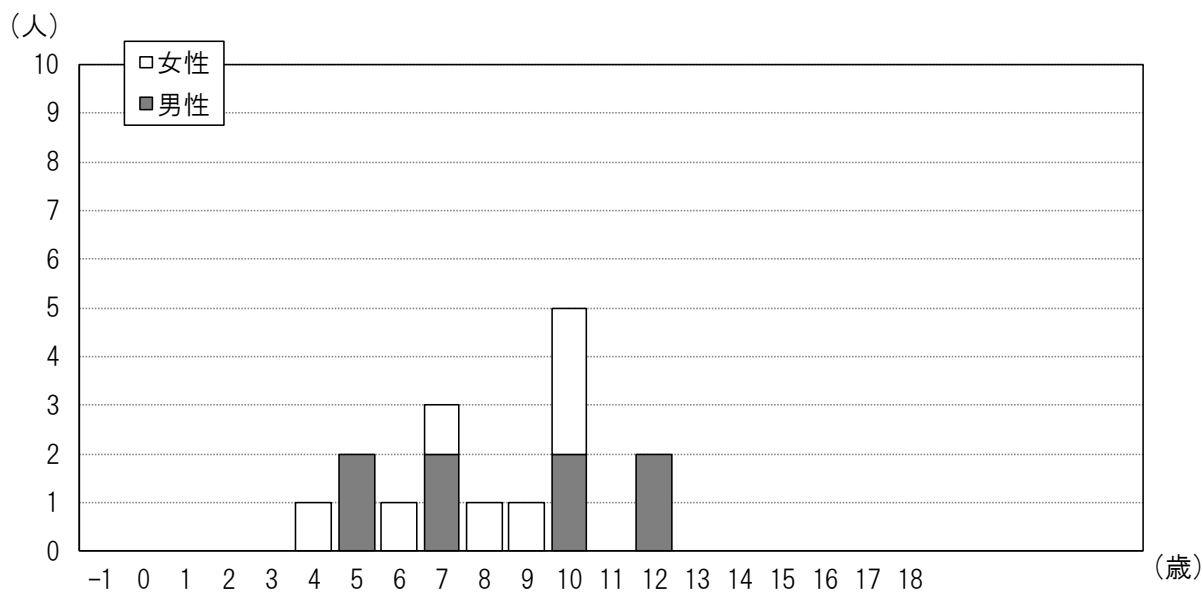
ア	平成30年度実施対象市町村
	・悪性ないし悪性疑い 15人 注
	・男性：女性 7人：8人
イ	平成31年度(令和元年度)実施対象市町村
	・悪性ないし悪性疑い 1人 注
	・男性：女性 1人：0人
ウ	合計
	・悪性ないし悪性疑い 16人 注
	・男性：女性 8人：8人
	・平均年齢 16.1±2.6歳(11-20歳)、震災当時8.3±2.5歳(4-12歳)
	・平均腫瘍径 11.5±5.7mm(6.1-29.4mm)

注 手術症例については別表6のとおり。

(3) 細胞診等で悪性ないし悪性疑いであった方の年齢分布

細胞診等で悪性ないし悪性疑いであった16人の平成23年3月11日時点の年齢による分布は図3、二次検査時点の年齢による分布は図4のとおり。

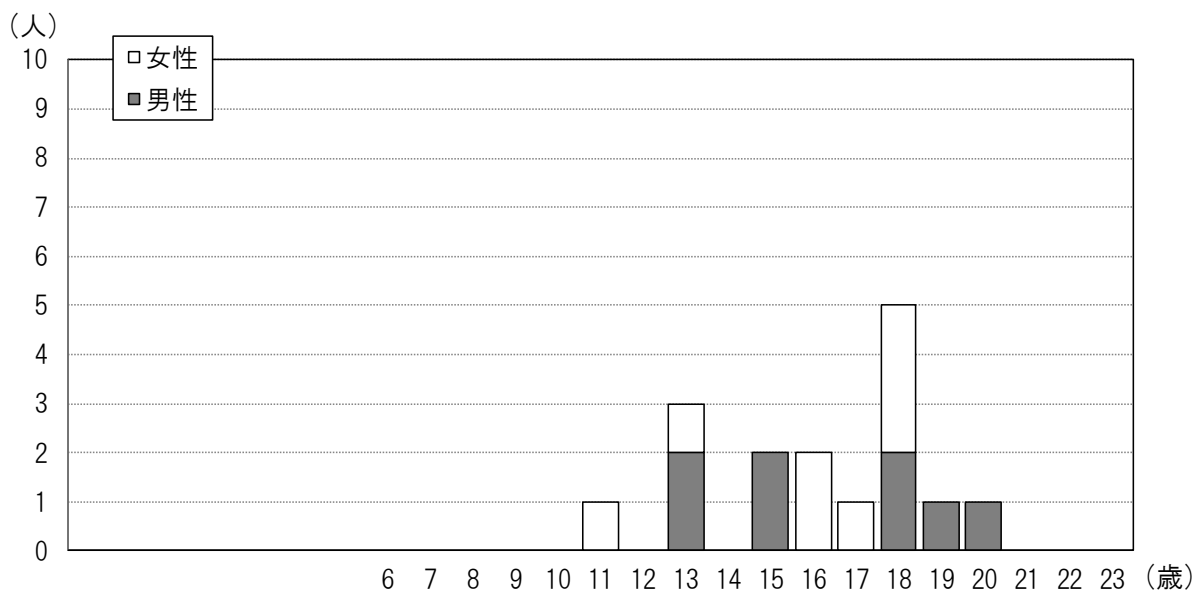
図3.平成23年3月11日時点の年齢による分布



注 15～18歳は検査4回目の対象者には含まれない。

－1は、平成23年4月2日から平成24年4月1日までに生まれた福島県民を示す。

図4.二次検査時点の年齢による分布



(4) 細胞診等による悪性ないし悪性疑いであった方の基本調査結果

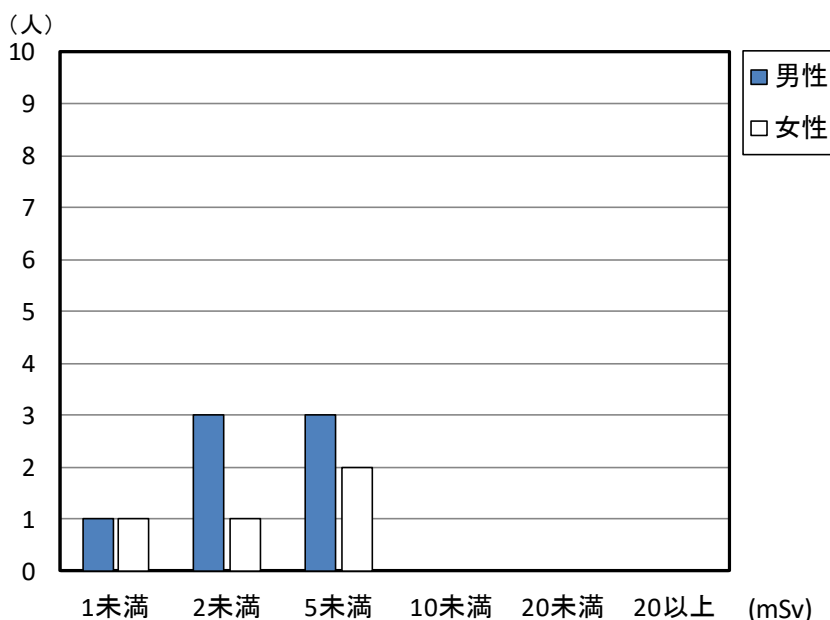
16人のうち基本調査問診票を提出した方は11人(68.8%)で、推計結果が通知された方は11人であった。このうち最大実効線量は2.4mSvであった。

表7. 基本調査問診票提出者の外部被ばく実効線量推計内訳(人)

令和元年9月30日現在

実効線量 (mSv)	震災時年齢(歳)									
	0~5		6~10		11~15		16~18		合計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
1未満	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
2未満	0	0	2	1	1	0	0	0	3	1
5未満	2	0	0	2	1	0	0	0	3	2
10未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	0	3	4	2	0	0	0	7	4

図5. 基本調査問診票提出者の外部被ばく実効線量推計内訳



(5) 血液検査及び尿中ヨウ素(令和元年9月30日現在)

表8. 血液データ

	FT4 注1 (ng/dL)	FT3 注2 (pg/mL)	TSH 注3 (μ IU/mL)	Tg 注4 (ng/mL)	TgAb 注5 (IU/mL)	TPOAb 注6 (IU/mL)
基準値	0.95~1.74 注7	2.13~4.07 注7	0.340~3.880 注7	33.7 以下	28.0 未満	16.0 未満
悪性ないし悪性疑い16人	1.3 \pm 0.1 (0.0%)	3.5 \pm 0.5 (0.0%)	1.3 \pm 0.5 (0.0%)	29.6 \pm 67.6 (12.5%)	43.8%	37.5%
その他383人	1.3 \pm 0.3 (5.0%)	3.6 \pm 1.0 (7.3%)	1.2 \pm 0.9 (8.4%)	20.5 \pm 28.8 (11.2%)	5.0%	5.2%

表9. 尿中ヨウ素データ

	μ g/day				
	最小値	25%値	中央値	75%値	最大値
悪性ないし悪性疑い16人	54	132	211	487	1780
その他377人	32	116	193	331	17200

注1 FT4 (遊離サイロキシン) ..ヨードの数が4つの甲状腺ホルモン。甲状腺中毒症では高値

(代表的疾患：バセドウ病)、甲状腺機能低下症では低値(代表的疾患：橋本病)になることが多い。数値は平均±SDで示し、基準範囲外の割合を()内に示した。

- 注2 FT3(遊離トリヨードサイロニン)・・・ヨードの数が3つの甲状腺ホルモン。甲状腺中毒症では高値(代表的疾患：バセドウ病)、甲状腺機能低下症では低値(代表的疾患：橋本病)になることが多い。数値は平均±SDで示し、基準範囲外の割合を()内に示した。
- 注3 TSH(甲状腺刺激ホルモン)・・・脳の下垂体から出ているホルモンで甲状腺へ甲状腺ホルモンを出すよう命令する。橋本病では高値、バセドウ病では低値になることが多い。数値は平均±SDで示し、基準範囲外の割合を()内に示した。
- 注4 Tg(サイログロブリン)・・・甲状腺ホルモンになる直前の物質。甲状腺内に多量に存在する。甲状腺が破壊されたり、腫瘍がTgを産生していたりする場合に高値になることが多い。数値は平均±SDで示し、基準範囲外の割合を()内に示した。
- 注5 TgAb(抗サイログロブリン抗体)・・・サイログロブリンに対する自己抗体。橋本病やバセドウ病で高値になることが多い。基準値を超えたものの割合を示す。
- 注6 TPOAb(抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体)・・・ペルオキシダーゼという酵素に対しての自己抗体。橋本病やバセドウ病で高値。基準値を超えたものの割合を示す。
- 注7 基準値は年齢ごとに異なる。

(6) 地域別二次検査結果（令和元年9月30日現在）

悪性ないし悪性疑いであった方の割合は、国が指定した避難区域等の13市町村、中通りが0.01%、浜通り、会津地方が0.00%である。

表10. 地域別結果

	一次検査受診者 (人) ア	二次検査対象者 (人) イ	二次検査対象者 の割合(%) イ/ア	二次検査受診者 (人)	悪性ないし悪性 疑い(人) ウ	悪性ないし悪性 疑いの割合(%) ウ/ア
避難区域等 13市町村 注1	20,031	115	0.6	84	2	0.01
中通り 注2	99,664	580	0.6	350	14	0.01
浜通り 注3	9,073	71	0.8	25	0	0.00
会津地方 注4	8,174	63	0.8	25	0	0.00
合計	136,942	829	0.6	484	16	0.01

注1 田村市、南相馬市、伊達市、川俣町、広野町、檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村

注2 福島市、郡山市、白河市、須賀川市、二本松市、本宮市、桑折町、国見町、大玉村、鏡石町、天栄村、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町

注3 いわき市、相馬市、新地町

注4 会津若松市、喜多方市、下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町、北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町

3. こころのケア・サポート

検査対象者へのこころのケア・サポートとして、次の取組を行っている。

(1) 一次検査のサポートについて

甲状腺検査対象者に対して、公共施設等の一般会場では、検査結果説明ブースにおいて、検査終了後、医師が超音波画像を提示しながら結果の説明を行った。

平成30年4月以降、令和元年9月30日現在で、全会場で検査結果説明ブースを設置し、受診者2,345人のうち2,344人（100%）が利用した。

(2) 出張説明会・出前授業について

検査対象者や保護者に対して甲状腺検査の理解を深めるため、出張説明会や出前授業を実施した。

平成30年4月以降、令和元年9月30日現在で、27会場で811人に対して説明等を行った。なお、延べ人数は14,834人となっている。

(3) 二次検査のサポートについて

福島県立医科大学内にサポートチームを立ち上げ、二次検査対象者に対して、心配や不安へのこころのケア・サポートを行い、その他WEB相談による質問・相談を受け付けるなどの対応を行っている。

なお、本格検査（検査4回目）開始以降、令和元年9月30日現在で、312人のサポートをしており、性別は男性103人、女性209人であった。この方々に延べ611回の相談対応等をしており、その内訳は初回受診時312回（51.1%）、2回目以降受診時299回（48.9%）であった。

また、保険診療移行後についても病院のチームと連携し、継続して支援を行っている。

別表 1

市町村別一次検査実施状況

令和元年 9 月 30 日現在

	対象者数 (人) ア	受診者数 (人) イ	うち 県外受診 注1	受診率 (%) イ/ア	年齢階級別受診者数(人) 年齢階級別内訳(%) 注2			イのうち県 外居住者 数(人) ウ注3	イのうち県 外居住者 の割合 (%) ウ/イ
					6~11歳	12~17歳	18~24歳		
平成30年度実施対象市町村									
川俣町	1,832	1,123	25	61.3	470 41.9	575 51.2	78 6.9	39	3.5
浪江町	2,858	1,208	287	42.3	473 39.2	571 47.3	164 13.6	333	27.6
飯館村	852	528	17	62.0	217 41.1	273 51.7	38 7.2	24	4.5
南相馬市	10,201	5,677	788	55.7	2,404 42.3	2,836 50.0	437 7.7	841	14.8
伊達市	8,781	5,819	166	66.3	2,327 40.0	3,027 52.0	465 8.0	173	3.0
田村市	5,435	3,360	65	61.8	1,497 44.6	1,620 48.2	243 7.2	75	2.2
広野町	801	294	30	36.7	135 45.9	132 44.9	27 9.2	25	8.5
楢葉町	1,094	267	46	24.4	104 39.0	125 46.8	38 14.2	51	19.1
富岡町	2,340	679	178	29.0	233 34.3	330 48.6	116 17.1	193	28.4
川内村	267	132	9	49.4	47 35.6	80 60.6	5 3.8	10	7.6
大熊町	2,020	611	195	30.2	247 40.4	272 44.5	92 15.1	203	33.2
双葉町	978	236	57	24.1	100 42.4	110 46.6	26 11.0	58	24.6
葛尾村	174	97	3	55.7	36 37.1	51 52.6	10 10.3	3	3.1
福島市	43,238	28,332	1,676	65.5	11,645 41.1	14,216 50.2	2,471 8.7	1,671	5.9
二本松市	8,104	5,389	186	66.5	2,264 42.0	2,762 51.3	363 6.7	170	3.2
本宮市	4,910	3,153	88	64.2	1,390 44.1	1,554 49.3	209 6.6	82	2.6
大玉村	1,287	908	23	70.6	413 45.5	439 48.3	56 6.2	17	1.9
郡山市	52,557	32,416	2,299	61.7	13,210 40.8	16,441 50.7	2,765 8.5	2,271	7.0
桑折町	1,609	1,112	29	69.1	465 41.8	544 48.9	103 9.3	25	2.2
国見町	1,204	794	17	65.9	293 36.9	429 54.0	72 9.1	18	2.3
天栄村	839	506	7	60.3	216 42.7	255 50.4	35 6.9	7	1.4
白河市	9,969	6,373	235	63.9	2,584 40.5	3,263 51.2	526 8.3	234	3.7
西郷村	3,263	2,163	86	66.3	911 42.1	1,067 49.3	185 8.6	94	4.3
泉崎村	1,025	657	4	64.1	274 41.7	332 50.5	51 7.8	4	0.6
三春町	2,383	1,481	31	62.1	559 37.7	771 52.1	151 10.2	24	1.6
小計	168,021	103,315	6,547	61.5	42,514 41.1	52,075 50.4	8,726 8.4	6,645	6.4

注1 受診者のうち県外検査実施機関で検査を受診した人数（令和元年 8 月 31 日現在）。

注2 上段には受診者数を、下段には受診者数イの階級別割合を記載。

注3 受診者のうち県外住所の方の人数。

・年齢階級は本格検査（検査 4 回目）の検査受診時点の年齢である。以降の別表も同様である。

令和元年9月30日現在

	対象者数 (人) ア	受診者数 (人) イ	うち 県外受診 注1	受診率 (%) イ/ア	年齢階級別受診者数(人) 年齢階級別内訳(%)注2			イのうち県 外居住者 数(人) ウ注3	イのうち県 外居住者 の割合 (%) ウ/イ
					6~11歳	12~17歳	18~24歳		
平成31年度(令和元年度)実施対象市町村									
いわき市	49,600	5,330	1,295	10.7	825	2,358	2,147	1,166	21.9
					15.5	44.2	40.3		
須賀川市	12,378	5,900	180	47.7	2,032	3,125	743	162	2.7
					34.4	53.0	12.6		
相馬市	5,507	3,092	187	56.1	1,246	1,606	240	198	6.4
					40.3	51.9	7.8		
鏡石町	2,133	963	26	45.1	477	372	114	26	2.7
					49.5	38.6	11.8		
新地町	1,162	651	29	56.0	230	363	58	24	3.7
					35.3	55.8	8.9		
中島村	849	493	6	58.1	190	260	43	4	0.8
					38.5	52.7	8.7		
矢吹町	2,672	1,663	26	62.2	724	824	115	27	1.6
					43.5	49.5	6.9		
石川町	2,182	1,313	19	60.2	531	670	112	18	1.4
					40.4	51.0	8.5		
矢祭町	816	459	7	56.3	210	229	20	6	1.3
					45.8	49.9	4.4		
浅川町	1,064	634	13	59.6	236	346	52	13	2.1
					37.2	54.6	8.2		
平田村	969	580	7	59.9	244	290	46	5	0.9
					42.1	50.0	7.9		
棚倉町	2,399	1,431	24	59.6	582	764	85	25	1.7
					40.7	53.4	5.9		
塙町	1,299	689	11	53.0	286	365	38	15	2.2
					41.5	53.0	5.5		
鮫川村	519	296	3	57.0	136	150	10	3	1.0
					45.9	50.7	3.4		
小野町	1,488	828	8	55.6	347	423	58	9	1.1
					41.9	51.1	7.0		
玉川村	1,052	643	3	61.1	251	348	44	3	0.5
					39.0	54.1	6.8		
古殿町	817	488	13	59.7	203	238	47	8	1.6
					41.6	48.8	9.6		
檜枝岐村	87	29	1	33.3	16	12	1	0	0.0
					55.2	41.4	3.4		
南会津町	2,128	1,000	14	47.0	461	491	48	11	1.1
					46.1	49.1	4.8		
金山町	147	62	0	42.2	21	36	5	0	0.0
					33.9	58.1	8.1		
昭和村	115	59	3	51.3	29	27	3	3	5.1
					49.2	45.8	5.1		
三島町	148	67	0	45.3	28	37	2	0	0.0
					41.8	55.2	3.0		
下郷町	747	340	4	45.5	172	156	12	4	1.2
					50.6	45.9	3.5		
喜多方市	6,947	296	45	4.3	110	111	75	39	13.2
					37.2	37.5	25.3		
西会津町	761	274	5	36.0	148	105	21	5	1.8
					54.0	38.3	7.7		
只見町	555	318	5	57.3	134	159	25	1	0.3
					42.1	50.0	7.9		
猪苗代町	2,070	963	21	46.5	475	441	47	19	2.0
					49.3	45.8	4.9		
磐梯町	477	191	7	40.0	98	85	8	5	2.6
					51.3	44.5	4.2		
北塩原村	445	182	1	40.9	92	87	3	1	0.5
					50.5	47.8	1.6		
会津美里町	2,823	1,290	23	45.7	563	614	113	21	1.6
					43.6	47.6	8.8		
会津坂下町	2,402	1,028	31	42.8	486	454	88	22	2.1
					47.3	44.2	8.6		
柳津町	464	227	1	48.9	106	106	15	1	0.4
					46.7	46.7	6.6		
会津若松市	18,421	1,606	279	8.7	464	625	517	254	15.8
					28.9	38.9	32.2		
湯川村	519	242	4	46.6	116	99	27	7	2.9
					47.9	40.9	11.2		
小計	126,162	33,627	2,301	26.7	12,269	16,376	4,982	2,105	6.3
					36.5	48.7	14.8		
合計	294,183	136,942	8,848	46.5	54,783	68,451	13,708	8,750	6.4
					40.0	50.0	10.0		

別表 2

都道府県別県外検査実施状況

令和元年 8 月 31 日現在

都道府県名	県外検査 実施機関 数	受診者数 (人)	都道府県名	県外検査 実施機関 数	受診者数 (人)	都道府県名	県外検査 実施機関 数	受診者数 (人)
北海道	7	239	福井県	1	15	広島県	2	21
青森県	2	112	山梨県	2	75	山口県	1	20
岩手県	3	230	長野県	3	109	徳島県	1	3
宮城県	2	2,063	岐阜県	1	22	香川県	1	23
秋田県	1	144	静岡県	2	75	愛媛県	1	10
山形県	3	436	愛知県	4	160	高知県	1	10
茨城県	4	492	三重県	1	16	福岡県	3	64
栃木県	8	554	滋賀県	1	10	佐賀県	1	1
群馬県	2	142	京都府	3	71	長崎県	2	23
埼玉県	3	459	大阪府	7	157	熊本県	1	23
千葉県	5	383	兵庫県	2	108	大分県	1	11
東京都	16	1,347	奈良県	2	24	宮崎県	1	19
神奈川県	6	623	和歌山県	1	8	鹿児島県	1	5
新潟県	2	386	鳥取県	1	7	沖縄県	1	34
富山県	2	25	島根県	1	11			
石川県	1	35	岡山県	3	43			
						合計	120	8,848

・受診者数は県外検査実施機関で検査を受診した人数

別表 3

市町村別一次検査結果

令和元年 9 月 30 日現在

	受診者 (人) ア	結果確定数 (人) イ 進捗状況 イ/ア(%)	判定区分別人数(人)				結節(人)		のう胞(人)	
			判定区分別割合(%)				結節の割合(%)		のう胞の割合(%)	
			A		B	C	5.1mm 以上	5.0mm 以下	20.1mm 以上	20.0mm 以下
A1	A2									
平成30年度実施対象市町村										
川俣町	1,123	1,120 99.7	407 36.3	709 63.3	4 0.4	0 0.0	4 0.4	2 0.2	0 0.0	713 63.7
浪江町	1,208	1,141 94.5	387 33.9	745 65.3	9 0.8	0 0.0	9 0.8	5 0.4	0 0.0	747 65.5
飯館村	528	521 98.7	193 37.0	324 62.2	4 0.8	0 0.0	4 0.8	2 0.4	0 0.0	327 62.8
南相馬市	5,677	5,484 96.6	1,939 35.4	3,512 64.0	33 0.6	0 0.0	33 0.6	27 0.5	0 0.0	3,523 64.2
伊達市	5,819	5,798 99.6	1,993 34.4	3,771 65.0	34 0.6	0 0.0	34 0.6	17 0.3	0 0.0	3,791 65.4
田村市	3,360	3,283 97.7	1,217 37.1	2,047 62.4	19 0.6	0 0.0	19 0.6	10 0.3	0 0.0	2,054 62.6
広野町	294	276 93.9	90 32.6	181 65.6	5 1.8	0 0.0	5 1.8	1 0.4	0 0.0	183 66.3
榑葉町	267	230 86.1	90 39.1	140 60.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	140 60.9
富岡町	679	630 92.8	233 37.0	394 62.5	3 0.5	0 0.0	3 0.5	0 0.0	0 0.0	395 62.7
川内村	132	128 97.0	39 30.5	88 68.8	1 0.8	0 0.0	1 0.8	0 0.0	0 0.0	89 69.5
大熊町	611	562 92.0	193 34.3	367 65.3	2 0.4	0 0.0	2 0.4	2 0.4	0 0.0	369 65.7
双葉町	236	215 91.1	69 32.1	146 67.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	146 67.9
葛尾村	97	94 96.9	30 31.9	63 67.0	1 1.1	0 0.0	1 1.1	0 0.0	0 0.0	63 67.0
福島市	28,332	28,205 99.6	9,710 34.4	18,343 65.0	152 0.5	0 0.0	151 0.5	86 0.3	1 0.0	18,418 65.3
二本松市	5,389	5,364 99.5	1,871 34.9	3,444 64.2	49 0.9	0 0.0	48 0.9	20 0.4	1 0.0	3,471 64.7
本宮市	3,153	3,131 99.3	1,101 35.2	2,018 64.5	12 0.4	0 0.0	12 0.4	8 0.3	0 0.0	2,019 64.5
大玉村	908	906 99.8	301 33.2	599 66.1	6 0.7	0 0.0	6 0.7	2 0.2	0 0.0	602 66.4
郡山市	32,416	31,829 98.2	10,491 33.0	21,150 66.4	188 0.6	0 0.0	187 0.6	104 0.3	1 0.0	21,248 66.8
桑折町	1,112	1,105 99.4	392 35.5	706 63.9	7 0.6	0 0.0	7 0.6	2 0.2	0 0.0	709 64.2
国見町	794	789 99.4	254 32.2	526 66.7	9 1.1	0 0.0	9 1.1	1 0.1	0 0.0	533 67.6
天栄村	506	461 91.1	174 37.7	285 61.8	2 0.4	0 0.0	2 0.4	2 0.4	0 0.0	287 62.3
白河市	6,373	6,298 98.8	2,186 34.7	4,074 64.7	38 0.6	0 0.0	38 0.6	23 0.4	0 0.0	4,093 65.0
西郷村	2,163	2,136 98.8	718 33.6	1,407 65.9	11 0.5	0 0.0	11 0.5	9 0.4	0 0.0	1,412 66.1
泉崎村	657	634 96.5	236 37.2	396 62.5	2 0.3	0 0.0	2 0.3	2 0.3	0 0.0	398 62.8
三春町	1,481	1,463 98.8	494 33.8	959 65.6	10 0.7	0 0.0	10 0.7	5 0.3	0 0.0	965 66.0
小計	103,315	101,803 98.5	34,808 34.2	66,394 65.2	601 0.6	0 0.0	598 0.6	330 0.3	3 0.0	66,695 65.5

受診者 (人) ア	結果確定数 (人) イ	判定区分別人数(人)				結節(人)		のう胞(人)		
		判定区分別割合(%)				結節の割合(%)		のう胞の割合(%)		
		A		B	C	5.1mm 以上	5.0mm 以下	20.1mm 以上	20.0mm 以下	
A1	A2									
平成31年度(令和元年度)実施対象市町村										
いわき市	5,330	2,974 55.8	1,068 35.9	1,864 62.7	42 1.4	0 0.0	42 1.4	22 0.7	0 0.0	1,882 63.3
須賀川市	5,900	1,975 33.5	657 33.3	1,291 65.4	27 1.4	0 0.0	27 1.4	17 0.9	0 0.0	1,306 66.1
相馬市	3,092	1,961 63.4	660 33.7	1,274 65.0	27 1.4	0 0.0	27 1.4	9 0.5	0 0.0	1,292 65.9
鏡石町	963	316 32.8	105 33.2	204 64.6	7 2.2	0 0.0	7 2.2	2 0.6	0 0.0	208 65.8
新地町	651	329 50.5	105 31.9	222 67.5	2 0.6	0 0.0	2 0.6	2 0.6	0 0.0	224 68.1
中島村	493	480 97.4	165 34.4	312 65.0	3 0.6	0 0.0	3 0.6	0 0.0	0 0.0	315 65.6
矢吹町	1,663	1,524 91.6	556 36.5	961 63.1	7 0.5	0 0.0	7 0.5	6 0.4	0 0.0	965 63.3
石川町	1,313	1,283 97.7	427 33.3	844 65.8	12 0.9	0 0.0	12 0.9	4 0.3	0 0.0	851 66.3
矢祭町	459	457 99.6	145 31.7	312 68.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.4	0 0.0	312 68.3
浅川町	634	622 98.1	200 32.2	415 66.7	7 1.1	0 0.0	7 1.1	3 0.5	0 0.0	416 66.9
平田村	580	534 92.1	208 39.0	325 60.9	1 0.2	0 0.0	1 0.2	1 0.2	0 0.0	326 61.0
棚倉町	1,431	1,416 99.0	518 36.6	888 62.7	10 0.7	0 0.0	10 0.7	7 0.5	0 0.0	896 63.3
塙町	689	680 98.7	258 37.9	419 61.6	3 0.4	0 0.0	3 0.4	2 0.3	0 0.0	419 61.6
鮫川村	296	293 99.0	123 42.0	167 57.0	3 1.0	0 0.0	3 1.0	0 0.0	0 0.0	168 57.3
小野町	828	758 91.5	236 31.1	516 68.1	6 0.8	0 0.0	6 0.8	1 0.1	0 0.0	521 68.7
玉川村	643	567 88.2	217 38.3	343 60.5	7 1.2	0 0.0	7 1.2	1 0.2	0 0.0	346 61.0
古殿町	488	475 97.3	185 38.9	289 60.8	1 0.2	0 0.0	1 0.2	2 0.4	0 0.0	288 60.6
檜枝岐村	29	28 96.6	10 35.7	18 64.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	18 64.3
南会津町	1,000	921 92.1	341 37.0	573 62.2	7 0.8	0 0.0	7 0.8	2 0.2	0 0.0	577 62.6
金山町	62	49 79.0	11 22.4	38 77.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	38 77.6
昭和村	59	47 79.7	11 23.4	36 76.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	36 76.6
三島町	67	56 83.6	14 25.0	42 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	42 75.0
下郷町	340	304 89.4	119 39.1	183 60.2	2 0.7	0 0.0	2 0.7	0 0.0	0 0.0	184 60.5
喜多方市	296	247 83.4	89 36.0	153 61.9	5 2.0	0 0.0	5 2.0	2 0.8	0 0.0	154 62.3
西会津町	274	269 98.2	99 36.8	170 63.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	170 63.2
只見町	318	311 97.8	108 34.7	202 65.0	1 0.3	0 0.0	1 0.3	0 0.0	0 0.0	203 65.3
猪苗代町	963	876 91.0	312 35.6	554 63.2	10 1.1	0 0.0	10 1.1	2 0.2	0 0.0	563 64.3
磐梯町	191	175 91.6	45 25.7	128 73.1	2 1.1	0 0.0	2 1.1	1 0.6	0 0.0	129 73.7
北塩原村	182	176 96.7	61 34.7	113 64.2	2 1.1	0 0.0	2 1.1	0 0.0	0 0.0	115 65.3
会津美里町	1,290	1,132 87.8	356 31.4	769 67.9	7 0.6	0 0.0	7 0.6	6 0.5	0 0.0	770 68.0
会津坂下町	1,028	928 90.3	288 31.0	633 68.2	7 0.8	0 0.0	7 0.8	2 0.2	0 0.0	639 68.9
柳津町	227	205 90.3	69 33.7	136 66.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	136 66.3
会津若松市	1,606	1,080 67.2	385 35.6	676 62.6	19 1.8	0 0.0	19 1.8	9 0.8	0 0.0	684 63.3
湯川村	242	240 99.2	105 43.8	134 55.8	1 0.4	0 0.0	1 0.4	1 0.4	0 0.0	135 56.3
小計	33,627	23,688 70.4	8,256 34.9	15,204 64.2	228 1.0	0 0.0	228 1.0	106 0.4	0 0.0	15,328 64.7
合計	136,942	125,491 91.6	43,064 34.3	81,598 65.0	829 0.7	0 0.0	826 0.7	436 0.3	3 0.0	82,023 65.4

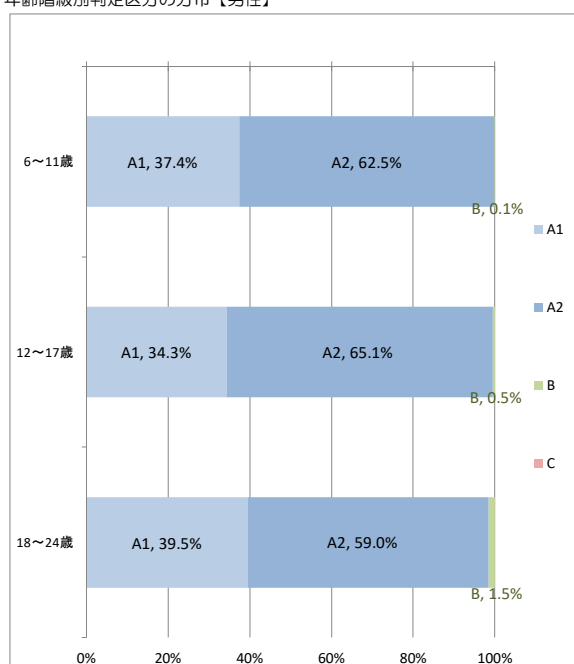
別表 4

1 検査結果確定者の年齢及び性別

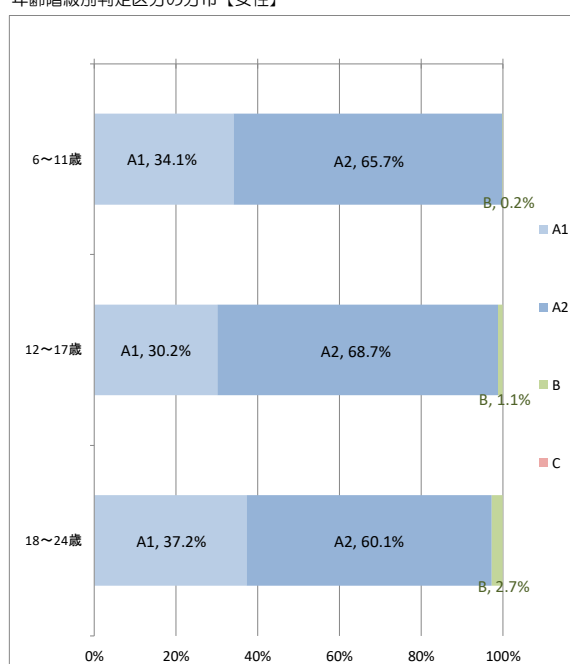
(単位 人)
令和元年 9 月 30 日現在

判定・性別 年齢階級	A						B			C			合計		
	A1			A2			男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
	男性	女性	計	男性	女性	計									
6～11歳	9,886	8,606	18,492	16,508	16,594	33,102	32	40	72	0	0	0	26,426	25,240	51,666
12～17歳	10,785	9,097	19,882	20,456	20,742	41,198	162	333	495	0	0	0	31,403	30,172	61,575
18～24歳	2,257	2,433	4,690	3,372	3,926	7,298	87	175	262	0	0	0	5,716	6,534	12,250
合計	22,928	20,136	43,064	40,336	41,262	81,598	281	548	829	0	0	0	63,545	61,946	125,491

年齢階級別判定区分の分布【男性】



年齢階級別判定区分の分布【女性】

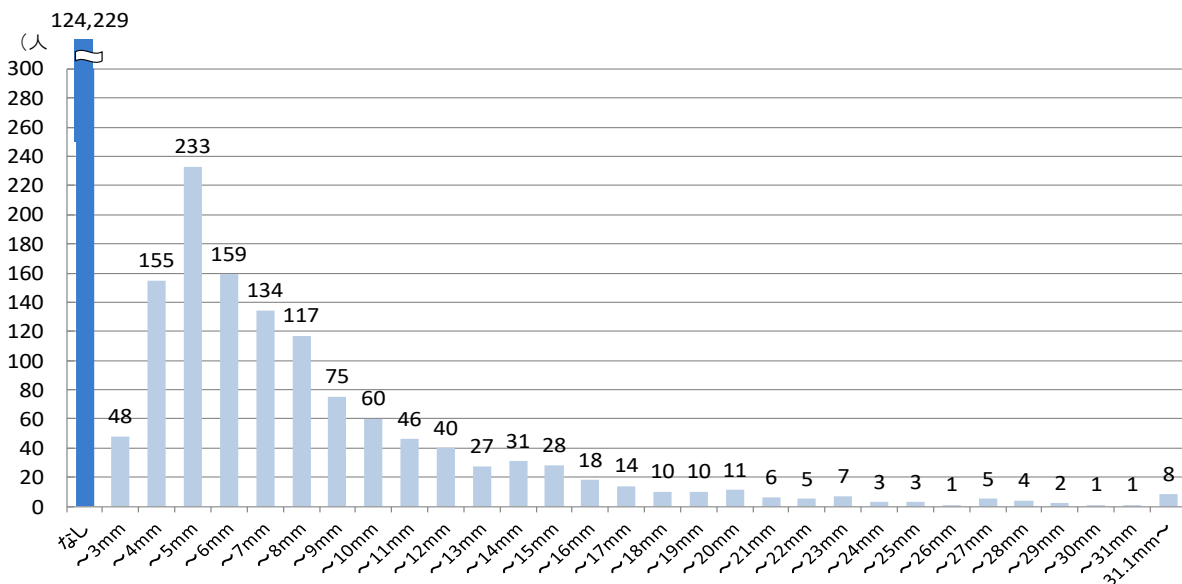
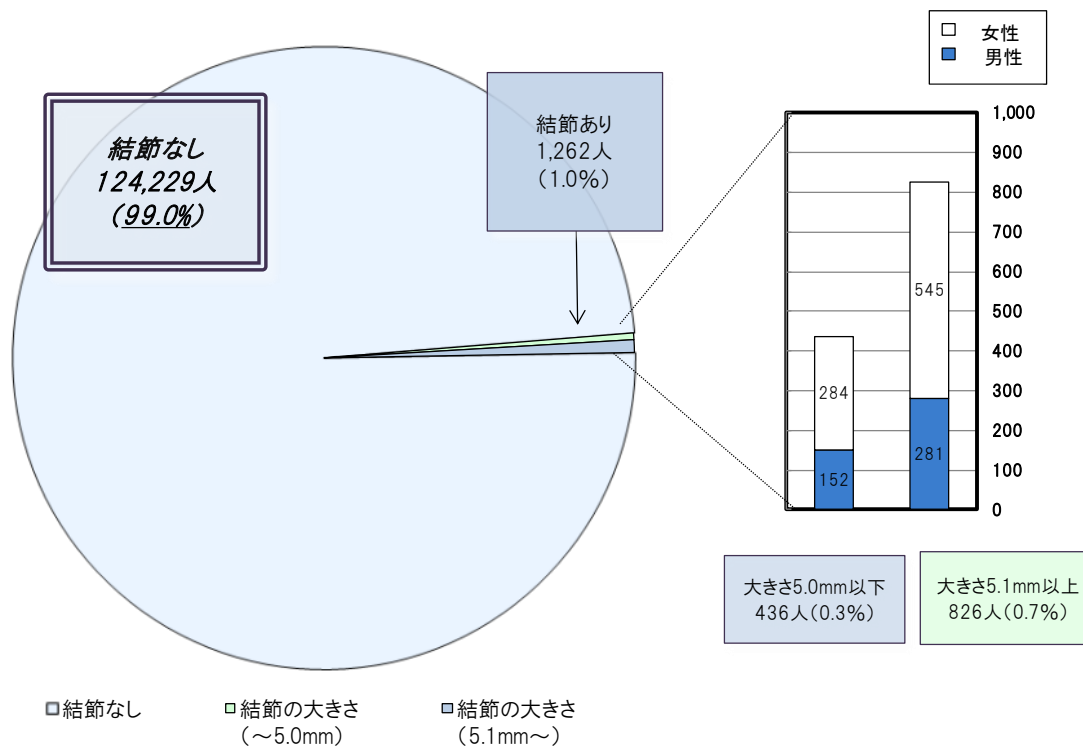


2 結節の有無及び大きさ

(単位 人)

令和元年 9 月 30 日現在

結節の有無・大きさ	全体			判定区分	割合
	男性	女性			
なし	124,229	63,112	61,117	A1	99.0%
～3.0mm	48	22	26	A2	0.3%
3.1～5.0mm	388	130	258		
5.1～10.0mm	545	187	358	B	0.7%
10.1～15.0mm	172	67	105		
15.1～20.0mm	63	18	45		
20.1～25.0mm	24	6	18		
25.1mm～	22	3	19		
計	125,491	63,545	61,946		

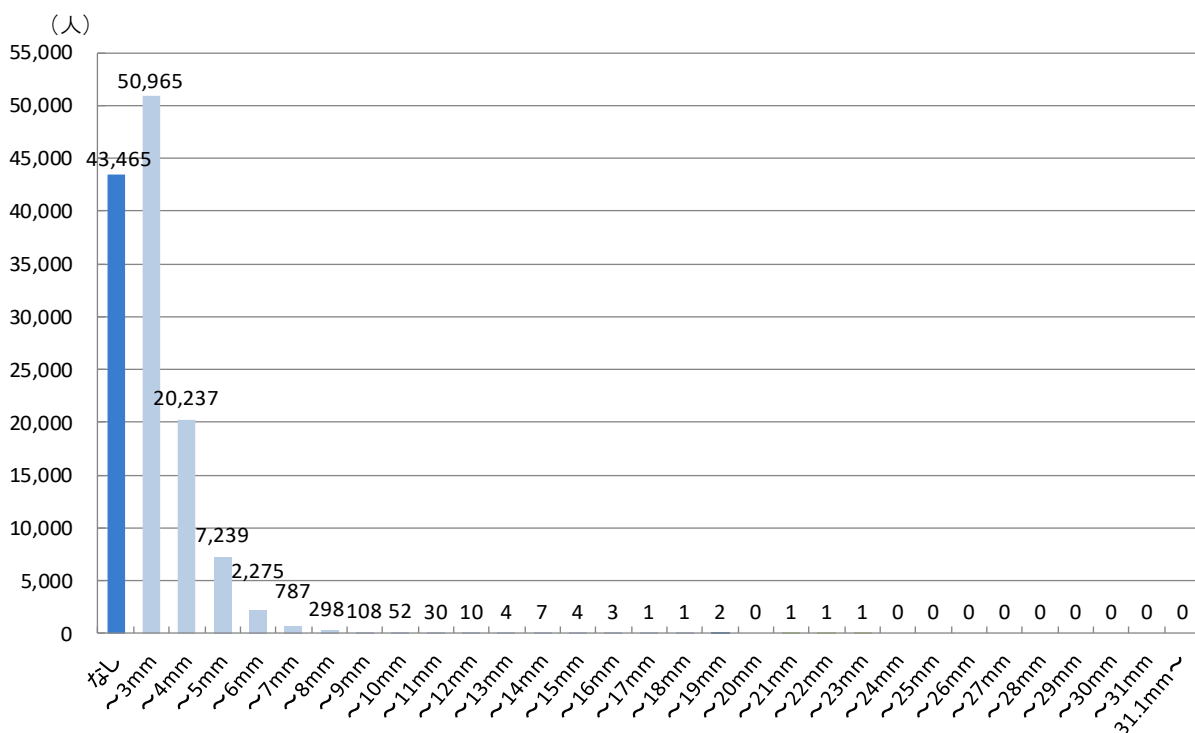
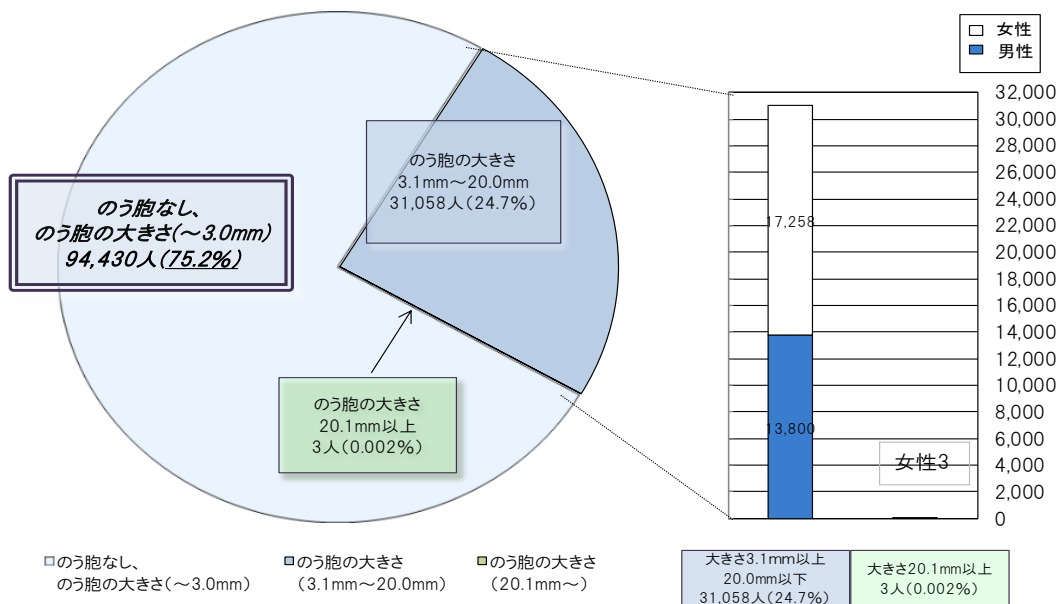


3 のう胞の有無及び大きさ

(単位 人)

令和元年9月30日現在

のう胞の有無・大きさ	全体			判定区分	割合
	男性	女性			
なし	43,465	23,077	20,388	A1	75.2%
～3.0mm	50,965	26,668	24,297	A2	
3.1～5.0mm	27,476	12,491	14,985		
5.1～10.0mm	3,520	1,289	2,231		
10.1～15.0mm	55	19	36		
15.1～20.0mm	7	1	6	B	0.002%
20.1～25.0mm	3	0	3		
25.1mm～	0	0	0		
計	125,491	63,545	61,946		



別表 5

地域別二次検査実施状況

令和元年 9 月 30 日現在

市町村名	一次検査実施者 (人) ア	二次検査対象者 (人) イ イ/ア(%)	二次検査実施者(人)				結果確定数(人)				
			計 ウ ウ/イ(%)	ウのうち 6~11歳 エ エ/ウ(%)	ウのうち 12~17歳 オ オ/ウ(%)	ウのうち 18歳以上 キ キ/ウ(%)	計 ク ク/ウ(%)	A1相当 ケ ケ/ク(%)	A2相当 コ コ/ク(%)	A1・A2相当以外	
				サ サ/ク(%)	シ シ/サ(%)						
避難区域等 13市町村 注1	20,031	115 0.6	84 73.0	7 8.3	58 69.0	19 22.6	82 97.6	1 1.2	1 1.2	80 97.6	5 6.3
中通り 注2	99,664	580 0.6	350 60.3	36 10.3	211 60.3	103 29.4	307 87.7	1 0.3	34 11.1	272 88.6	24 8.8
浜通り 注3	9,073	71 0.8	25 35.2	1 4.0	3 12.0	21 84.0	17 68.0	0 0.0	0 0.0	17 100.0	0 0.0
会津地方 注4	8,174	63 0.8	25 39.7	5 20.0	12 48.0	8 32.0	12 48.0	0 0.0	1 8.3	11 91.7	0 0.0
合計	136,942	829 0.6	484 58.4	49 10.1	284 58.7	151 31.2	418 86.4	2 0.5	36 8.6	380 90.9	29 7.6

注1 田村市、南相馬市、伊達市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村

注2 福島市、郡山市、白河市、須賀川市、二本松市、本宮市、桑折町、国見町、大玉村、鏡石町、天栄村、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町

注3 いわき市、相馬市、新地町

注4 会津若松市、喜多方市、下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町、北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町

別表 6

悪性ないし悪性疑い者の手術症例

1	平成 30 年度実施対象市町村
	・悪性ないし悪性疑い 15 人（手術実施 8 人：乳頭癌 8 人）
2	平成 31 年度（令和元年度）実施対象市町村
	・悪性ないし悪性疑い 1 人（手術実施 0 人：乳頭癌 0 人）
3	1～2 の合計
	・悪性ないし悪性疑い 16 人（手術実施 8 人：乳頭癌 8 人）

県民健康調査「甲状腺検査【25歳時の節目の検査】」実施状況

I 調査概要

1. 対象者

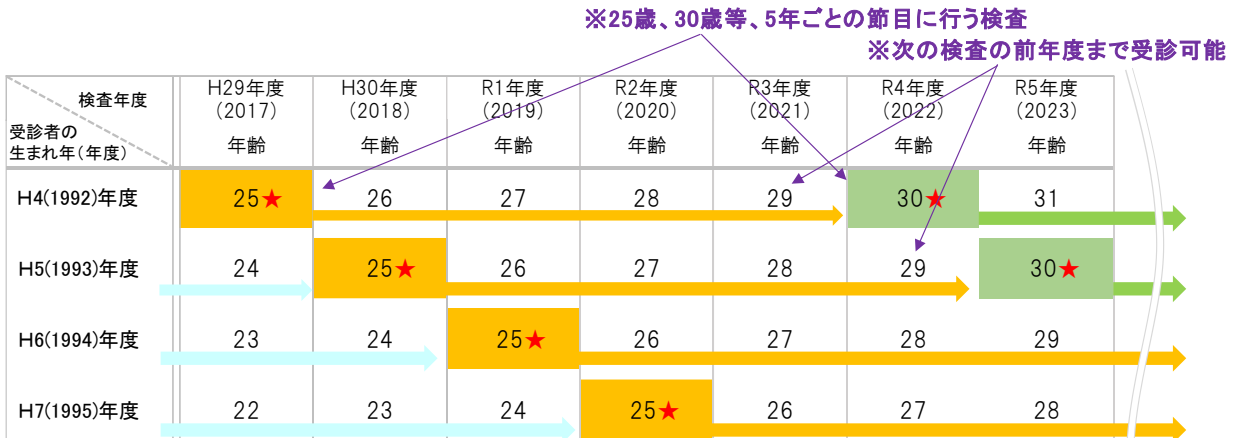
震災時福島県にお住まいの概ね18歳以下であった全県民（平成4年4月2日から平成24年4月1日までに生まれた福島県民）のうち、各年度25歳を迎える方に検査を実施している。なお、本資料では下記の方について報告を行う。

- ・平成4年度（平成4年4月2日から平成5年4月1日）生まれの方
- ・平成5年度（平成5年4月2日から平成6年4月1日）生まれの方

2. 実施期間

平成29年度から25歳時の節目の検査を開始し、各年度25歳を迎える方に検査を行う。なお、25歳を迎える年に受診できなかった方については、次回の30歳時の節目の検査の前年度まで検査を受診できる（25歳時の節目の検査実施スケジュールは図1のとおり）。

図1. 25歳時の節目の検査実施スケジュール



- ・今後、各年度25歳を迎える対象者に対し検査を実施する。
- ・各年度★の年齢（学年）ごとに検査のお知らせを送付する。

II 25歳時の節目の検査結果概要（令和元年9月30日現在）

1. 一次検査結果

（1）一次検査実施状況

平成29年5月から検査を開始し、各年度に年齢が25歳を迎える方（平成4年度・平成5年度生まれ）を対象として、4,277人（9.6%）の検査を実施した。

そのうち、4,239人（99.1%）の受診者について検査結果が確定し、結果通知を発送している。

検査結果はA1判定の方が1,839人（43.4%）、A2判定の方が2,202人（51.9%）、B判定の方が198人（4.7%）、C判定の方は0人であった。

表1.一次検査進捗状況

令和元年9月30日現在

	対象者数 (人) ア	受診者数(人)		判定率 (%) ウ(ウ/イ)	結果判定数(人)				
		受診率 (%) イ(イ/ア)	うち県外 受診		判定区分別内訳(割合(%))				
					A		二次検査対象者		
					A1	エ(エ/ウ)	A2	オ(オ/ウ)	B
平成4年度生まれ 対象者	22,653	2,234 (9.9)	709	2,230 (99.8)	929 (41.7)		1,203 (53.9)	98 (4.4)	0 (0.0)
平成5年度生まれ 対象者	21,889	2,043 (9.3)	721	2,009 (98.3)	910 (45.3)		999 (49.7)	100 (5.0)	0 (0.0)
合計	44,542	4,277 (9.6)	1,430	4,239 (99.1)	1,839 (43.4)		2,202 (51.9)	198 (4.7)	0 (0.0)

表2.結節・のう胞の人数・割合

令和元年9月30日現在

	結果判定数(人) ア	アに対する結節・のう胞の人数(割合(%))			
		結節		のう胞	
		5.1mm以上 イ(イ/ア)	5.0mm以下 ウ(ウ/ア)	20.1mm以上 エ(エ/ア)	20.0mm以下 オ(オ/ア)
		平成4年度生まれ 対象者	2,230	97 (4.3)	46 (2.1)
平成5年度生まれ 対象者	2,009	100 (5.0)	35 (1.7)	0 (0.0)	1,043 (51.9)
合計	4,239	197 (4.6)	81 (1.9)	1 (0.0)	2,291 (54.0)

- ・小数で表示されている数値は、その下の位で四捨五入している。以降の表も同様である。
- ・25歳時の節目に検査を行う対象者及び受診者については、今後、各年度分を追加して計上する。

(2) 前回検査結果との比較

25歳時の節目の検査を受診した方の前回結果との比較については、表3のとおり。

前回検査でA判定（A1及びA2判定）と判断された2,788人のうち、25歳時の節目の検査でA判定（A1及びA2判定）は2,724人（97.7%）、B判定は64人（2.3%）であった。

また、前回検査でB判定と判断された102人のうち、25歳時の節目の検査でA判定（A1及びA2判定）は33人（32.4%）、B判定は69人（67.6%）であった。

表3.前回検査結果との比較

令和元年9月30日現在

			前回検査結果 計 注1 ア	25歳の節目の結果結果内訳 注2			
				A		B エ (エ/ア)	C オ (オ/ア)
				A1 イ (イ/ア)	A2 ウ (ウ/ア)		
前回検査結果	A	A1	1,162 (100.0)	949 (81.7)	201 (17.3)	12 (1.0)	0 (0.0)
		A2	1,626 (100.0)	270 (16.6)	1,304 (80.2)	52 (3.2)	0 (0.0)
	B		102 (100.0)	4 (3.9)	29 (28.4)	69 (67.6)	0 (0.0)
	C		0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	受診なし		1,349 (100.0)	616 (45.7)	668 (49.5)	65 (4.8)	0 (0.0)
計			4,239 (100.0)	1,839 (43.4)	2,202 (51.9)	198 (4.7)	0 (0.0)

注1 上段は25歳時の節目の検査結果確定者の前回検査結果（人）。

注2 上段は前回検査結果に対する25歳時の節目の検査結果内訳（人）。下段は割合（%）。

2. 二次検査結果

(1) 二次検査実施状況

対象者198人のうち145人（73.2%）が受診し、そのうち127人（87.6%）が二次検査を終了した。

その127人のうち、詳細な検査の結果、7人（A2相当の7人）（5.5%）は、一次検査基準でA1、A2の範囲内であることが確認された（甲状腺に疾病のある方を含む）。120人（94.5%）はA1・A2相当以外と確認された。

表4.二次検査進捗状況

令和元年9月30日現在

	対象者数 (人) ア	受診者数(人) 受診率 (%) イ (イ/ア)	結果確定数(人) 確定率 (%) ウ (ウ/イ)	結果確定数(人)			
				A1相当 エ (エ/ウ)	A2相当 オ (オ/ウ)	A1・A2相当以外	
						カ (カ/ウ)	うち細胞診受診者 キ (キ/カ)
平成4年度生まれ 対象者	98	78 (79.6)	75 (96.2)	0 (0.0)	3 (4.0)	72 (96.0)	7 (9.7)
平成5年度生まれ 対象者	100	67 (67.0)	52 (77.6)	0 (0.0)	4 (7.7)	48 (92.3)	3 (6.3)
合計	198	145 (73.2)	127 (87.6)	0 (0.0)	7 (5.5)	120 (94.5)	10 (8.3)

(2) 細胞診等結果

穿刺吸引細胞診を実施した方のうち、4人が悪性ないし悪性疑いの判定となった。

4人の性別は男性2人、女性2人であった。また、二次検査時点での年齢は24歳から25歳（平均年齢は24.8歳±0.5歳）、腫瘍の大きさは12.3mmから18.0mm（平均腫瘍径は14.5mm±2.7mm）であった。

なお、4人の前回検査の結果は、A2判定が1人、未受診が3人であった。

表 5.細胞診結果(平均年齢と平均腫瘍径の()内は範囲を示す)

25歳時の節目の検査対象者	
・悪性ないし悪性疑い	4人 注
・男性：女性	2人：2人
・平均年齢	24.8±0.5歳（24-25歳）、震災当時17.0±0.8歳（16-18歳）
・平均腫瘍径	14.5±2.7mm（12.3-18.0mm）

注 手術症例については別表2のとおり。

3. こころのケア・サポート

(1) 一次検査におけるサポートについて

平成29年4月から公共施設等の一般会場での一次検査では検査結果説明ブースを設置し、検査終了後、医師が超音波画像を提示しながら、結果を説明している。令和元年9月30日現在で、検査結果説明ブースを利用した方は受診者363人のうち362人(99.7%)であった。

(2) 二次検査におけるサポートについて

福島県立医科大学内にサポートチームを立ち上げ、二次検査対象者に対して、心配や不安へのこころのケア・サポートを行い、その他WEB相談による質問・相談を受け付けるなどの対応を行っている。

なお、25歳時の節目の検査開始以降、令和元年9月30日現在で、54人のサポートをしており、性別は男性14人、女性40人であった。この方々に延べ110回の相談対応等をしており、その内訳は初回受診時54回（49.1%）、2回目以降受診時56回（50.9%）であった。

また、保険診療移行後についても病院のチームと連携し、継続して支援を行っている。

別表 1

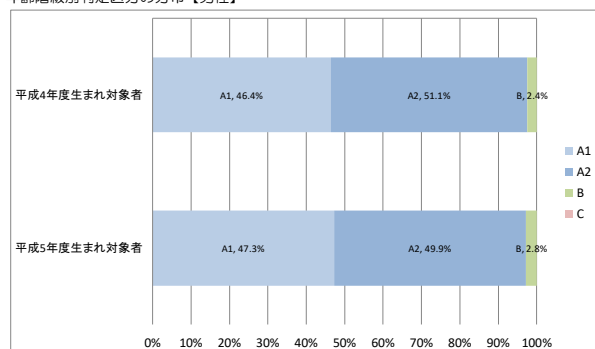
1 検査結果確定者の性別

(単位 人)

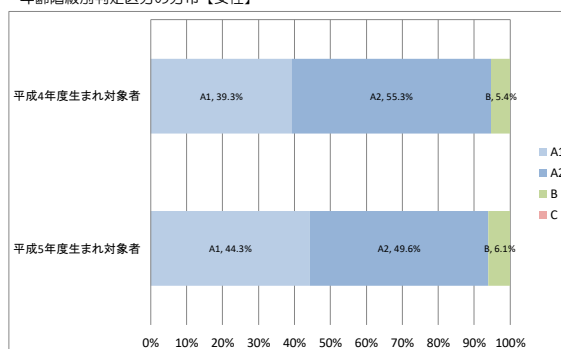
令和元年 9 月 30 日現在

対象者	判定・性別		A						B			C			合計		
	A1			A2			男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計		
	男性	女性	計	男性	女性	計											
平成4年度生まれ対象者	345	584	929	380	823	1,203	18	80	98	0	0	0	743	1,487	2,230		
平成5年度生まれ対象者	322	588	910	340	659	999	19	81	100	0	0	0	681	1,328	2,009		
合計	667	1,172	1,839	720	1,482	2,202	37	161	198	0	0	0	1,424	2,815	4,239		

年齢階級別判定区分の分布【男性】



年齢階級別判定区分の分布【女性】

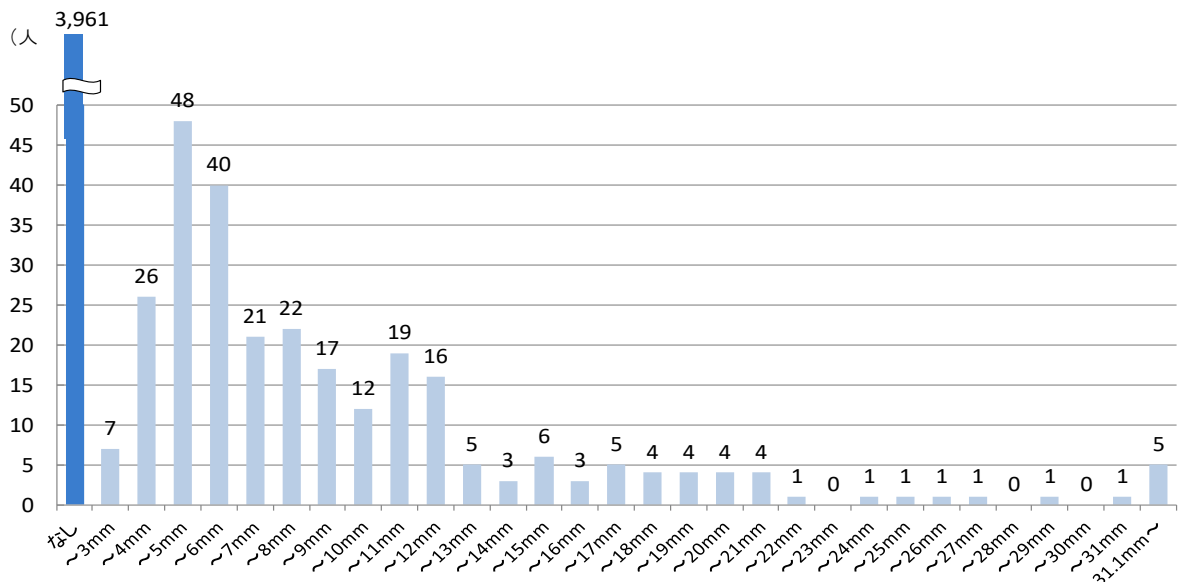
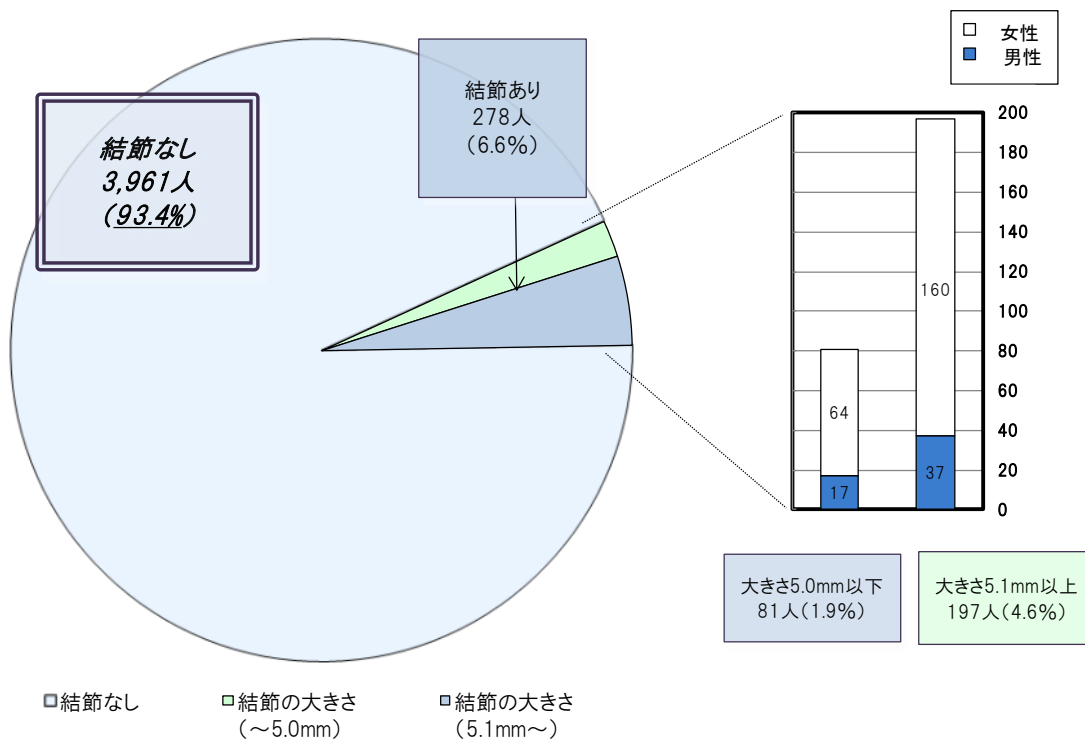


2 結節の有無及び大きさ

(単位 人)

令和元年9月30日現在

結節の有無・大きさ	全体		判定区分	割合
	男性	女性		
なし	3,961	1,370	A1	93.4%
～3.0mm	7	0	A2	1.9%
3.1～5.0mm	74	17		
5.1～10.0mm	112	22	B	4.6%
10.1～15.0mm	49	10		
15.1～20.0mm	20	2		
20.1～25.0mm	7	2		
25.1mm～	9	1		
計	4,239	1,424		

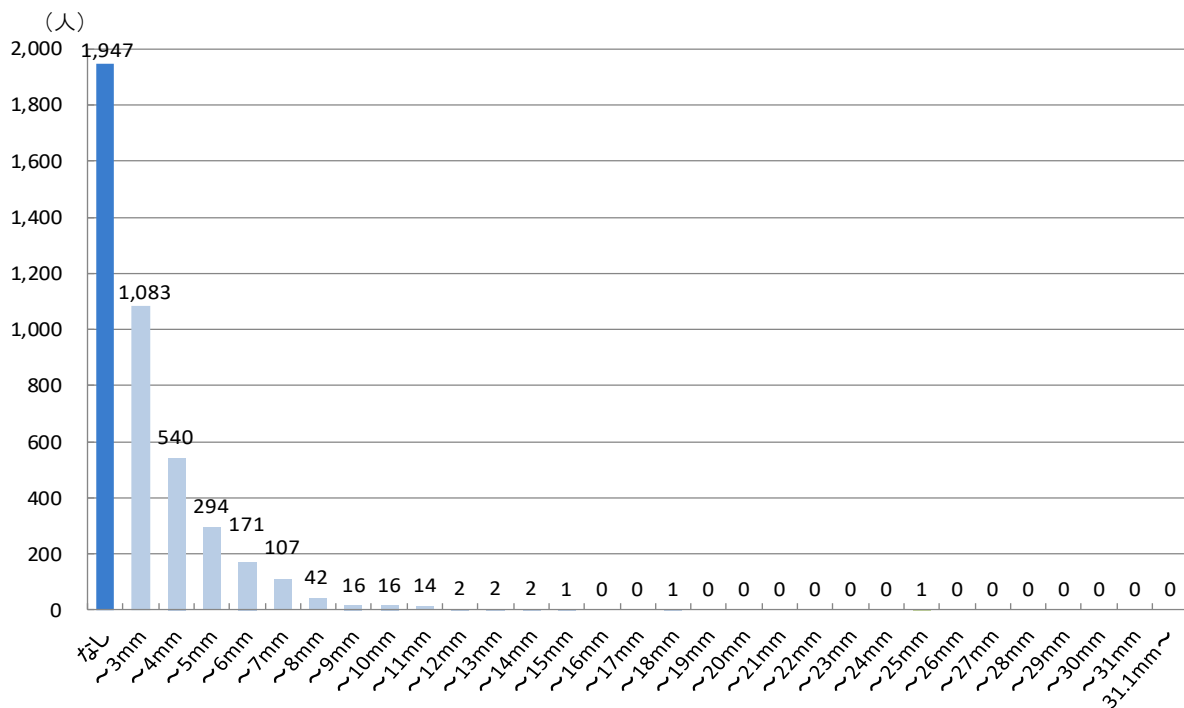
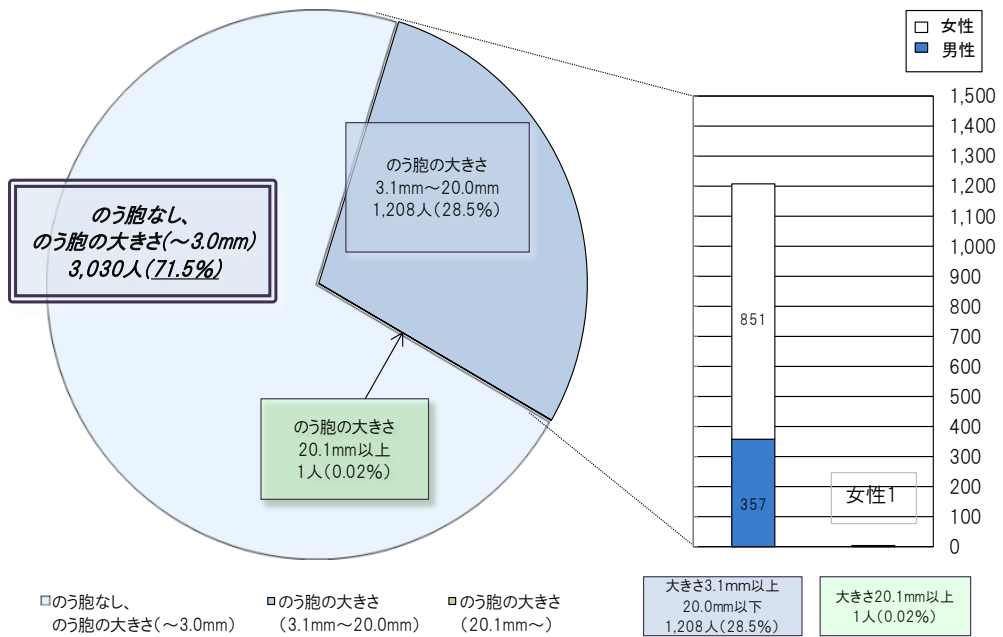


3 のう胞の有無及び大きさ

(単位 人)

令和元年9月30日現在

のう胞の有無・大きさ	全体		判定区分	割合
	男性	女性		
なし	1,947	694	A1	71.5%
～3.0mm	1,083	373	A2	
3.1～5.0mm	834	259		
5.1～10.0mm	352	93		
10.1～15.0mm	21	4		
15.1～20.0mm	1	1	B	0.02%
20.1～25.0mm	1	0		
25.1mm～	0	0		
計	4,239	1,424		



別表 2

悪性ないし悪性疑い者の手術症例

25 歳時の節目の検査対象者

- ・悪性ないし悪性疑い 4 人（手術実施 1 人：乳頭癌 1 人）

県民健康調査「甲状腺検査【本格検査（検査5回目）】」実施計画（案）

1 目的

チェルノブイリ原発事故後に明らかになった健康被害として、放射性ヨウ素の内部被ばくによる小児の甲状腺がんが報告されており、子どもたちの健康を長期に見守るために甲状腺検査を実施する。

2 対象者

震災時福島県にお住いの概ね18歳以下であった全県民（平成4年4月2日から平成24年4月1日までに生まれた福島県民）

3 検査時期

令和2年4月から検査開始（予定）

4 新たな取組

（1）お知らせ文の改訂

検査のお知らせ等内容を見直し、検査対象者に対し、甲状腺検査のメリット・デメリットを丁寧に説明する。また、小学生・中学生向けの説明文を作成する等様々な方法により、分かりやすく周知を図っていく。

（2）インフォームド・コンセントの拡充

甲状腺検査については、一次検査においても16歳以上20歳未満の者からの自署による同意を得ることとする。

5 検査体制

（1）検査場所について

	年齢（各年度に到達する年齢）	主な検査会場
県内	9～18歳（平成14～23年度生）	各学校
	19歳以上（平成4～13年度生）	県内検査実施機関 公共施設等の一般会場
県外	全年齢（平成4～23年度生）	県外検査実施機関

（2）検査（お知らせ発送）スケジュールについて

平成4～13年度生まれの対象者には年齢（学年）ごとに（福島県内の高校・特別支援学校在籍者を除く）、平成14～23年度生まれの対象者にはこれまでどおり市町村ごとに発送する。（具体的な検査スケジュールは次ページのとおり）

検査（お知らせ発送）スケジュールについて

受診者の生まれ年度	検査実施年度	
	令和2年度	令和3年度
平成4(1992)年度 【H4.4.2～H5.4.1生】	/	
平成5(1993)年度 【H5.4.2～H6.4.1生】	/	
平成6(1994)年度 【H6.4.2～H7.4.1生】	/	
平成7(1995)年度 【H7.4.2～H8.4.1生】	25歳	26歳
平成8(1996)年度 【H8.4.2～H9.4.1生】	24歳	25歳
平成9(1997)年度 【H9.4.2～H10.4.1生】	/	
平成10(1998)年度 【H10.4.2～H11.4.1生】	22歳	23歳
平成11(1999)年度 【H11.4.2～H12.4.1生】	21歳	22歳
平成12(2000)年度 【H12.4.2～H13.4.1生】	20歳	21歳
平成13(2001)年度 【H13.4.2～H14.4.1生】	19歳	20歳
平成14(2002)年度 【H14.4.2～H15.4.1生】	18歳□	19歳□
～	～	～
平成23(2011)年度 【H23.4.2～H24.4.1生】	9歳	10歳

※年齢は各年度の到達年齢。

ア 令和2年度及び令和3年度に20歳、22歳及び25歳となる対象者

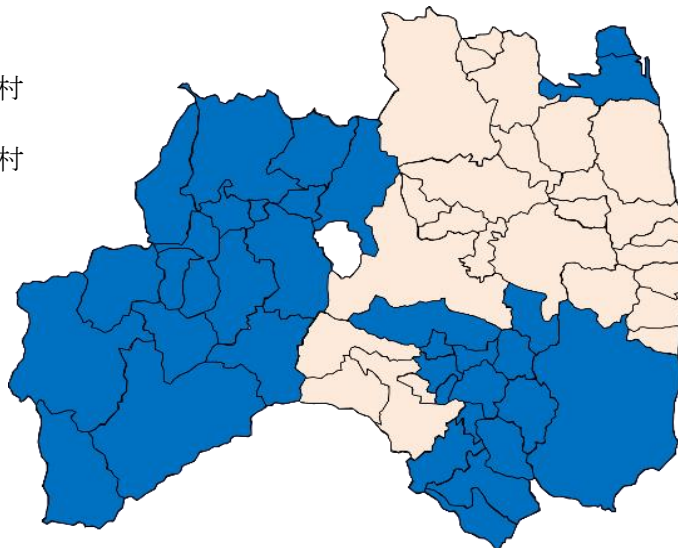
各年度で20、22、25歳となる方を対象に検査のご案内を発送する。

イ 概ね18歳以下の対象者（小・中・高等学校相当の年代）

- ・福島県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校に在籍している方は、学校の所在する下記市町村ごとに検査のご案内を発送します。
- ・福島県外に居住している小・中・高校世代の方は、震災当時のお住まいの市町村を基に、下記市町村ごとに検査のご案内を発送します。

■年度別該当市町村

- 令和2年度（前半年度）該当市町村
- 令和3年度（後半年度）該当市町村



甲状腺検査のお知らせ

福島県及び福島県立医科大学では、東京電力福島第一原子力発電所の事故（以下「原発事故」という。）を踏まえ、子どもたちの健康を長期に見守るために、「県民健康調査」甲状腺検査を実施しています。この検査は、原発事故により放出された放射性ヨウ素等の影響で小児甲状腺がんが増加するのではないかとの懸念が高まったことを受け、県民の不安に応えるために始まりました。

この検査では、甲状腺の状態を超音波診断装置（エコー）で調べますが、個別に放射線被ばくの影響がわかるものではありません。

検査にはメリットとデメリットの両面があります。

「県民健康調査」甲状腺検査を受診することで想定されるメリットとしては、検査の結果、問題がなければ、放射線の健康影響を心配されている方の安心につながることや、問題があれば（治療を必要とする変化が発見されれば）、早期診断早期治療につながる可能性があります。

デメリットとしては、一生気づかずに過ごすかもしれない無害の甲状腺がんを診断・治療する可能性や、治療に伴う合併症が発生する可能性、結節（しこり）やのう胞が発見されることにより不安につながるなどが考えられます。

一般的には、がん検診として超音波診断装置を用いて広く集団に対し甲状腺の検査を行うことは、メリットよりデメリットが上回るため推奨されておりません。県民の不安を受けて開始した「県民健康調査」甲状腺検査においては、引き続き県民の不安に寄り添うとともに、メリットとデメリットを理解し希望される方に検査を実施しております。なお、「県民健康調査」甲状腺検査では、検査に伴うデメリットを軽減する努力をしております。メリット・デメリットの詳細については、別紙の「甲状腺検査について」をご覧ください。

受診されるかどうかはご本人（未成年の方はご本人と保護者）のご希望によりますので、検査の内容と意義をご理解していただいて、受診を希望されるかどうか、ご返信にてお知らせください。

（同封の「甲状腺検査 受診の手引き」をご参照のうえ、必要書類を同封の返信用封筒によりご返送ください。）

【お問い合わせ先】

甲状腺検査に関すること、検査場所や日時の変更などについては下記にお問い合わせください。

（検査会場や検査実施機関への直接のお問い合わせはご遠慮ください。）

福島県立医科大学 ふくしま国際医療科学センター 放射線医学県民健康管理センター
コールセンター TEL024-549-1530（9：00～17：00 土日・祝日 12/29～1/3 を除く）

※おかけ間違いのないようご注意ください。メールアドレス：kenkan@fmu.ac.jp

(別紙)

県民健康調査 甲状腺検査について

超音波診断装置(エコー)を用いた甲状腺検査については、メリットのみならずデメリットも指摘されています。そのため、放射線被ばくと関連のない一般成人に対する甲状腺の超音波検診は行われてきませんでした。福島県及び福島県立医科大学では、東京電力福島第一原子力発電所事故の影響で甲状腺がんが増加するのではないかと懸念に対応するため甲状腺検査を開始しています。甲状腺検査を受診することにもメリットとデメリットがあることが考えられており、県民健康調査検討委員会及び甲状腺検査評価部会で検討した項目を表記しましたので、検査同意確認書に記入される際の参考としていただければ幸いです。

<甲状腺検査のメリット・デメリット>

●メリット

- (1) 検査で甲状腺に異常がないことが分かれば、放射線の健康影響を心配している方にとって、安心とそれによる生活の質の向上につながる可能性があります(→補足説明①)。
- (2) 早期診断・早期治療により、手術合併症リスクや治療に伴う副作用リスク、再発のリスクを低減する可能性があります(→補足説明②③④)。
- (3) 甲状腺検査の解析により放射線影響の有無に関する情報を本人、家族はもとより県民および県外の皆様にもお伝えすることができます。

●デメリット

- (1) 将来的に症状やがんによる死亡を引き起こさないがんを診断し、治療してしまう可能性があります(→補足説明③)。
- (2) がんまたはがん疑いの病変が早期診断された場合、治療や経過観察の長期化による心理的負担の増大、社会的・経済的不利益が生じる可能性があります。
- (3) 治療を必要としない結節(「しこり」)やのう胞も発見されることや(→補足説明⑤)、結果的に良性の結節であっても二次検査や細胞診を勧められることがあるため、体への負担、受診者やご家族にご心労をおかけしてしまう可能性があります。

上記デメリットに対して以下の取り組みを行っています。

◆デメリット(1)に対して

甲状腺検査では、5.0mm以下の結節は二次検査の対象としないことや、5.1mm以上の結節についても日本乳癌甲状腺超音波医学会のガイドラインに従って結節の画像所見を判断材料に加えて穿刺吸引細胞診を実施するかどうかを判断することによって、治療の必要性が低い病変ができるだけ診断されないよう対策を講じています。

◆デメリット(2)に対して

福島県では県民健康調査甲状腺検査サポート事業を行っており、甲状腺検査後の治療や経過観察に必要な医療費のサポートを行っています。

◆デメリット(2)(3)に対して

福島医大などでは、二次検査受診者の方には、心のケアサポートチームの専門スタッフにより、皆様の不安に寄り添う対応をしています。また、甲状腺検査結果や甲状腺の疾患に関連した医学的な質問やこころの問題等に答えるための医学専用ダイヤルでの相談対応や、学校等に出向いての説明会なども実施しています。

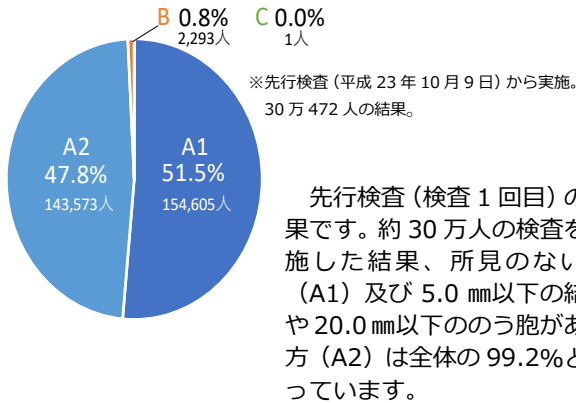
■補足説明

- ① 福島県の先行検査と本格検査（検査2回目）の実績では、受診者の0.8%の方が精密検査（二次検査）をお勧めするB判定を受けましたが、残りの99%以上の方は、二次検査の必要がありませんでした。次頁の「これまでの検査結果」をご参照ください。
- ② 日本では進行したがん以外に対しては切除範囲を限定した手術が選択されているため、手術による合併症は欧米より少ないことが知られています。日本全体ではありませんが、福島県立医科大学附属病院（以下「福島医大」という。）で手術された125名の小児甲状腺がん症例とチェルノブイリ事故後ベラルーシの甲状腺がん症例の比較を例示しますと次のとおりです。甲状腺機能低下症^{こうじょうせんきのうていかししょう}の割合（8.7% 対 57.6%）、副甲状腺機能低下症^{ふくこうじょうせんきのうていかししょう}の割合（0% 対 12.3%）、反回神経麻痺^{はんかいしんけいまひ}の割合（0.8% 対 6.8%）。*（ ）内の数値は前が福島医大、後ろがベラルーシの値です。
- ③ 自覚症状等で発見される前に、超音波検査によって、甲状腺がんを発見することにより、がんによる死亡率を低減できるかどうかは、科学的に明らかにされていません。
- ④ 甲状腺がんは一般的に進行が遅く、死亡率が低いとされています。進行した状態で発見された場合を除き、治療で治ることが多いがんです。治療は手術が中心ですが、小さいがんの場合、手術をしないで様子を見ることもあります。
- ⑤ 5.0mm以下の結節や20.0mm以下ののう胞はA2判定となります。先行検査では47.8%、本格検査（検査2回目）では59.0%でA2判定を受けています。なお、A2判定の方は二次検査の必要はありません。のう胞は「中に液体がたまった袋状のもの」で、健康な方にも見つかることの多い良性のものです。のう胞の中には液体だけで細胞がないため、がんになることはありません。結節は「しこり」とも呼ばれ、甲状腺の細胞の密度が変化したものです。結節には良性と悪性（がん）があり、多くは良性です。

■これまでの検査結果

【先行検査(実施年度:平成 23 年度～25 年度)】

先行検査の結果内訳 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

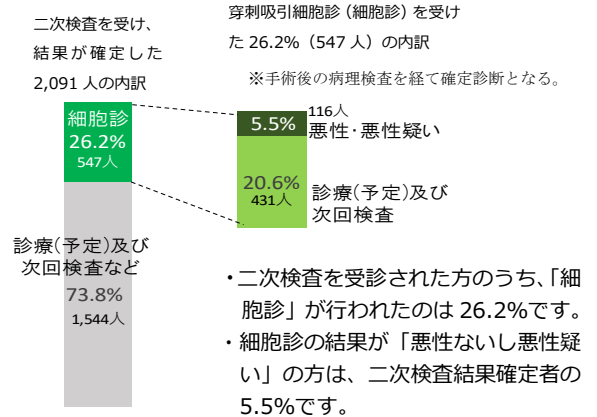


精密検査 (二次検査) をお勧めする B・C 判定の合計の割合は 0.8% です。

※対象者数等については、重複の精査等を行ったため、既出の報告者数と異なります。

悪性ないし悪性疑い 116 人のうち放射線医学県民健康管理センターで把握している限りにおいて手術実施は 102 人です。

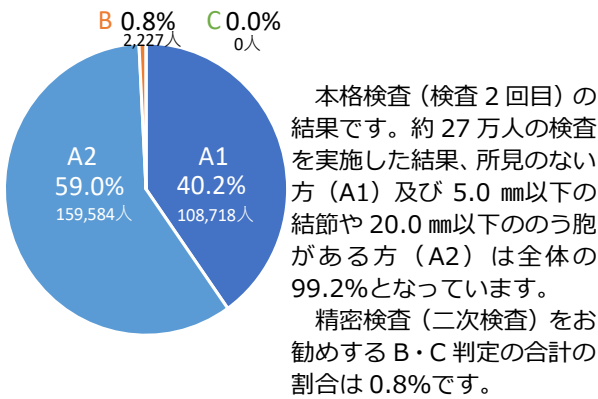
先行検査 二次検査の結果 (平成 30 年 3 月 31 日現在)



(第 31 回「県民健康調査」検討委員会甲状腺検査結果より)(平成 30 年 3 月 31 日現在)

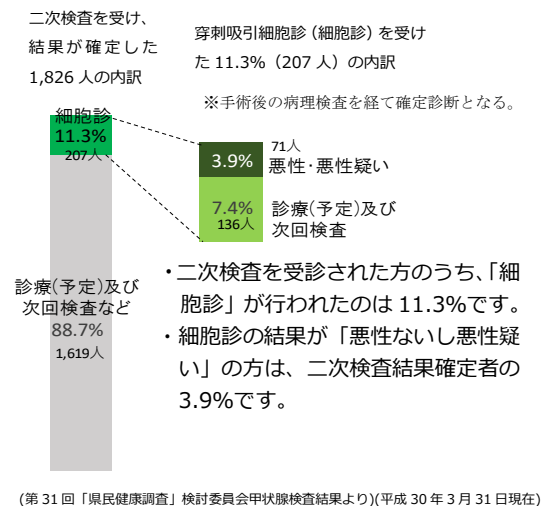
【本格検査(検査 2 回目) (実施年度:平成 26 年度～27 年度)】

一次検査の結果内訳 (平成 30 年 3 月 31 日現在)



※対象者数等については、重複の精査等を行ったため、既出の報告者数と異なります。

二次検査の結果 (平成 30 年 3 月 31 日現在)



(第 31 回「県民健康調査」検討委員会甲状腺検査結果より)(平成 30 年 3 月 31 日現在)

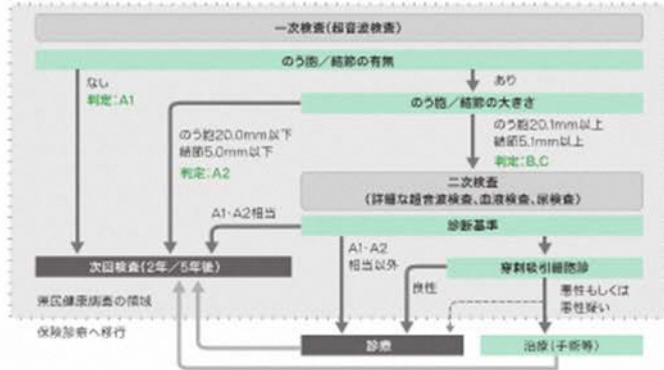
悪性ないし悪性疑い 71 人のうち放射線医学県民健康管理センターで把握している限りにおいて手術実施は 52 人です。

【判定結果の説明】	
A判定	A1 結節やのう胞を認めなかったもの。 A2 5.0mm以下の結節や20.0mm以下ののう胞を認めたもの。 A判定の方は次回の検査を受診ください。
B判定	5.1mm以上の結節や20.1mm以上ののう胞を認めたもの。
C判定	甲状腺検査の状態等から判断して、直ちに二次検査を要するもの。 B・C判定の方は二次検査を受診ください(二次検査対象者に対しては、二次検査日時、場所を改めてご連絡します)。

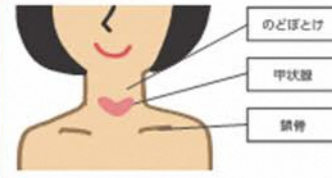
甲状腺検査について

検査の流れ

一次検査は、超音波検査により、詳細な検査の必要の有無を確認するために行います。二次検査は、精密検査で、より詳細な超音波検査と尿検査、血液検査を行います。また、必要と思われる方には細胞の検査も行います(穿刺(せんし)吸引細胞診)。二次検査の結果、A1・A2相当以外もしくは何らかの治療が必要となった場合は、通常の保険診療に移行し、主治医のもと適切な対応が選択されます。



甲状腺とは

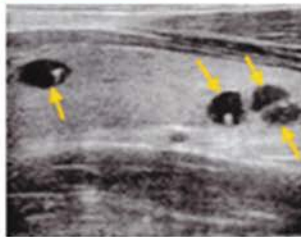


甲状腺は首の下部中央(のどぼとけの下)にある蝶のような形をした小さな「臓器」で、甲状腺ホルモンを作り血液の中に分泌しています。甲状腺ホルモンは、体の発育を促進し、新陳代謝を盛んにするなど、身体にとって非常に重要な働きをします。

「のう胞」と「結節」について

のう胞

のう胞は中に液体がたまった袋状のもので、健康な方にも見つかることの多い、良性のものです。



複数あることが多く、出来たり消えたりします。(矢印で示す黒く映っているところがう胞)



- ・のう胞は数やサイズが頻りに変わるものです。
多くの方が複数ののう胞を持っていますので、その中で最大のものの大まかなサイズをお知らせしております。
- ・のう胞は液体が詰まったもので、がんになることはありません。
従って今回の検査でのう胞と判断されたものは良性です。
- ・のう胞は乳幼児期には少なく、成長に伴い学童期から中高生に多く見られます。
また、出来たり消えたりすることがあります。

同じお子さまでも成長に伴い判定が変わることはごく自然なことと言えます。



結節

結節はしこりとも呼ばれ甲状腺の細胞が変化したものです。



(丸で囲んだところが結節)

- ・結節には良性と悪性(がん)があり、多くは良性です。
- ・小さな甲状腺がんは、それらを見つけて治療することは患者さんの不利益につながる恐れがあり、一般的に5.0mm以下の結節は細胞診などの詳しい検査を行わないことが推奨されています。

のう胞の中にしこりがある場合は?

のう胞の中に自身が詰まったしこり部分(充実部分)がある「充実部分を伴うのう胞」といわれるものは、この検査では全て結節扱いとしています。

下図のような場合、のう胞中にあるしこりではなく、しこりを含むのう胞全体の大きさを記録します。10mmののう胞の中に5mmのしこりが認められる場合、「10mmの結節」と見なします。(5.1mmを超えているため)B判定となります。

充実部分を含むのう胞の大きさ

10mm

のう胞内のしこりの大きさ

5mm

けんみん けんこう ちょうさ

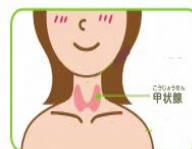
こう じょう せん けん さ

県民健康調査 甲状腺検査について

福島第一原子力発電所の事故のため甲状腺がんが増えるのではないかと、心配する人も多かった
ので、福島県と福島県立医科大学が中心となって甲状腺検査がはじまりました。甲状腺検査は、
甲状腺を超音波（きこえない音）で調べる検査です。しかし、甲状腺検査を受けることにもメリット
（よい点）だけでなく、デメリット（わるい点）があることも考えられています。甲状腺検査は、希望する
人が受ける検査です。このお知らせ文を甲状腺検査を受けるかどうかを決めるために役立ててください。

「甲状腺がん」ってどんな病気？

はじめは自分で気づく症状はありません。甲状腺がんが大きくなると、のどがはれたり、
飲みこみにくくなったりすることがあります。この病気は進み方がゆっくりで命にかかわる
場合はとても少ないと言われています。超音波を使って検査すると、症状のない甲状腺がんも
見つかります。



甲状腺がんの多くは手術をして治しますが、まずは手術をしないで様子を見る場合もあります。
手術した人の多くは手術前と同じ生活を送っています。

甲状腺検査を受けることには、メリット（よい点）とデメリット（わるい点）があります。
検査を受けるかどうかをおうちのひとと相談してください。

メリット（よい点）

- 甲状腺がんを心配している人にとって、検査を受けて大丈夫だったら安心できるかもしれません。
- 隠れていた病気が早く見つかれば、治療を早く始めることができます。
- 福島県で甲状腺がんが増えるのかどうかを調べて、みなさんにお知らせすることができます。

デメリット（わるい点）

- 一生自分で気づく症状がなく、体に問題のない甲状腺がんを見つけてしまうことがあるかもしれません。
- 甲状腺がんが見つかったときや疑われたときには、定期的に病院に通わなければならないことがあります。
- 検査結果が本当は心配ない場合でも実は病気ではないかと心配になることがあります。

この検査ではデメリット（わるい点）を減らすために次のような取り組みを行っています。

- 甲状腺検査では治療の必要のない病気は、なるべく診断しないようにしています。
- 検査でわからないことや不安や心配なことは、検査の時や電話などで相談できます。

県民健康調査

甲状腺検査について

福島第一原子力発電所の事故の影響で甲状腺がんが増えるのではないかと、心配する人も多かったので、福島県と福島県立医科大学が中心となって甲状腺検査が始まりました。

甲状腺検査は、甲状腺を超音波（きこえない音）で調べる検査です。しかし、甲状腺検査を受けることにもメリットだけでなく、デメリットがあることも考えられています。甲状腺検査は、希望する人が受ける検査です。このお知らせ文を甲状腺検査を受けるかどうか決めるための参考にしてください。

甲状腺がんの特徴

甲状腺がんは、最初、自覚症状はありません。しかし、病変が大きくなると、のどがはれたり、飲み込みにくくなったりすることがあります。普通は進行が遅く、死亡率は低いと言われています。超音波検査では、症状のない甲状腺がんも見つかります。



甲状腺がんの多くは手術により治療を行いますが、まずは経過観察をしてすぐには手術をしないで様子を見る場合もあります。手術をしても多くの人は手術前と同じ生活を送っています。

甲状腺検査を受けることには、メリットとデメリットがあります。

検査を受けるかどうか、ご家族と相談してください。

メリット

- 検査で異常のないことがわかれば、放射線による健康への影響を心配している人にとっては、安心できる可能性があります。
- 早めの診断・治療により、合併症や副作用、再発の可能性などを低くすることができます。
- 甲状腺検査を行うことで、放射線の影響の有無に関する情報を本人、家族はもとより、県内外の人たちにもお伝えすることができます。

デメリット

- 将来、日常生活や命に影響を及ぼすことのないがんを発見し、治療する可能性があります。
- がん、がんの疑いが早期にわかった場合、治療や診療期間の長期化により、普通の生活に支障をきたす可能性があります。
- 検査では、治療の必要のない結節やう胞が発見されることがあります。また、二次検査等を勧められることにより本人や家族に対し、心配をかけてしまうことがあります。

この検査ではデメリットを減らすために次のような取り組みを行っています。

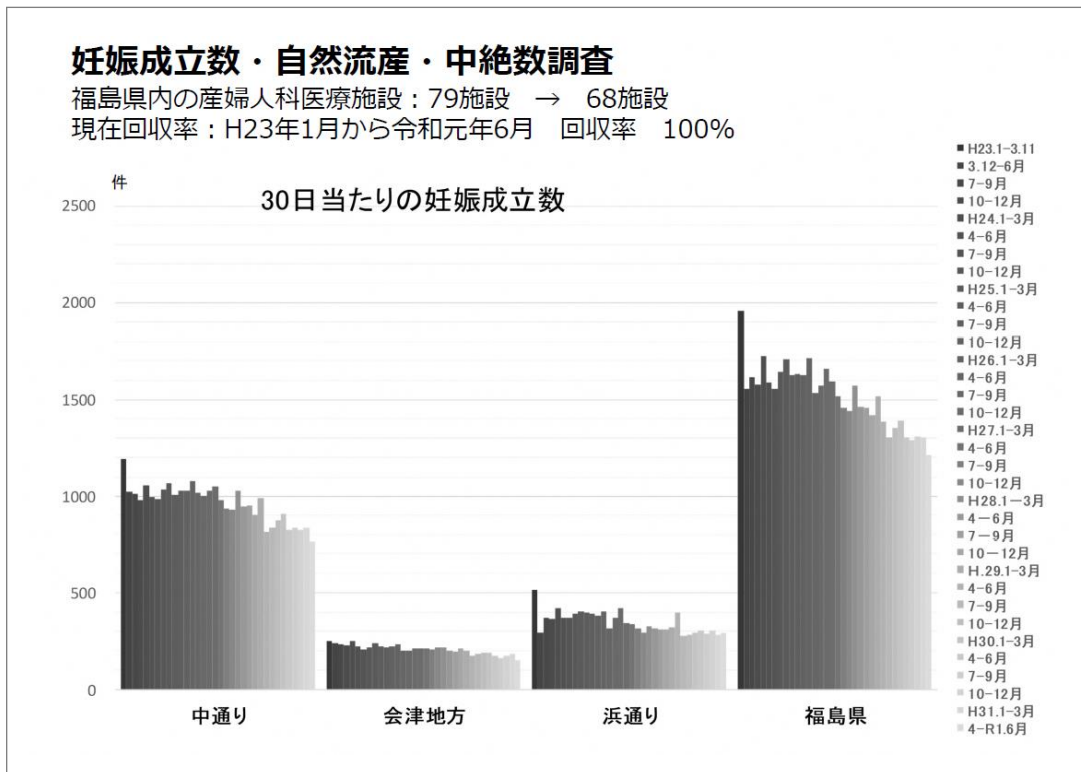
- 甲状腺検査では、治療の必要のない病変ができるだけ診断されないよう対策を講じています。
- 二次検査を受けた方の不安や心配には、必要に応じて心のケア・サポートチームの職員が、感じている不安などに寄り添う対応をしています。また、電話による相談にも応じています。

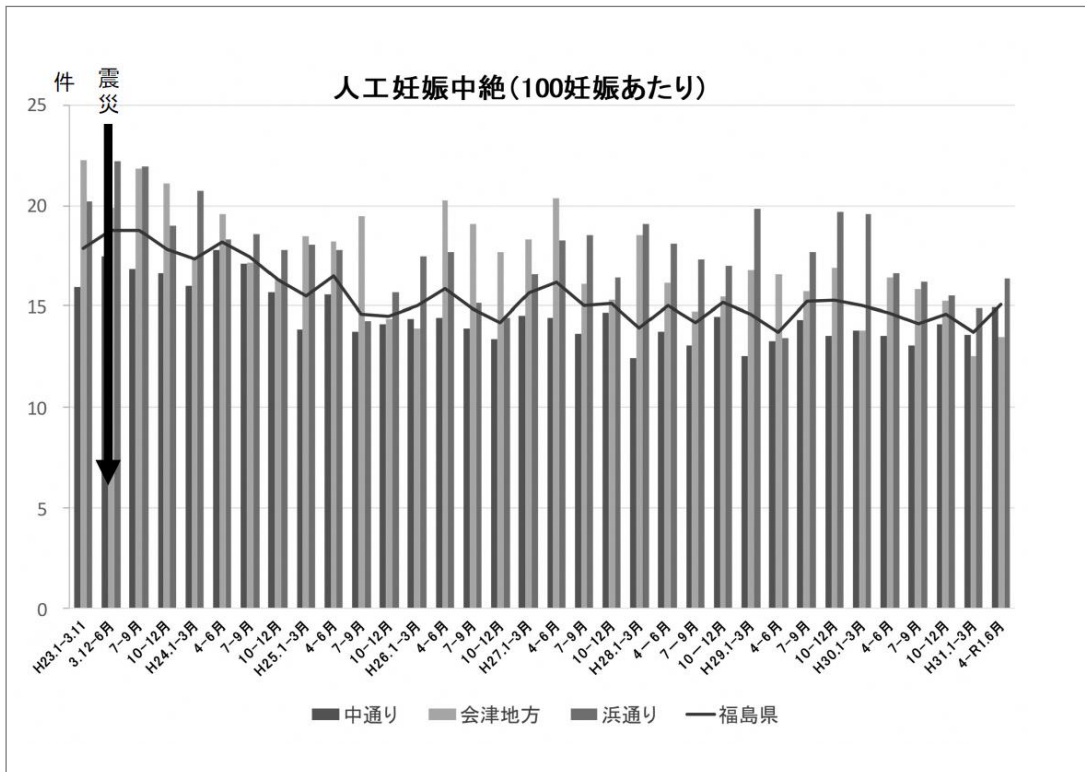
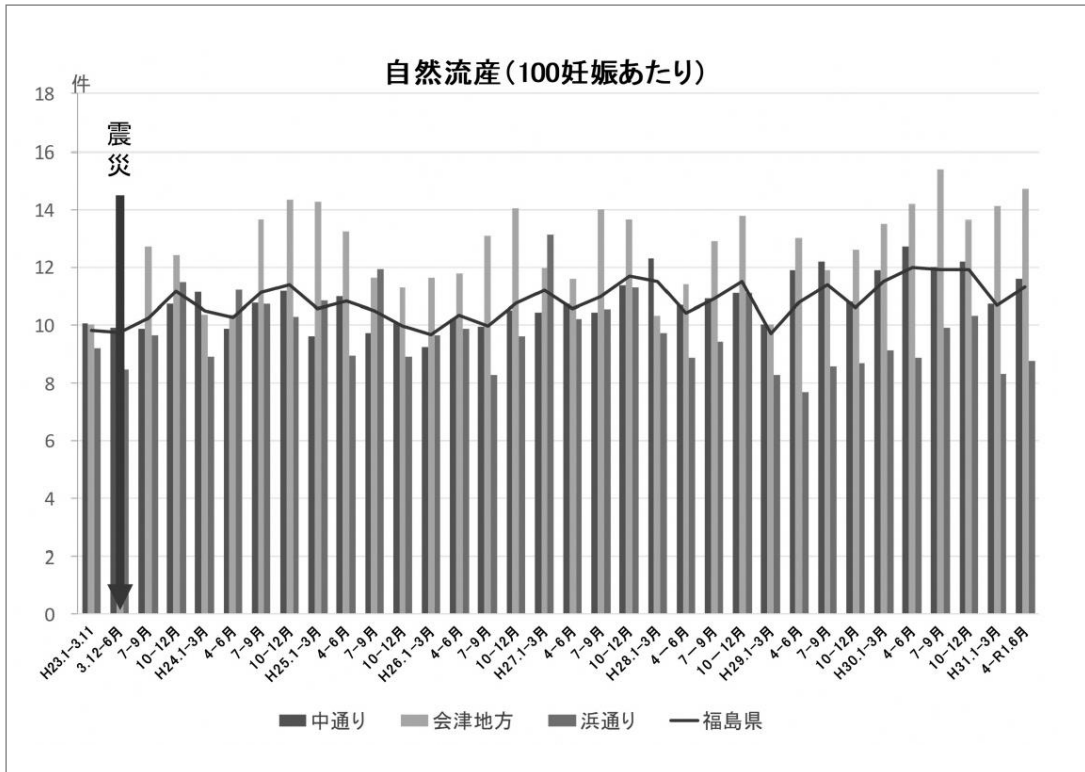
(参考)

他調査の紹介

1 震災後の妊娠の調査（妊娠成立数と中絶・流産数）

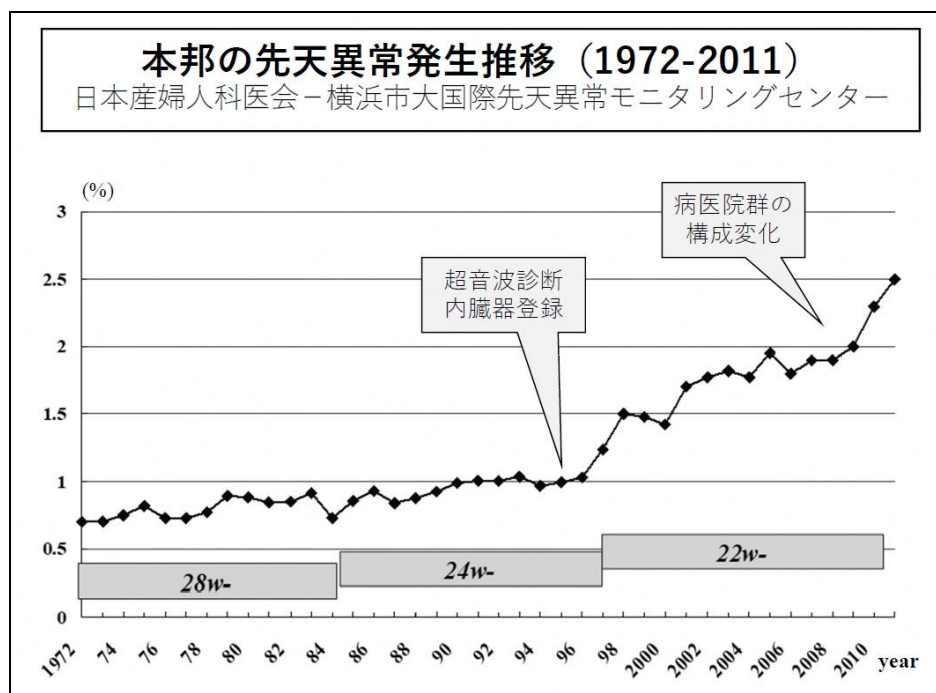
担当窓口	福島県立医科大学医学部 産科婦人科学講座
目的	福島県内の妊娠数の現状の把握
実施主体	福島県産科婦人科学会が平成23年1月から福島県全体の産婦人科診療所・病院79施設にて実施（令和元年現在68施設）
対象	福島県全体の産婦人科診療所・病院を受診した妊婦
方法	指定の様式に記入し、3か月ごとにFAXか郵送にて連絡
調査項目	当該施設ごとに以下のことについて調査 <ul style="list-style-type: none"> ・ 初期妊娠検査を施行した患者数（正常妊娠経過） ・ 流産処置を施行した患者数（自然流産） ・ 中絶処置を施行した患者数（人工妊娠中絶）
回収率	平成23年1月から令和元年6月（回収率100%）





2 日本産婦人科医会外表奇形等調査

担当窓口	日本産婦人科医会
目的	多種多様な先天異常誘発要因を常時継続的に定点監視し、何らかの変動を早期に感知して、その変動を分析する。 母児の健康維持，健康政策のため、危険因子の発見時には警告を発するシステムを構築する（先天異常モニタリング・サーベイランスシステム）。
実施主体	昭和47年から、日本産婦人科医会が全国で決められた大きな病院のみ行っていた（福島は6施設）。震災後、福島県は全県化（すべての分娩施設）された。日本の総出産児のおおよそ10%にあたる児をモニタリングしていて、現在、全国300以上の分娩施設の協力を得て、病院ベースでの先天異常モニタリングを行っている。北海道から沖縄にわたるこれらの協力施設には、個人医院から三次病院にいたるさまざまな分娩施設が含まれており、我が国における分娩のほぼ全体像を反映している。
対象	毎月の妊娠満22週以降の分娩を対象（多胎分娩時も1分娩扱い。死産は省く）
方法	1か月の分娩数等を記入し、翌月10日までに送付
調査項目	（主な項目） <ul style="list-style-type: none"> ・ 妊娠週数 ・ 母体年齢 ・ 初産経産別 ・ 既往妊娠歴（流産歴、死産歴、生産歴） ・ 児の体重、性別 ・ 単胎・双胎・品胎 ・ 出産時の状況（生産、仮死、死産） ・ 先天異常有無 ・ 喫煙、飲酒 ・ 慢性合併疾患の有無 等



妊婦連絡票等活用事業

令和2年2月13日

子育て支援課

1 事業の目的

「妊婦連絡票」等を活用し、市町村及び保健福祉事務所が、産婦人科医療機関等と協力して妊産婦等への切れ目のない支援を実施。

(＊保健福祉事務所は、県外から本県への居住者に対する支援を行う。)

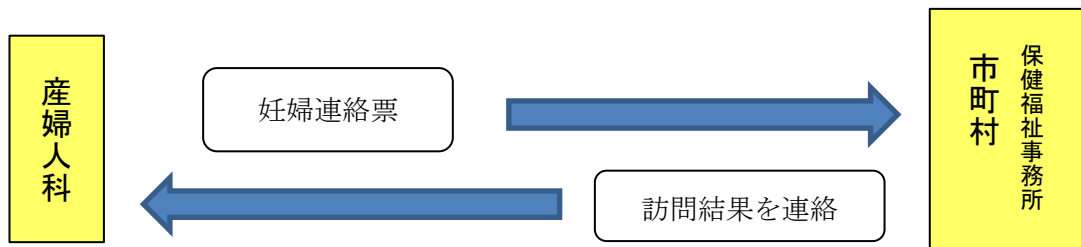
2 実施施設：県内の産婦人科医療機関（妊婦健診のみの産婦人科も含む）、南会津町の助産院

3 実施の対象：妊娠が確定した妊婦全員（他の医療機関から転院してきた者を除く）

4 実施方法

- ① 妊娠が確定した時点（おおよそ母子健康手帳を交付されたすぐ後の受診時）に医療機関を受診した妊婦を対象に「子育て支援アンケート」を記入してもらう。
- ② 「子育て支援アンケート」と診療時のアセスメントを実施し、支援が必要と判断した場合に、住民票上の市町村等へ「妊婦連絡票」を送付し、情報を提供し、地域の保健師等による支援につなげる。
- ③ 市町村等保健師は、訪問結果を連絡票へ記入し、医療機関へ結果を返す。

5 開始時期：平成28年1月から実施



＊その他、ハイリスク妊産婦連絡票や未熟児母子等連絡票により情報連携を行う。

6 平成30年度の連絡票等の活用状況 (件)

	妊婦連絡票	ハイリスク妊産婦連絡票	未熟児母子等連絡票
医療機関送付件数	463	1,072	601
市町村、保健福祉事務所受理件数	644	1,444	801
市町村、保健福祉事務所対応件数	634 (98.4%)	1,424 (98.6%)	785 (98%)

＊医療機関送付件数は、医療機関に照会し回答があった件数。

＊未対応の理由は、「連絡が取れない」が多い。その場合は医療機関へ連絡し対応を検討。

県民健康調査「妊産婦に関する調査」について

令和元年7月8日
福島県県民健康調査課

1 妊産婦に関する調査について

(1) 本調査について

福島県で子どもを産み育てようとする妊産婦の現状、こころや身体健康度、意見・要望等を的確に把握し、不安の軽減や必要なケアを提供するとともに、安心の提供と今後の福島県内の産科・周産期医療の充実へつなげていくことを目的とする。

ア 対象者

各年度に県内で母子健康手帳を交付された方及び調査期間内に県外で母子健康手帳を交付され、県内で分娩された方。

イ 調査内容及び支援

妊産婦のこころの健康度、生活状況、出産状況や妊娠経過中の妊産婦の健康状態 等
※調査の結果、支援が必要と思われる方には電話・メールでの相談対応を行う。

(2) フォローアップ調査について

ア 4年後のフォローアップ（平成27～30年度実施）

本調査回答者の出産後4年を経過した者を対象に、こころと身体健康状態の経過を伺い、不安の軽減や必要なケアを提供するため調査を実施した。

イ 2回目（4年後）のフォローアップ（令和元年度実施）

震災時に妊産婦であった方々の継続的な支援として、令和元年度において平成23年度調査回答者への2回目のフォローアップ調査及び支援を実施する。

2 福島県における妊産婦・乳幼児に対する支援体制 ※詳細は参考資料1を参照

(1) 震災後に開始した市町村・県事業等

【市町村】

- 産後ケア事業：平成29年度開始（26～28年度は県で実施）
- ふくしま版妊婦訪問等事業：平成30年度開始
- 産後1か月健康診査における産後うつスクリーニング実施：平成30年度開始

【県】

- ふくしまの赤ちゃん電話健康相談：平成24年度開始
- 避難している子育て世帯への訪問支援：平成26年度開始
- 妊婦連絡票等を活用した医療機関と市町村との連携体制の調整：平成27年度開始
- 妊産婦メンタルヘルスケア推進事業（研修会の実施）：平成29年度開始
- 家庭訪問型子ども支援事業（研修会の実施）：平成31年度～一部新規事業として開始

(2) 子育て世代包括支援センターの展開

- 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援のために、「母子保健サービス」と「子育て支援サービス」を一体的に提供できるよう、きめ細かな相談支援等を行う。
- 母子保健法に位置づけられ、国は令和2年度末に全国設置を目指している。
→令和元年6月1日現在：県内59市町村中45市町村で設置済

3 今後の調査の実施について（検討案）

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
本調査	対象 ①	対象 ②	対象 ③	対象 ④	対象 ⑤	対象 ⑥	対象 ⑦	対象 ⑧	対象 ⑨	対象 ⑩		
(1回目) フォローアップ調査					対象 ①	対象 ②	対象 ③	対象 ④				
(2回目) フォローアップ調査									対象 ①	対象 ②		

※今後の調査結果等を踏まえながら検討する。

※調査から得られた経験・知見等を踏まえ、直接相談対応する市町村保健師等への支援も検討していく。

子育て世代包括支援センターの全国展開

- 妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援のために、子育て世代包括支援センターに保健師等を配置して、「母子保健サービス」と「子育て支援サービス」を一体的に提供できるよう、きめ細かな相談支援等を行う。
- 母子保健法を改正し、子育て世代包括支援センターを法定化(平成29年4月1日施行)(法律上は「母子健康包括支援センター」)。
- 実施市町村数:525市区町村(1,106か所)(平成29年4月1日現在) ➢ 平成32年度末までに全国展開を目指す。

※各市区町村が実情に応じて必要な箇所数や管轄区域を判断して設置。



近隣住民やボランティアなどによるインフォーマルなサービス

甲状腺検査結果の状況

1 先行検査（平成 30 年 3 月 31 日現在）【実施年度：平成 23 年度～25 年度】

一次検査（平成 27 年 4 月 30 日検査終了）

- ・ 対象者数 367,637 人
- ・ 受診者数 300,472 人（受診率 81.7%）
- ・ 結果判定数 300,472 人（判定率 100.0%）
- ・ 判定区分別内訳

A判定 (A 1) : 154,605 人 (51.5%)
(A 2) : 143,573 人 (47.8%)
B判定 : 2,293 人 (0.8%)
C判定 : 1 人 (0.0%)

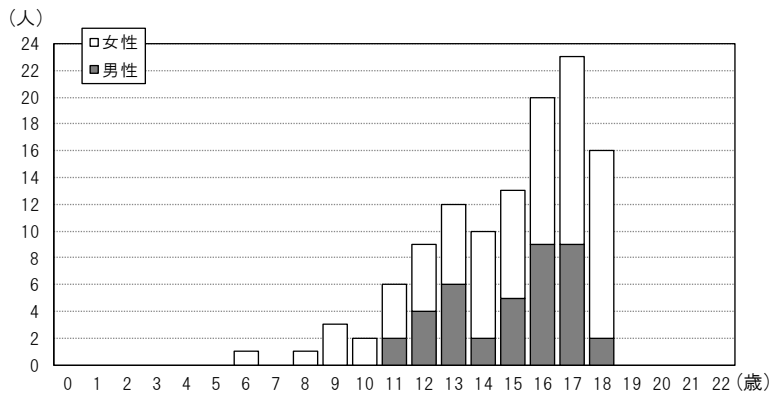
二次検査（平成 30 年 3 月 31 日現在）

- ・ 対象者数 2,293 人
 - ・ 受診者数 2,130 人（受診率 92.9%）
 - ・ 結果確定数 2,091 人（確定率 98.2%）
- うち、穿刺吸引細胞診実施は 547 人

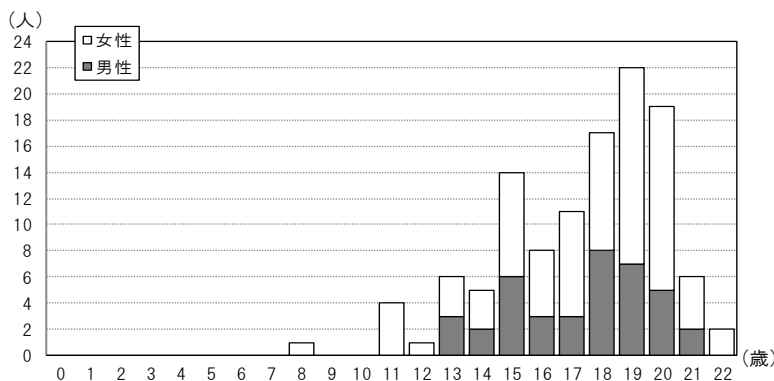
穿刺吸引細胞診等結果概要	
・ 悪性ないし悪性疑い	116 人
・ 男性：女性	39 人：77 人
・ 平均年齢	17.3±2.7 歳（8-22 歳）、震災当時 14.9±2.6 歳（6-18 歳）
・ 平均腫瘍径	13.9±7.8 mm（5.1-45.0 mm）

◇ 細胞診で悪性ないし悪性疑いであった 116 人の年齢、性分布

[平成 23 年 3 月 11 日時点の年齢による分布]



[二次検査時点の年齢による分布]



2 本格検査（検査2回目）（平成30年3月31日現在）【実施年度：平成26年度～27年度】

一次検査

- 対象者数 381,244人
- 受診者数 270,540人（受診率 71.0%）
- 結果判定数 270,529人（判定率 100.0%）
- 判定区分別内訳

A判定（A1）	108,718人（40.2%）
（A2）	159,584人（59.0%）
B判定	2,227人（0.8%）
C判定	0人（0.0%）

二次検査

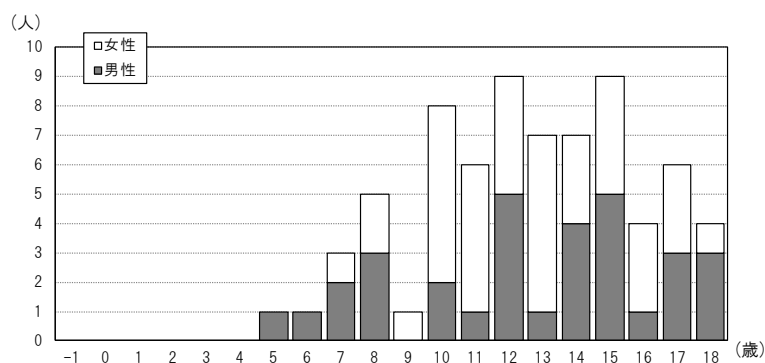
- 対象者数 2,227人
- 受診者数 1,874人（受診率 84.1%）
- 結果確定数 1,826人（確定率 97.4%）
- うち、穿刺吸引細胞診実施は207人

穿刺吸引細胞診等結果概要

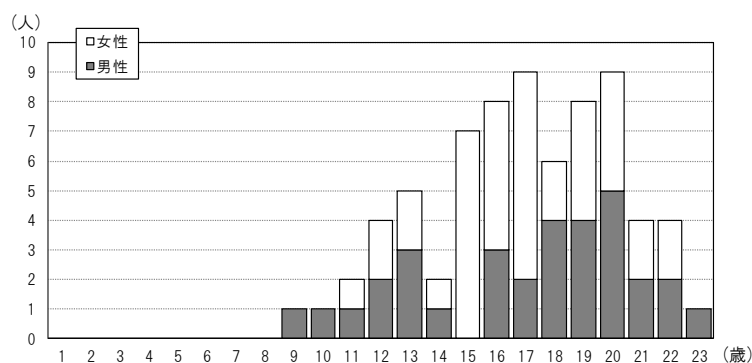
- 悪性ないし悪性疑い 71人
- 男性：女性 32人：39人
- 平均年齢 16.9±3.2歳（9-23歳）、震災当時12.6±3.2歳（5-18歳）
- 平均腫瘍径 11.1±5.6mm（5.3-35.6mm）

◇ 細胞診で悪性ないし悪性疑いであった71人の年齢、性分布

[平成23年3月11日時点の年齢による分布]



[二次検査時点の年齢による分布]



3 本格検査（検査3回目）（令和元年9月30日現在）【実施年度：平成28年度～29年度】

一次検査

- 対象者数 336,669人
(25歳時の節目の検査対象者である平成4・5年度生まれを除く)
- 受診者数 217,904人 (受診率 64.7%)
- 結果判定数 217,897人 (判定率 100.0%)
- 判定区分別内訳

A判定 (A1)	: 76,420人 (35.1%)
(A2)	: 139,976人 (64.2%)
B判定	: <u>1,501人 (0.7%)</u>
C判定	: <u>0人 (0.0%)</u>

二次検査

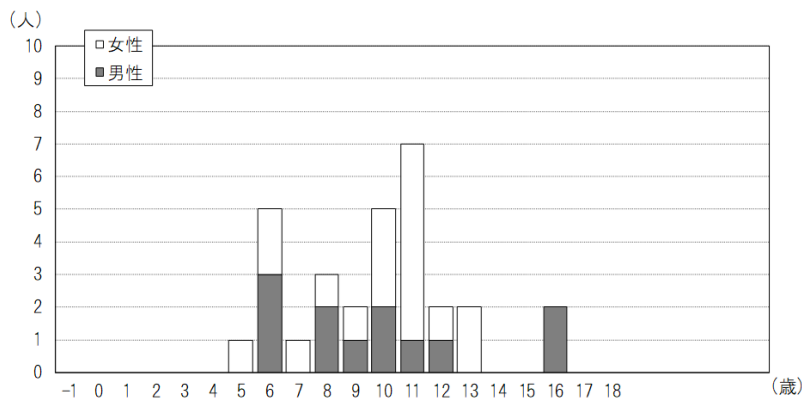
- 対象者数 1,501人
 - 受診者数 1,098人 (受診率 73.2%)
 - 結果確定数 1,050人 (確定率 95.6%)
- うち、穿刺吸引細胞診実施は74人

穿刺吸引細胞診等結果概要

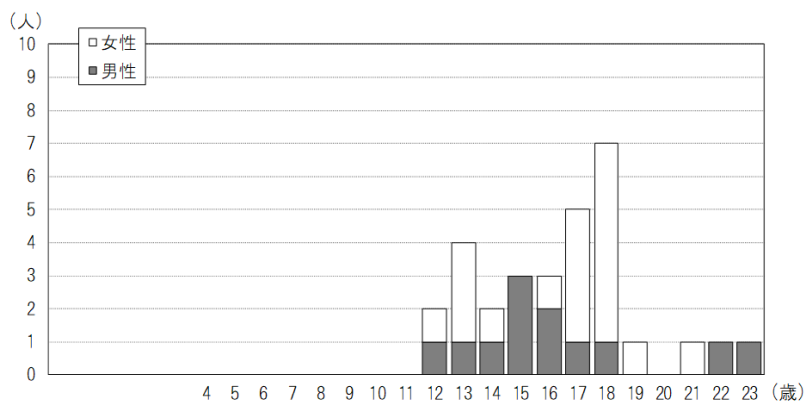
- 悪性ないし悪性疑い 30人
- 男性：女性 12人：18人
- 平均年齢 16.4±2.8歳 (12-23歳)、震災当時9.8±2.8歳 (5-16歳)
- 平均腫瘍径 13.0±6.5mm (5.6-33.0mm)

◇ 細胞診で悪性ないし悪性疑いであった30人の年齢、性分布

[平成23年3月11日時点の年齢による分布]



[二次検査時点の年齢による分布]



4 本格検査（検査4回目）（令和元年9月30日現在）【実施年度：平成30年度～31年度】

一次検査

- 対象者数 294,183人
(25歳時の節目の検査対象者である平成4～7年度生まれを除く)
- 受診者数 136,942人 (受診率 46.5%)
- 結果判定数 125,491人 (判定率 91.6%)
- 判定区分別内訳

A判定 (A1)	: 43,064人 (34.3%)
(A2)	: 81,598人 (65.0%)
B判定	: 829人 (0.7%)
C判定	: 0人 (0.0%)

二次検査

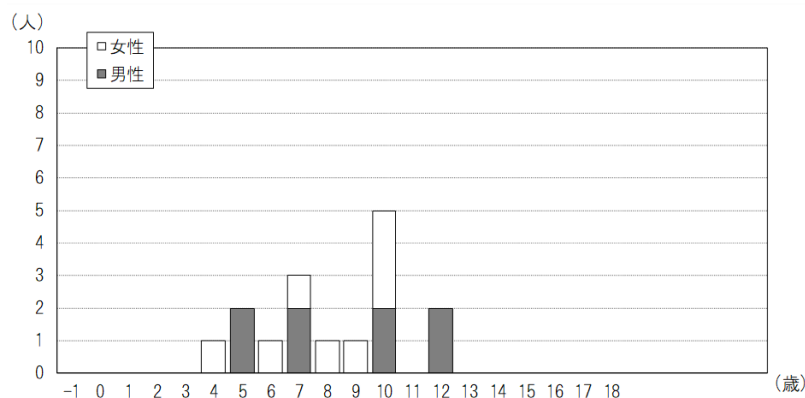
- 対象者数 829人
 - 受診者数 484人 (受診率 58.4%)
 - 結果確定数 418人 (確定率 86.4%)
- うち、穿刺吸引細胞診実施は29人

穿刺吸引細胞診等結果概要

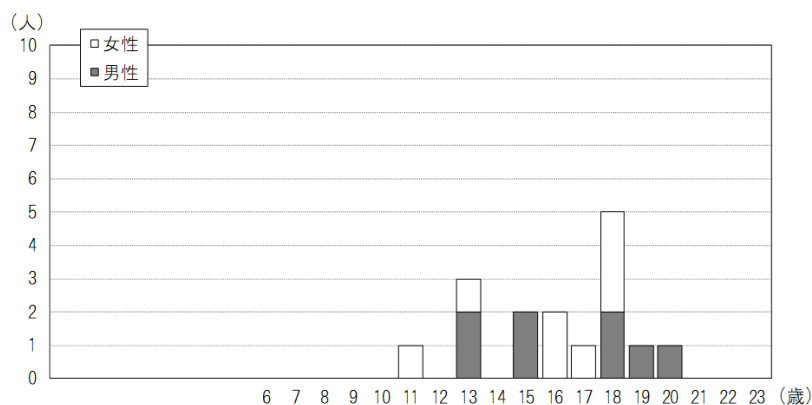
- 悪性ないし悪性疑い 16人
- 男性：女性 8人：8人
- 平均年齢 16.1±2.6歳 (11-20歳)、震災当時8.3±2.5歳 (4-12歳)
- 平均腫瘍径 11.5±5.7mm (6.1-29.4mm)

◇ 細胞診で悪性ないし悪性疑いであった16人の年齢、性分布

[平成23年3月11日時点の年齢による分布]



[二次検査時点の年齢による分布]



5 25歳時の節目の検査（令和元年9月30日現在）【実施年度：平成29年度～】

一次検査

- ・ 対象者数 44,542人（平成4年度・5年度生まれ）
- ・ 受診者数 4,277人（受診率 9.6%）
- ・ 結果判定数 4,239人（判定率 99.1%）
- ・ 判定区分別内訳

A判定（A1）：1,839人（43.4%）

（A2）：2,202人（51.9%）

B判定 : 198人（4.7%）

C判定 : 0人（0.0%）

二次検査

- ・ 対象者数 198人
- ・ 受診者数 145人（受診率 73.2%）
- ・ 結果確定数 127人（確定率 87.6%）

うち、穿刺吸引細胞診実施は10人

穿刺吸引細胞診等結果概要

- ・ 悪性ないし悪性疑い 4人
- ・ 男性：女性 2人：2人
- ・ 平均年齢 24.8±0.5歳（24-25歳）、震災当時17.0±0.8歳（16-18歳）
- ・ 平均腫瘍径 14.5±2.7mm（12.3-18.0mm）

(参考) 悪性ないし悪性疑いと判定された人数及び手術症例等

先行検査から本格検査（検査4回目）及び25歳時の節目の検査までの状況

悪性ないし悪性疑いの判定数 237人

うち 手術実施 187人

(良性結節1人、乳頭癌184人、低分化癌1人、その他の甲状腺癌1人)

先行検査 H30.3.31 現在 【実施年度：平成23年度～25年度】

計 116人 (男性39人：女性77人)

(手術実施102人：良性結節1人、乳頭癌100人、低分化癌1人)

本格検査（検査2回目）H30.3.31 現在 【実施年度：平成26年度～27年度】

計 71人 (男性32人：女性39人)

(手術実施52人：乳頭癌51人、その他の甲状腺癌1人)

本格検査（検査3回目）R1.9.30 現在 【実施年度：平成28年度～29年度】

・平成28年度実施対象市町村 12人 (男性6人：女性6人)

(手術実施11人：乳頭癌11人)

・平成29年度実施対象市町村 18人 (男性6人：女性12人)

(手術実施13人：乳頭癌13人)

計 30人 (男性12人：女性18人)

(手術実施24人：乳頭癌24人)

本格検査（検査4回目）R1.9.30 現在 【実施年度：平成30年度～31年度】

・平成30年度実施対象市町村 15人 (男性7人：女性8人)

(手術実施8人：乳頭癌8人)

・平成31年度実施対象市町村 1人 (男性1人：女性0人)

(手術実施0人：乳頭癌0人)

計 16人 (男性8人：女性8人)

(手術実施8人：乳頭癌8人)

25歳時の節目の検査 R1.9.30 現在 【実施年度：平成29年度～】

計 4人 (男性2人：女性2人)

(手術実施1人：乳頭癌1人)